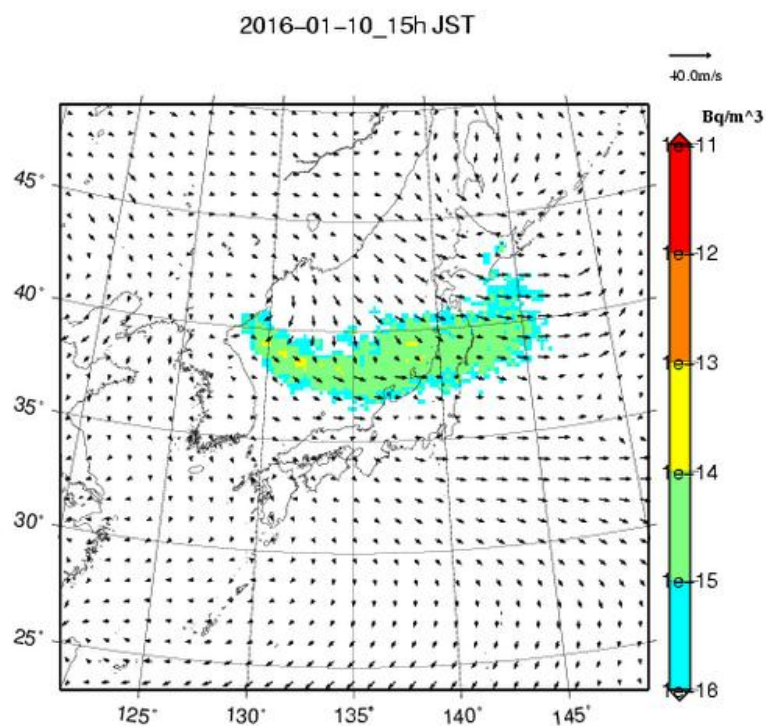
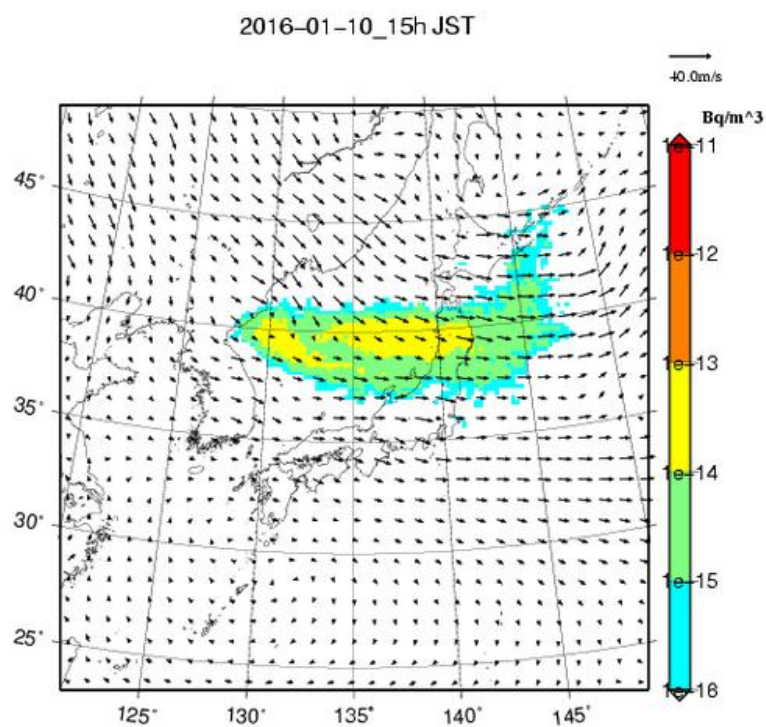


2016/1/10_15:00 地表面 空気中濃度（ヨウ素 131）

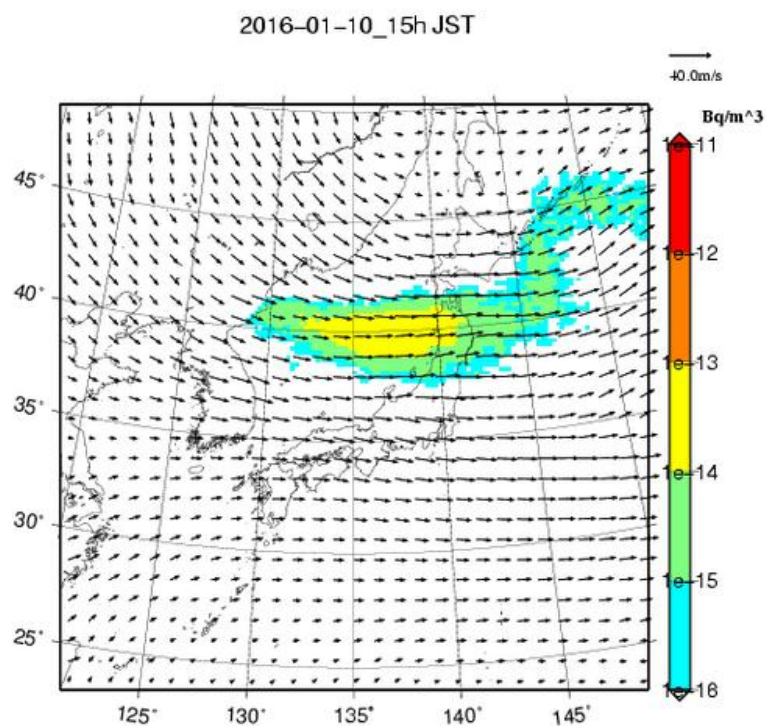


2016/1/10_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（ヨウ素 131）

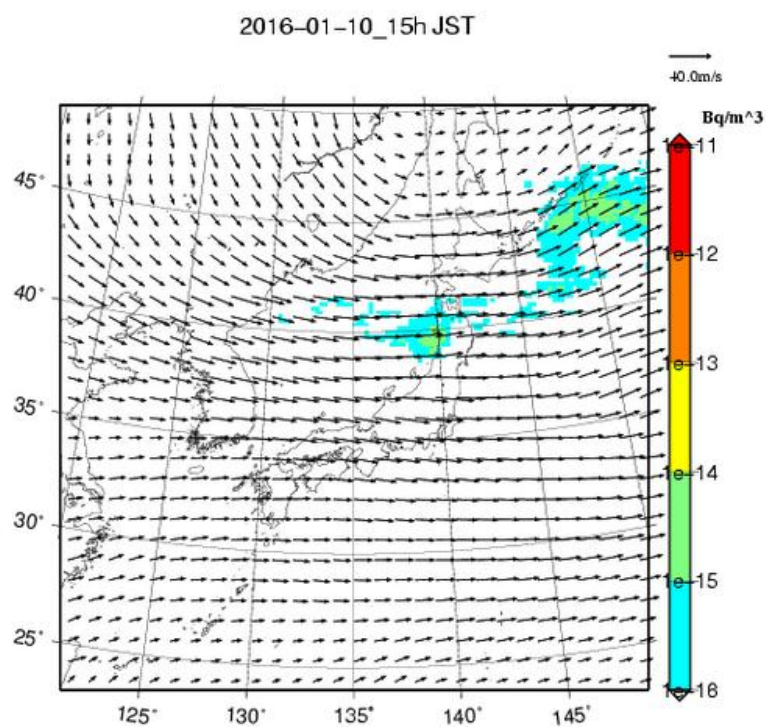


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

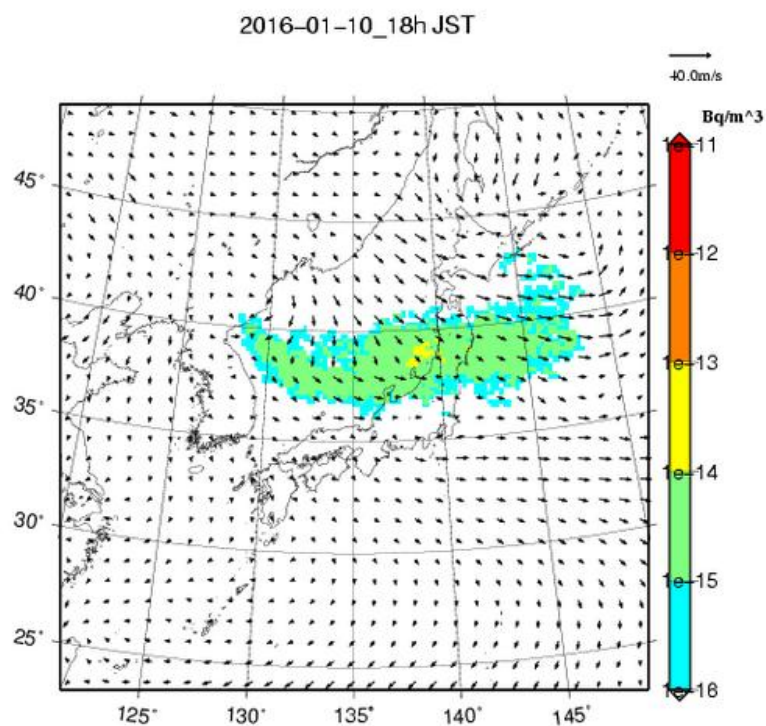


2016/1/10_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

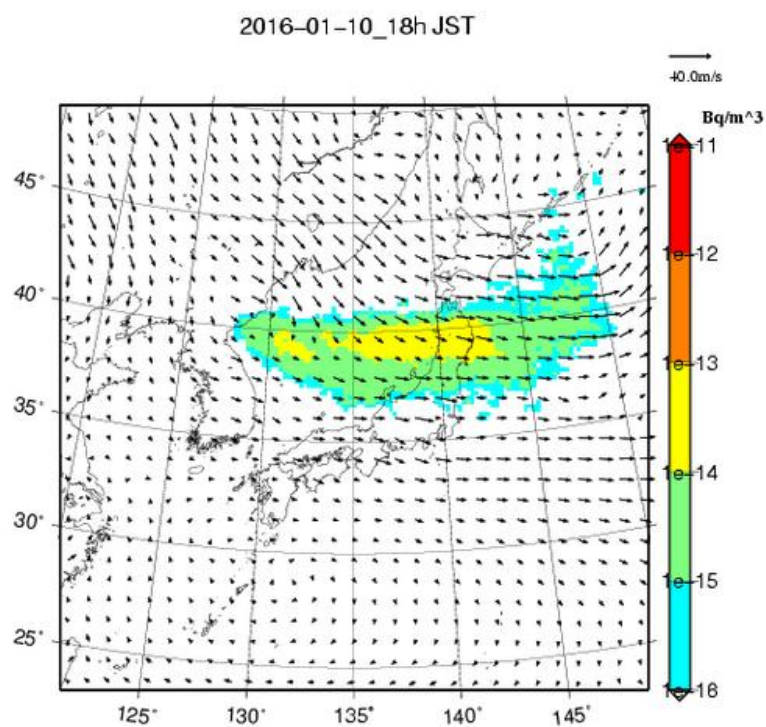


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_18:00 地表面 空気中濃度 (ヨウ素 131)

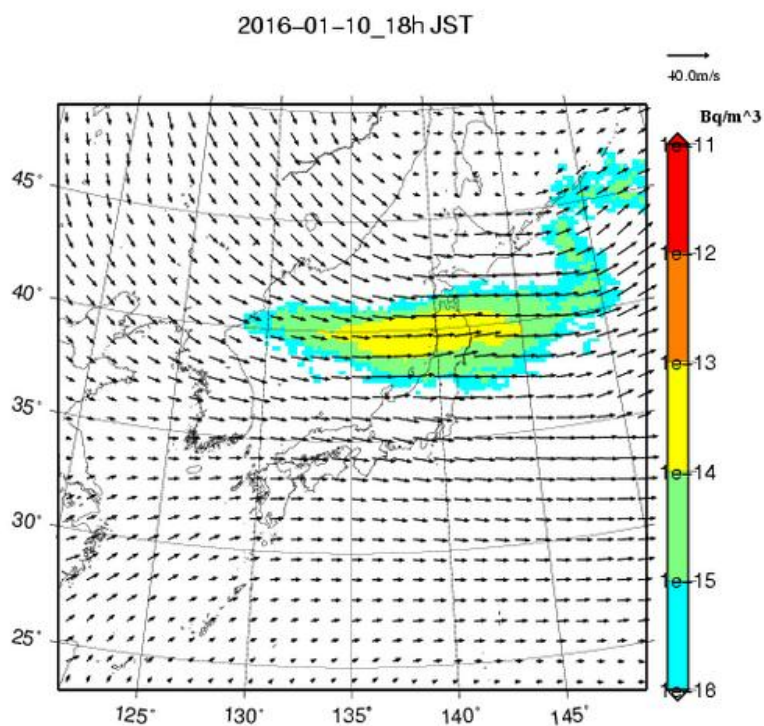


2016/1/10_18:00 上空 1,000m 空気中濃度 (ヨウ素 131)

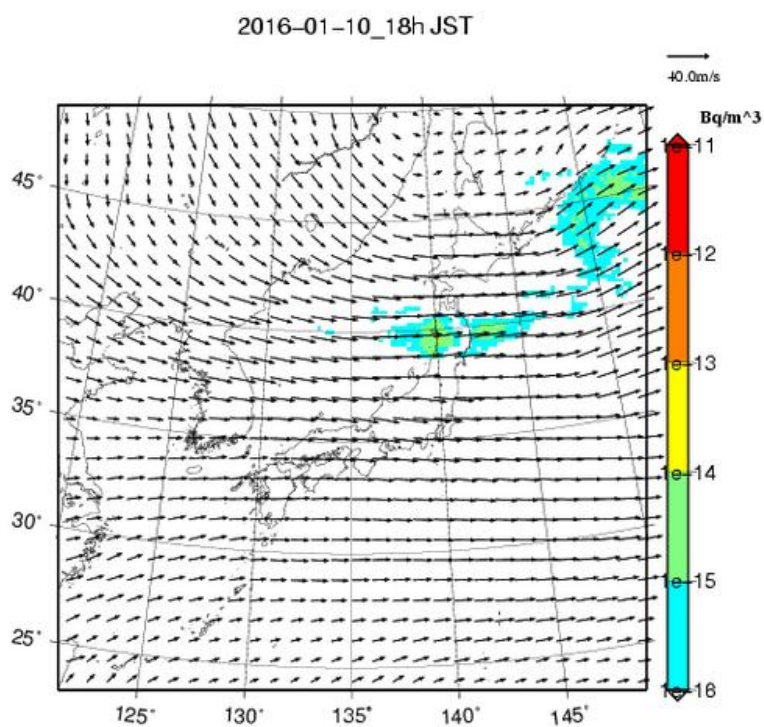


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

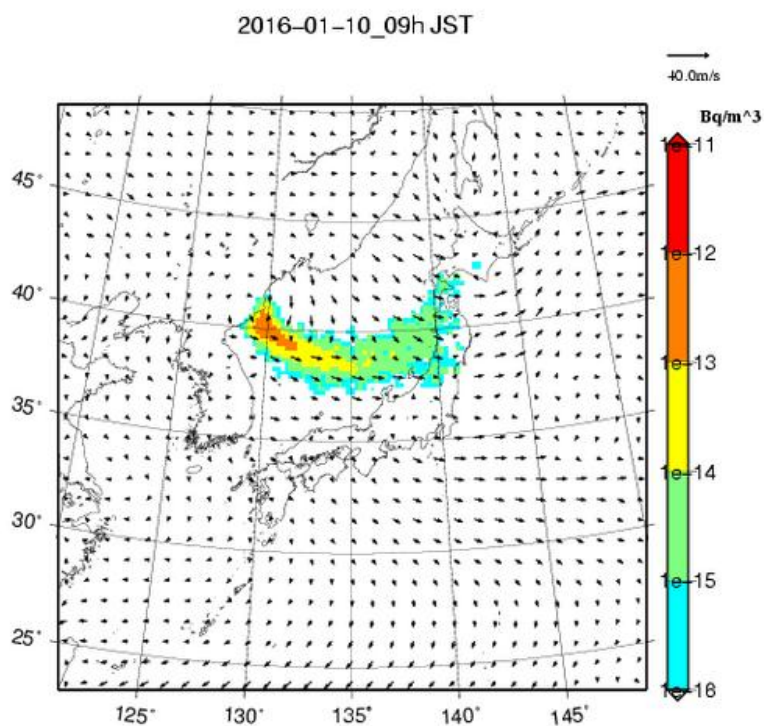


2016/1/10_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

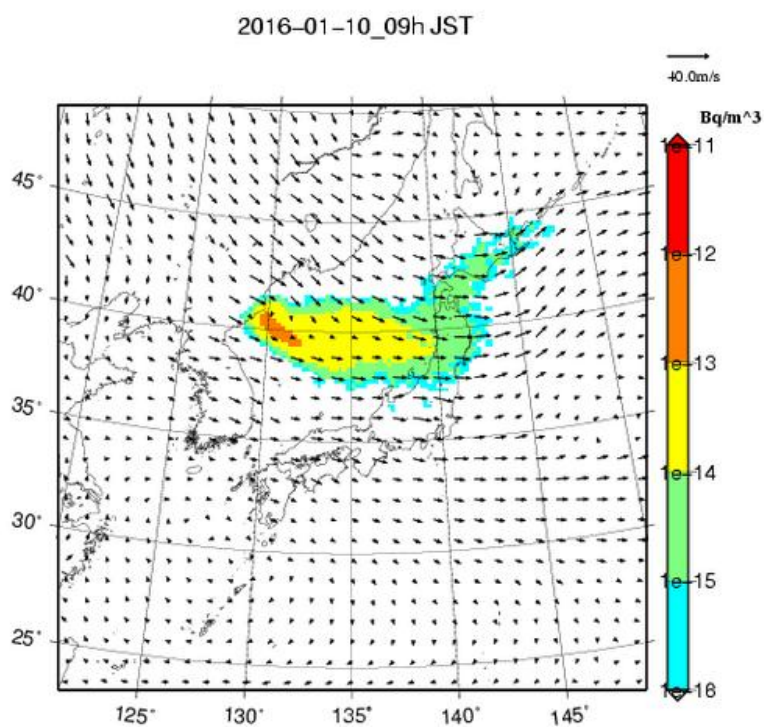


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_9:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

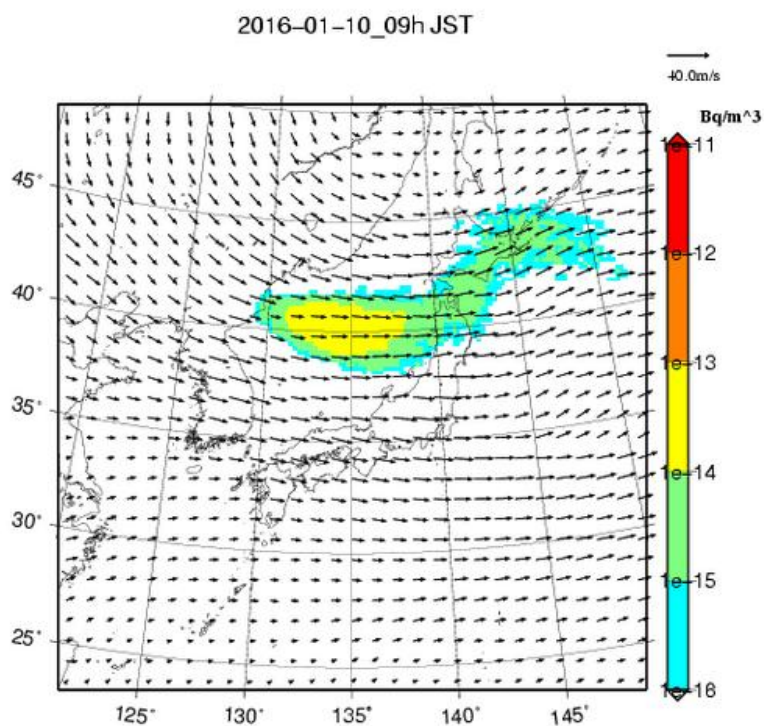


2016/1/10_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

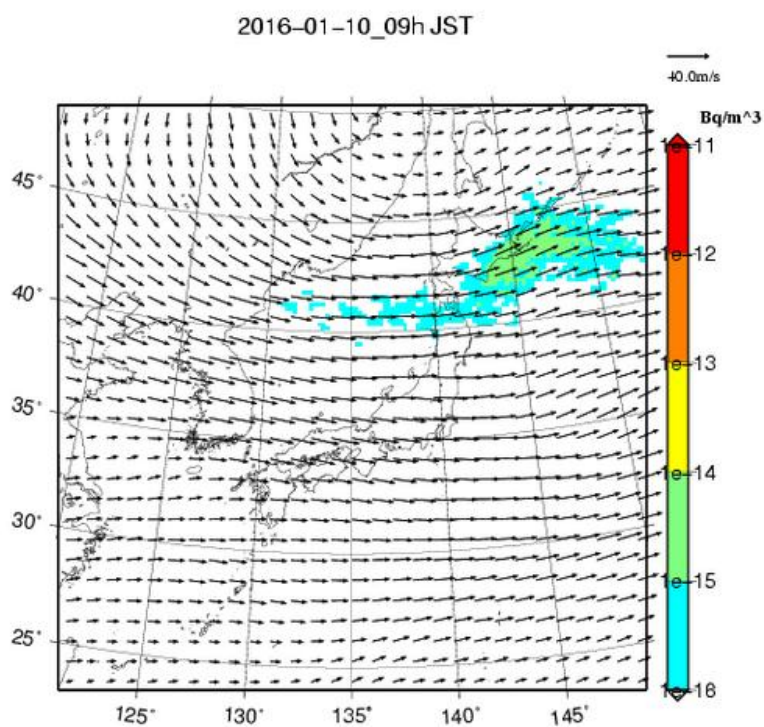


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

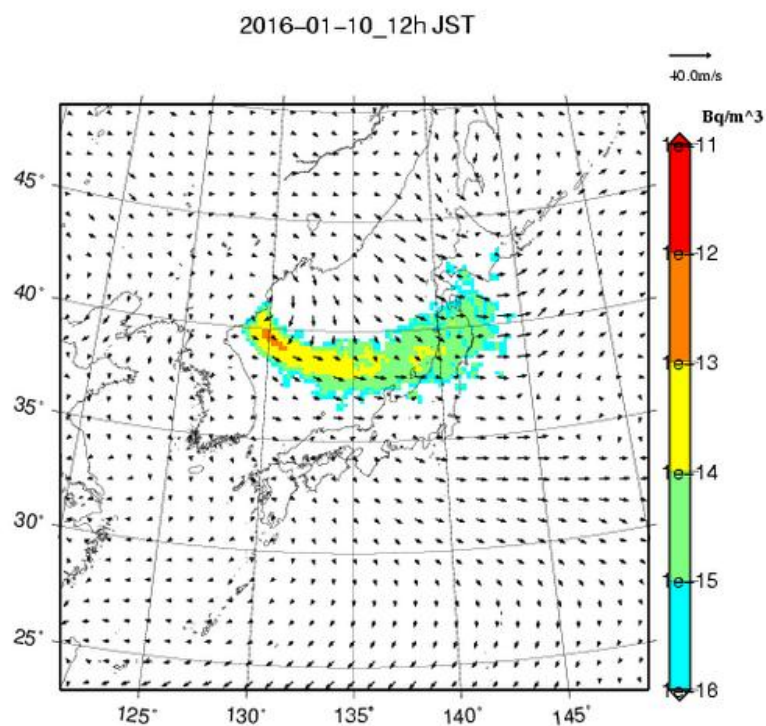


2016/1/10_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

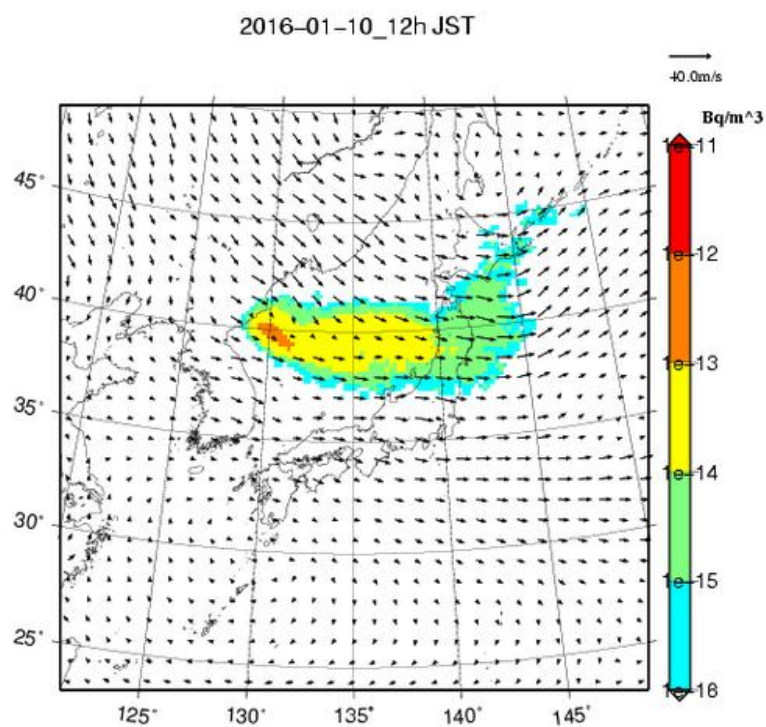


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_12:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

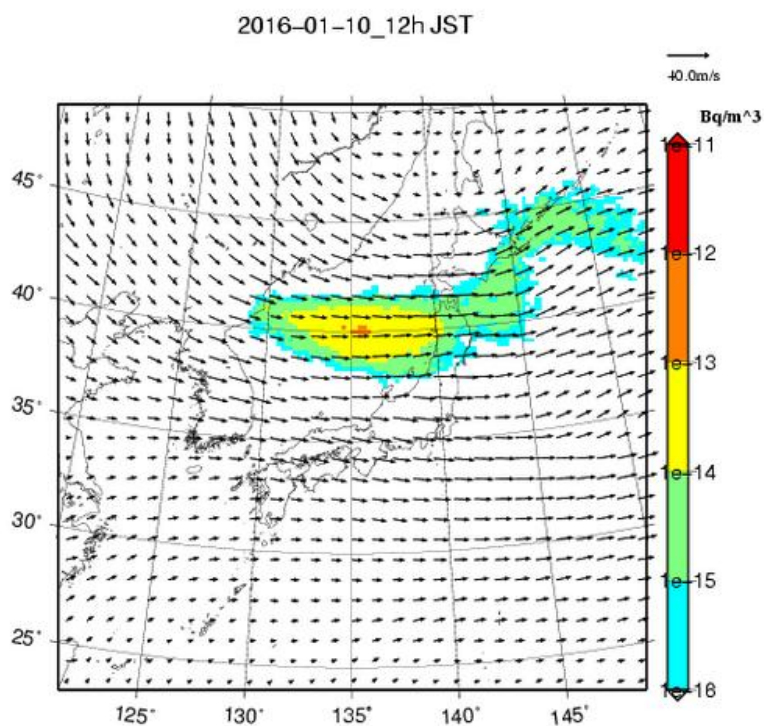


2016/1/10_12:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

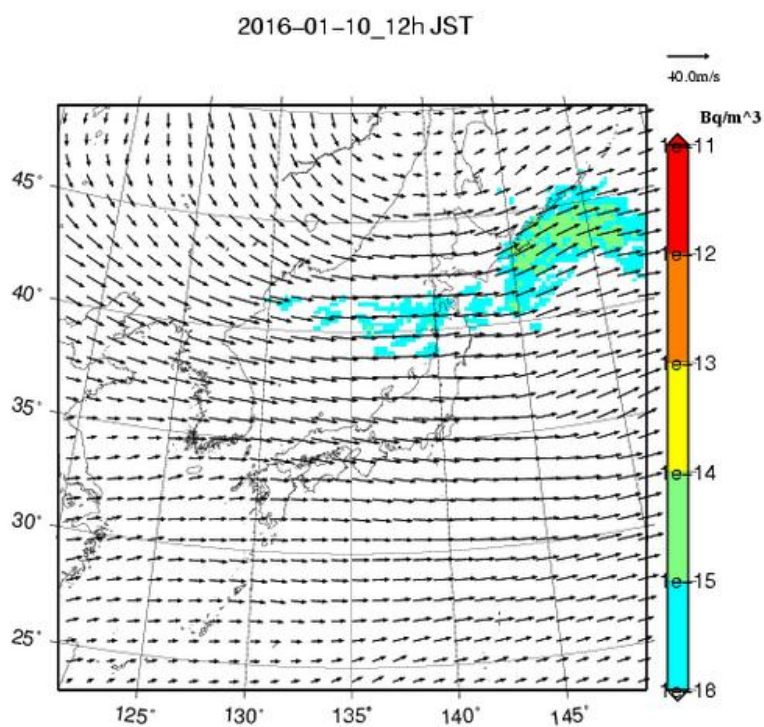


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

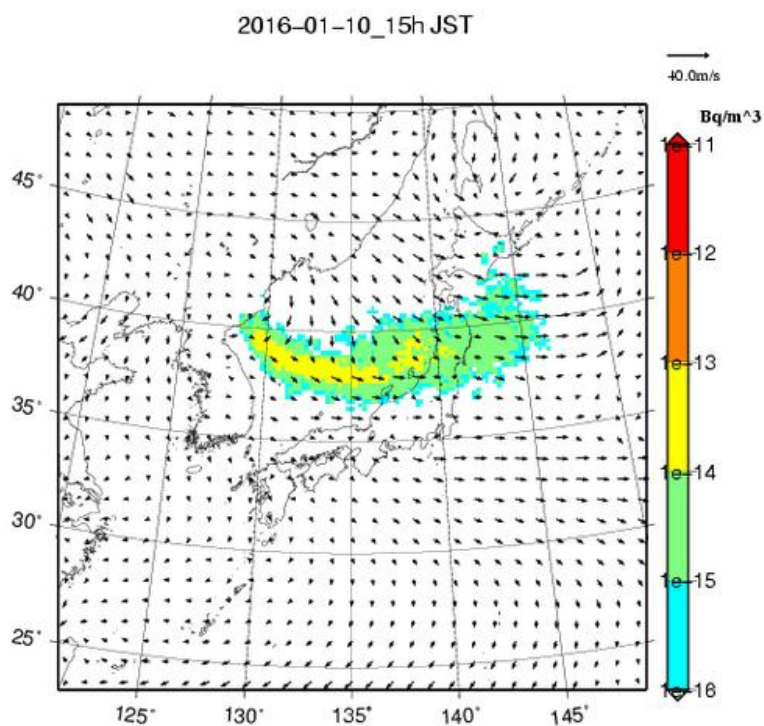


2016/1/10_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

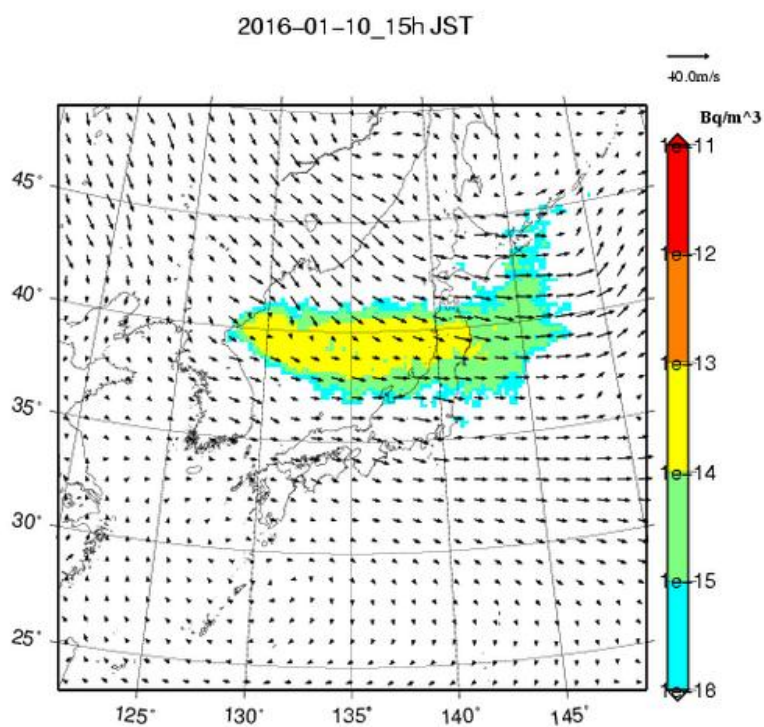


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_15:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

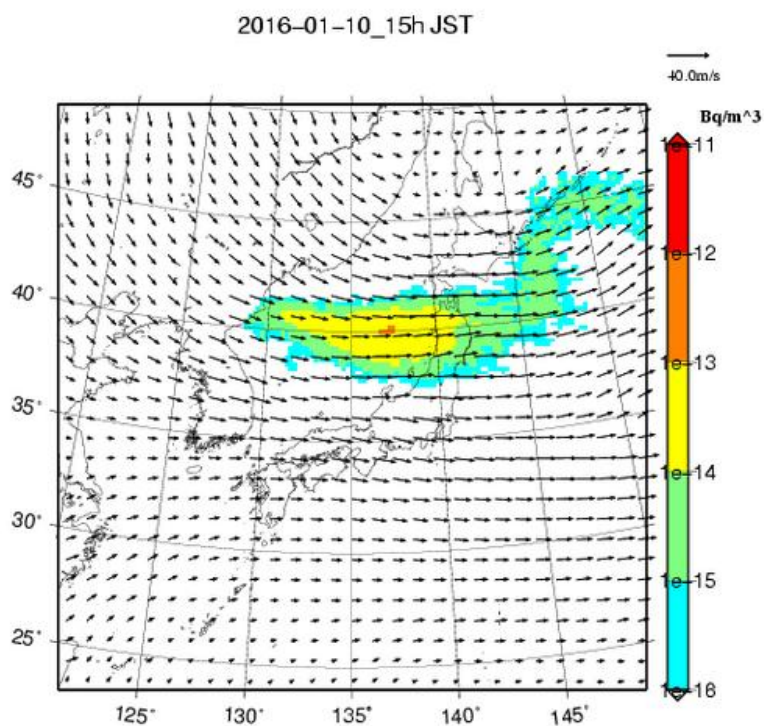


2016/1/10_15:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

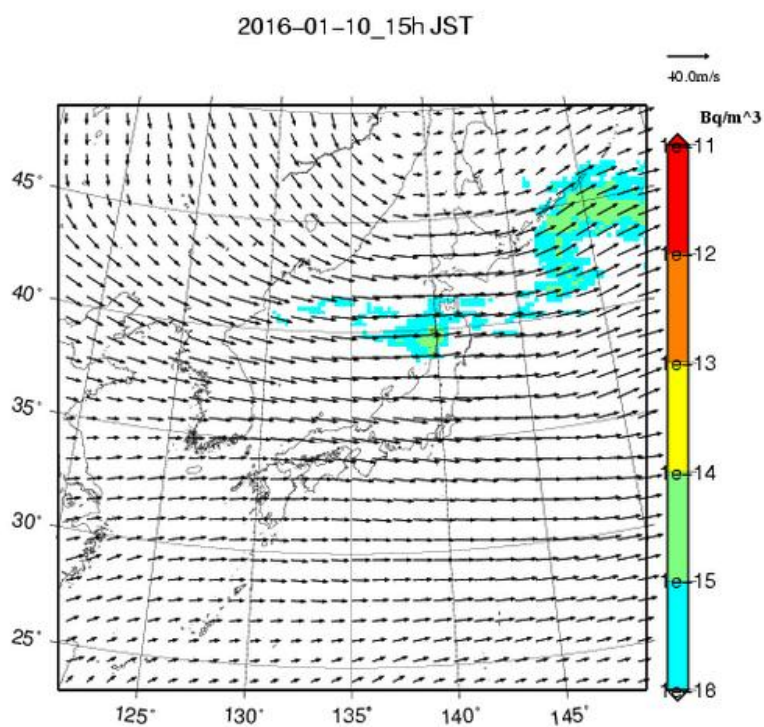


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

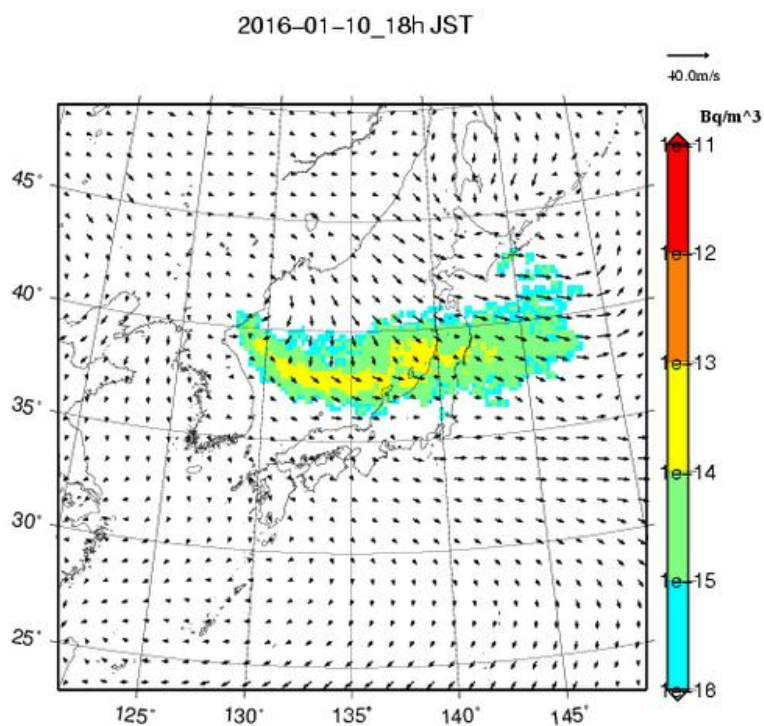


2016/1/10_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

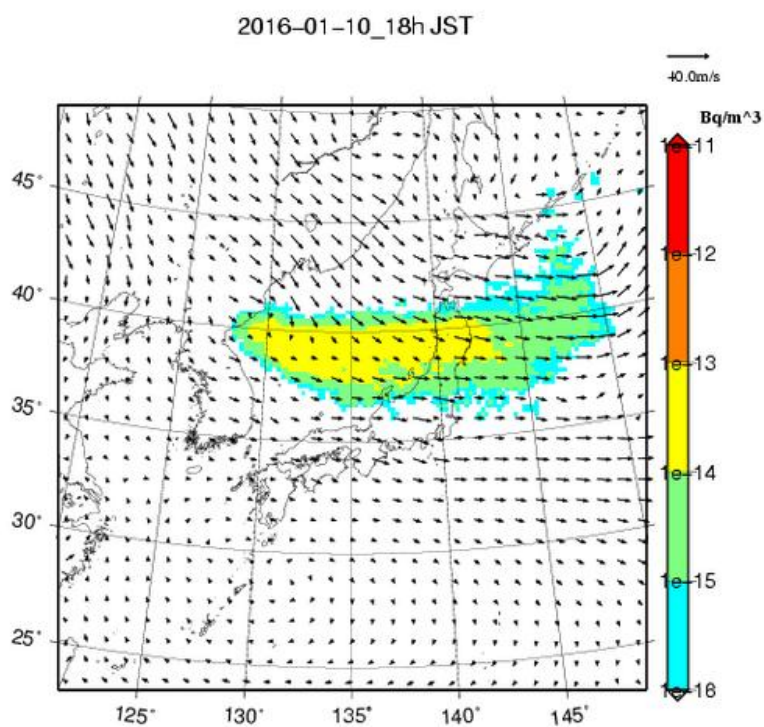


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_18:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

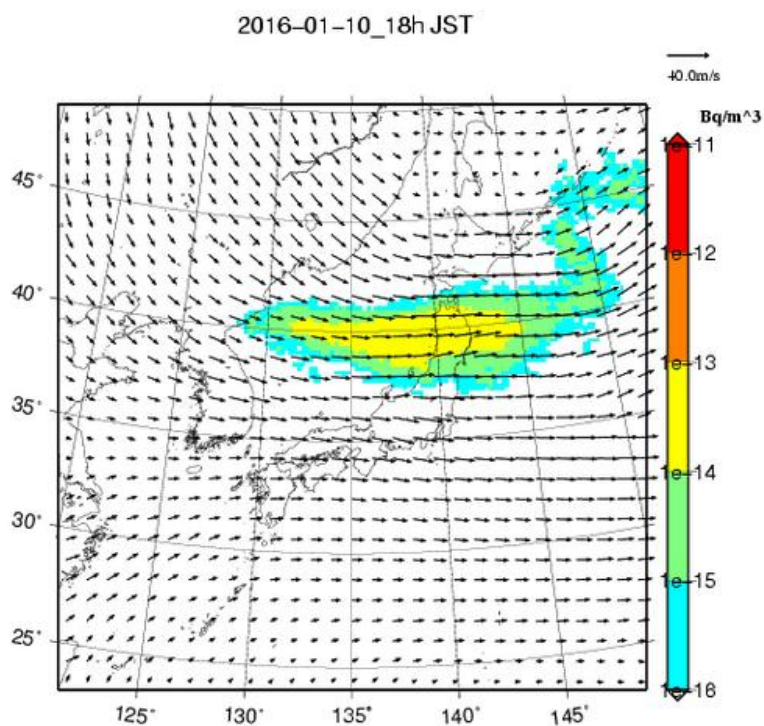


2016/1/10_18:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

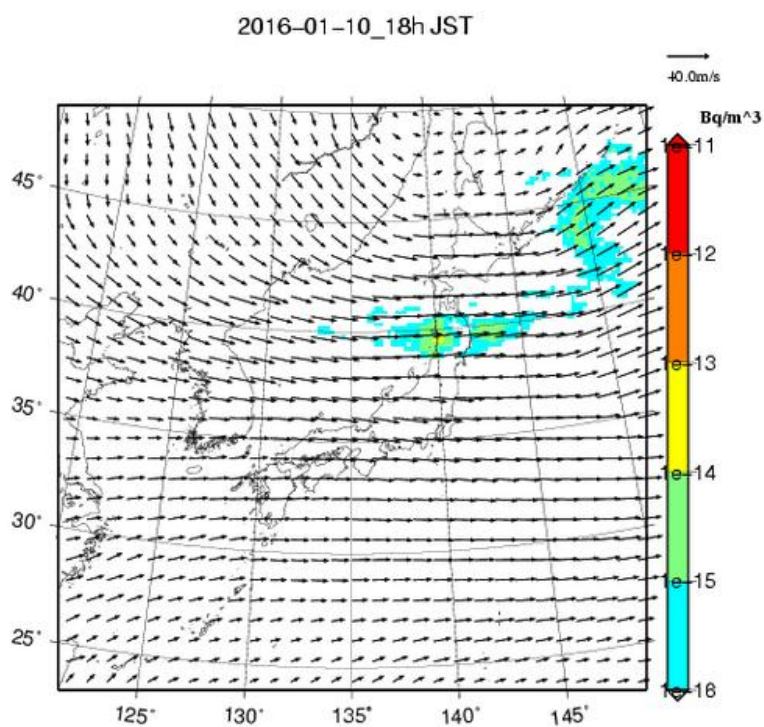


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

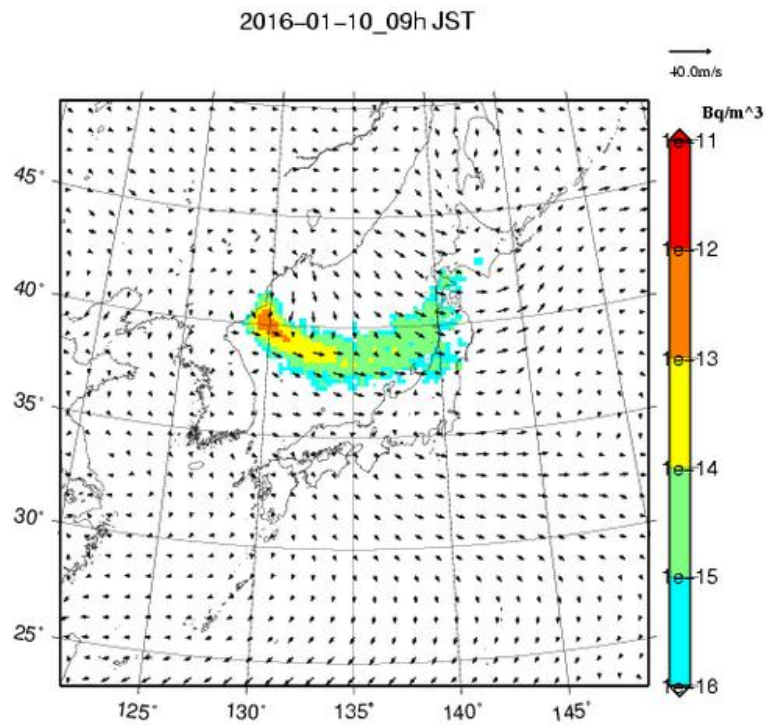


2016/1/10_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

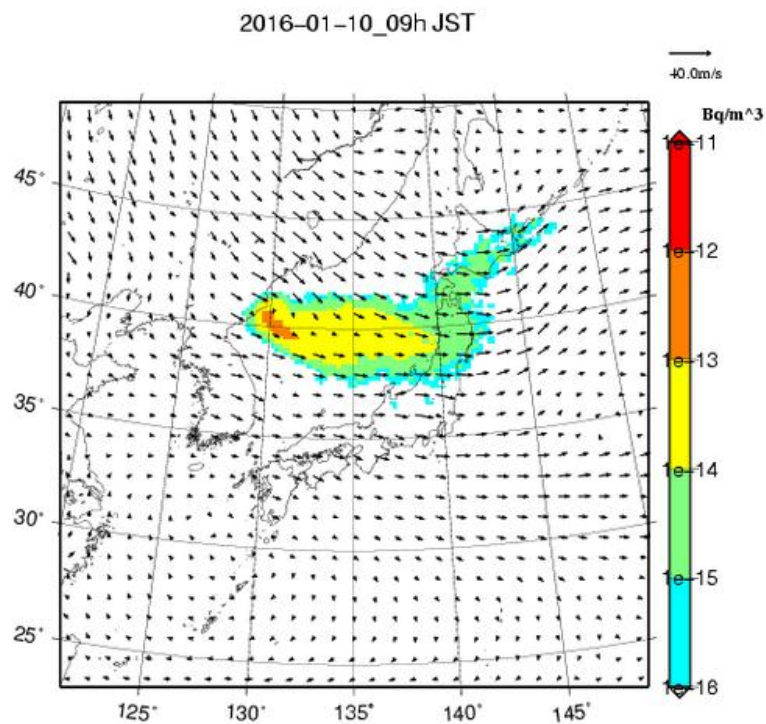


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_9:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

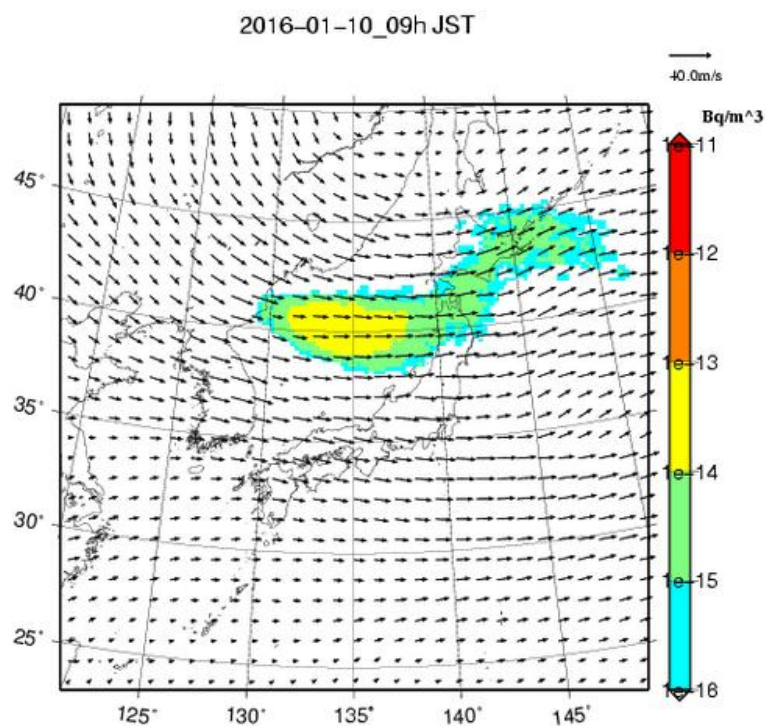


2016/1/10_9:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

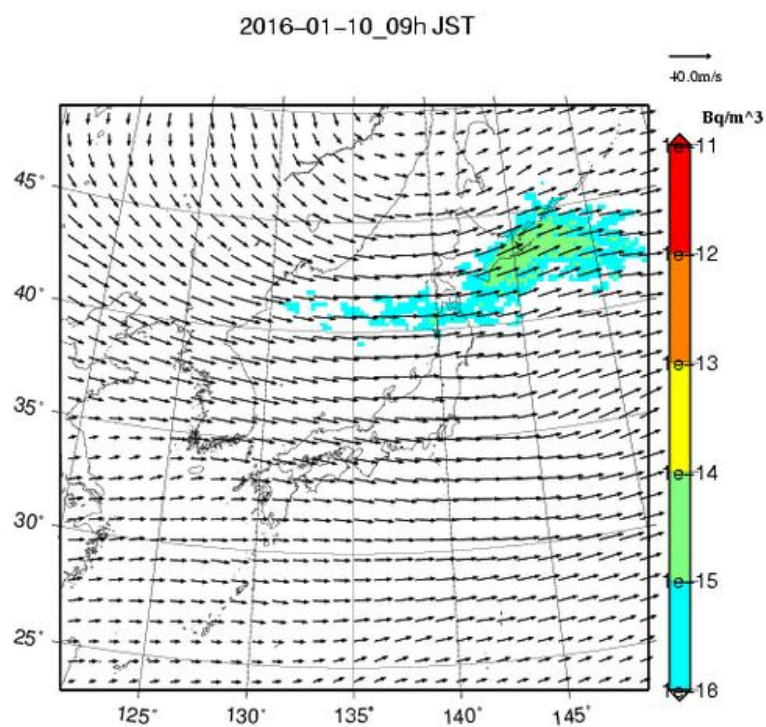


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

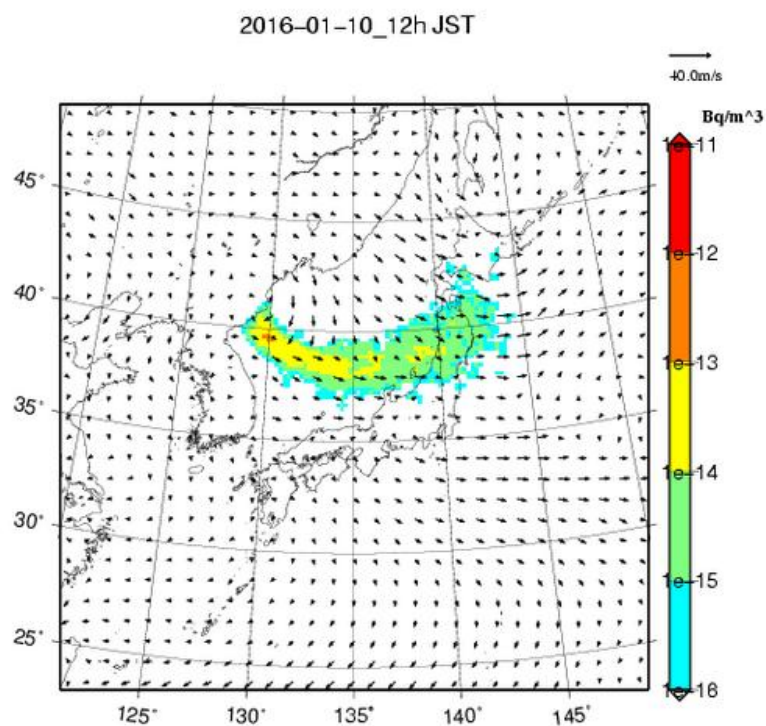


2016/1/10_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

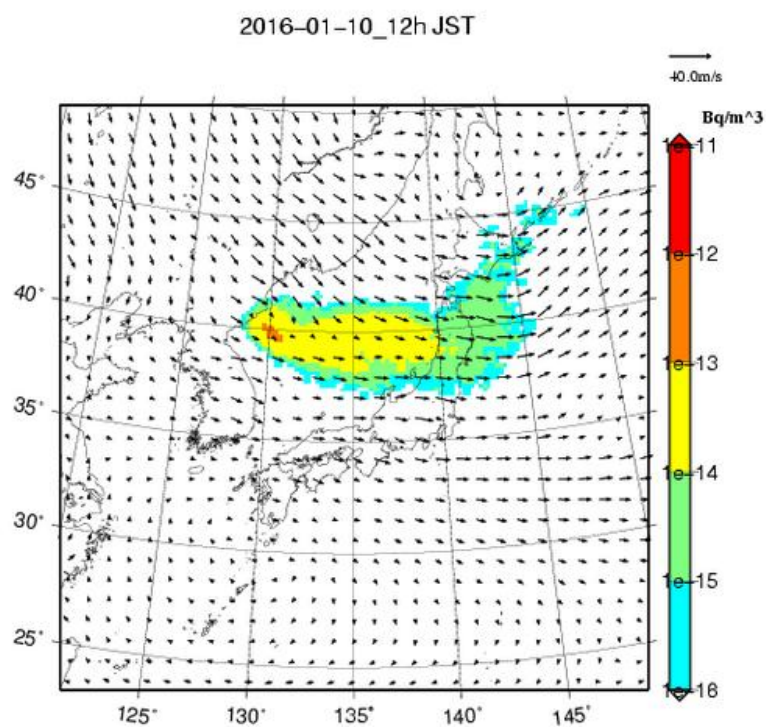


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_12:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

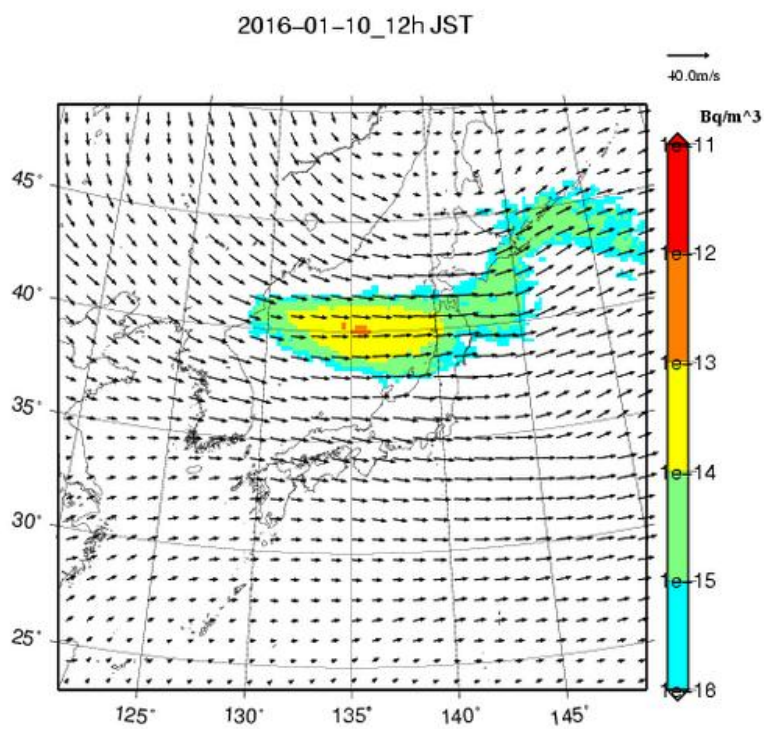


2016/1/10_12:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

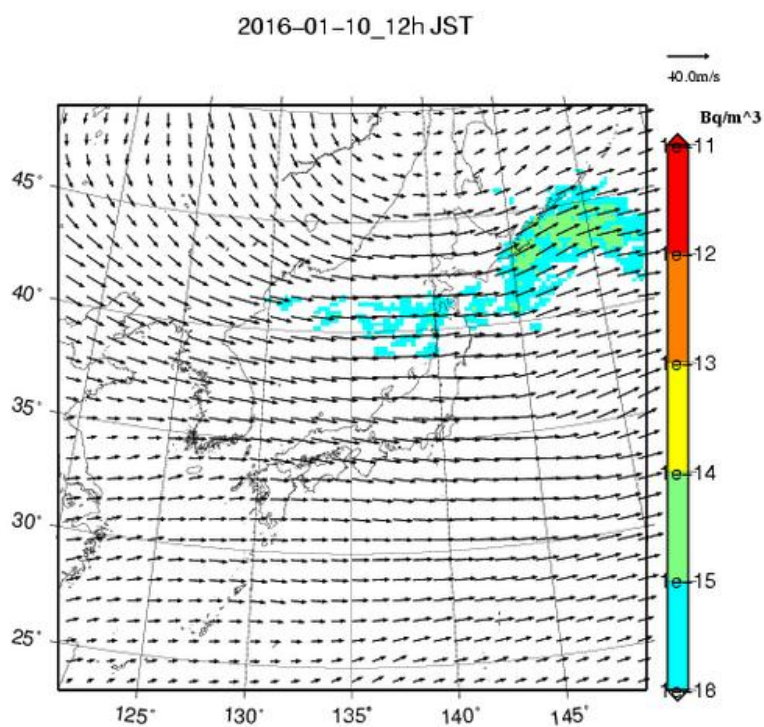


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

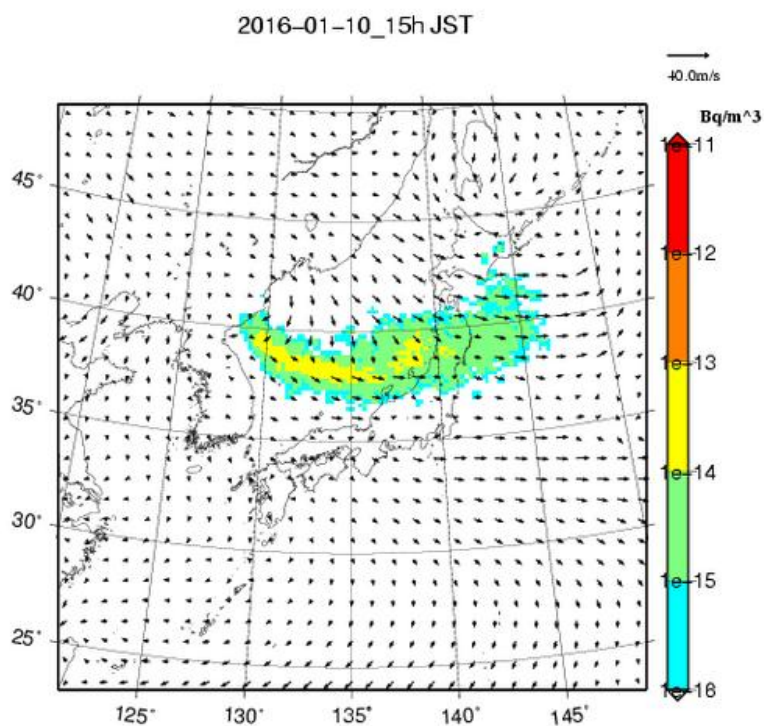


2016/1/10_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

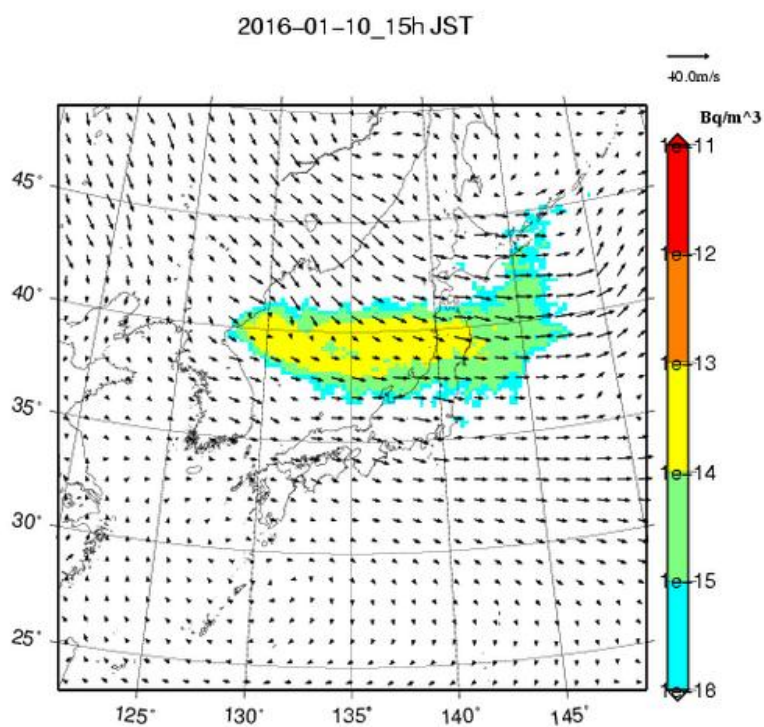


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_15:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

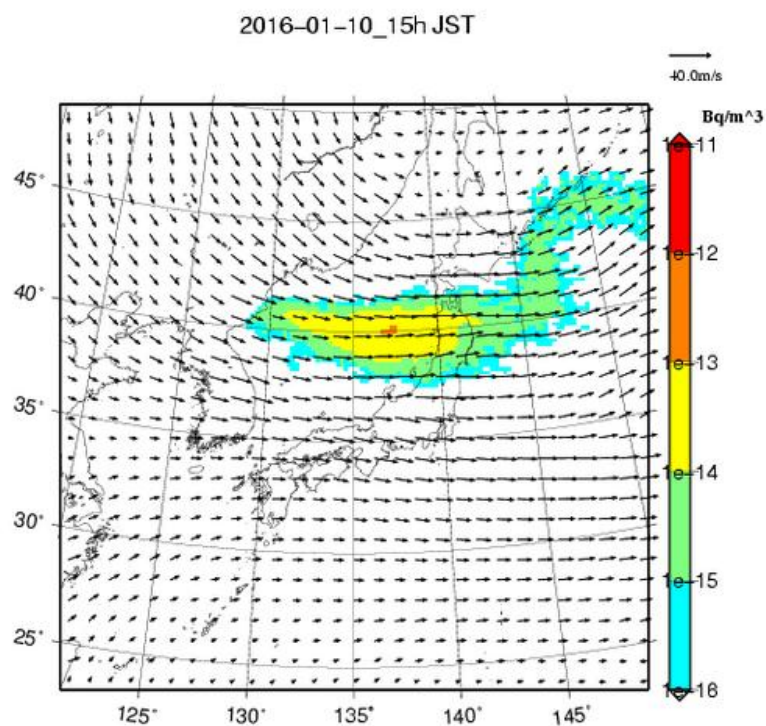


2016/1/10_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

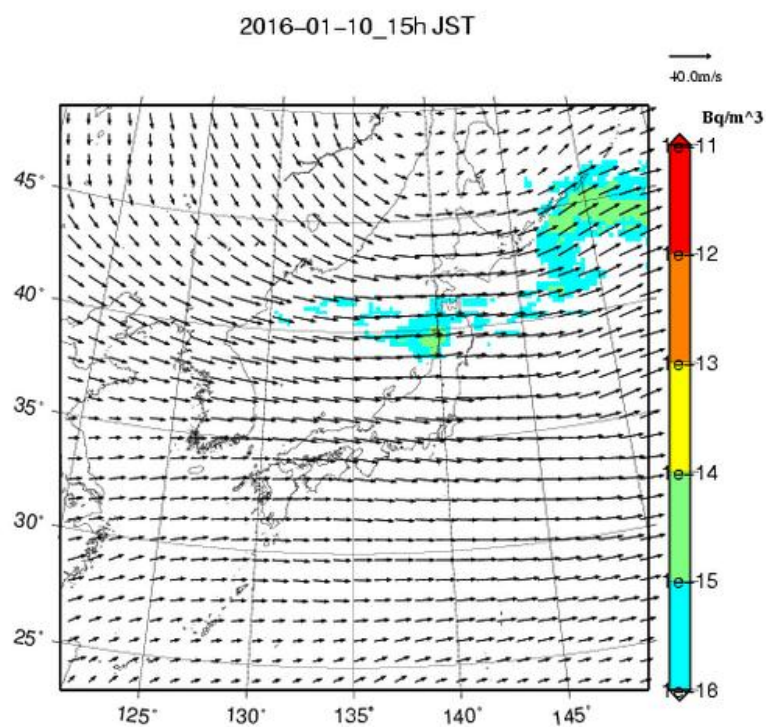


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

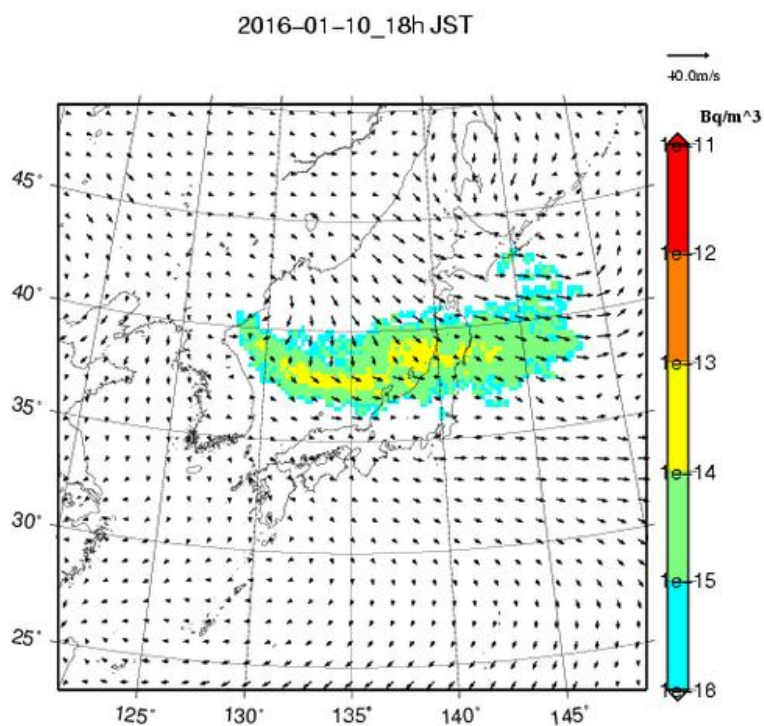


2016/1/10_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

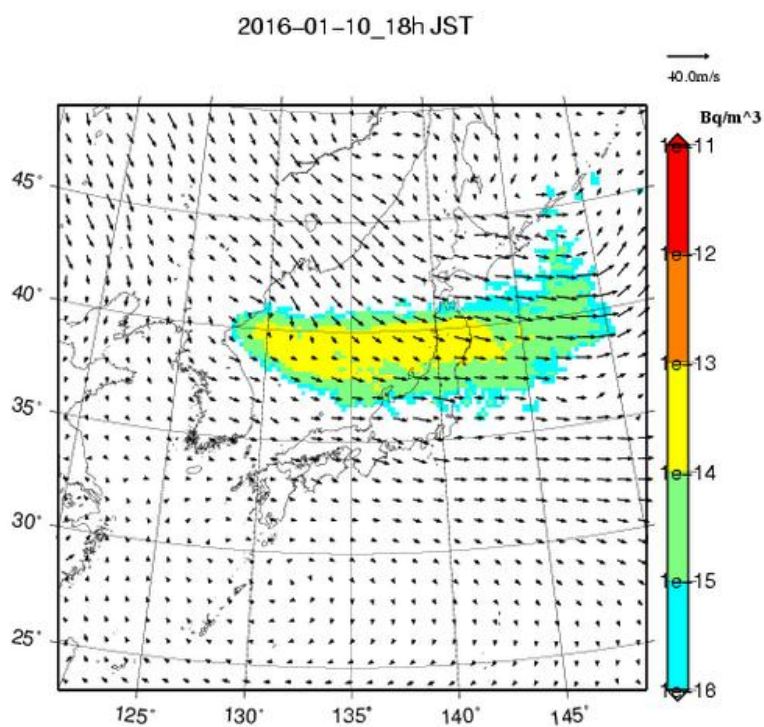


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_18:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

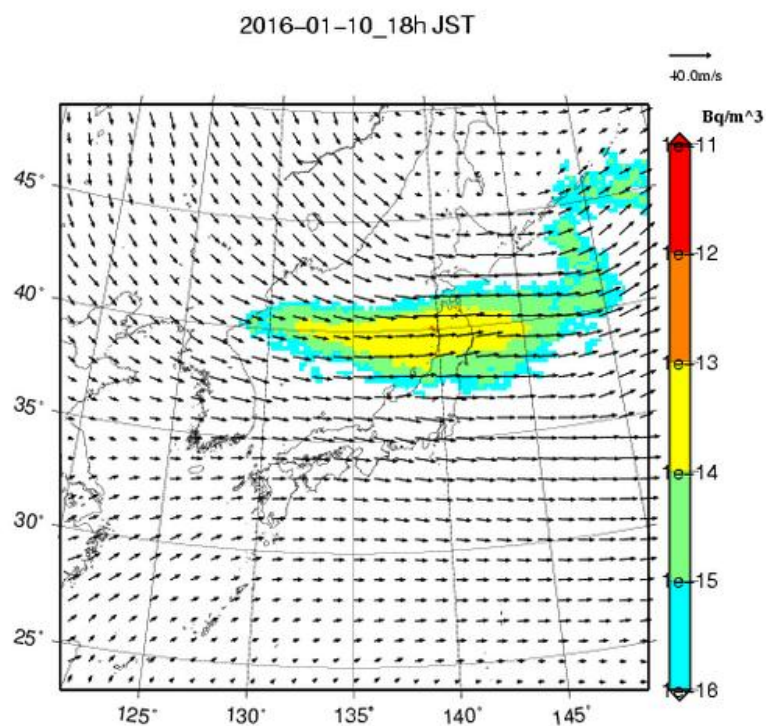


2016/1/10_18:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

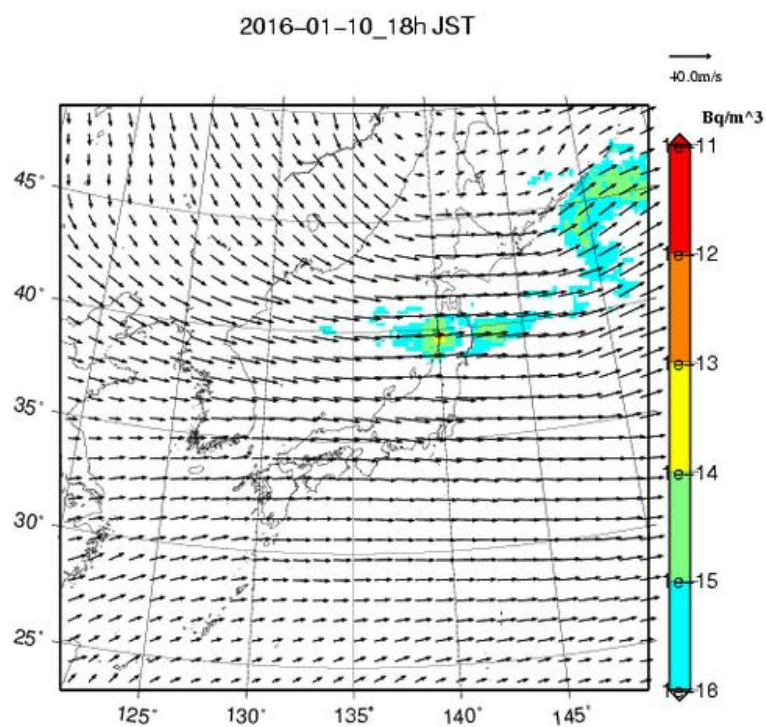


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/10_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



2016/1/10_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

北朝鮮の核実験実施を想定した WSPEEDI-II による放射能拡散予測結果 (9)

標記について、仮定計算条件に基づく予測結果は以下のとおりです。

1. 仮定計算条件

放射性物質の種類及び放出率： I-131 (1Bq/h)
Xe-133 (1Bq/h)
Cs-137 (1Bq/h)

放出場所：東経 129.1 度、北緯 41.3 度

放出期間：1 月 9 日 00:00 から 24 時間放出と仮定

2. 結果出力 (計 48 図形)

① I-131 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 11 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

② Xe-133 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 11 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

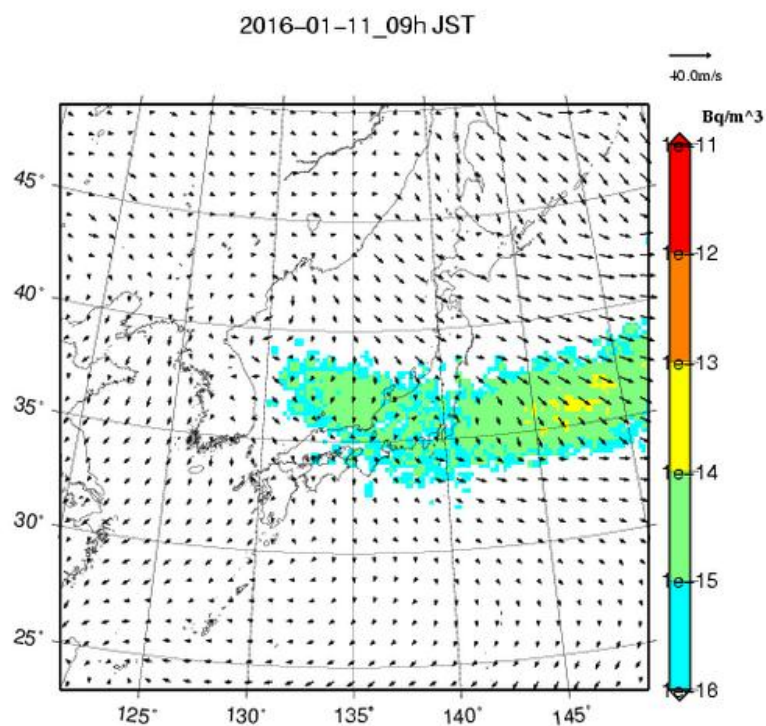
高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

③ Cs-137 の大気中濃度の水平分布図

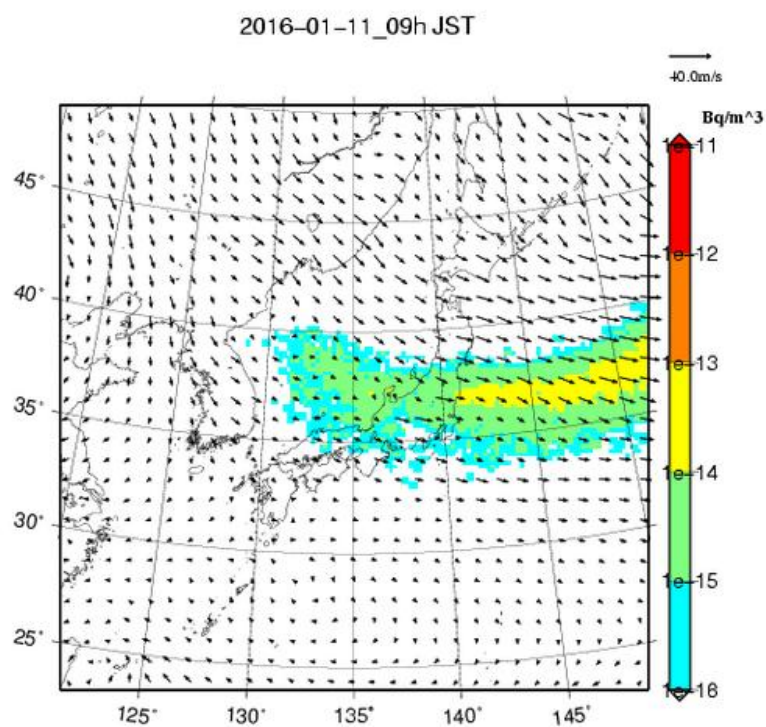
時刻：1 月 11 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

2016/1/11_9:00 地表面 空気中濃度 (ヨウ素 131)

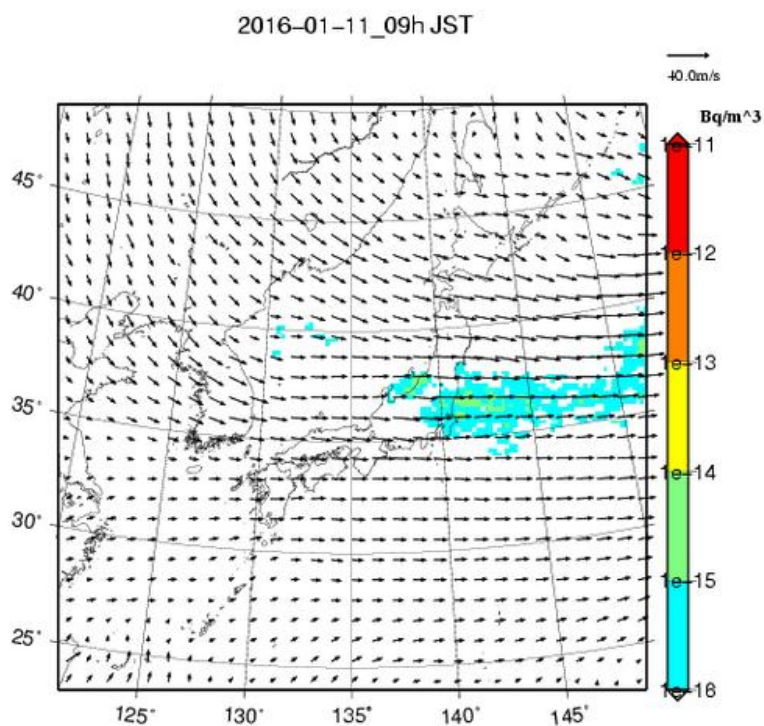


2016/1/11_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (ヨウ素 131)

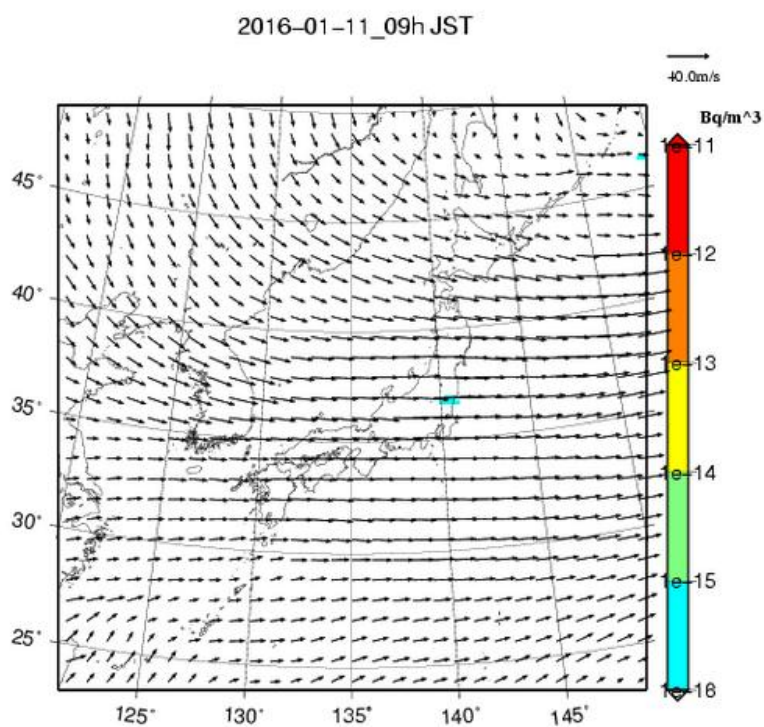


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

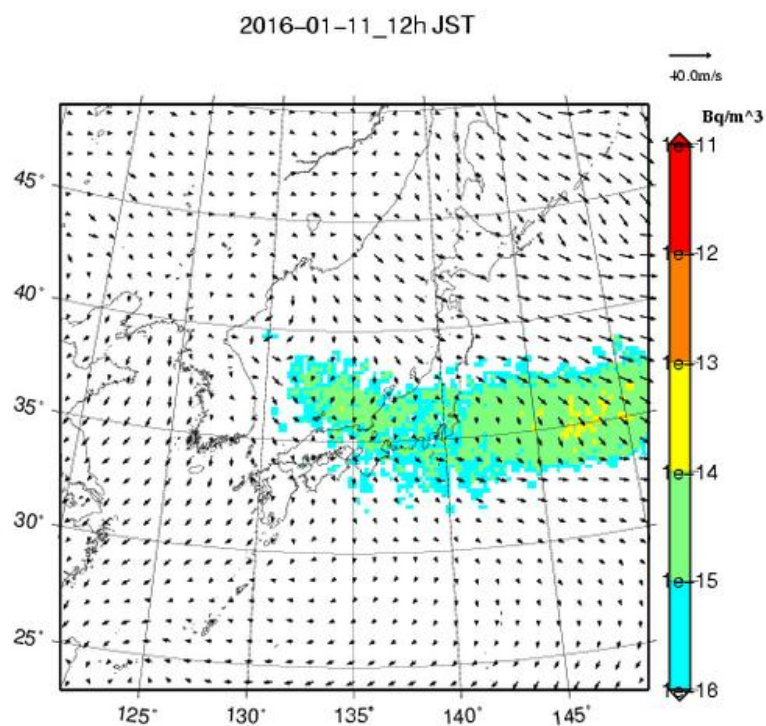


2016/1/11_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

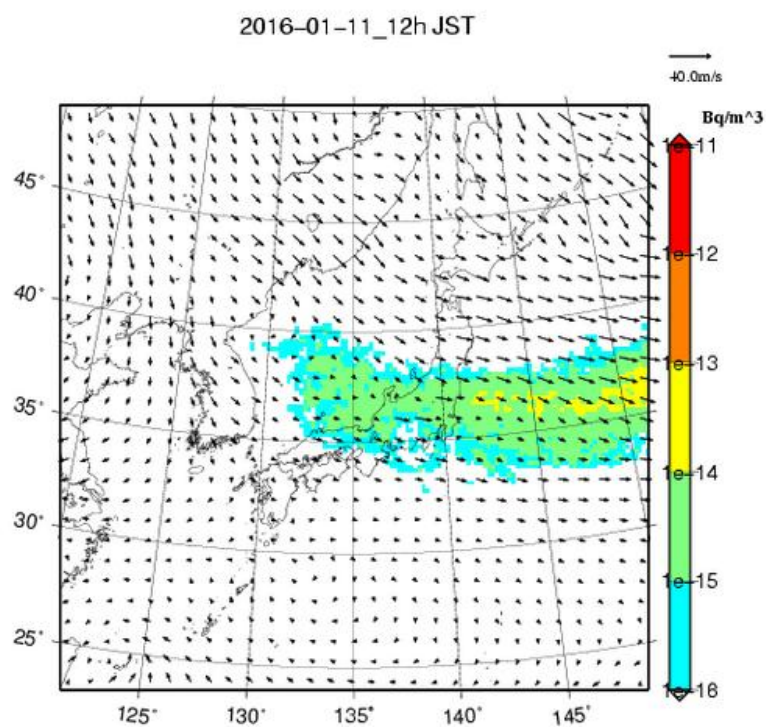


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_12:00 地表面 空气中濃度（ヨウ素 131）

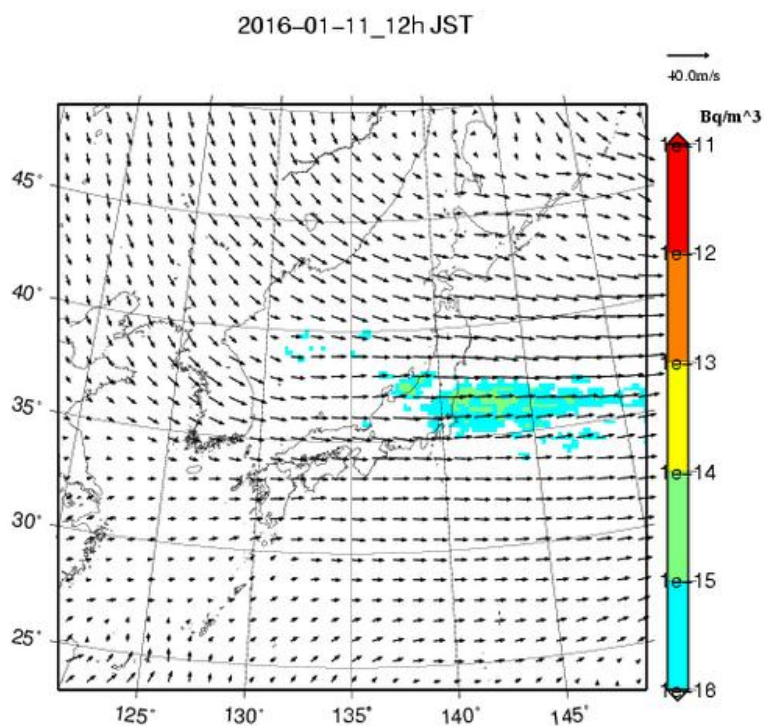


2016/1/11_12:00 上空 1,000m 空气中濃度（ヨウ素 131）

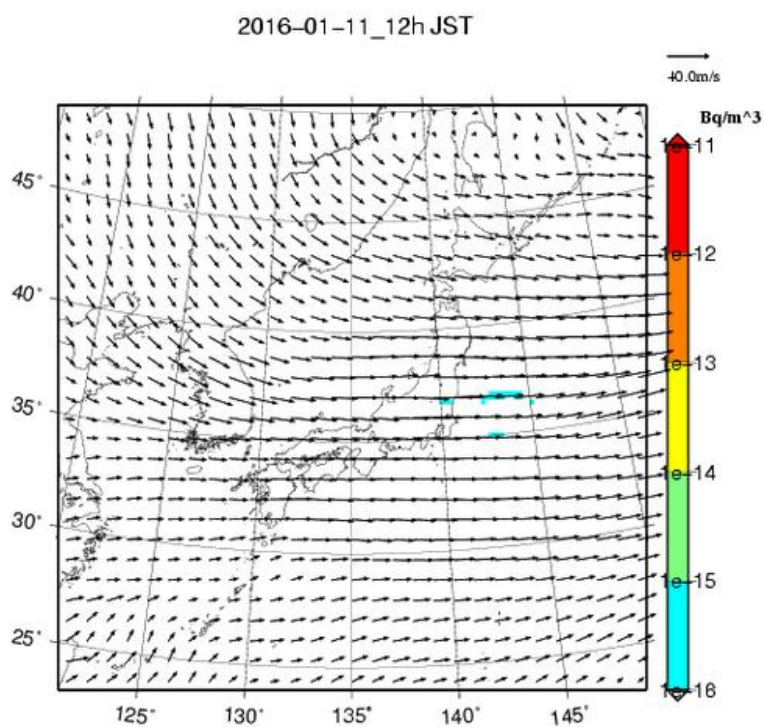


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

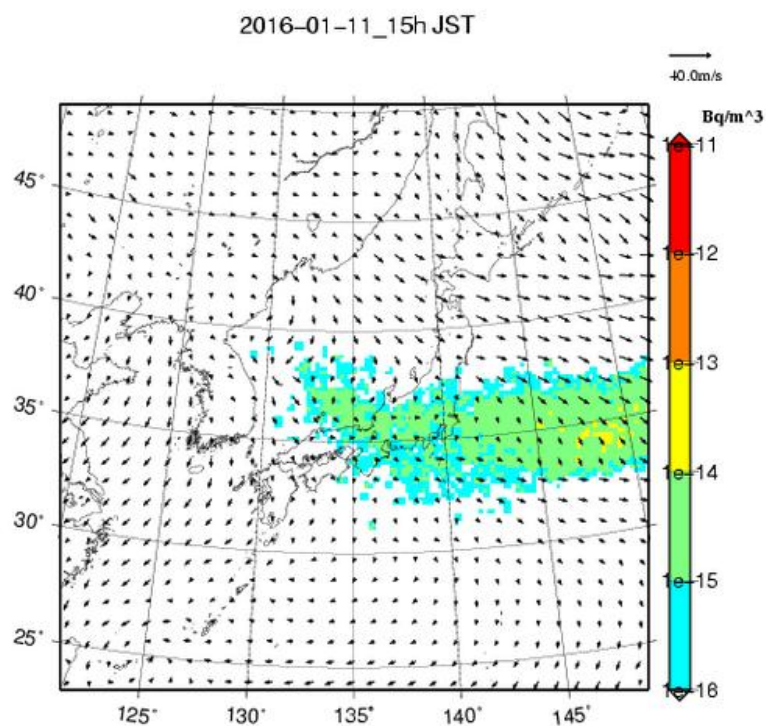


2016/1/11_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

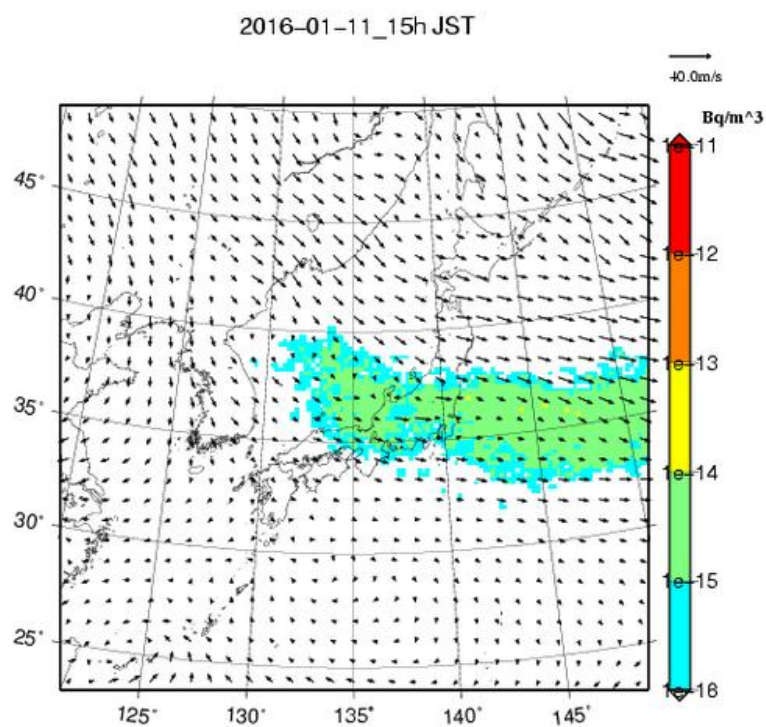


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_15:00 地表面 空気中濃度（ヨウ素 131）

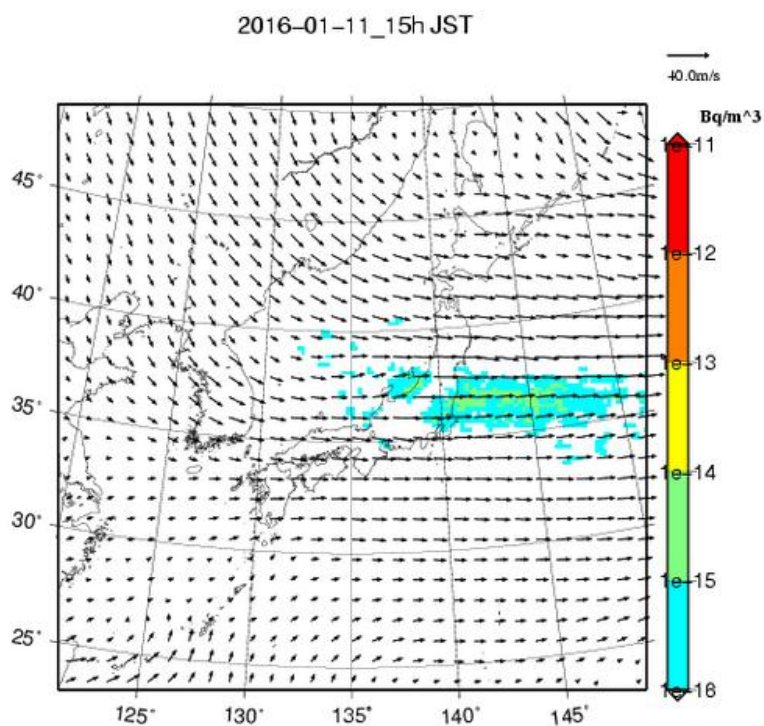


2016/1/11_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（ヨウ素 131）

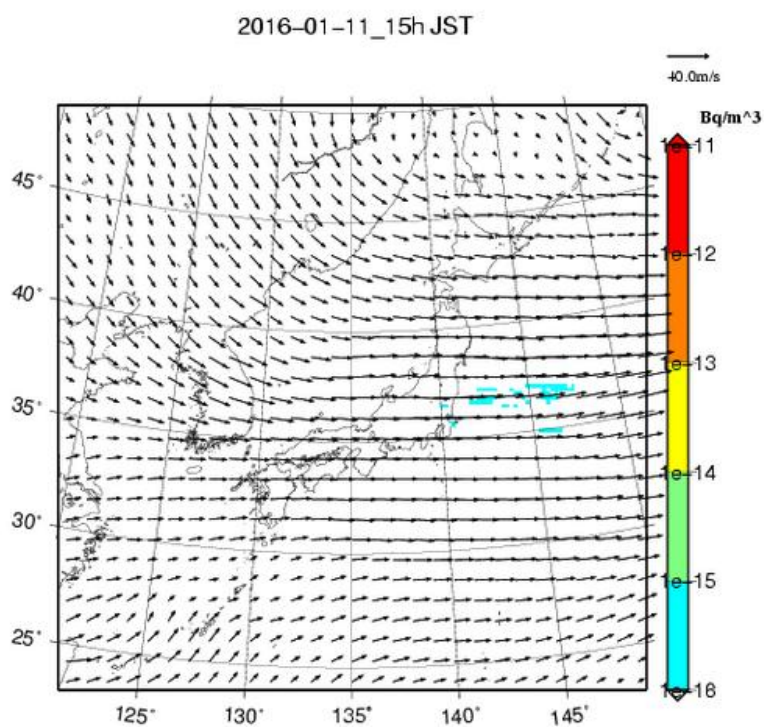


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

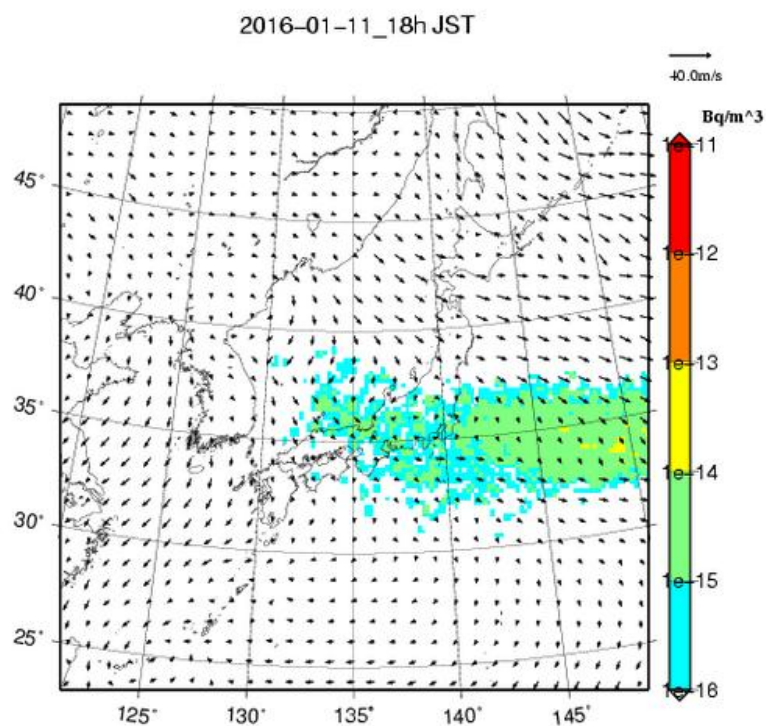


2016/1/11_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

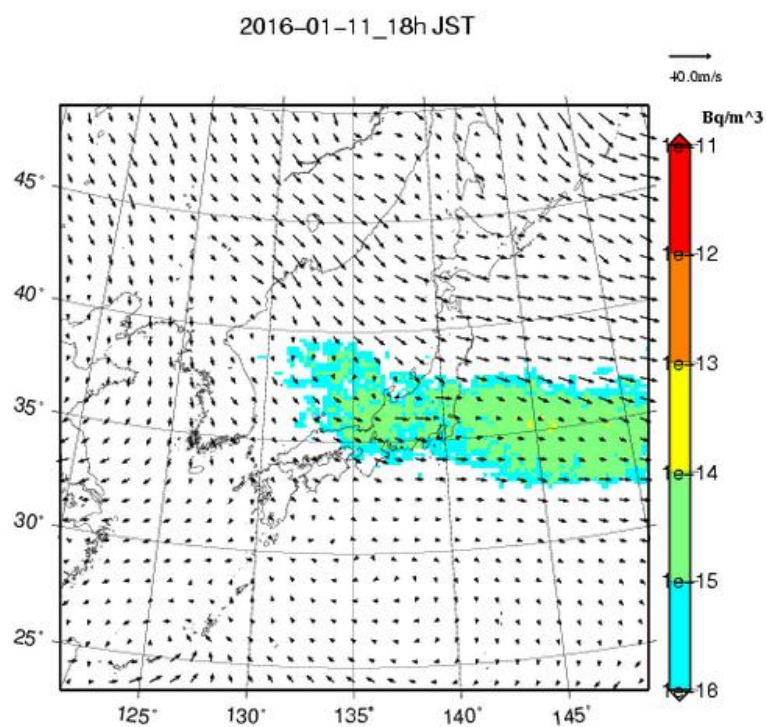


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_18:00 地表面 空気中濃度 (ヨウ素 131)

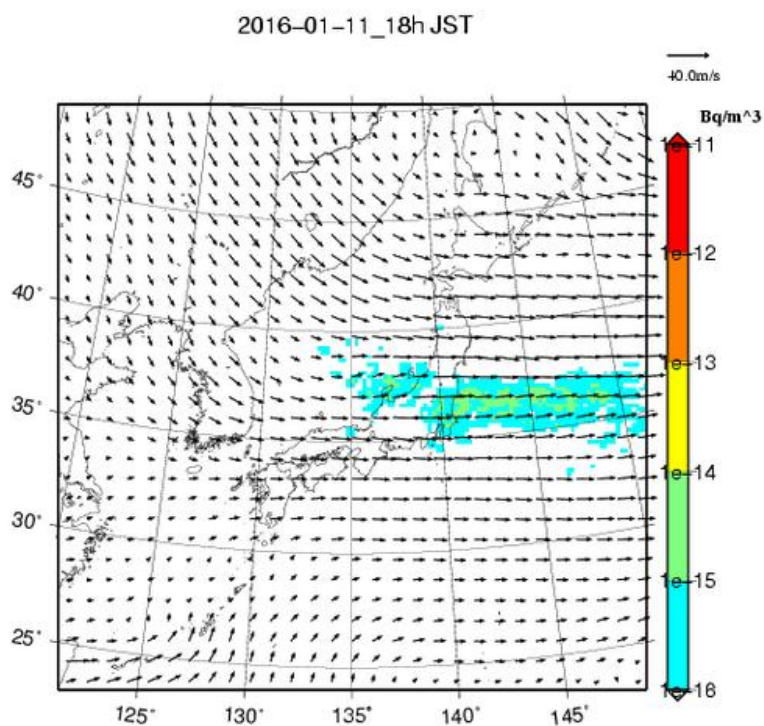


2016/1/11_18:00 上空 1,000m 空気中濃度 (ヨウ素 131)

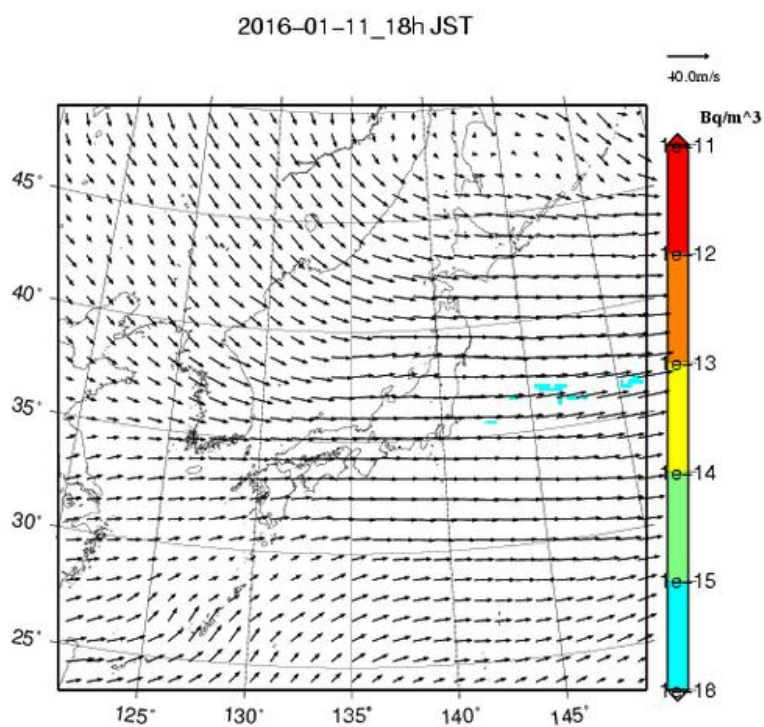


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

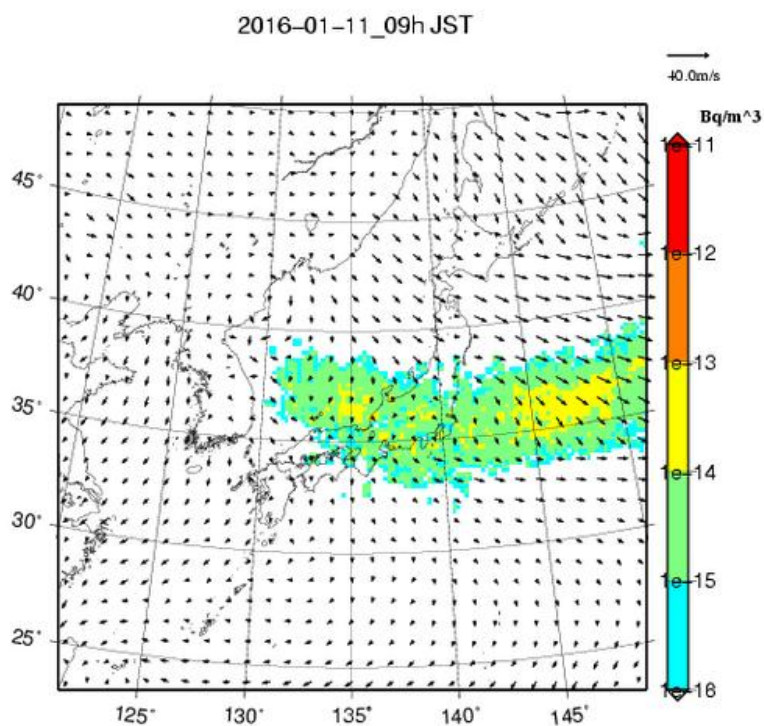


2016/1/11_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

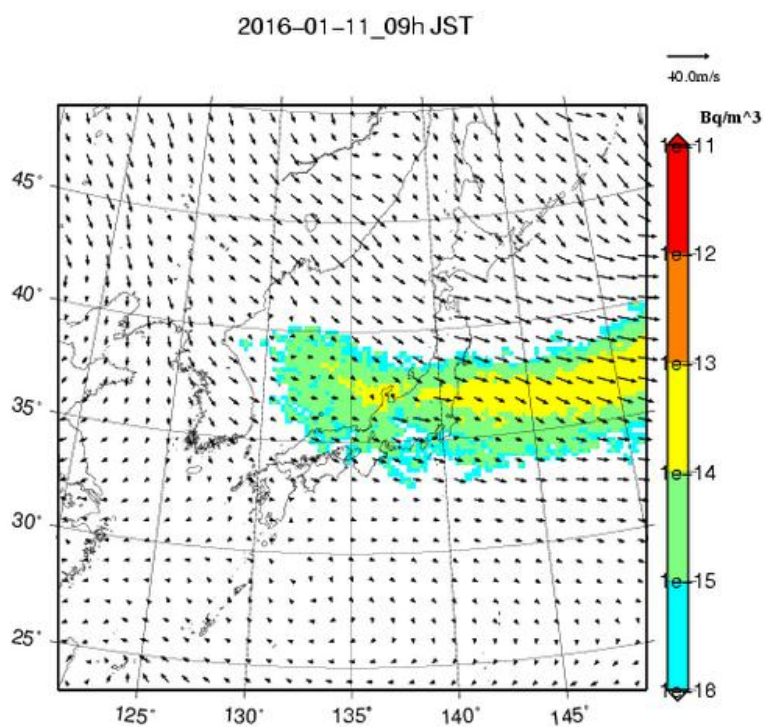


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_9:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

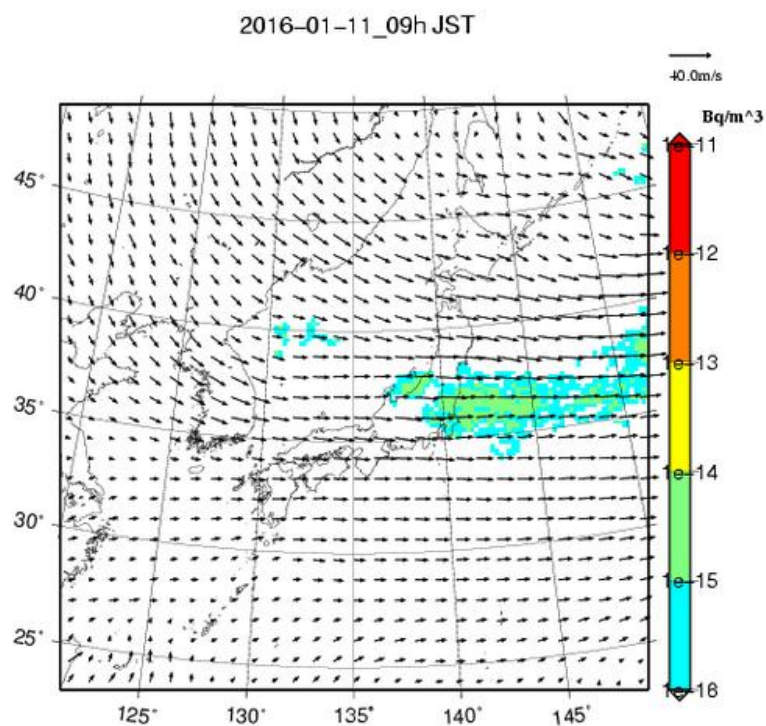


2016/1/11_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

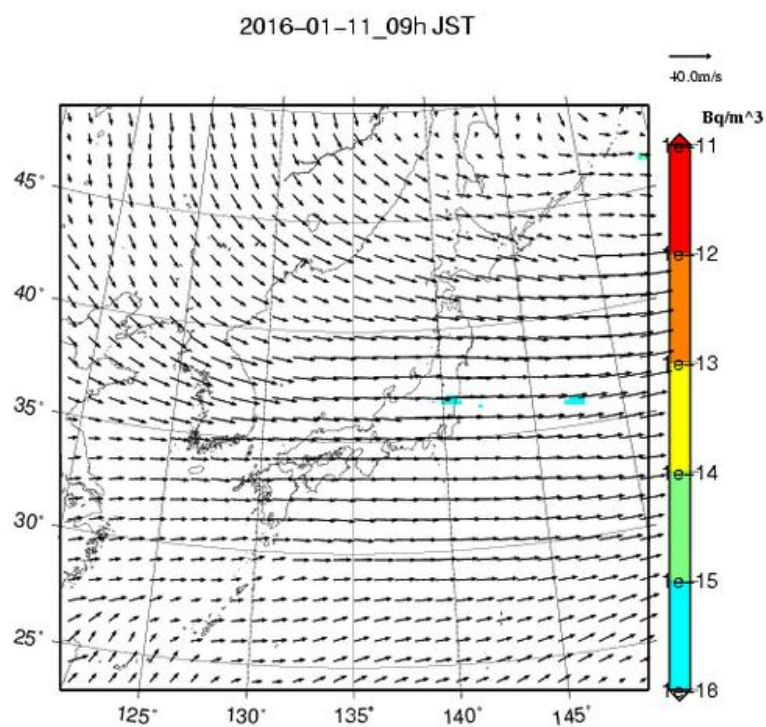


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

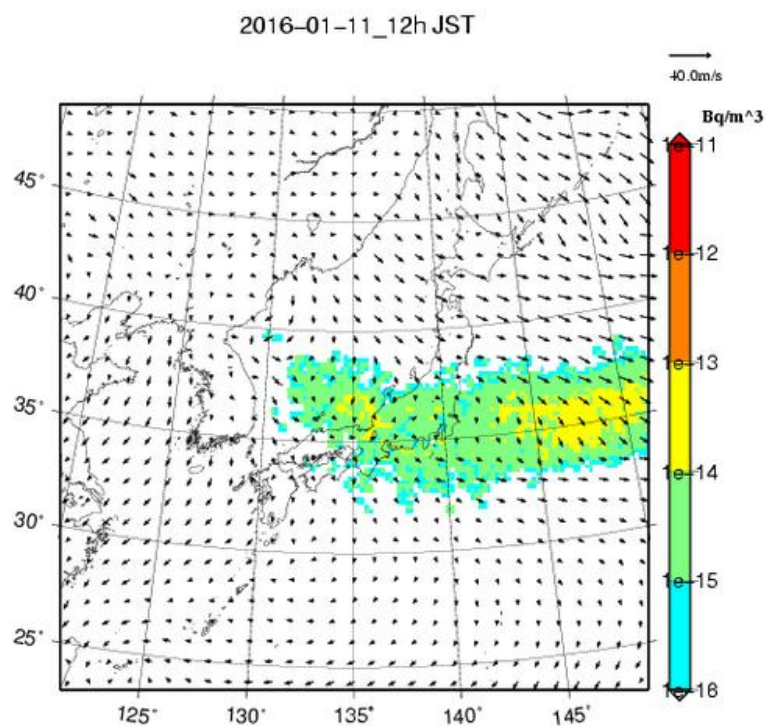


2016/1/11_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

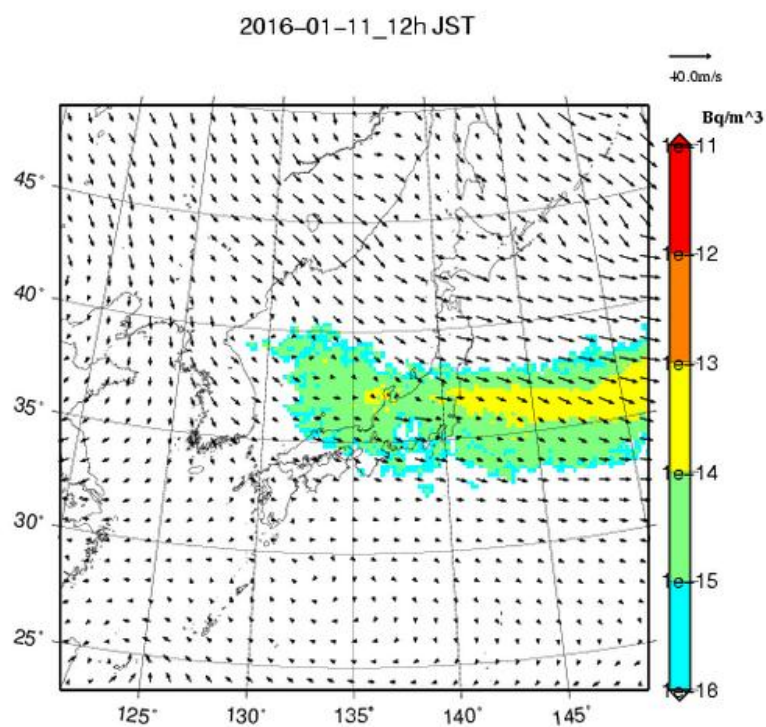


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_12:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

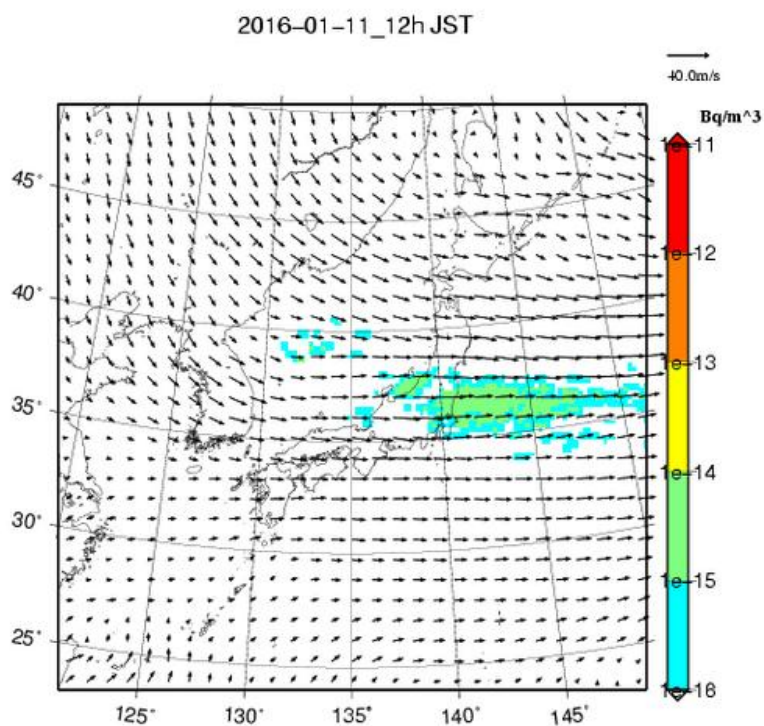


2016/1/11_12:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

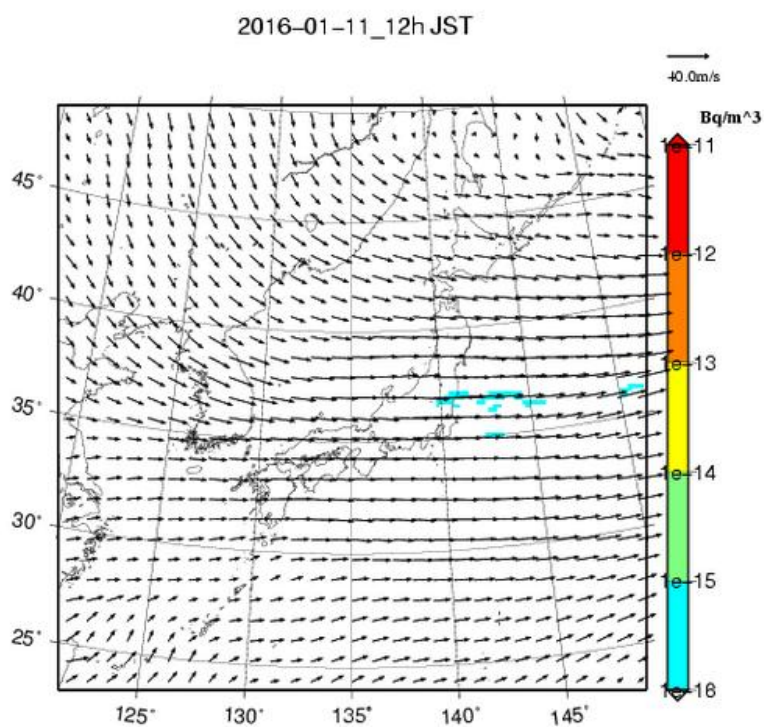


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

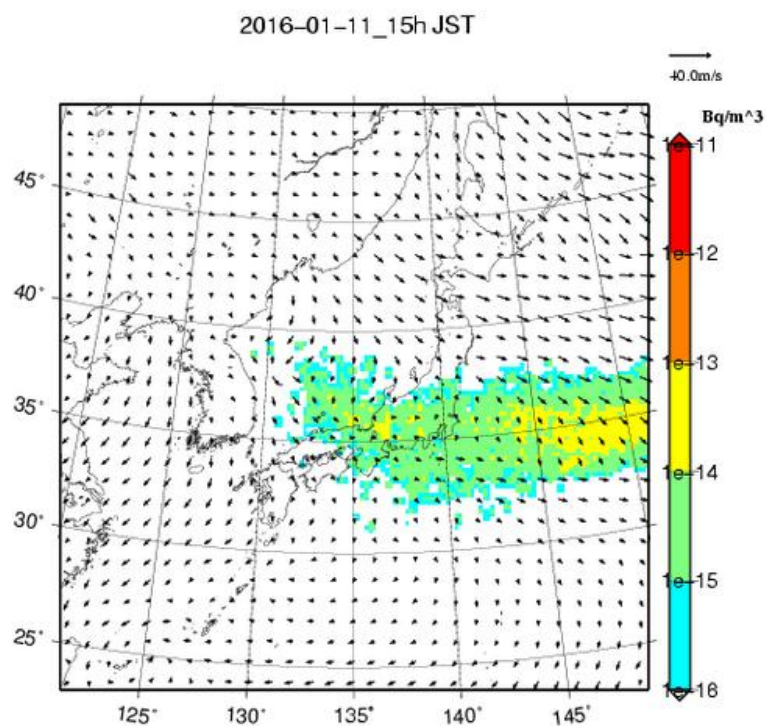


2016/1/11_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

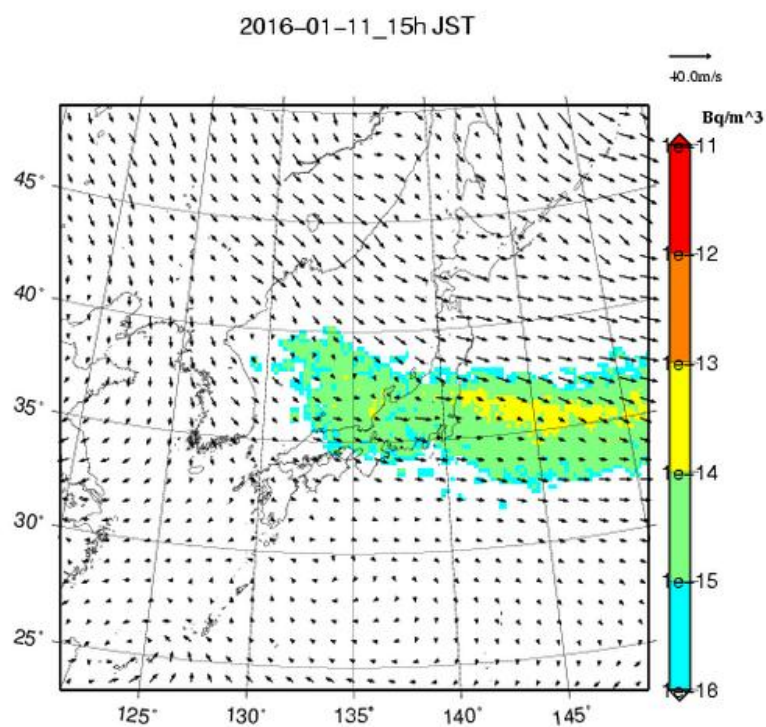


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_15:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

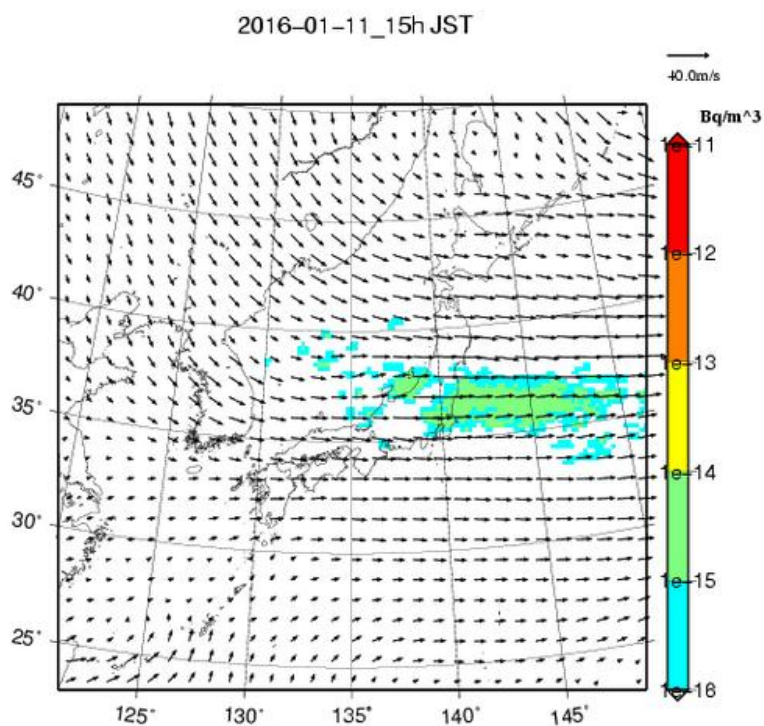


2016/1/11_15:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

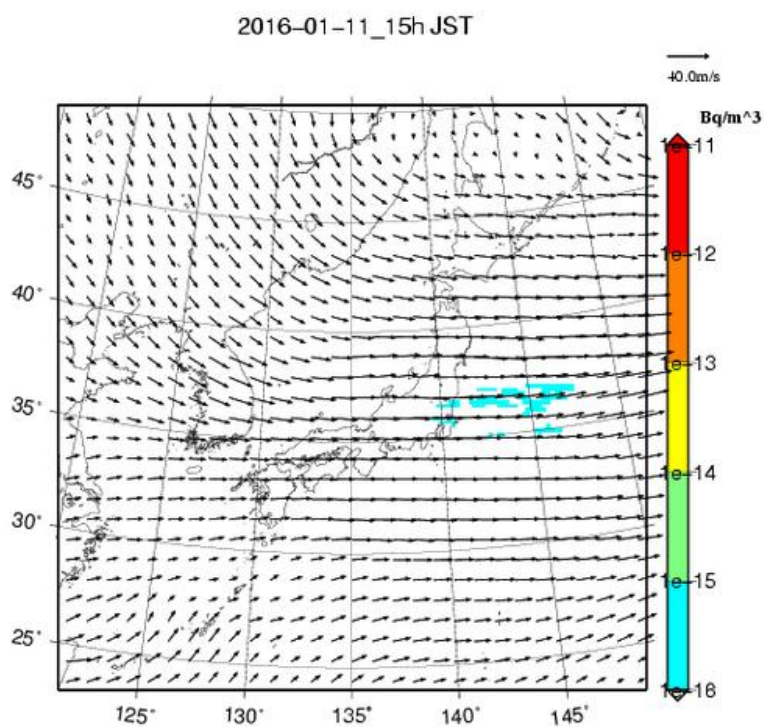


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

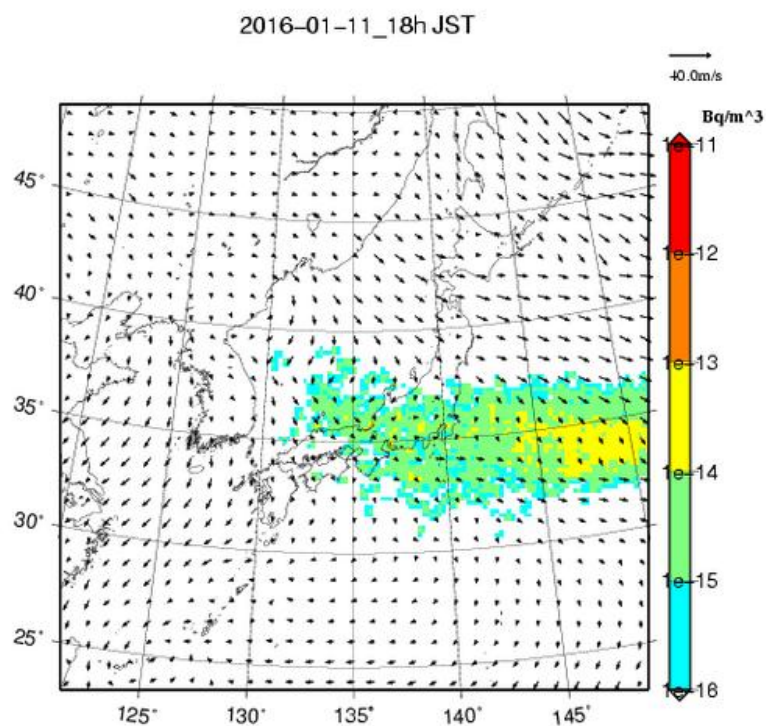


2016/1/11_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

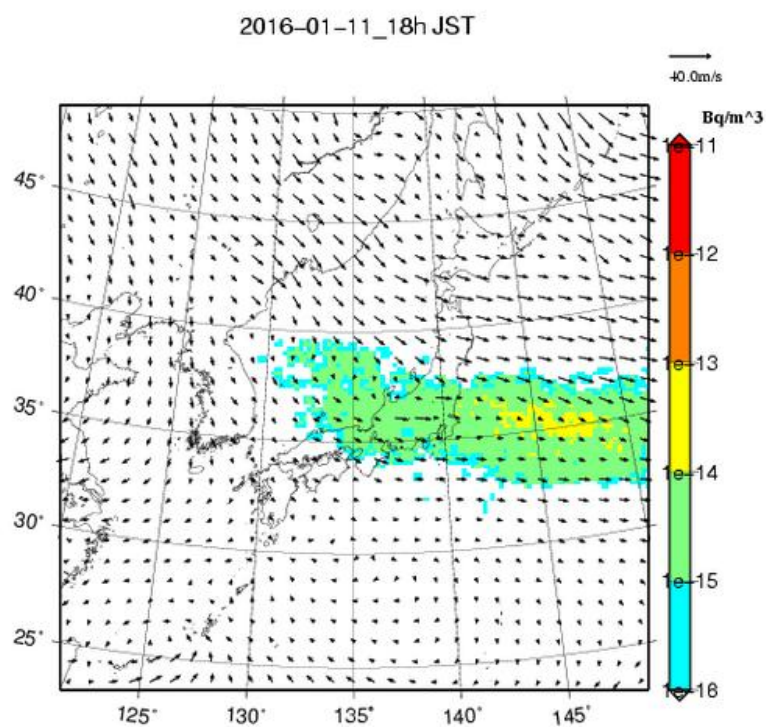


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_18:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

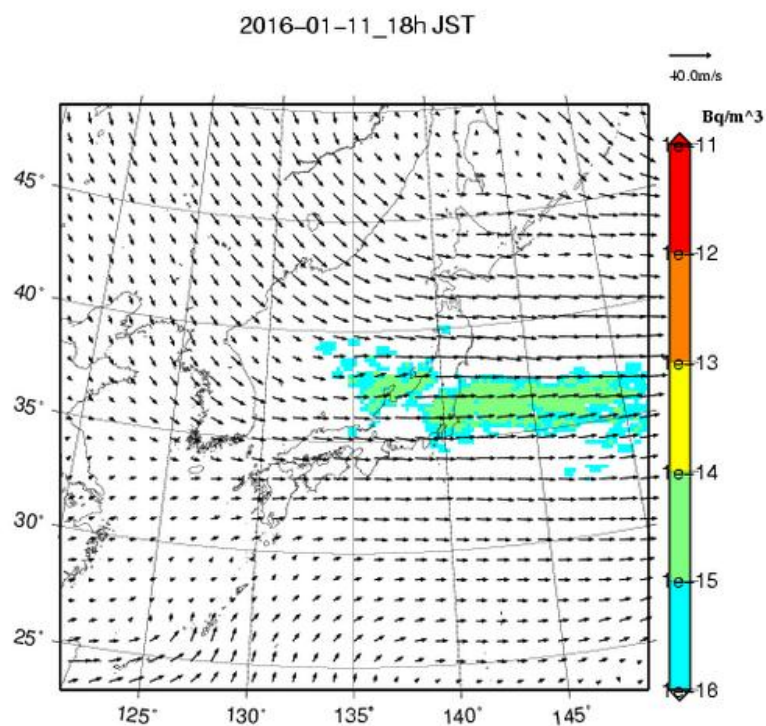


2016/1/11_18:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

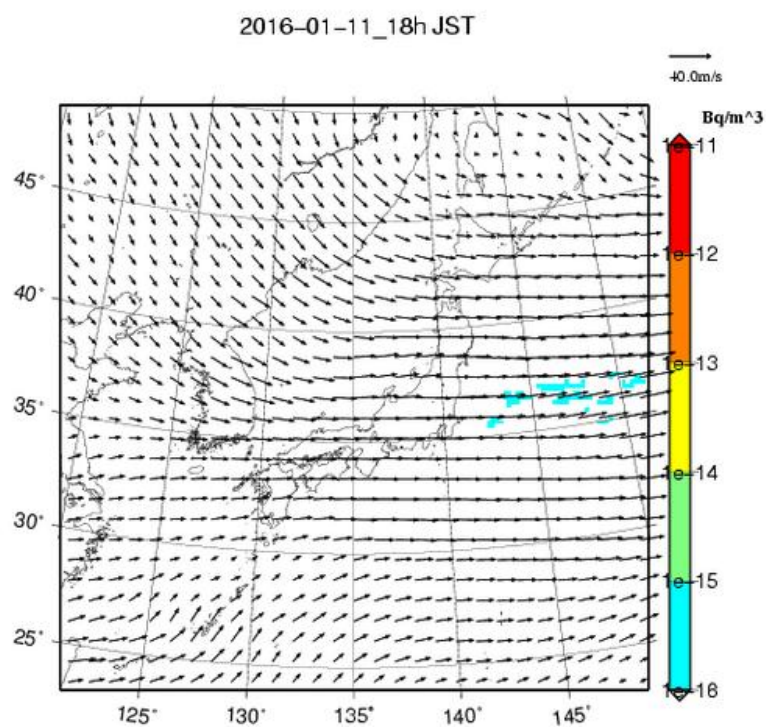


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

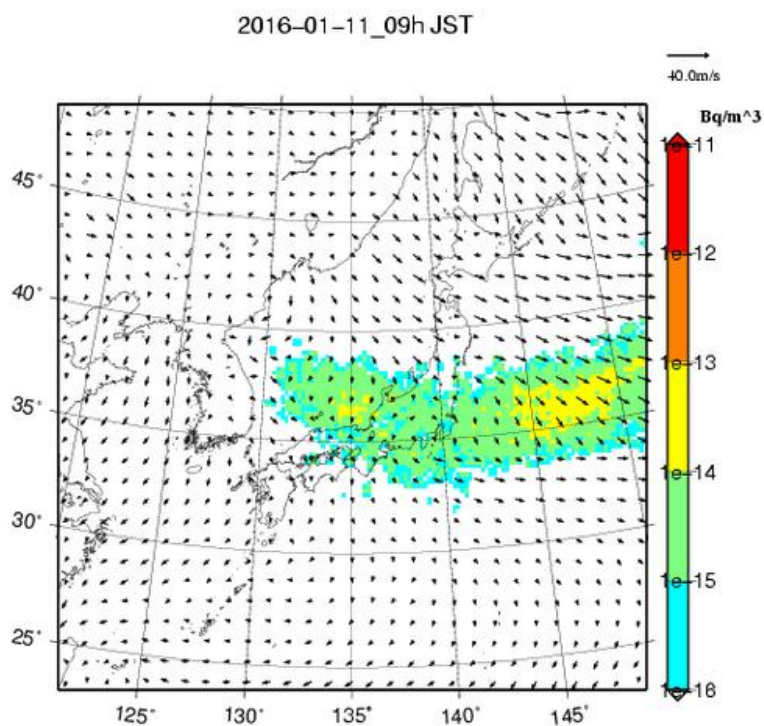


2016/1/11_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

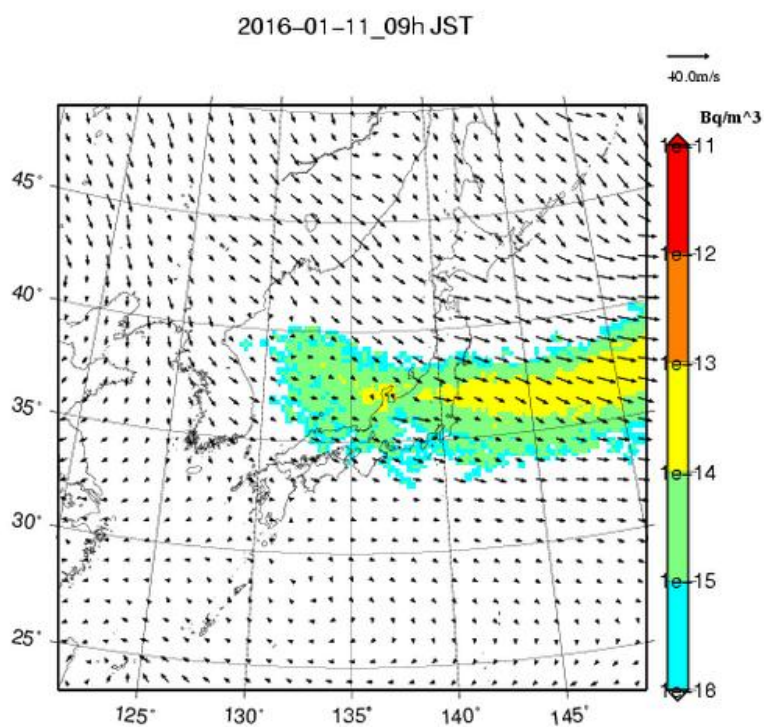


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_9:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

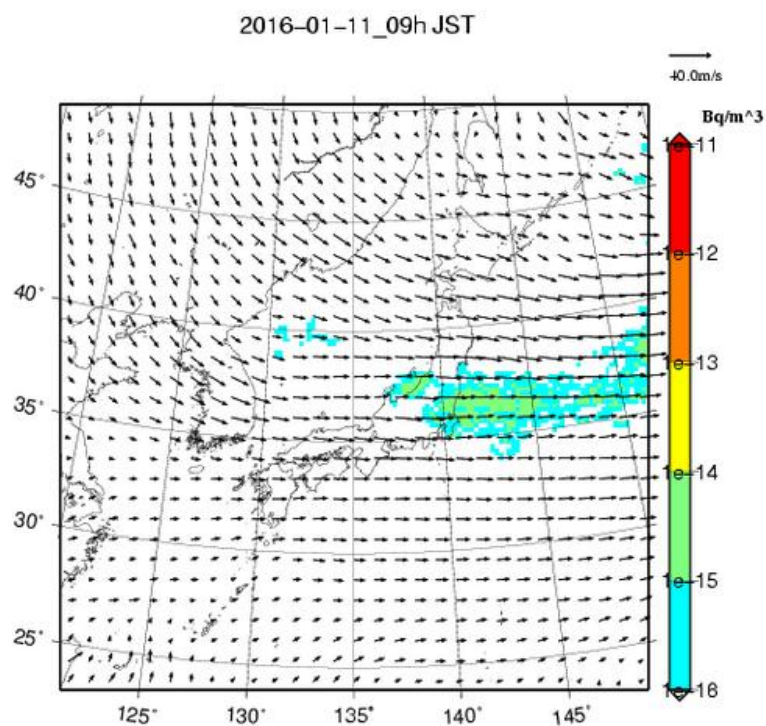


2016/1/11_9:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

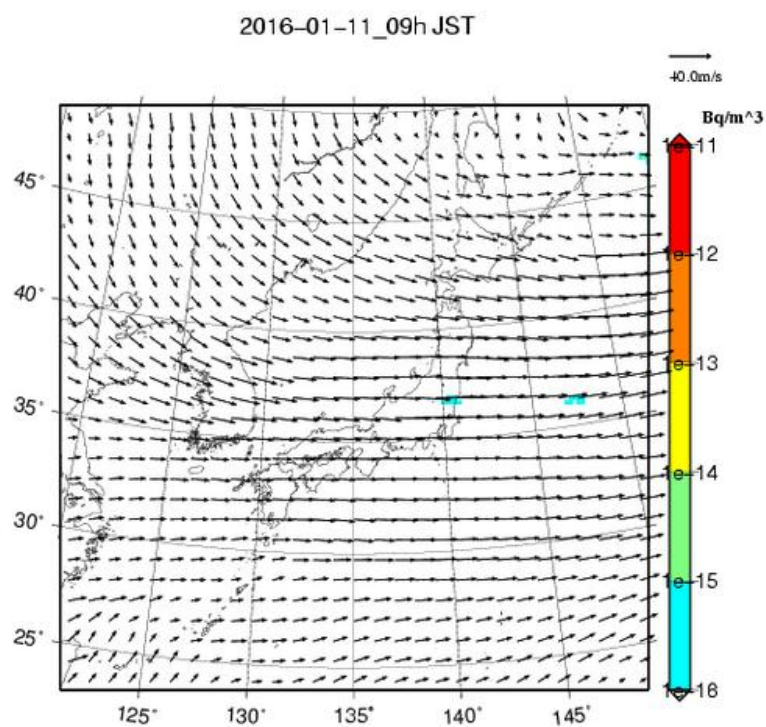


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

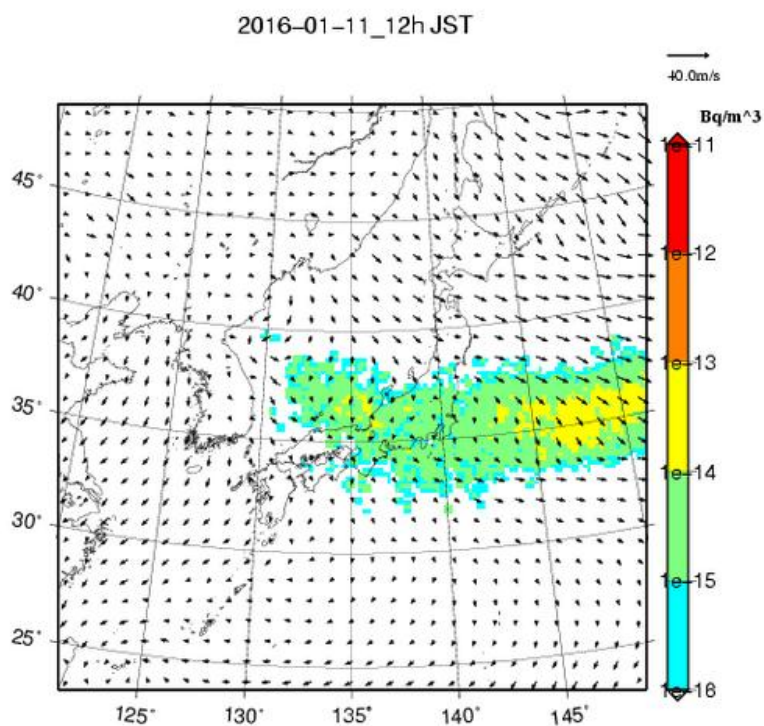


2016/1/11_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

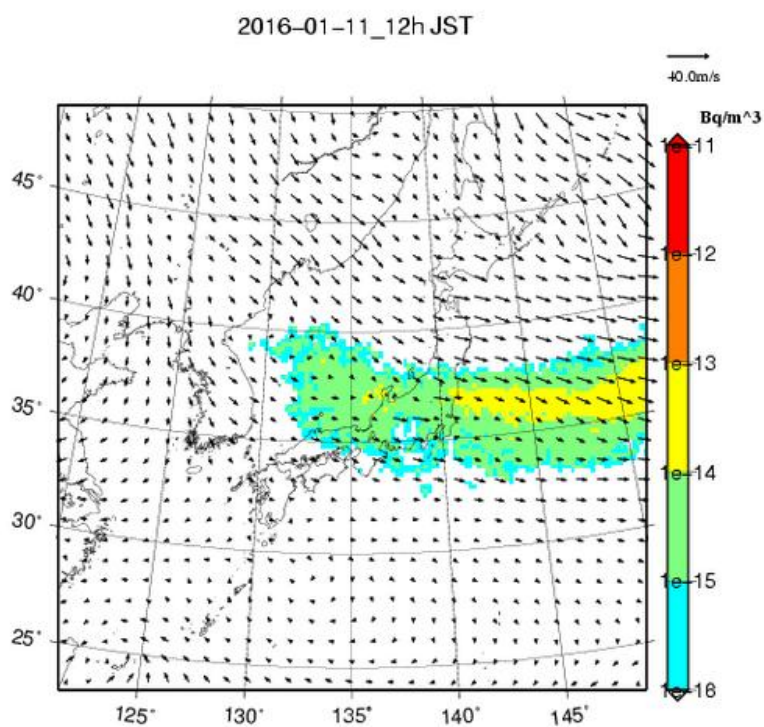


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_12:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

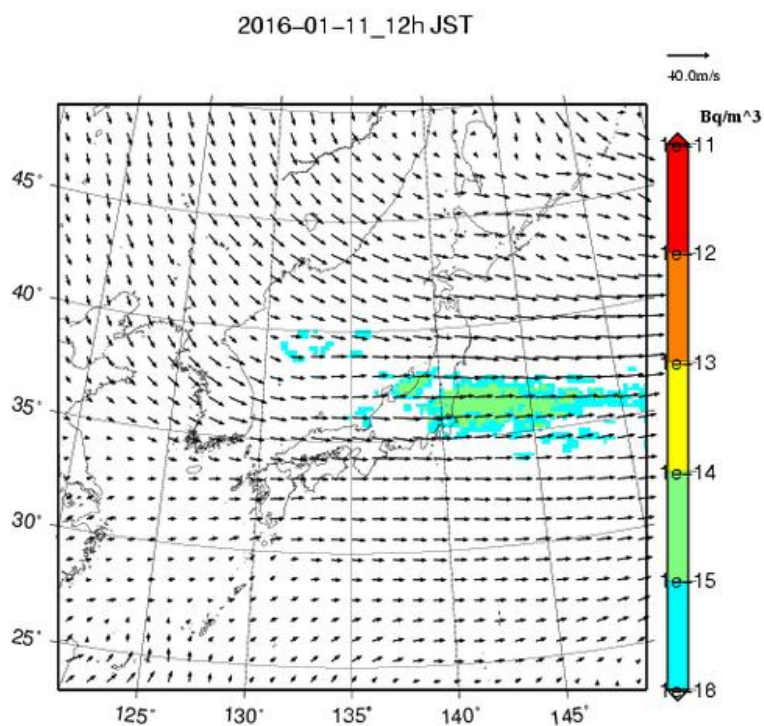


2016/1/11_12:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

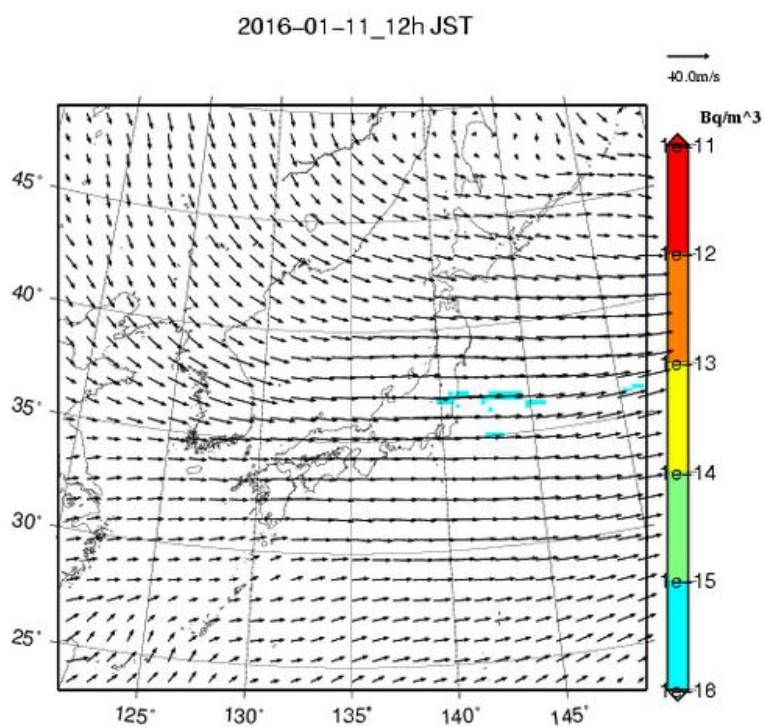


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

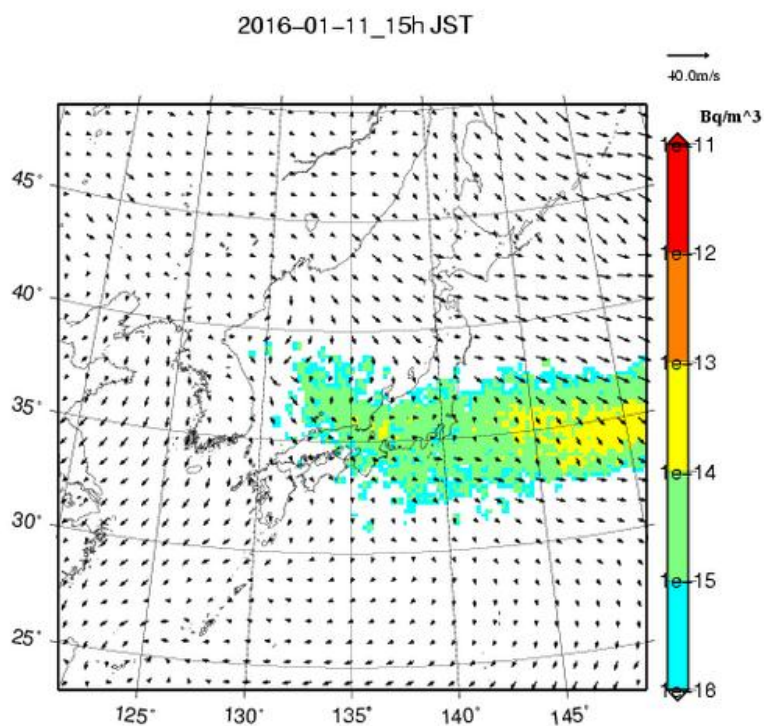


2016/1/11_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

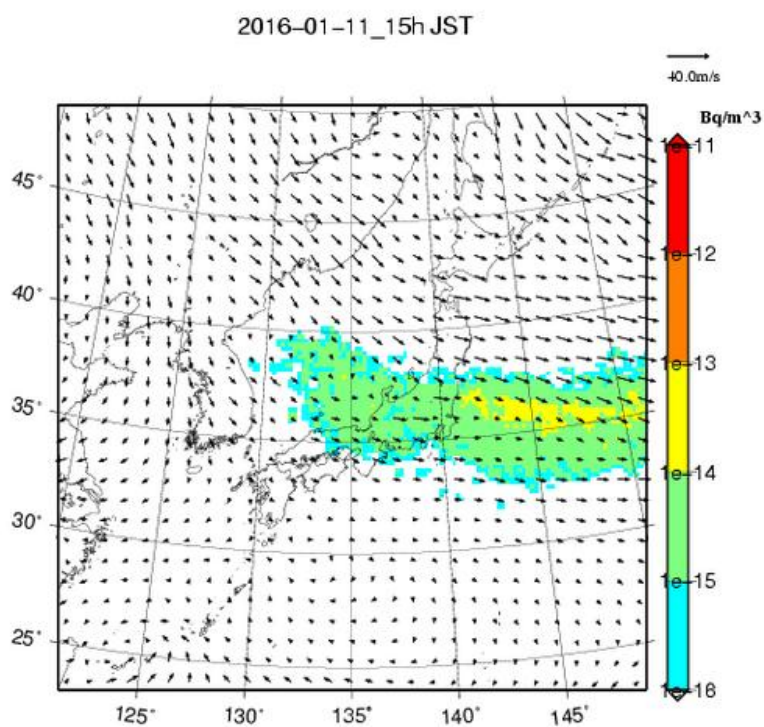


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_15:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

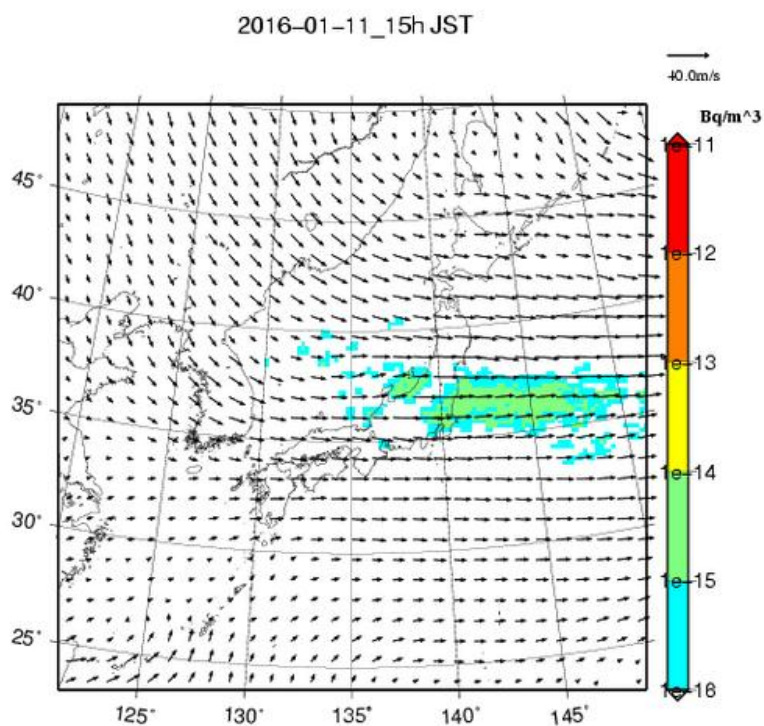


2016/1/11_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

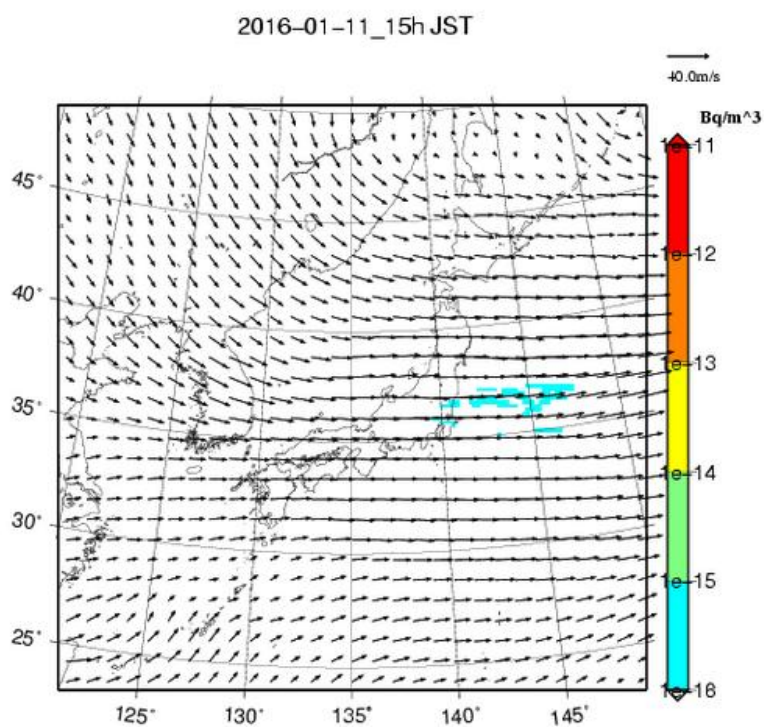


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

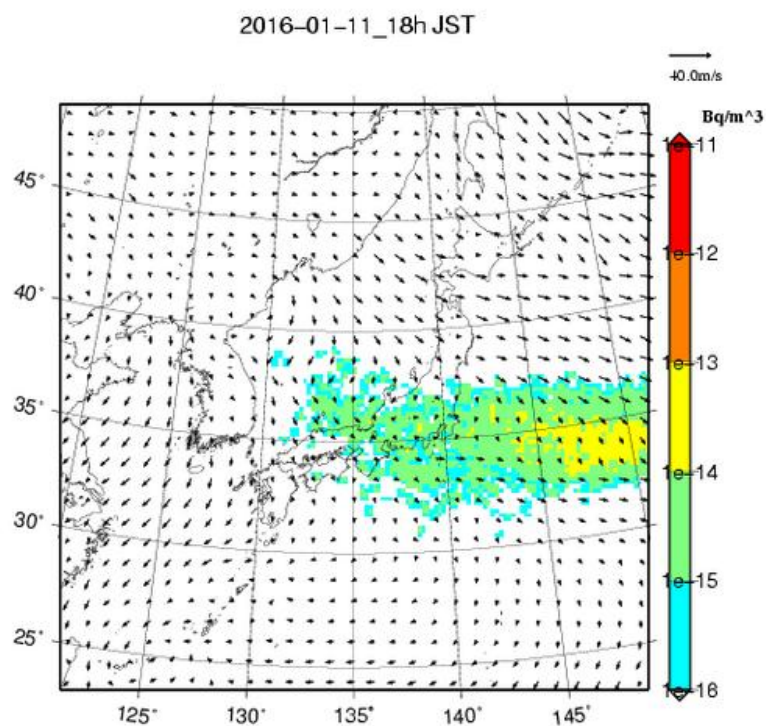


2016/1/11_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

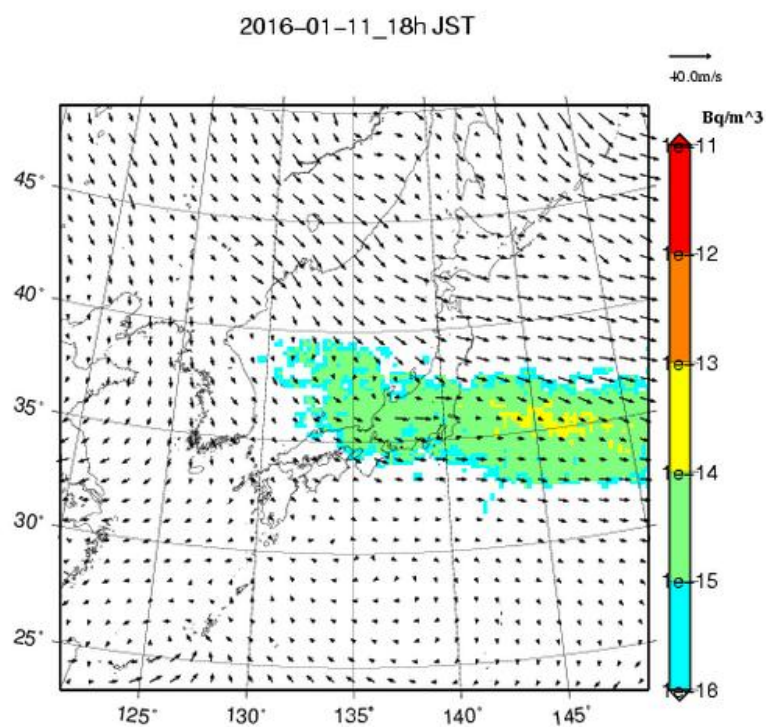


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_18:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

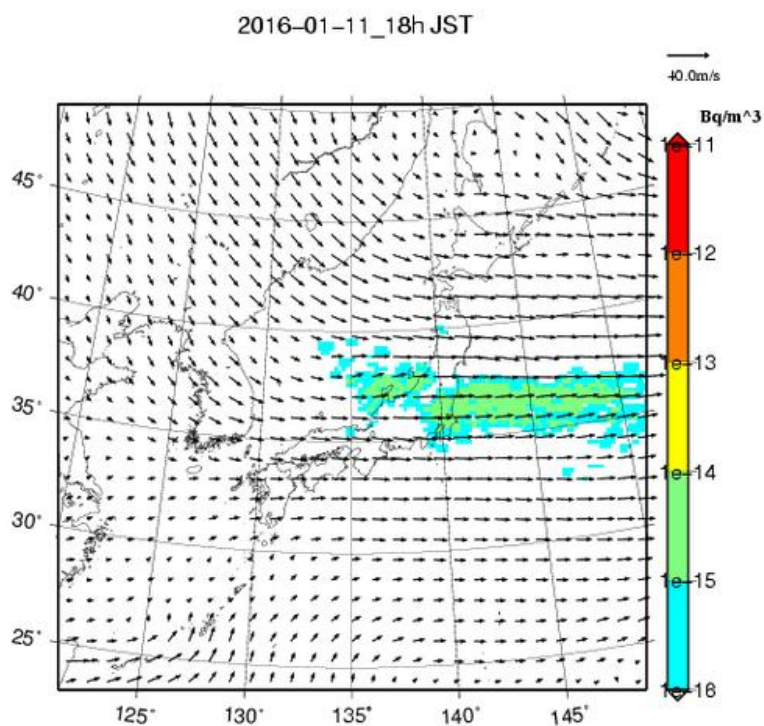


2016/1/11_18:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

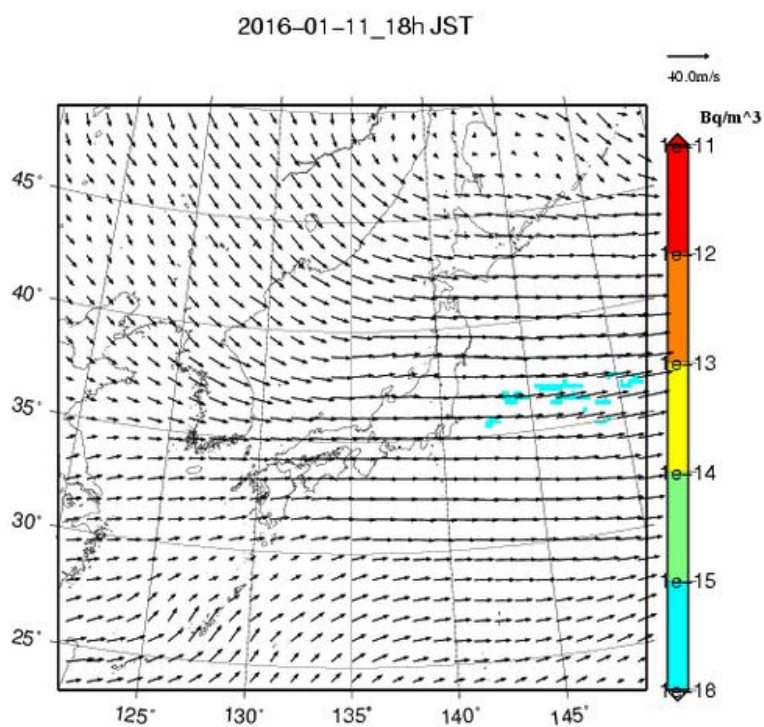


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



2016/1/11_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

北朝鮮の核実験実施を想定した WSPEEDI-II による放射能拡散予測結果 (10)

標記について、仮定計算条件に基づく予測結果は以下のとおりです。

1. 仮定計算条件

放射性物質の種類及び放出率： I-131 (1Bq/h)
Xe-133 (1Bq/h)
Cs-137 (1Bq/h)

放出場所：東経 129.1 度、北緯 41.3 度

放出期間：1 月 10 日 00:00 から 24 時間放出と仮定

2. 結果出力 (計 48 図形)

① I-131 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 11 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

② Xe-133 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 11 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

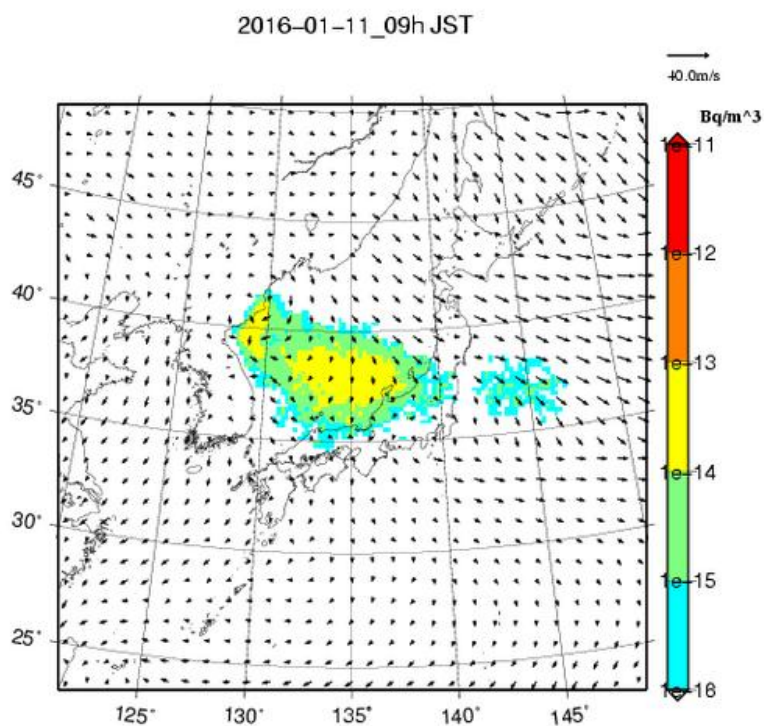
高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

③ Cs-137 の大気中濃度の水平分布図

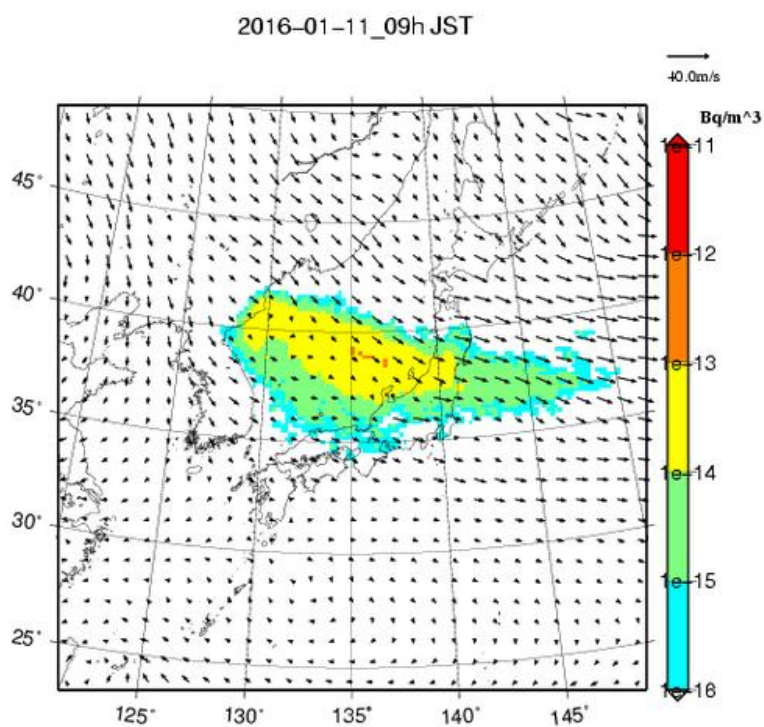
時刻：1 月 11 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

2016/1/11_9:00 地表面 空気中濃度 (ヨウ素 131)

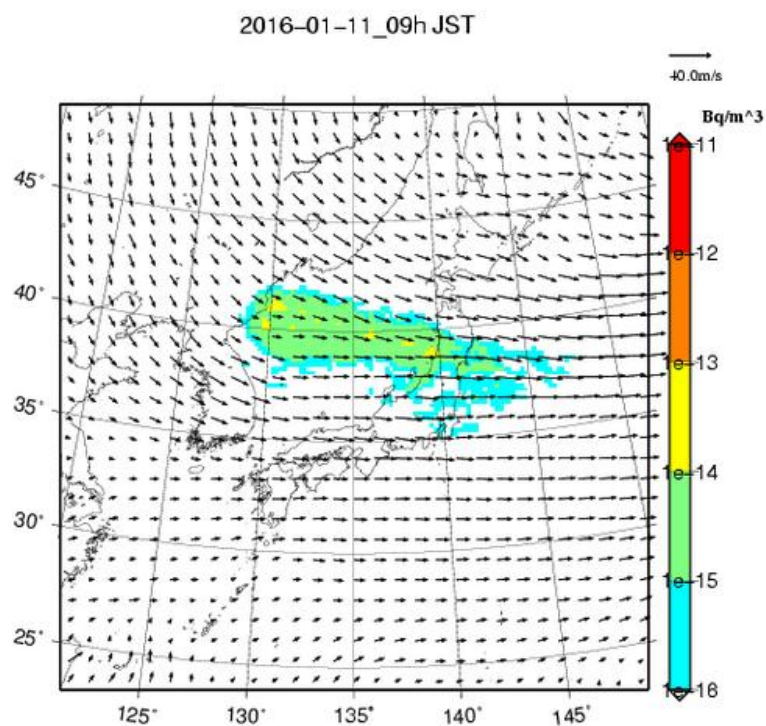


2016/1/11_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (ヨウ素 131)

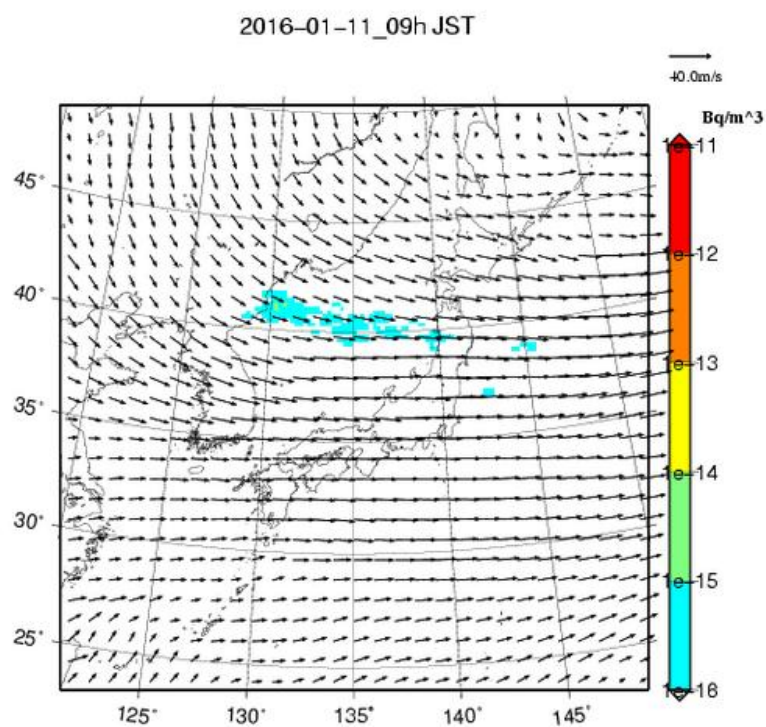


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

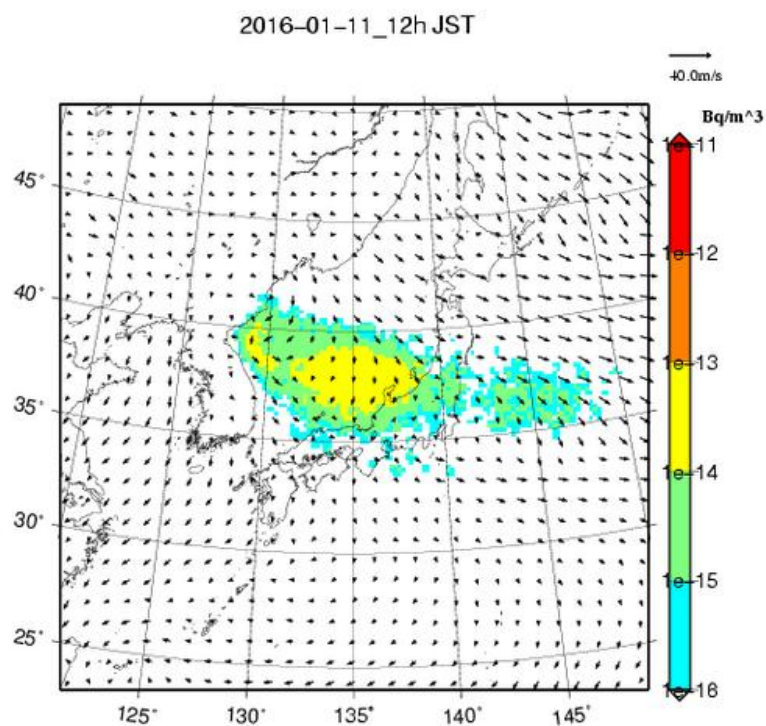


2016/1/11_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

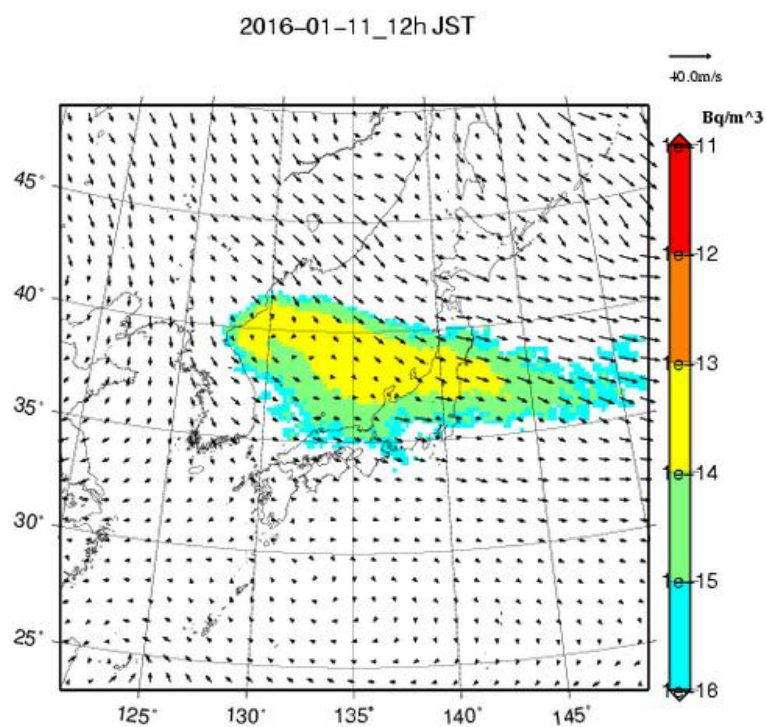


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_12:00 地表面 空气中濃度（ヨウ素 131）

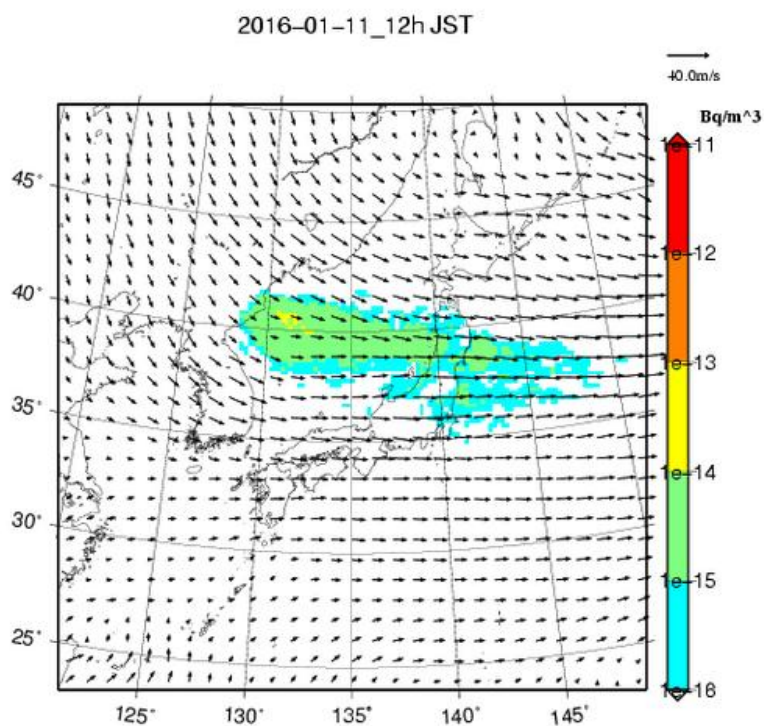


2016/1/11_12:00 上空 1,000m 空气中濃度（ヨウ素 131）

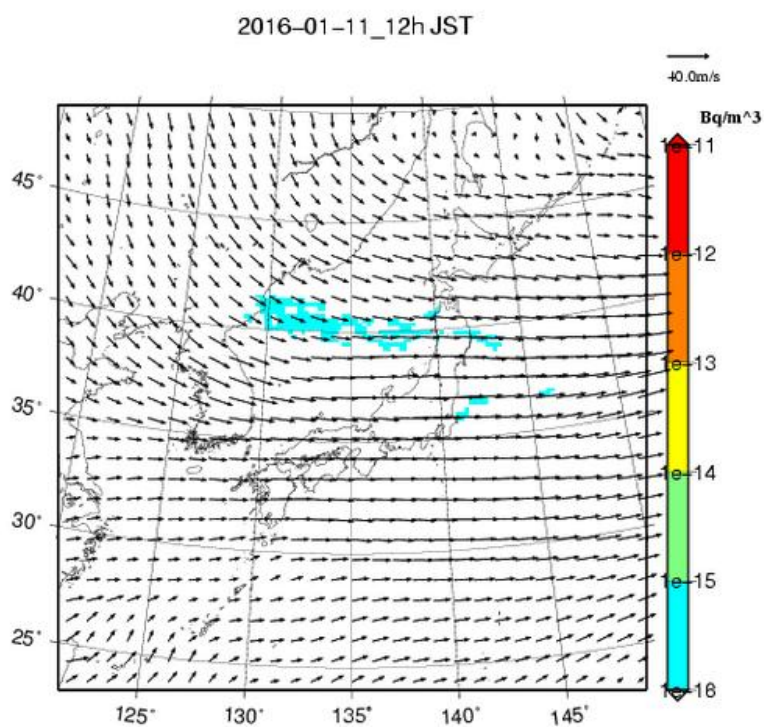


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

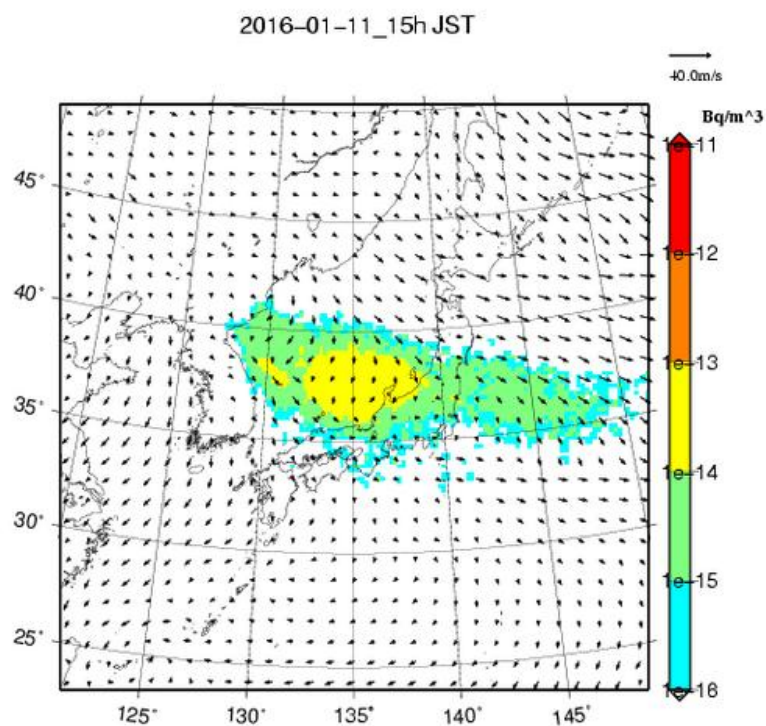


2016/1/11_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

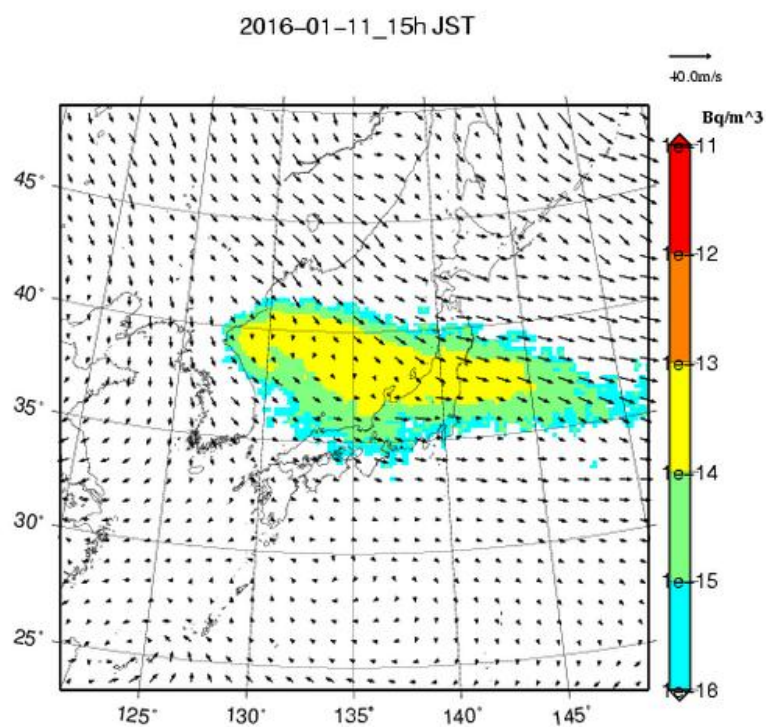


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_15:00 地表面 空気中濃度（ヨウ素 131）

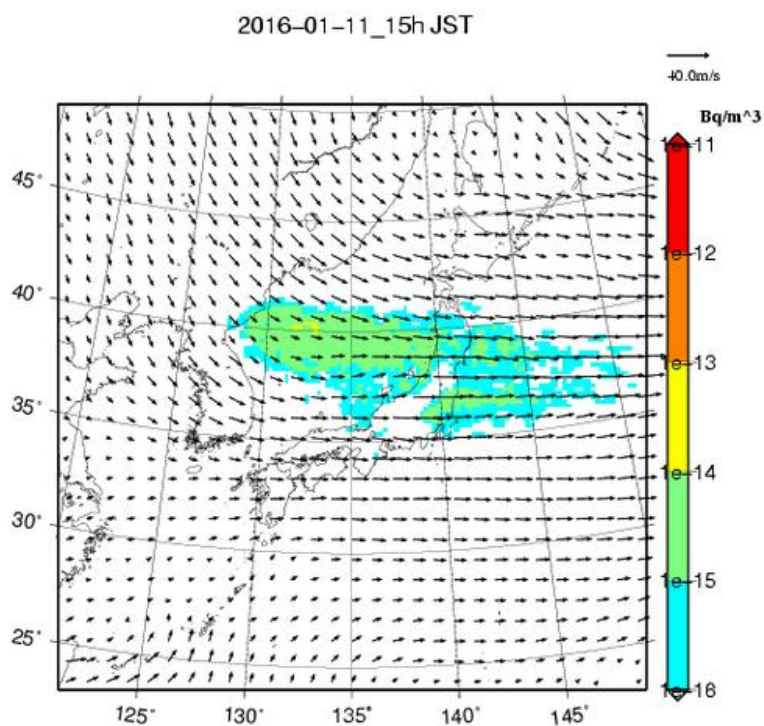


2016/1/11_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（ヨウ素 131）

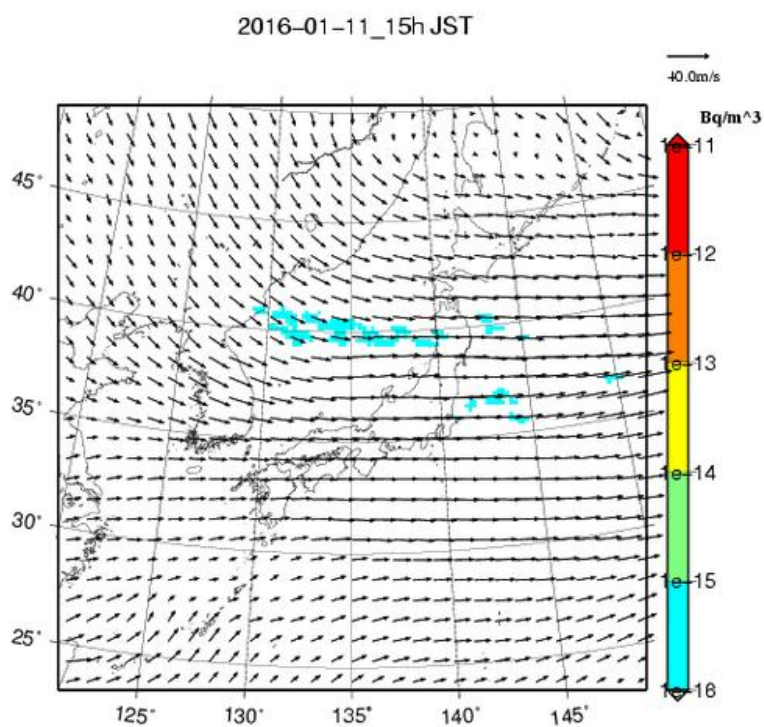


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

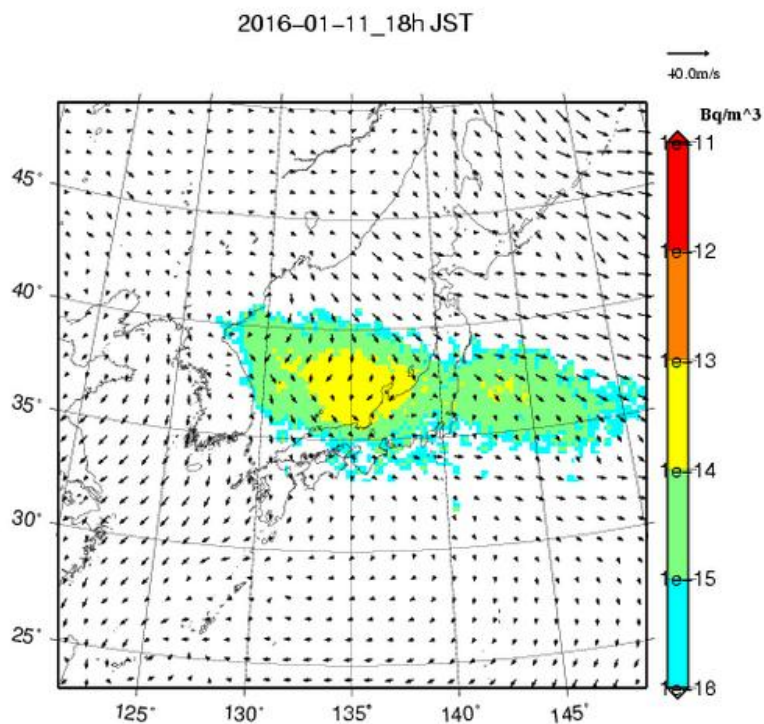


2016/1/11_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

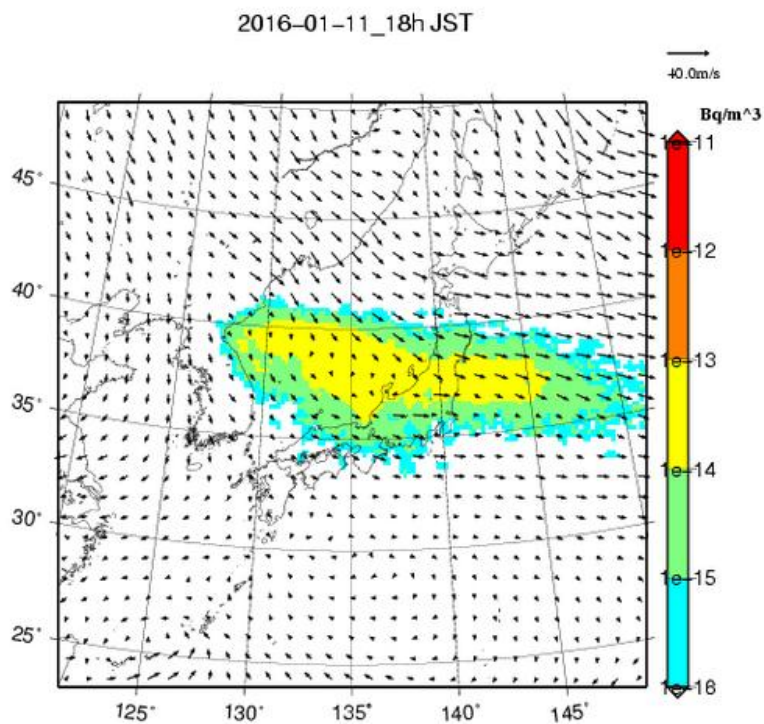


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_18:00 地表面 空气中濃度 (ヨウ素 131)

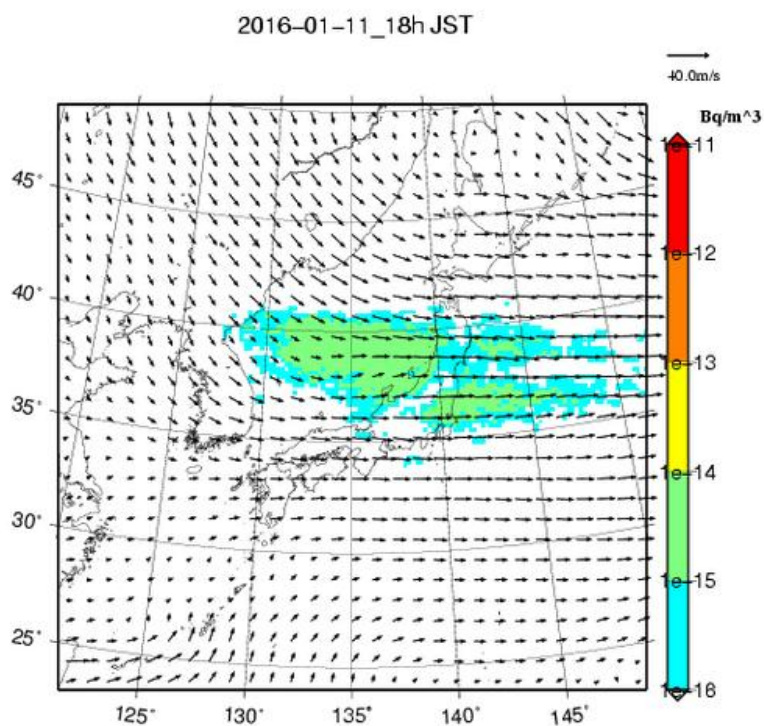


2016/1/11_18:00 上空 1,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

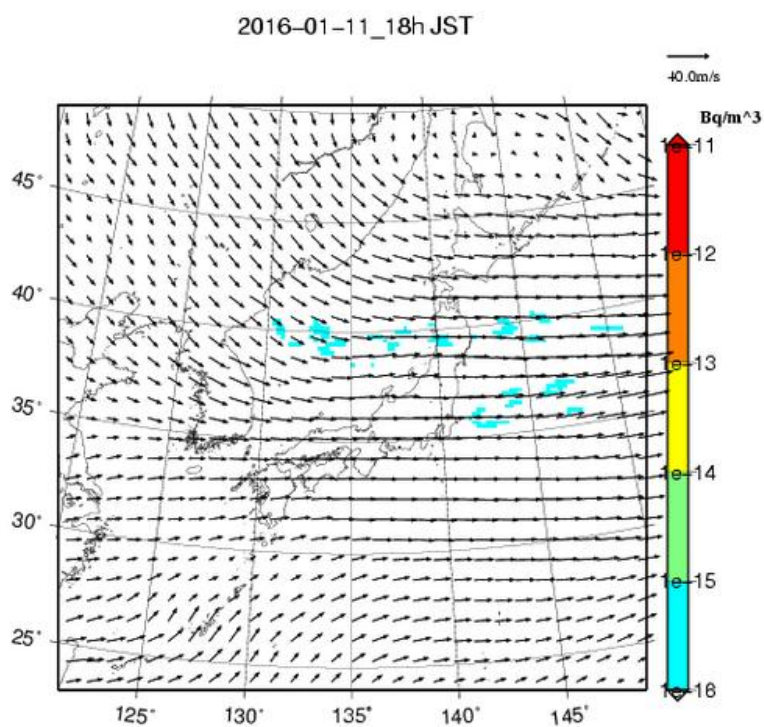


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

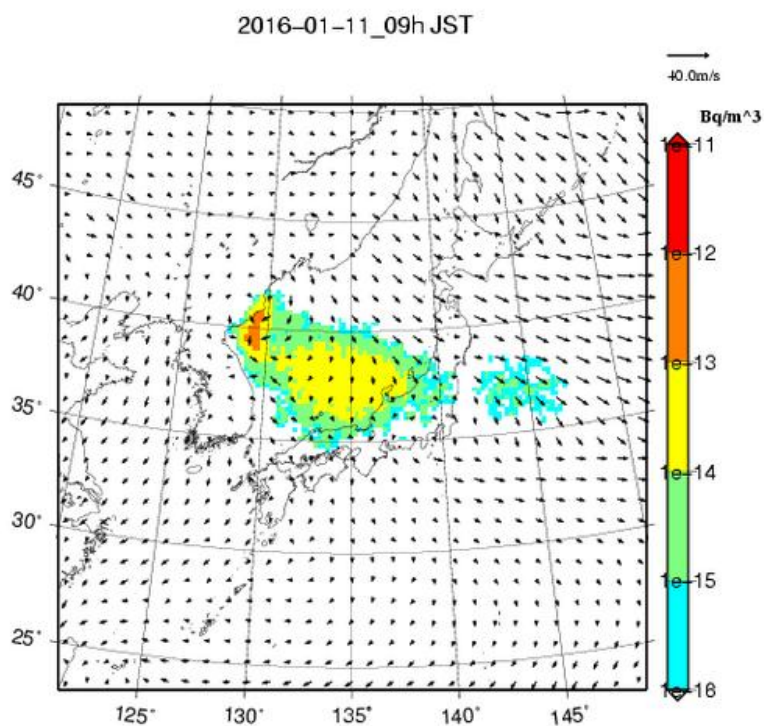


2016/1/11_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

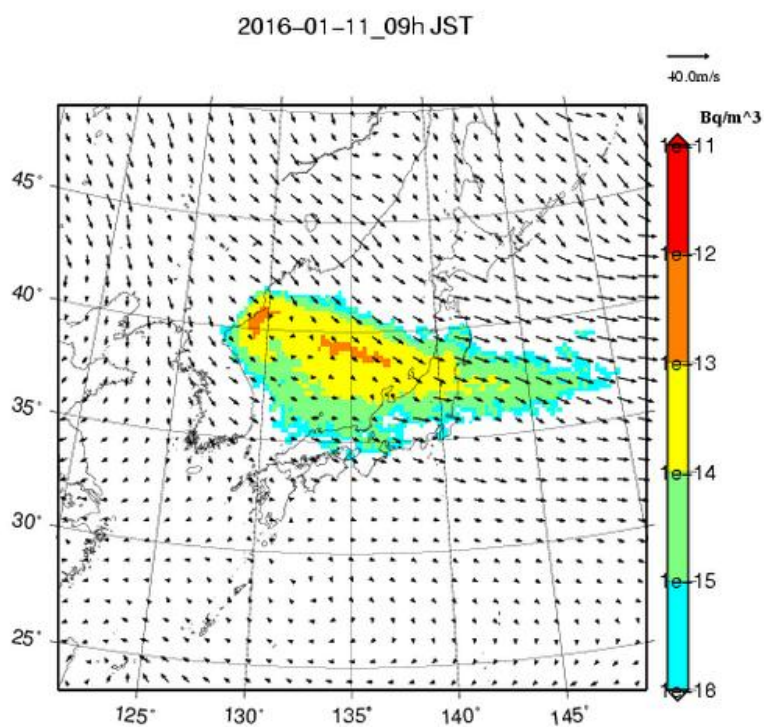


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_9:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

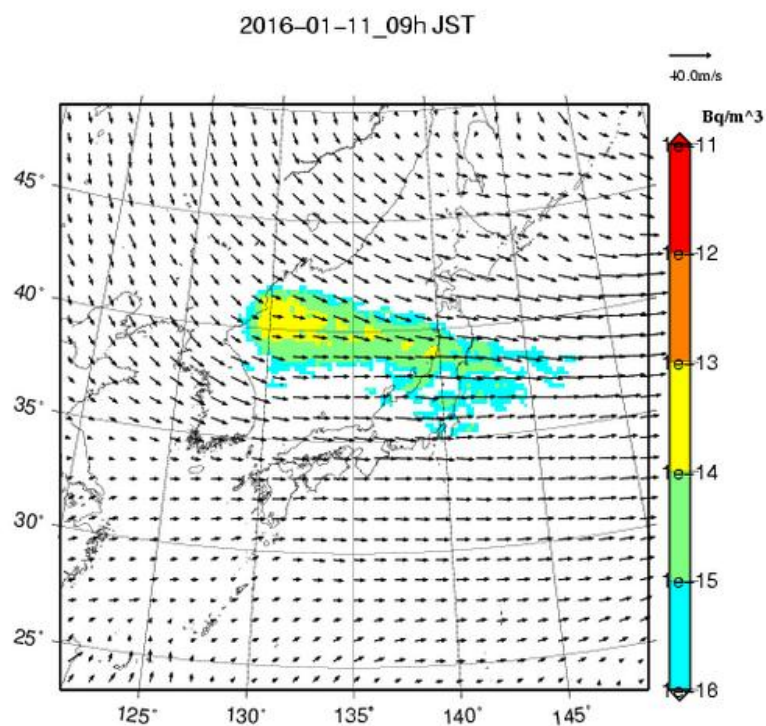


2016/1/11_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

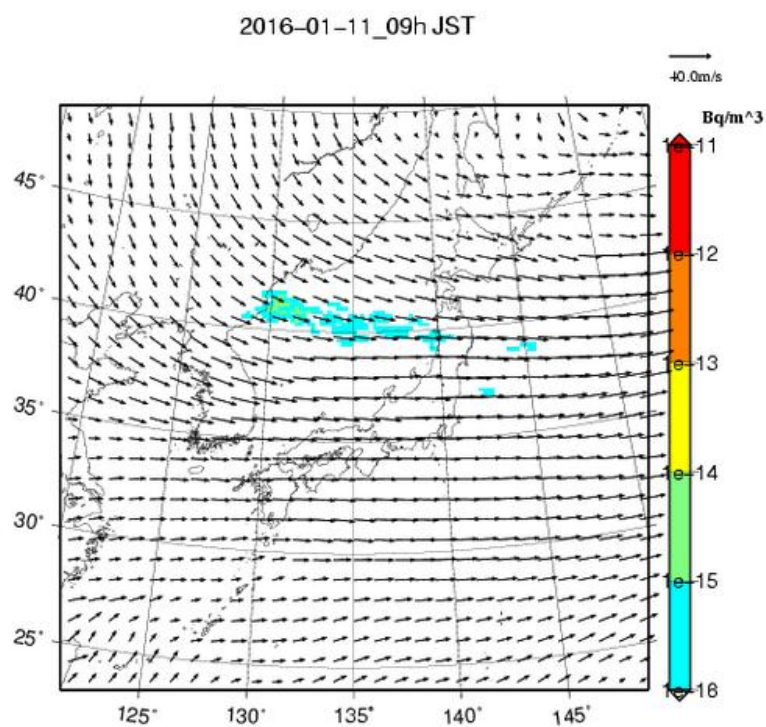


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

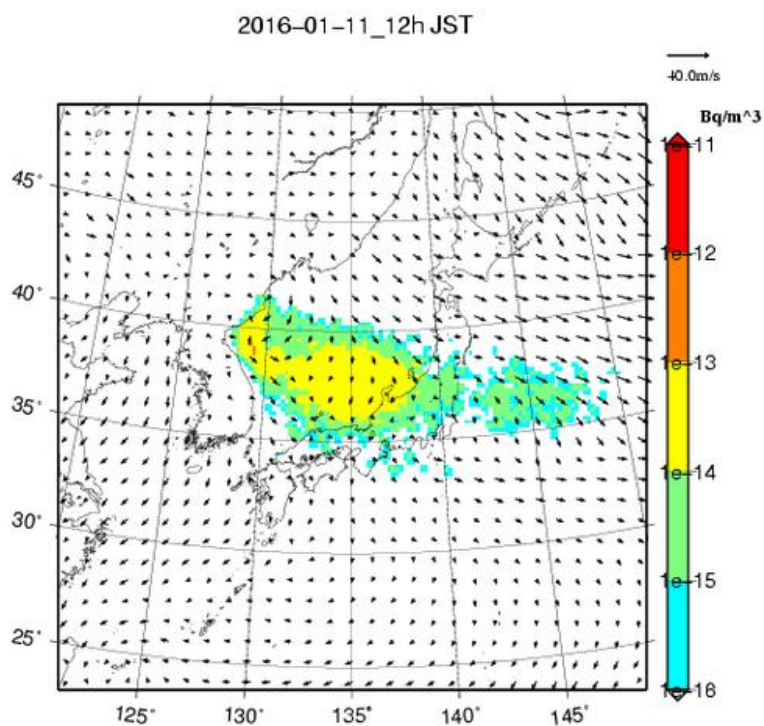


2016/1/11_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

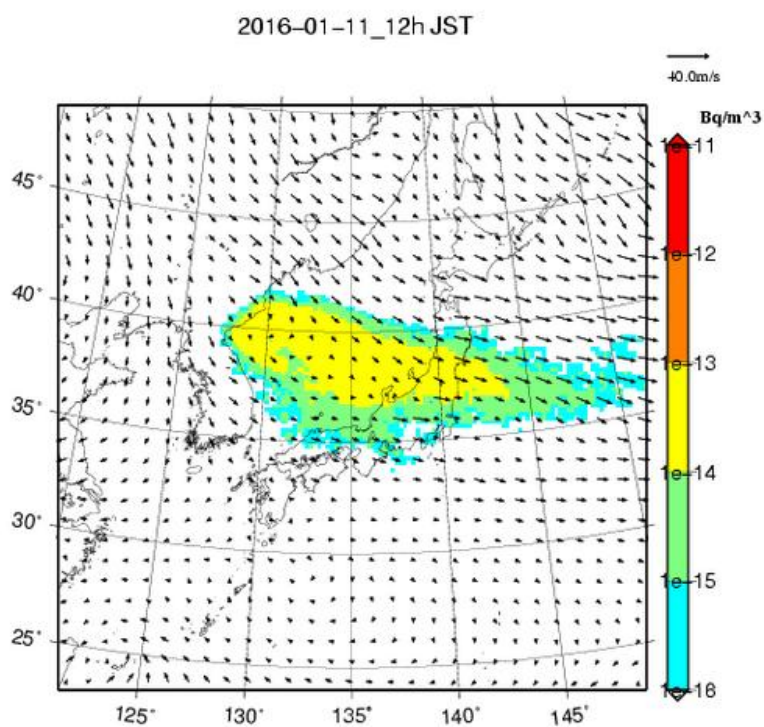


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_12:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

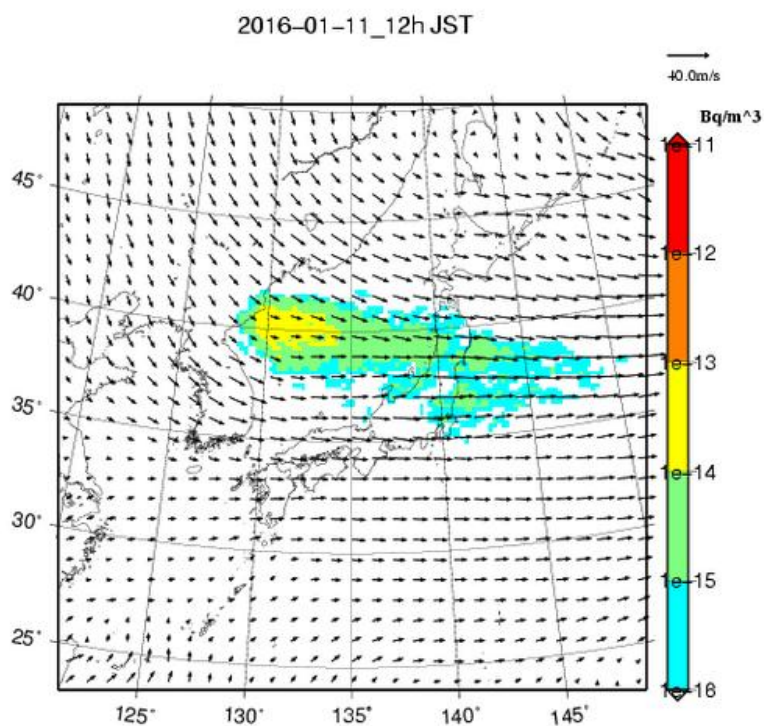


2016/1/11_12:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

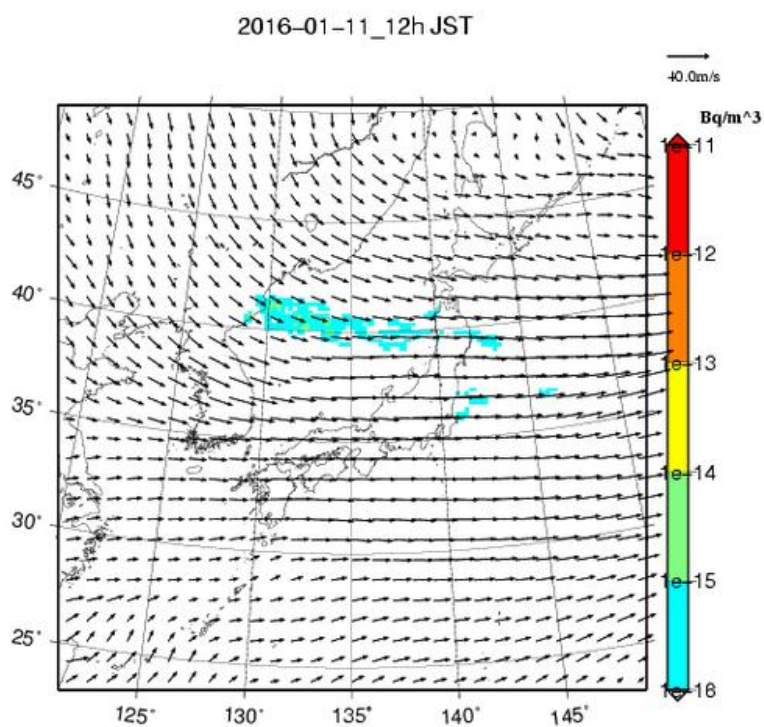


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

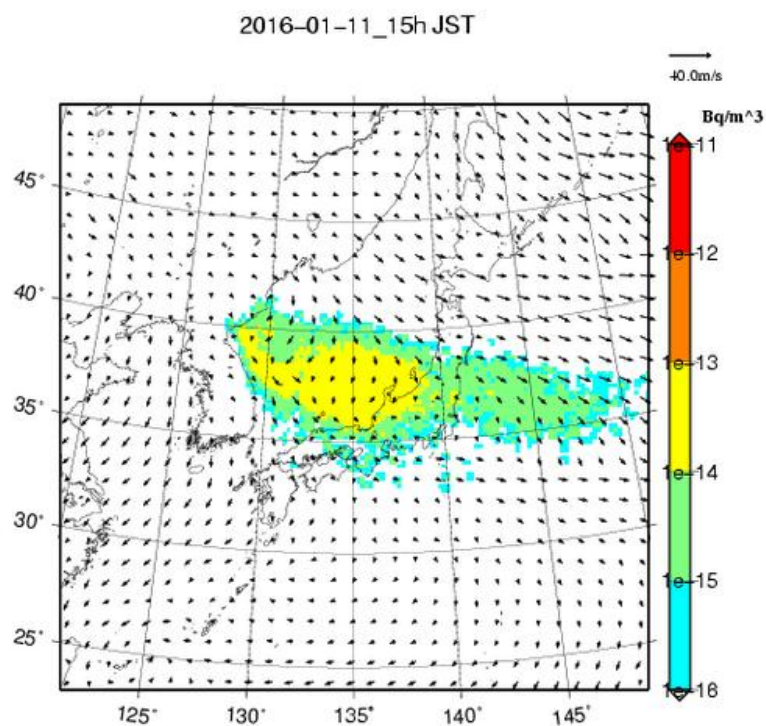


2016/1/11_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

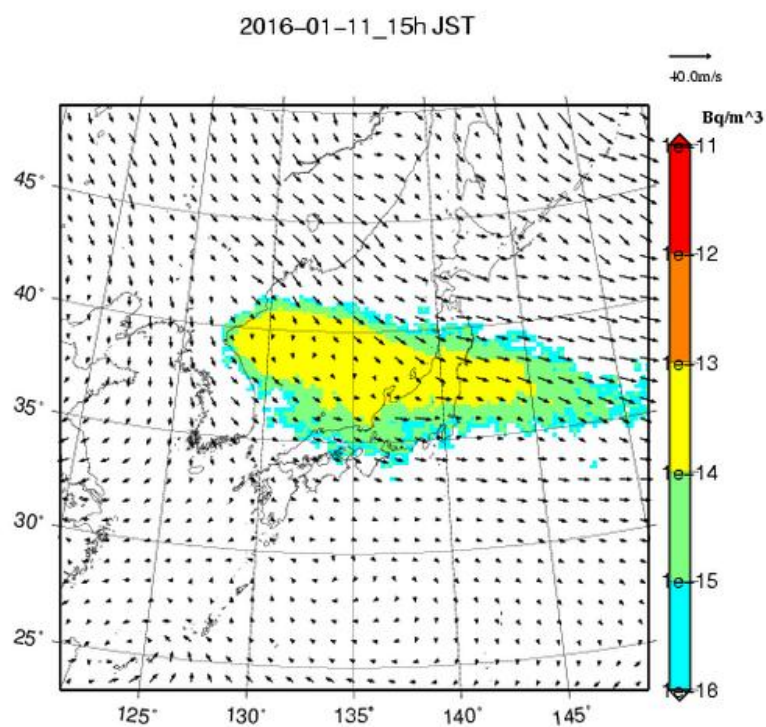


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_15:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

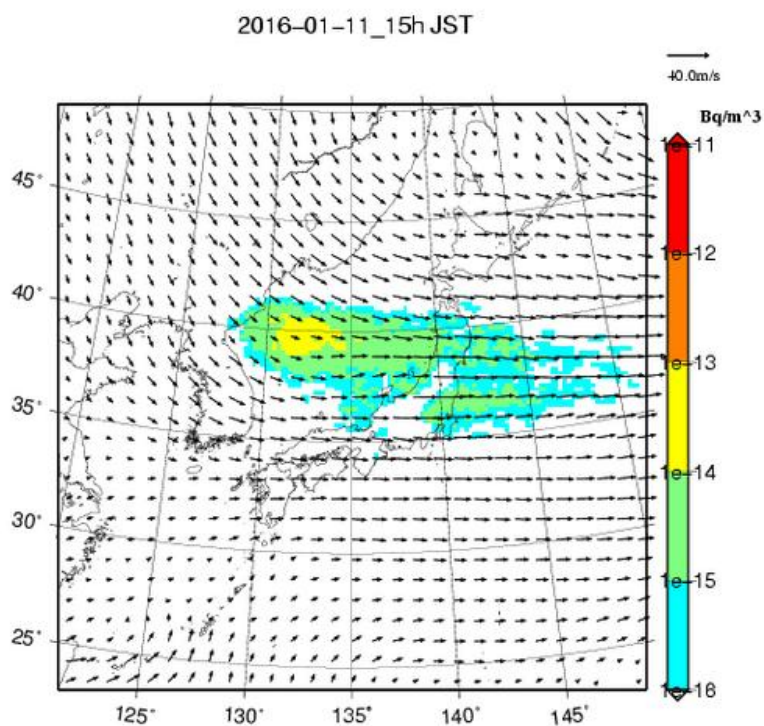


2016/1/11_15:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

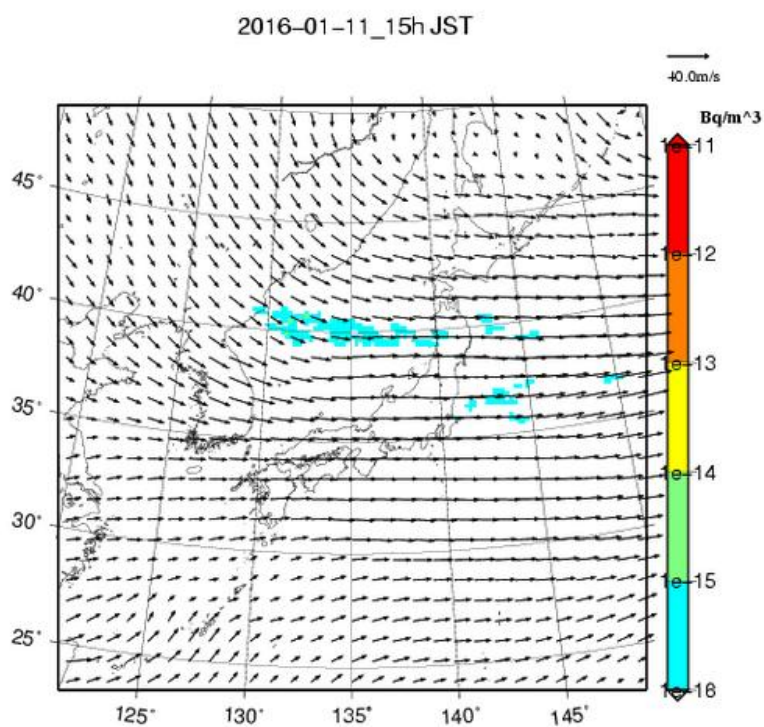


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

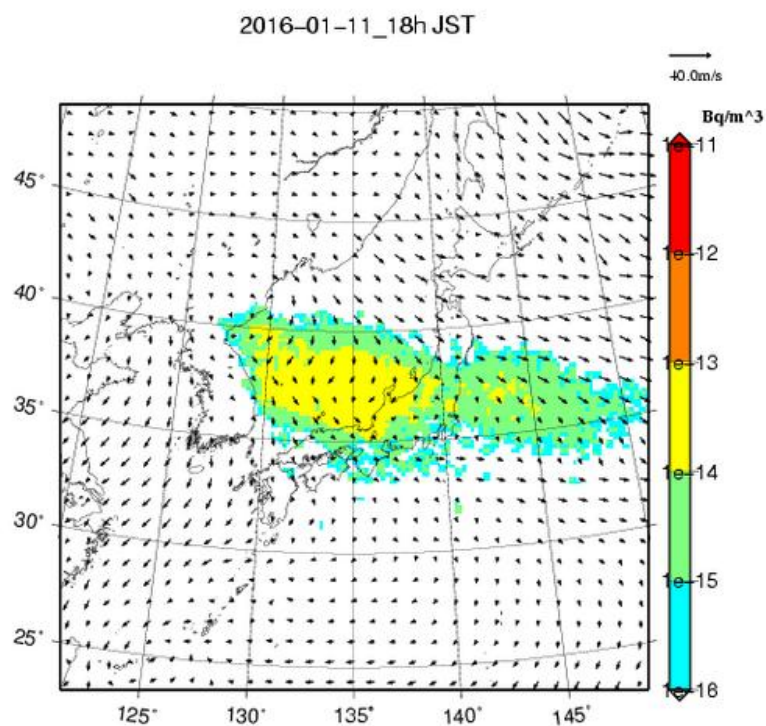


2016/1/11_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

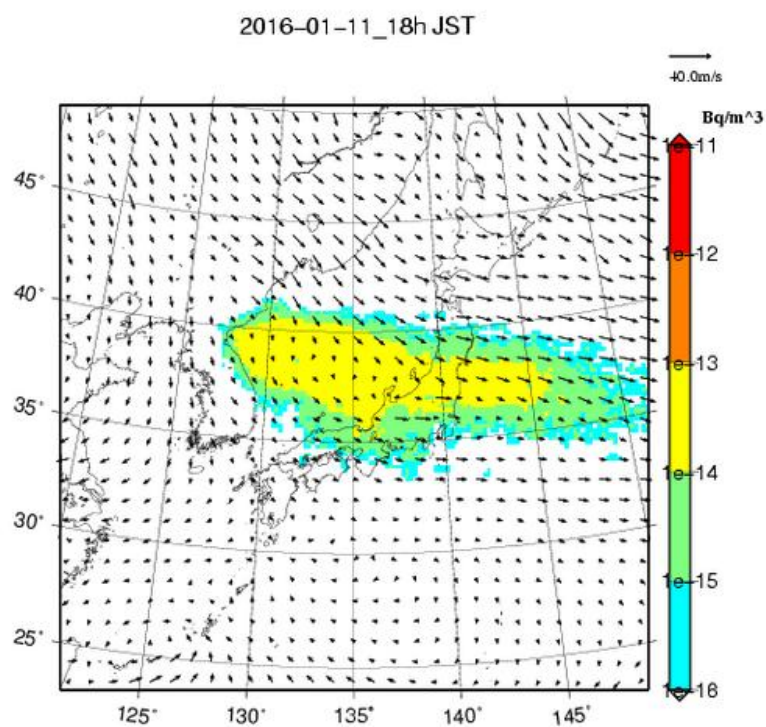


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_18:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

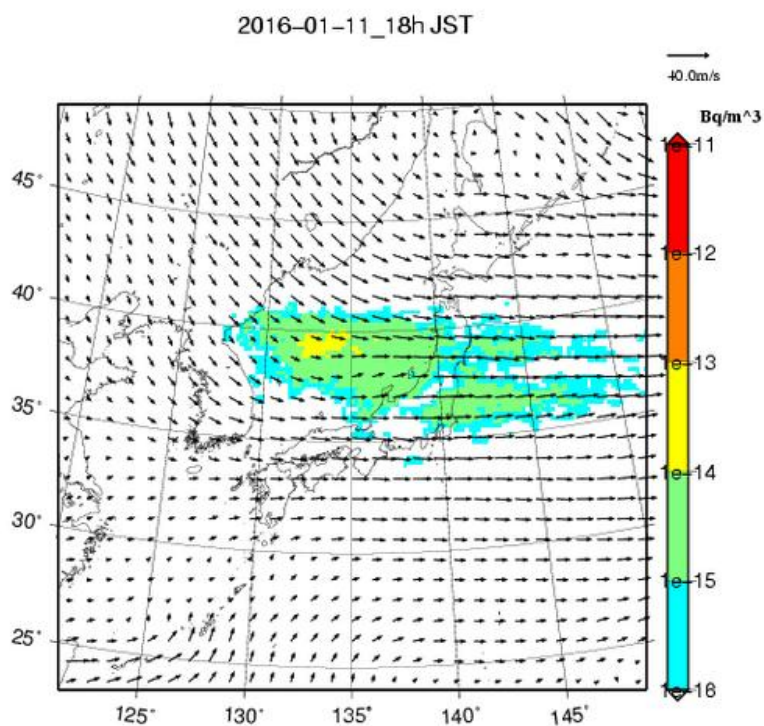


2016/1/11_18:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

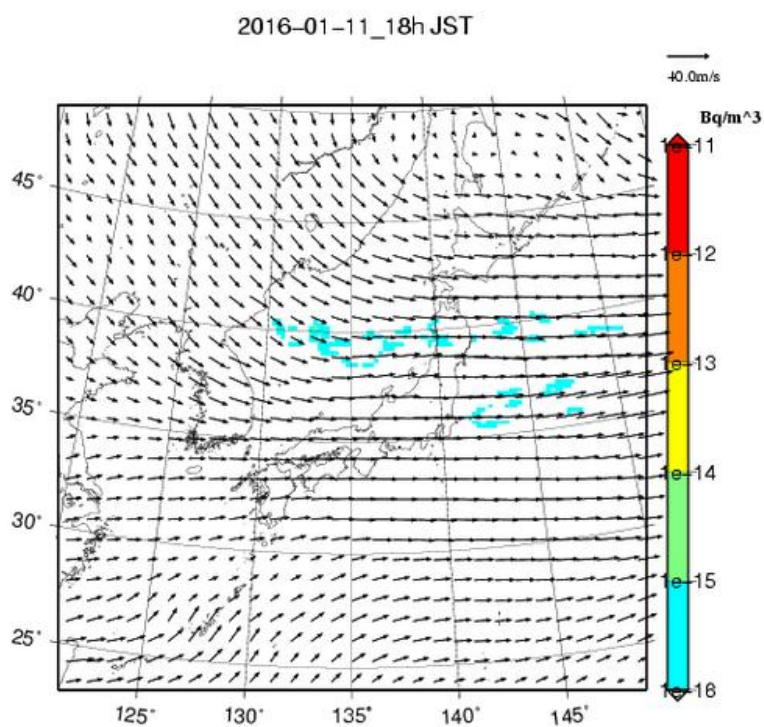


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

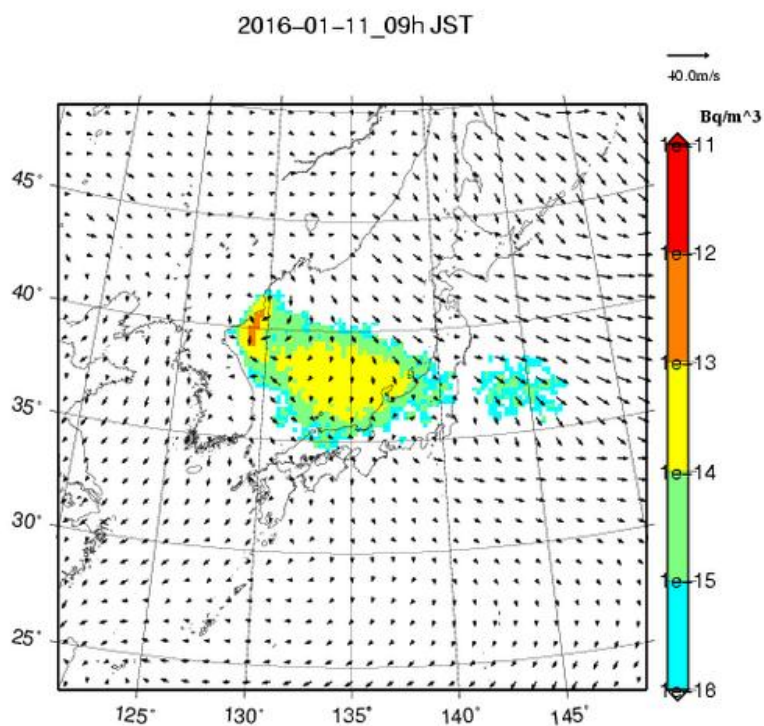


2016/1/11_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

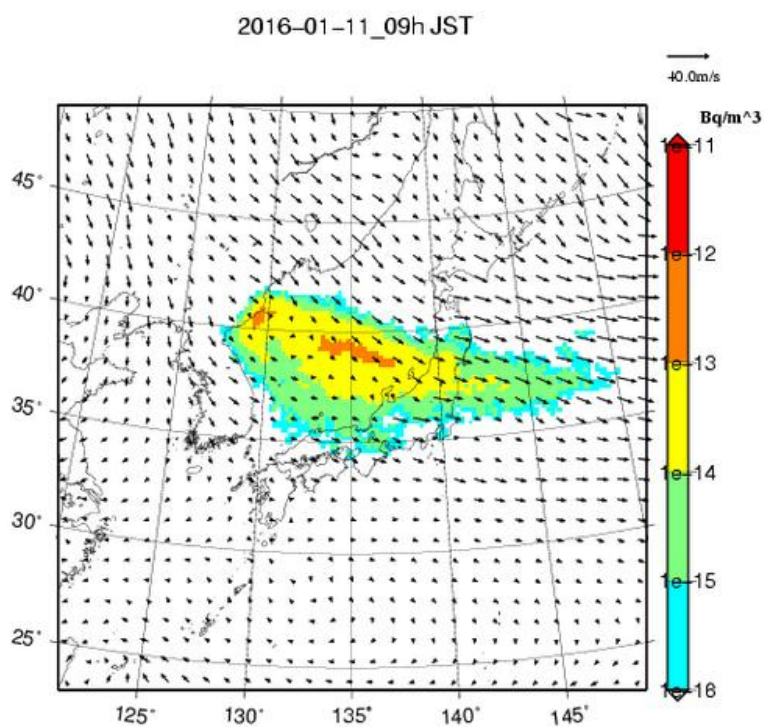


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_9:00 地表面 空気中濃度 (セシウム 137)

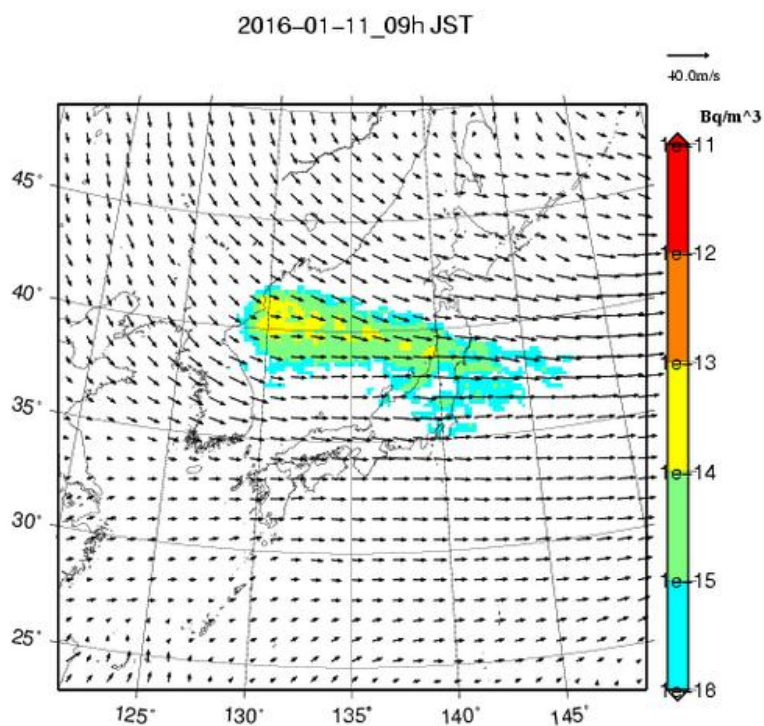


2016/1/11_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (セシウム 137)

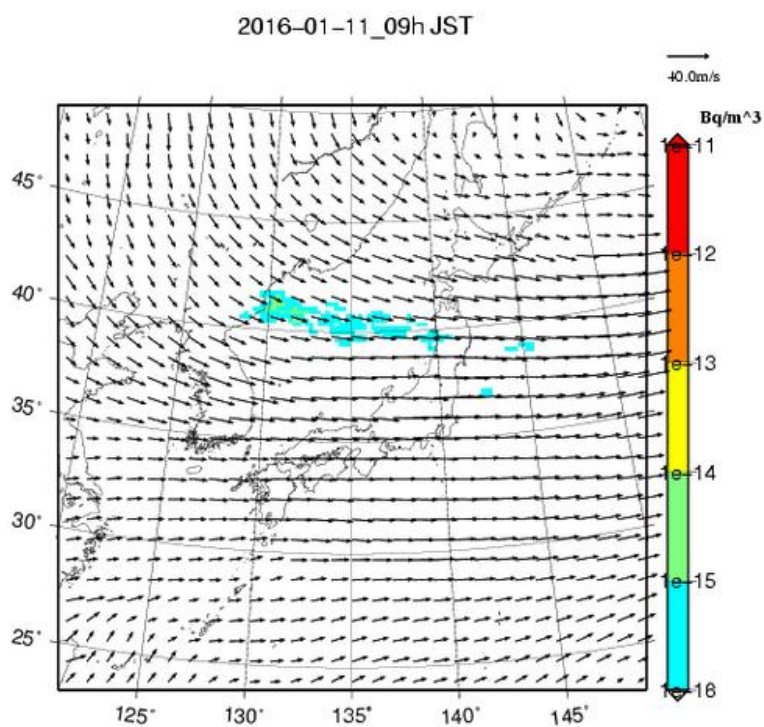


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

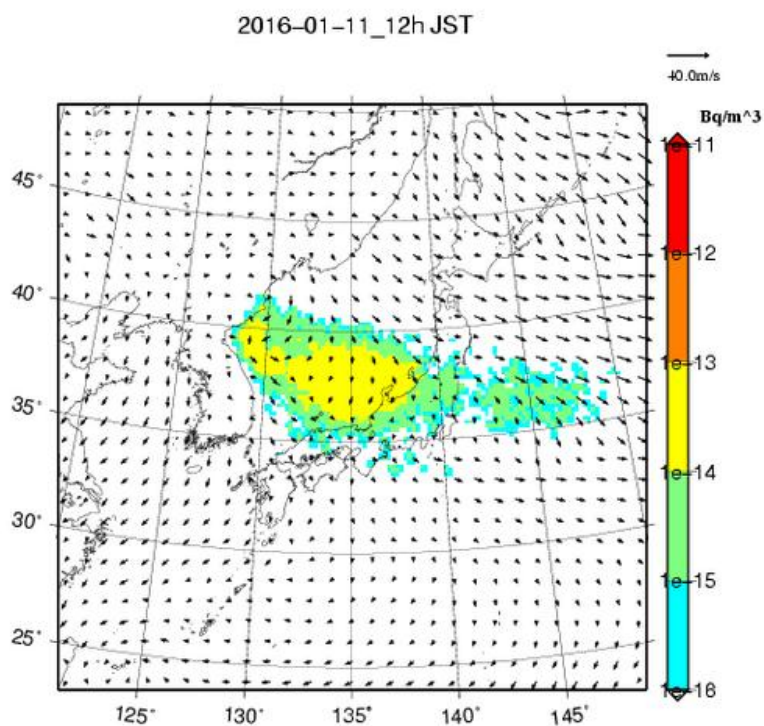


2016/1/11_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

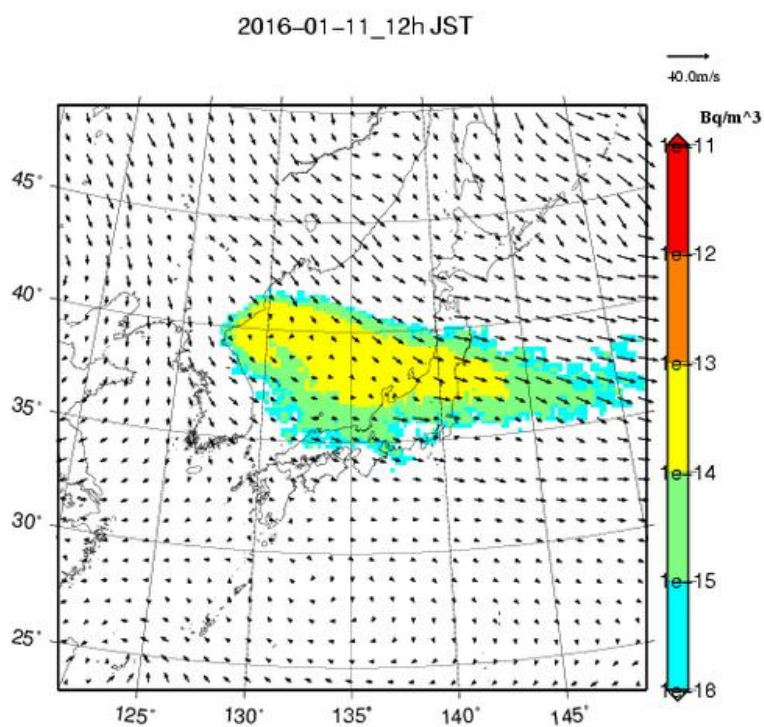


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_12:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

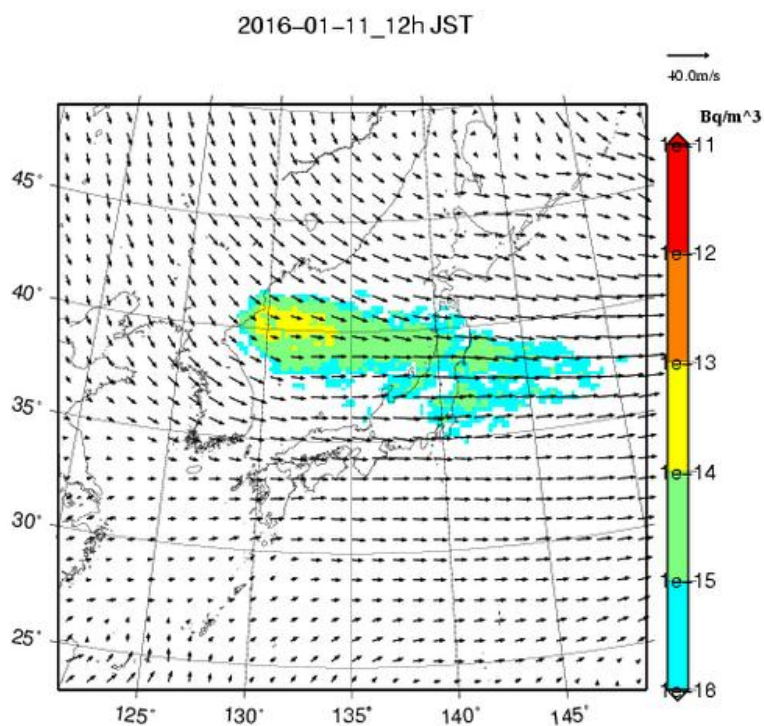


2016/1/11_12:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

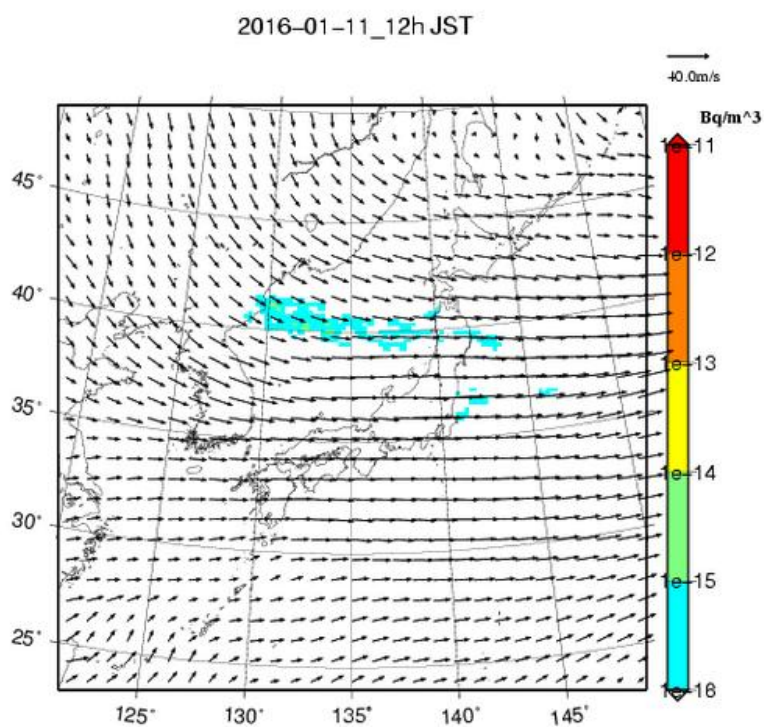


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

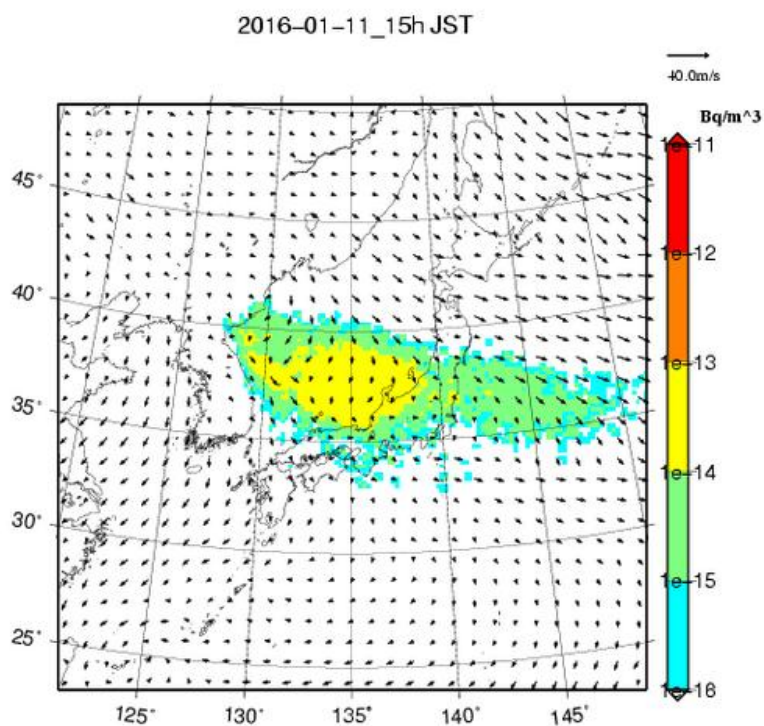


2016/1/11_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

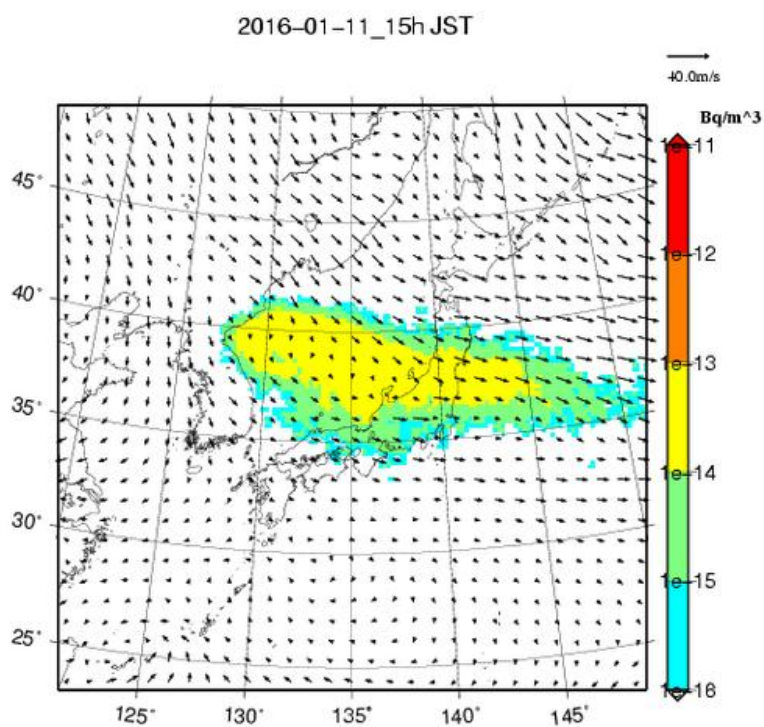


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_15:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

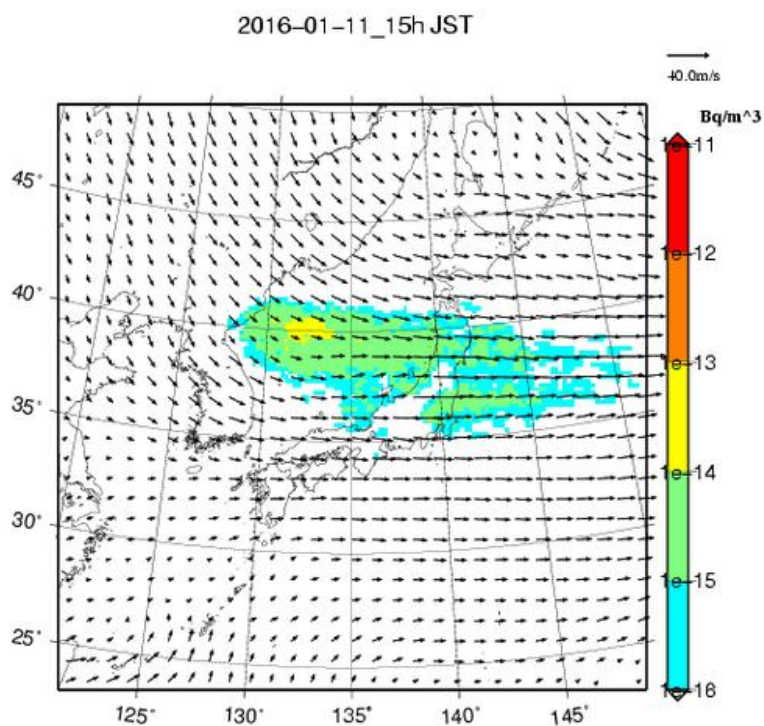


2016/1/11_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

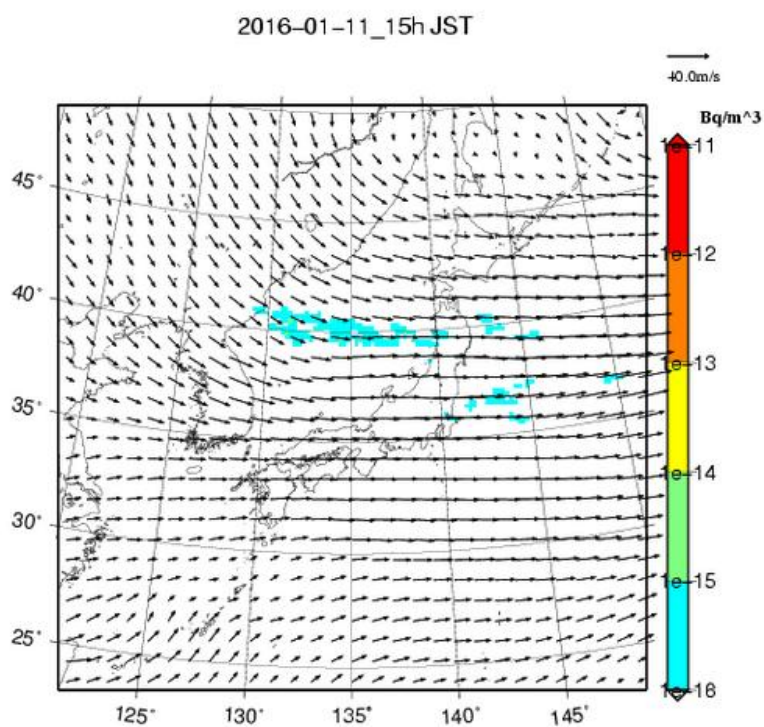


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

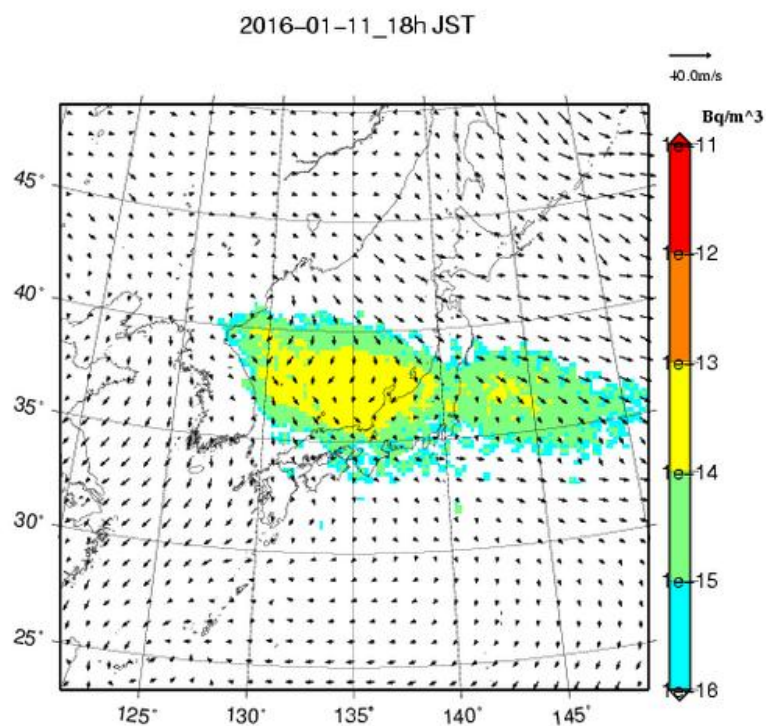


2016/1/11_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

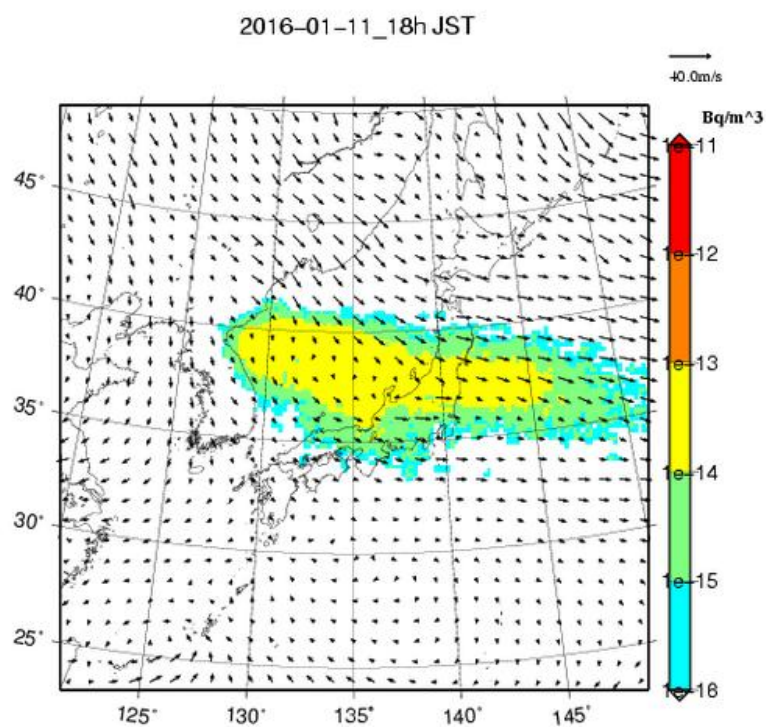


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_18:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

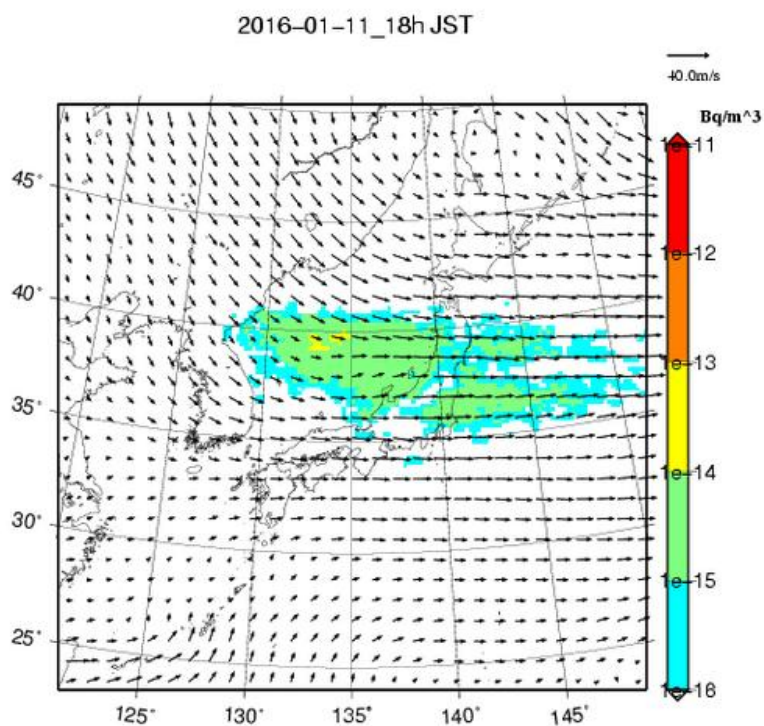


2016/1/11_18:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

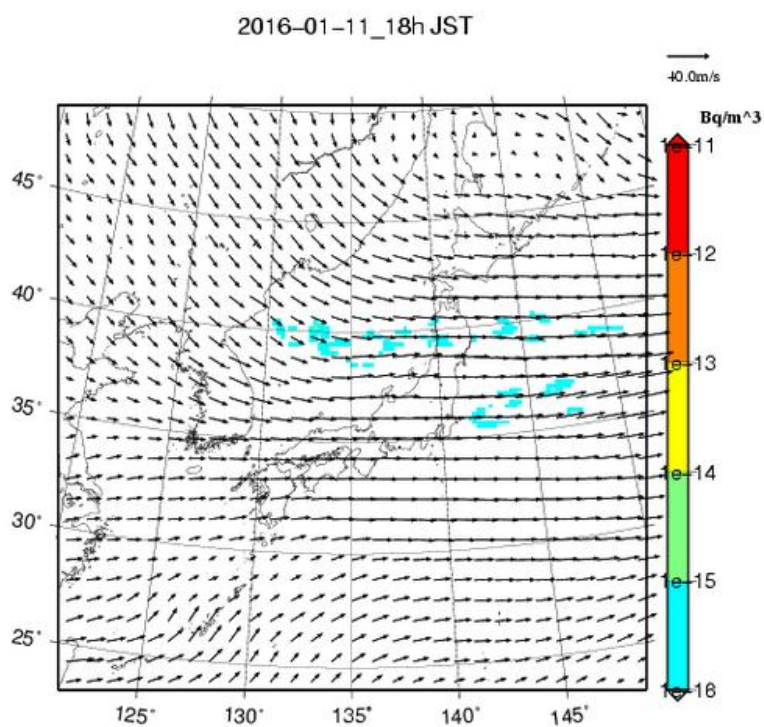


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/11_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



2016/1/11_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

北朝鮮の核実験実施を想定した WSPEEDI-II による放射能拡散予測結果 (1 1)

標記について、仮定計算条件に基づく予測結果は以下のとおりです。

1. 仮定計算条件

放射性物質の種類及び放出率： I-131 (1Bq/h)
Xe-133 (1Bq/h)
Cs-137 (1Bq/h)

放出場所：東経 129.1 度、北緯 41.3 度

放出期間：1 月 10 日 00:00 から 24 時間放出と仮定

2. 結果出力 (計 48 図形)

① I-131 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 12 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

② Xe-133 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 12 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

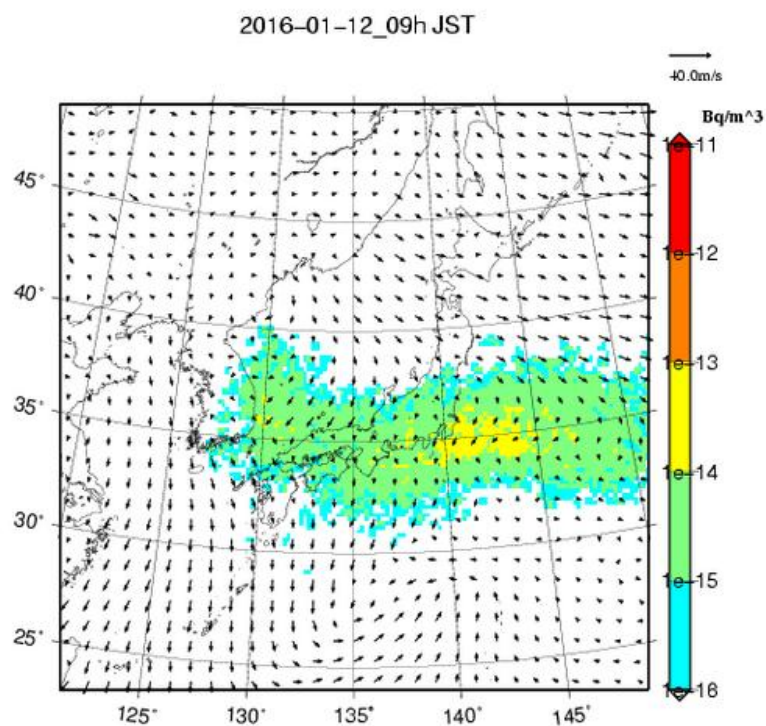
高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

③ Cs-137 の大気中濃度の水平分布図

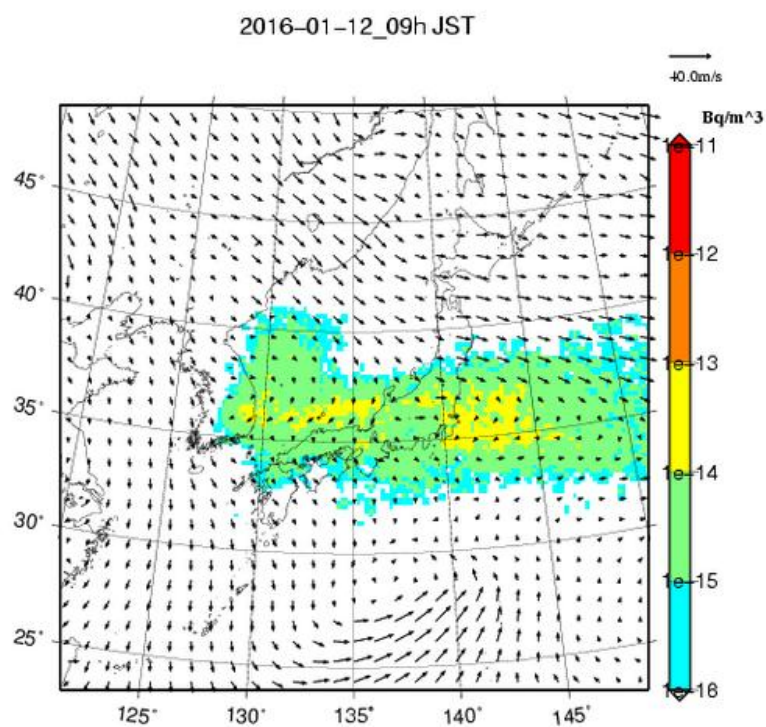
時刻：1 月 12 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

2016/1/12_9:00 地表面 空気中濃度 (ヨウ素 131)

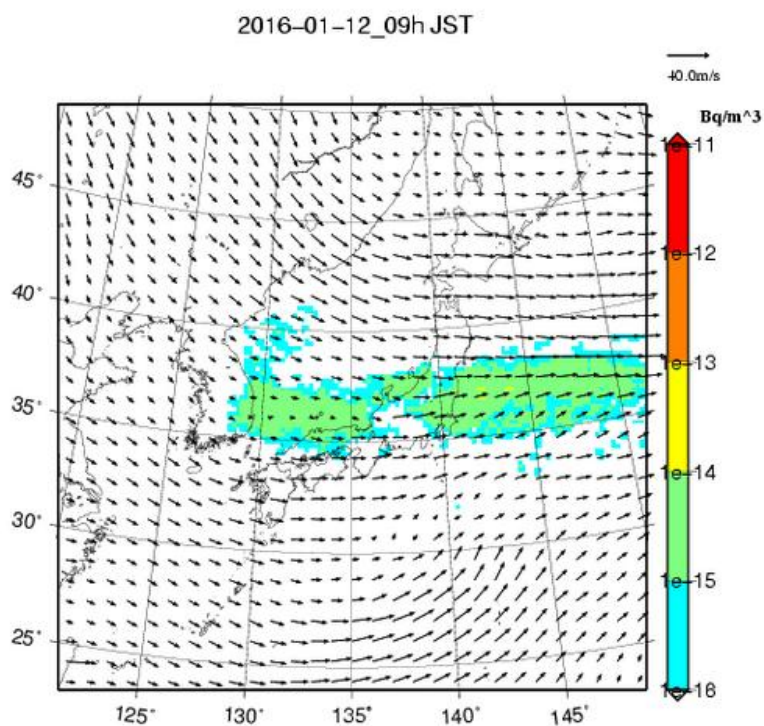


2016/1/12_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (ヨウ素 131)

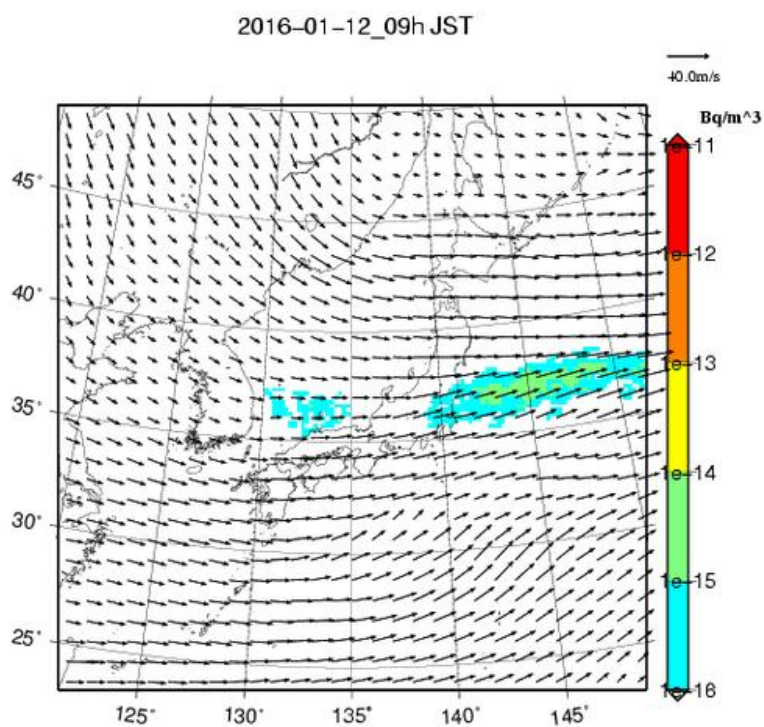


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

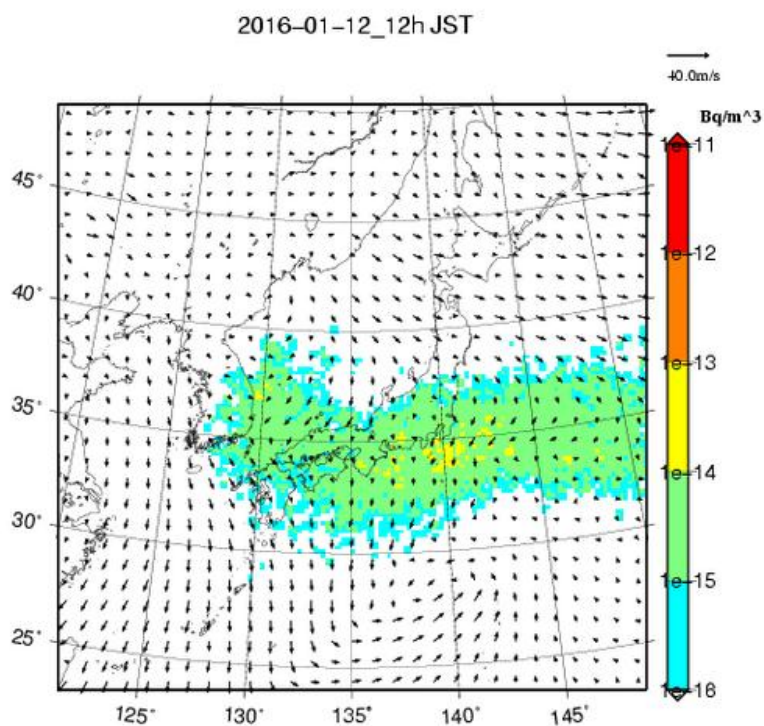


2016/1/12_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

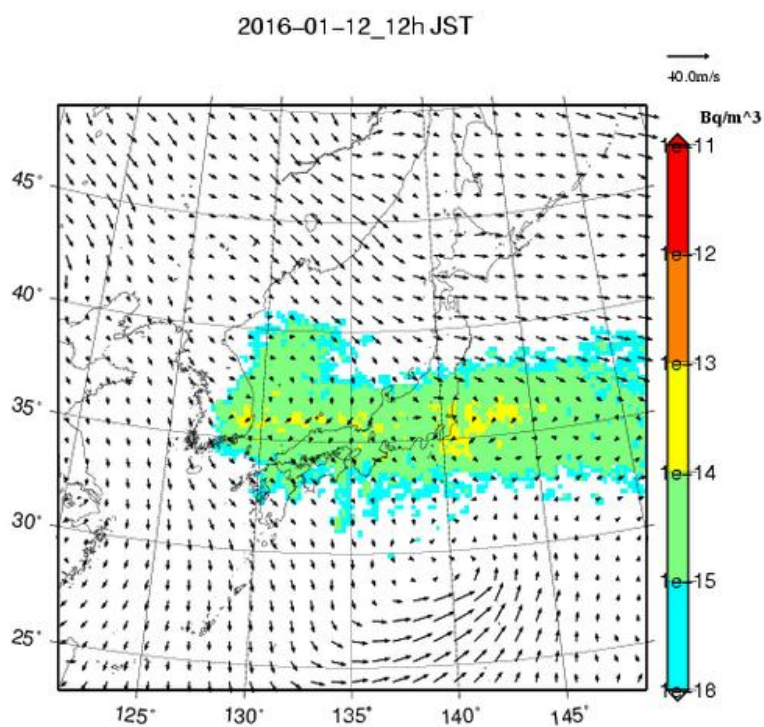


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_12:00 地表面 空气中濃度 (ヨウ素 131)

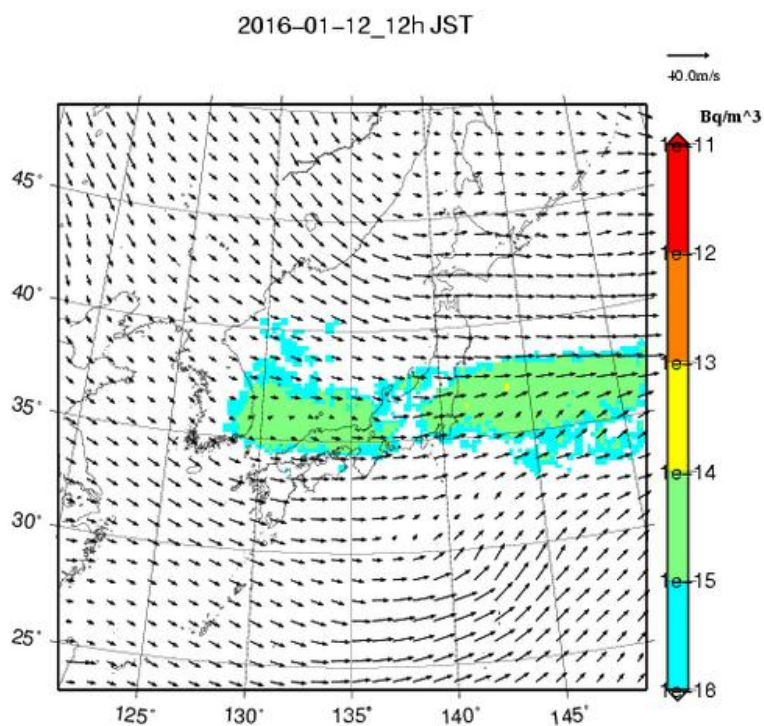


2016/1/12_12:00 上空 1,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

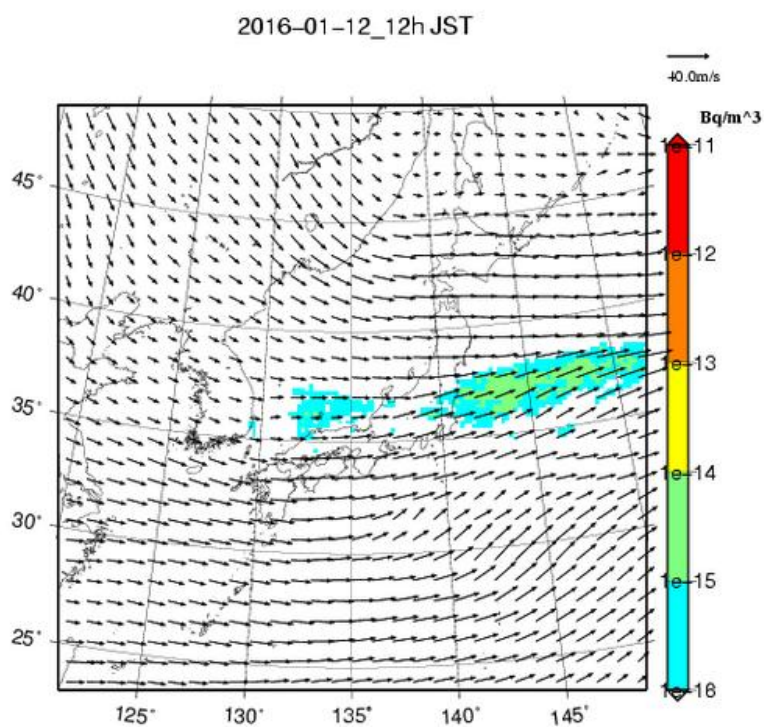


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

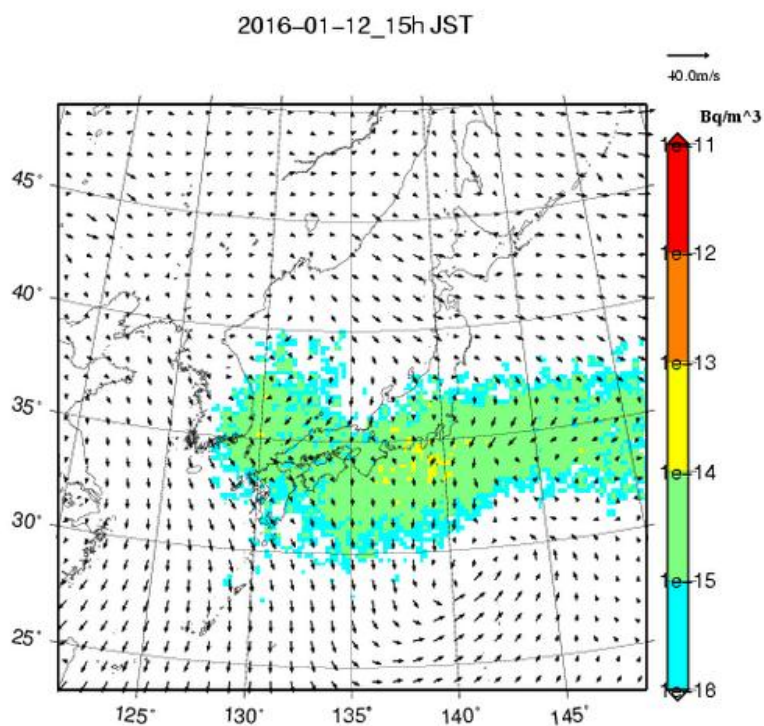


2016/1/12_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

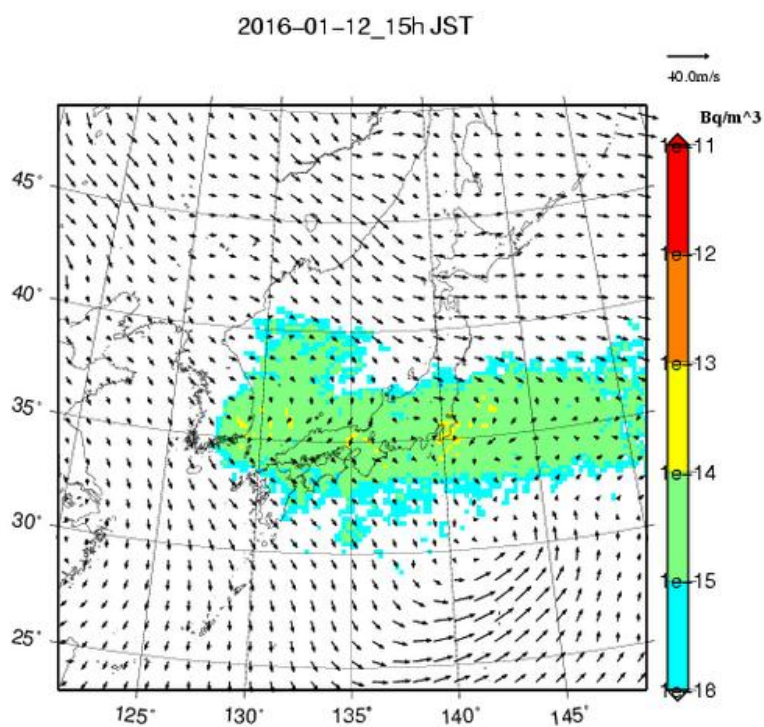


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_15:00 地表面 空気中濃度（ヨウ素 131）

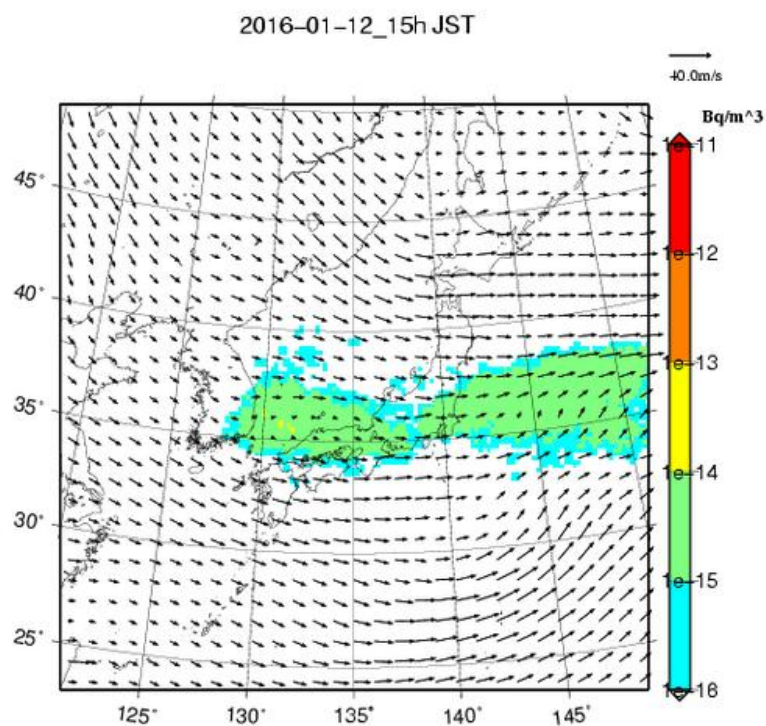


2016/1/12_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（ヨウ素 131）

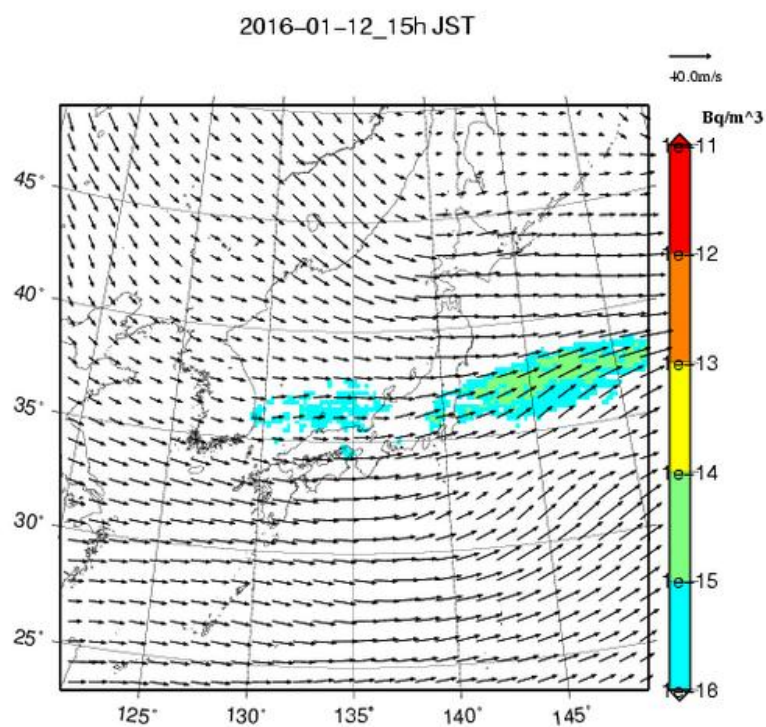


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

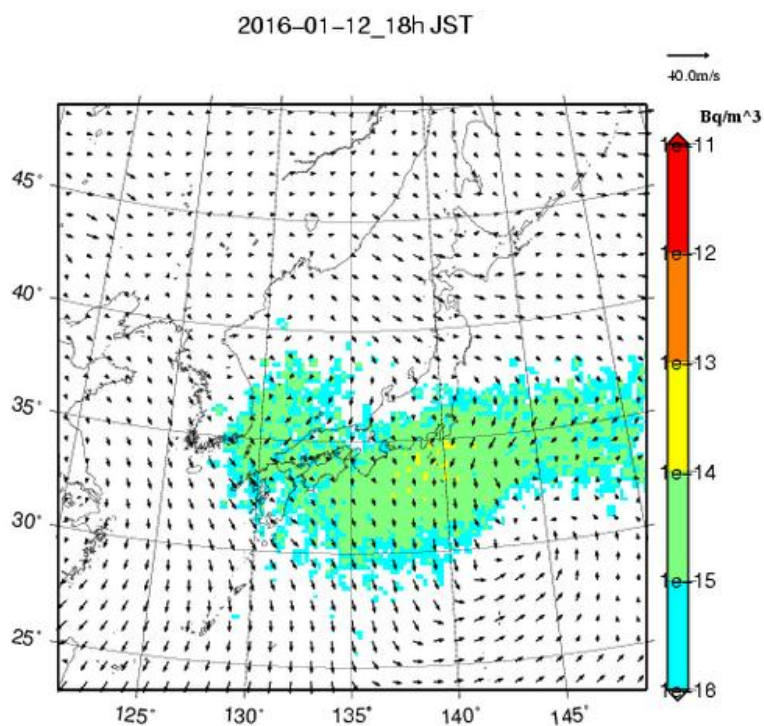


2016/1/12_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

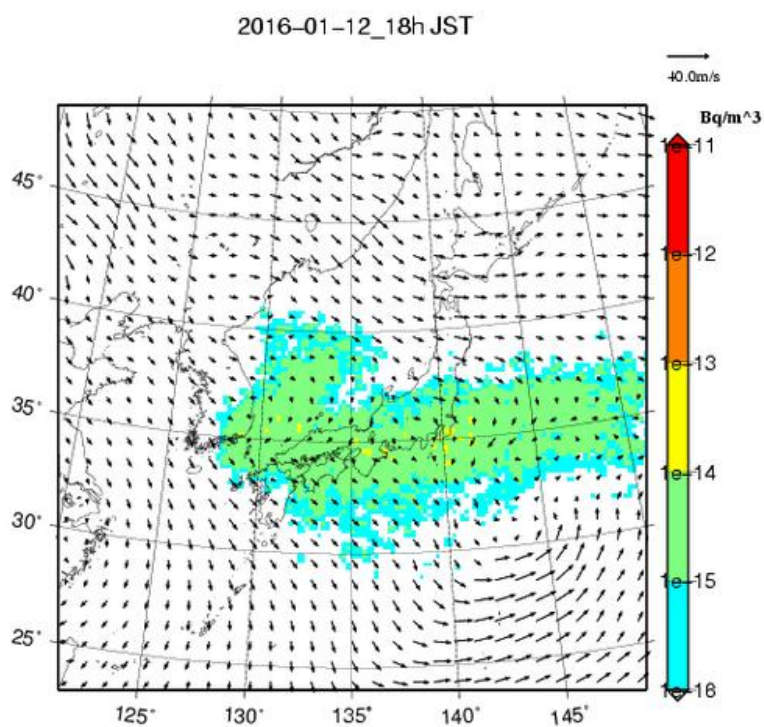


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_18:00 地表面 空気中濃度（ヨウ素 131）

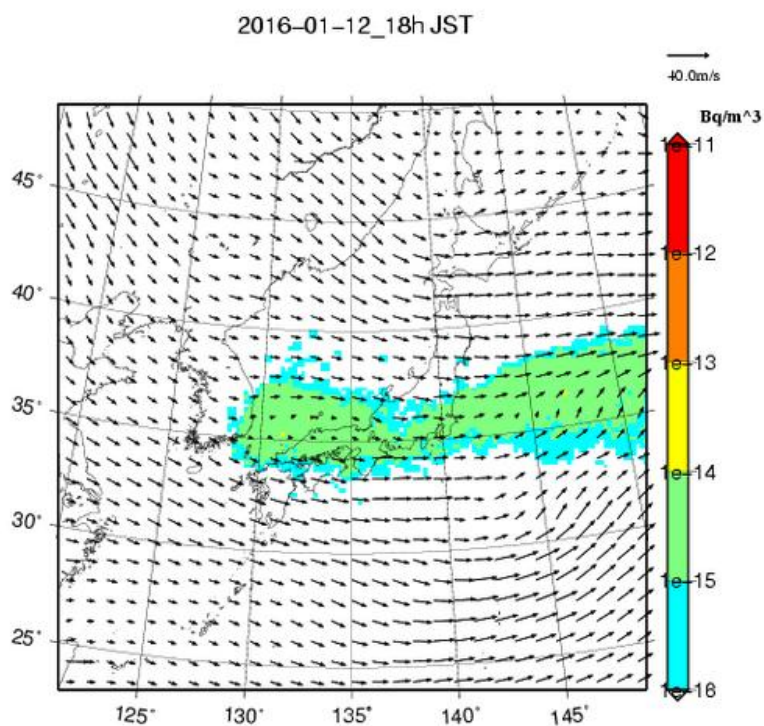


2016/1/12_18:00 上空 1,000m 空気中濃度（ヨウ素 131）

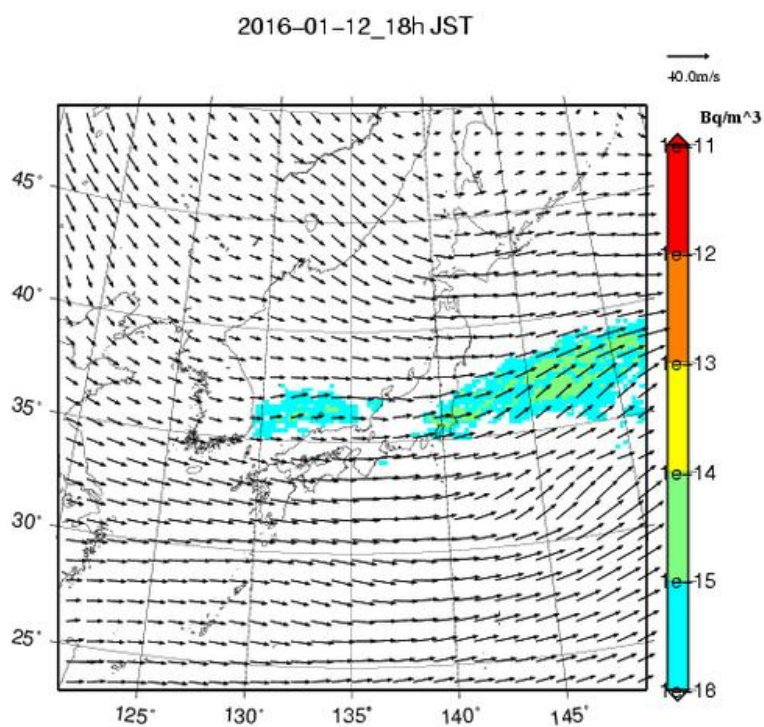


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

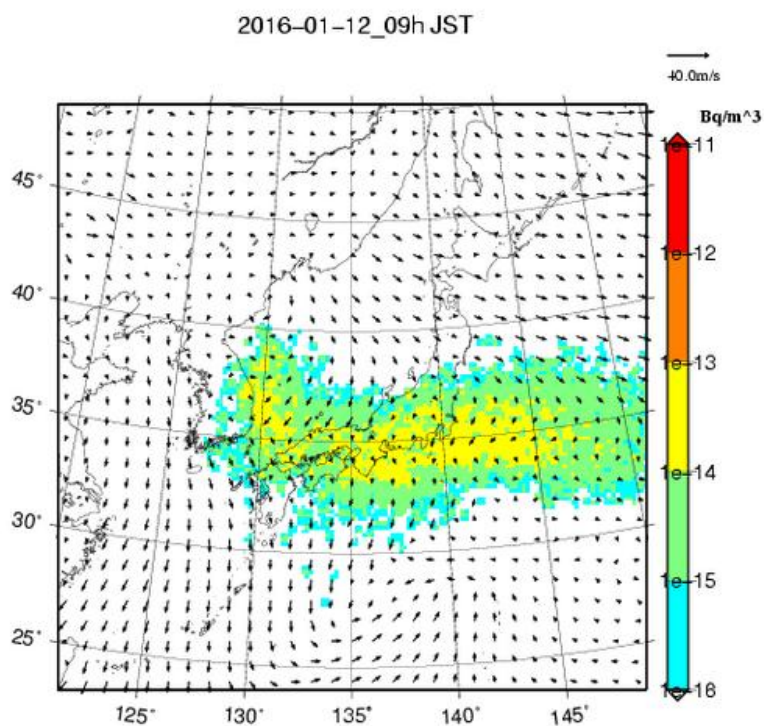


2016/1/12_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

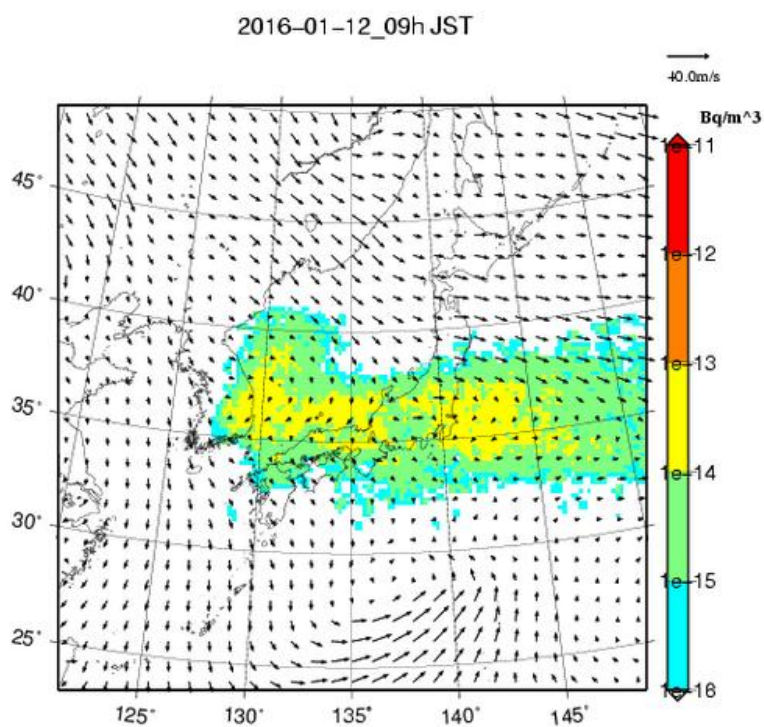


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_9:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

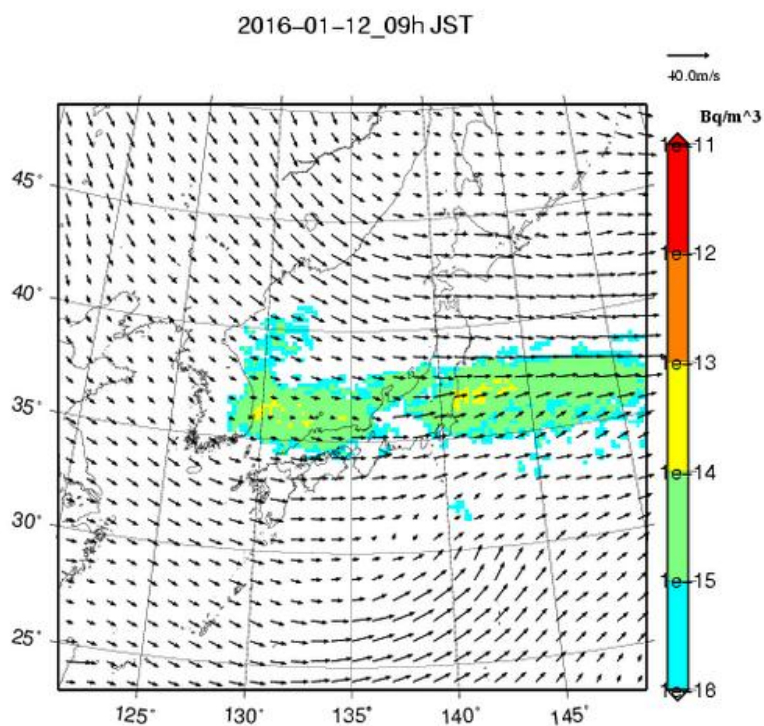


2016/1/12_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

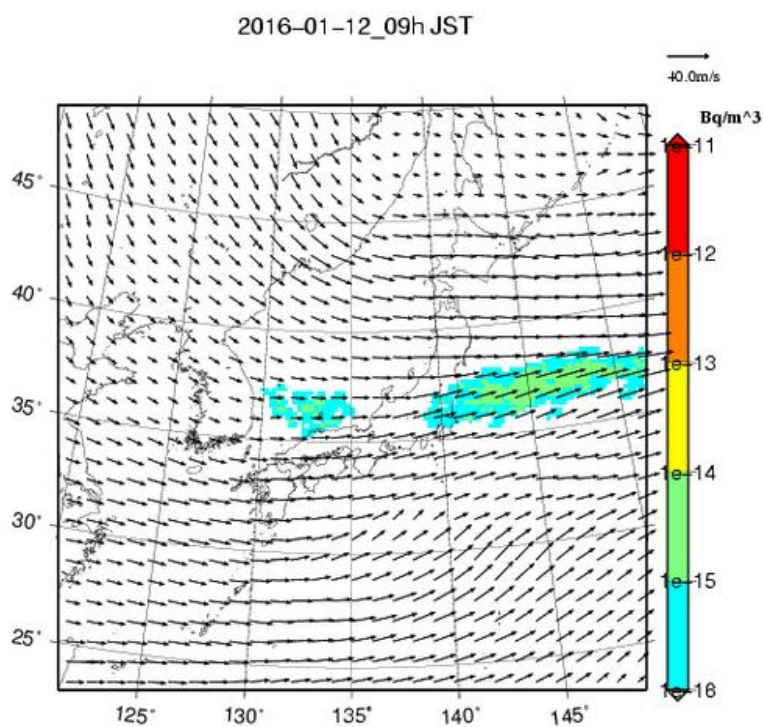


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

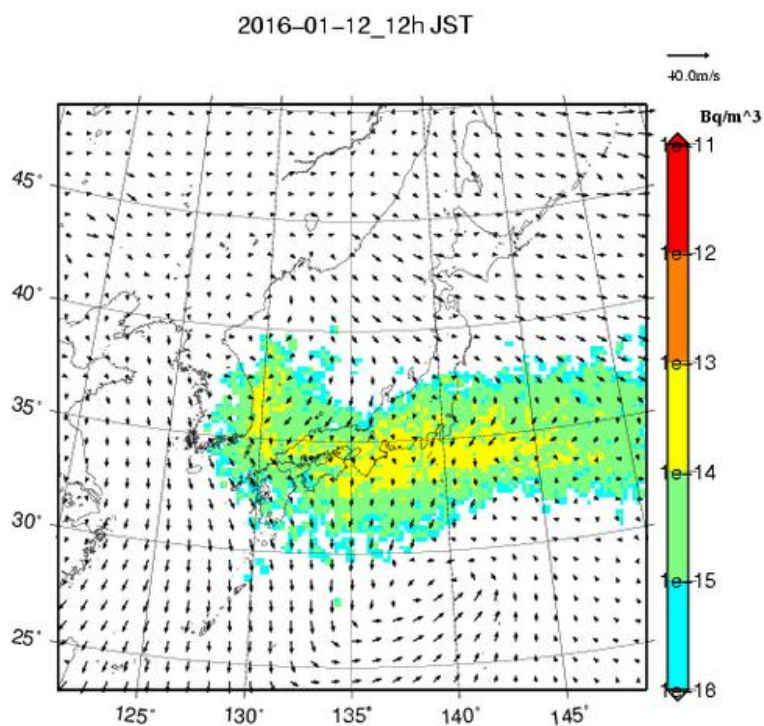


2016/1/12_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

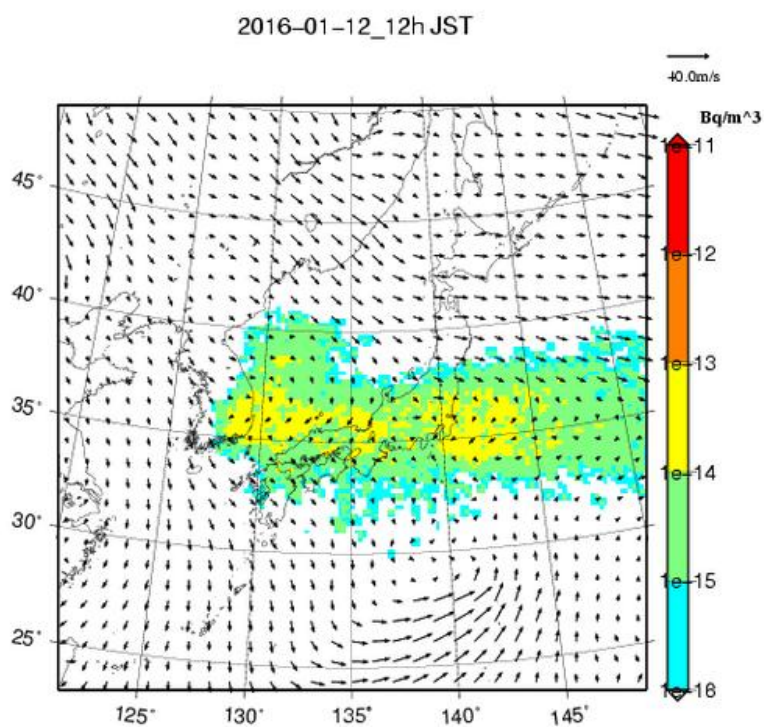


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_12:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

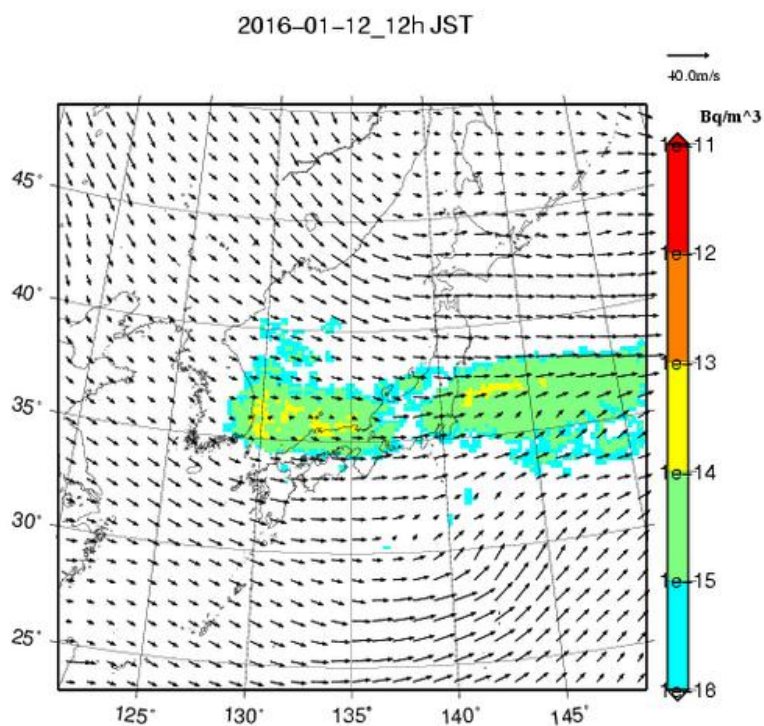


2016/1/12_12:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

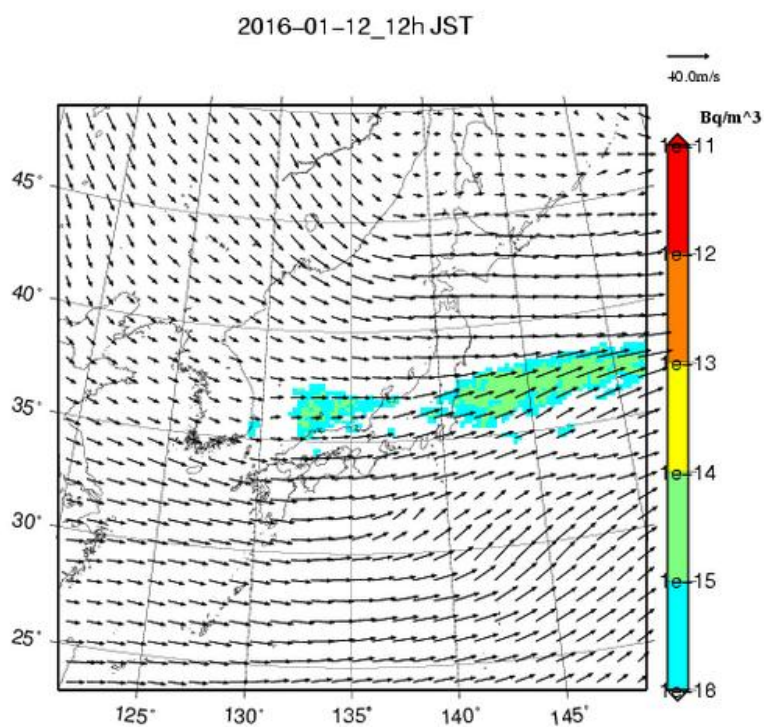


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

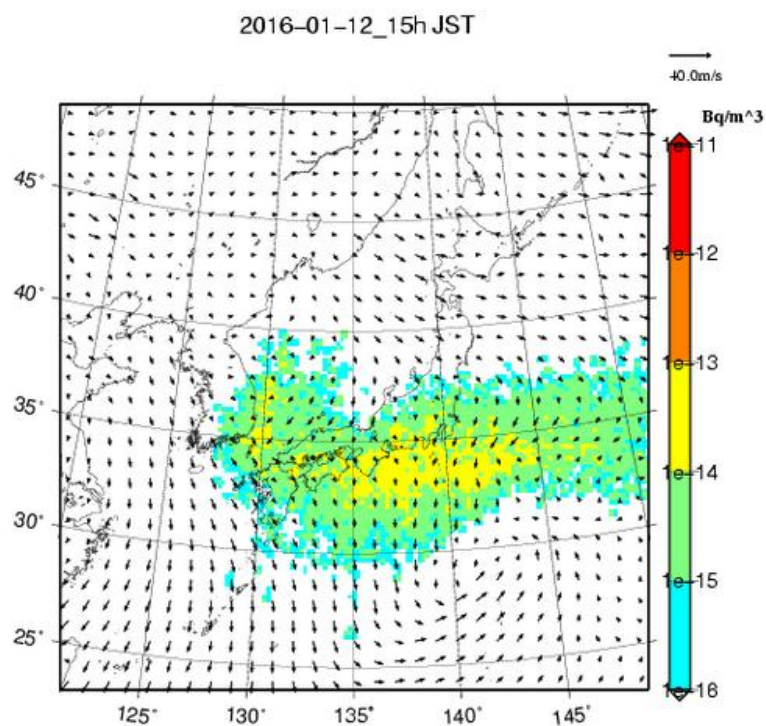


2016/1/12_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

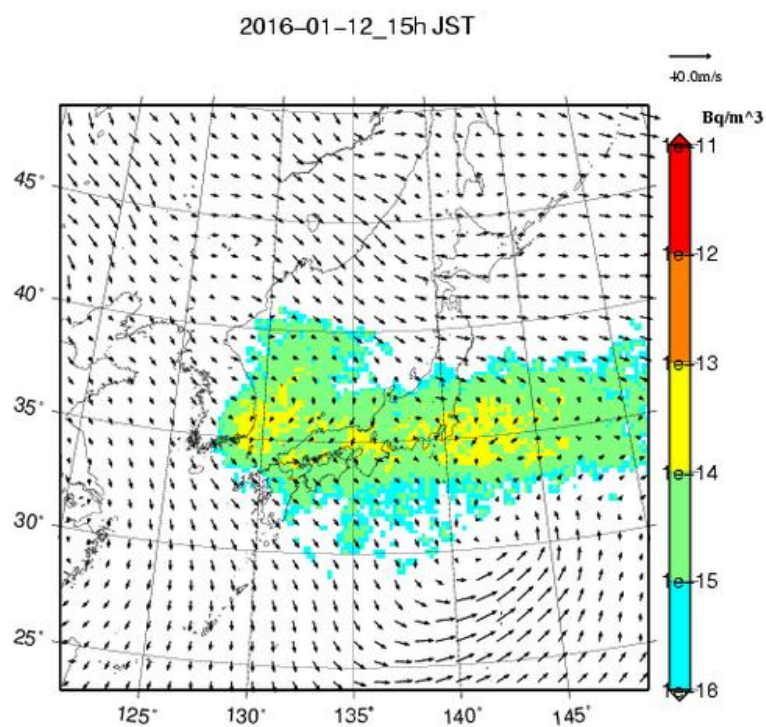


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_15:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

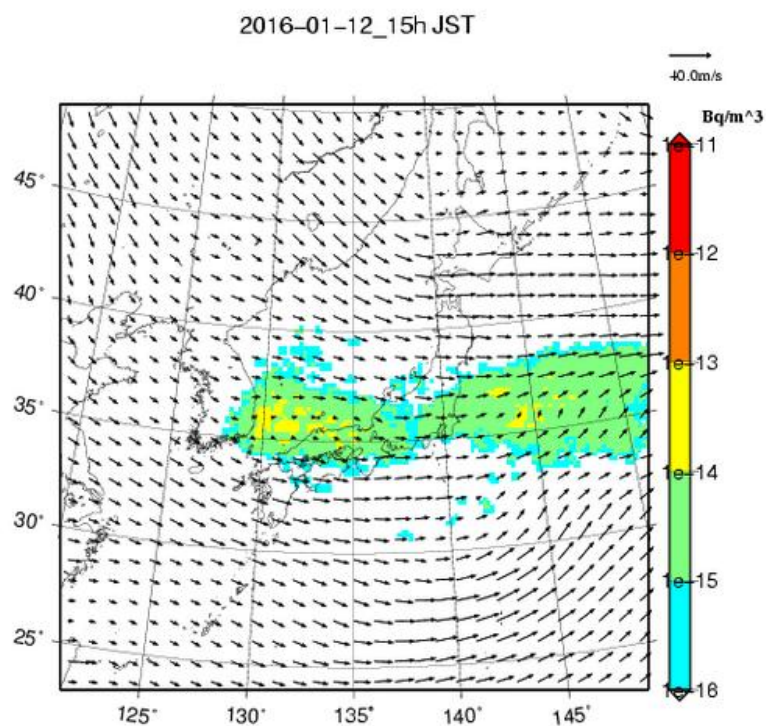


2016/1/12_15:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

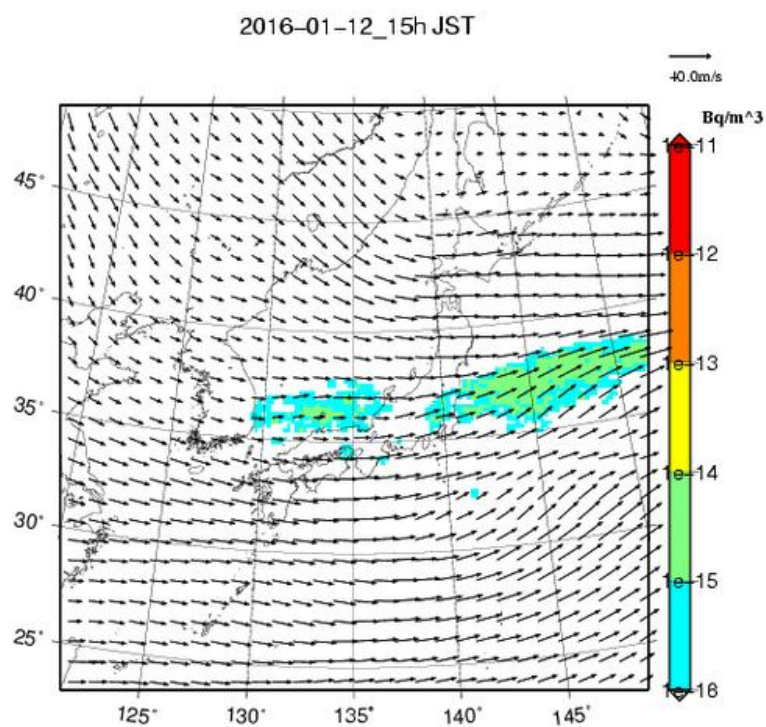


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

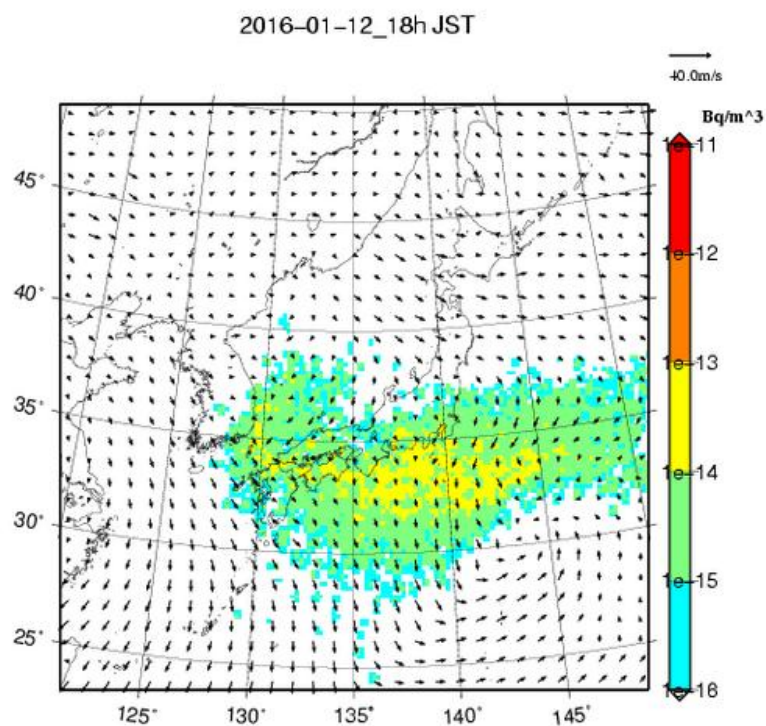


2016/1/12_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

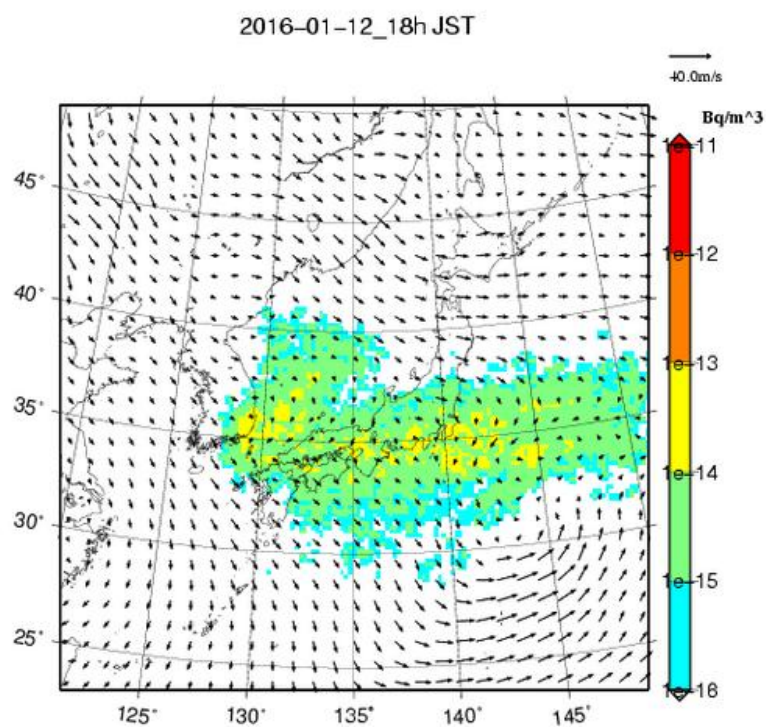


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_18:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

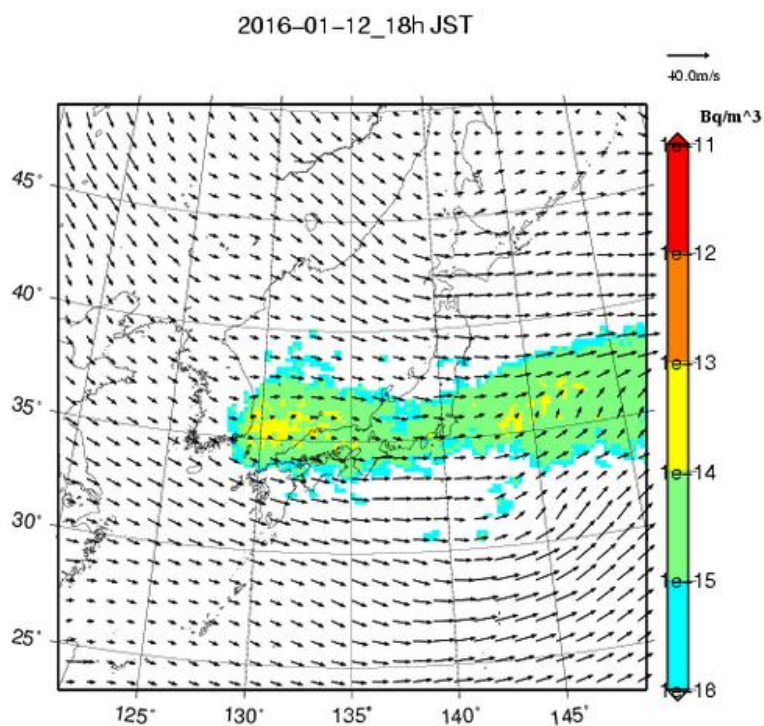


2016/1/12_18:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

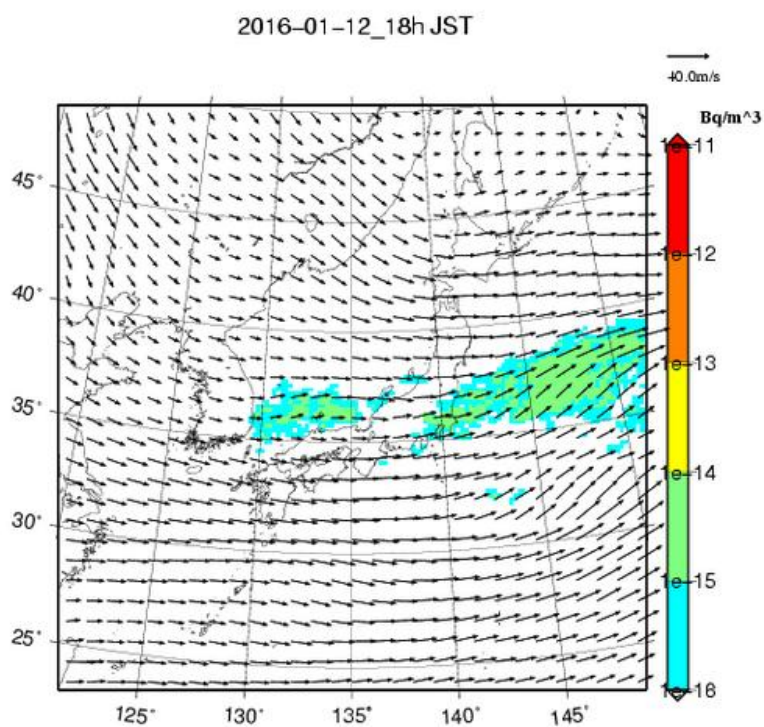


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

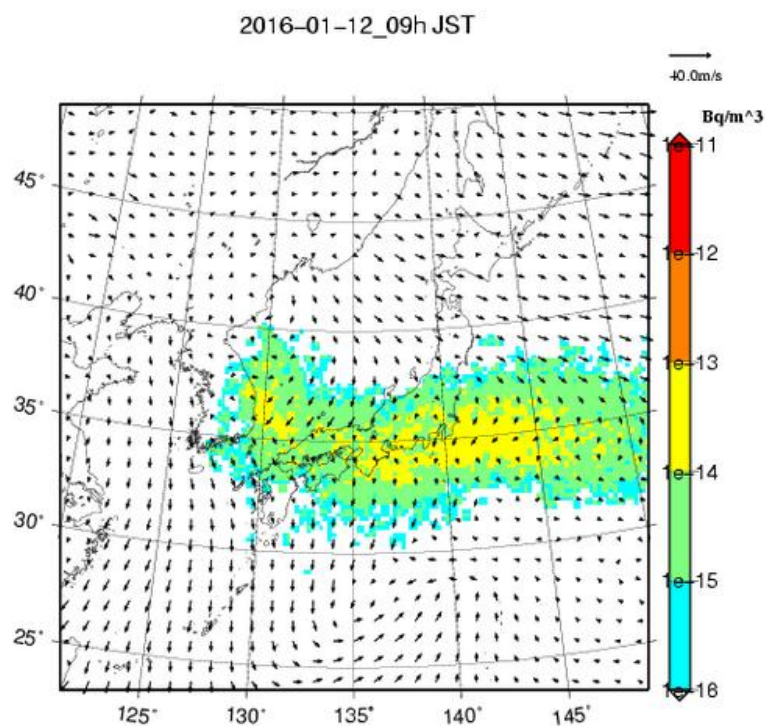


2016/1/12_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

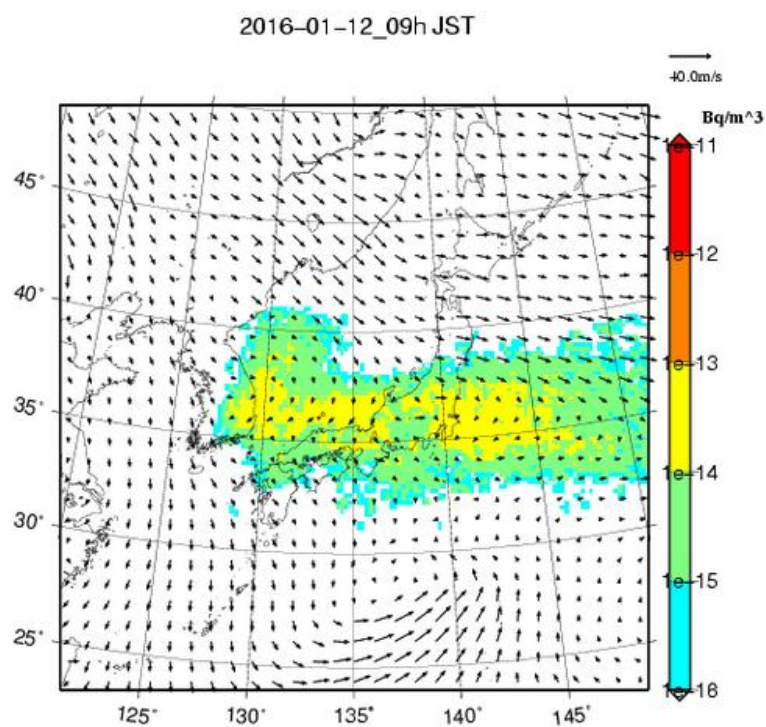


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_9:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

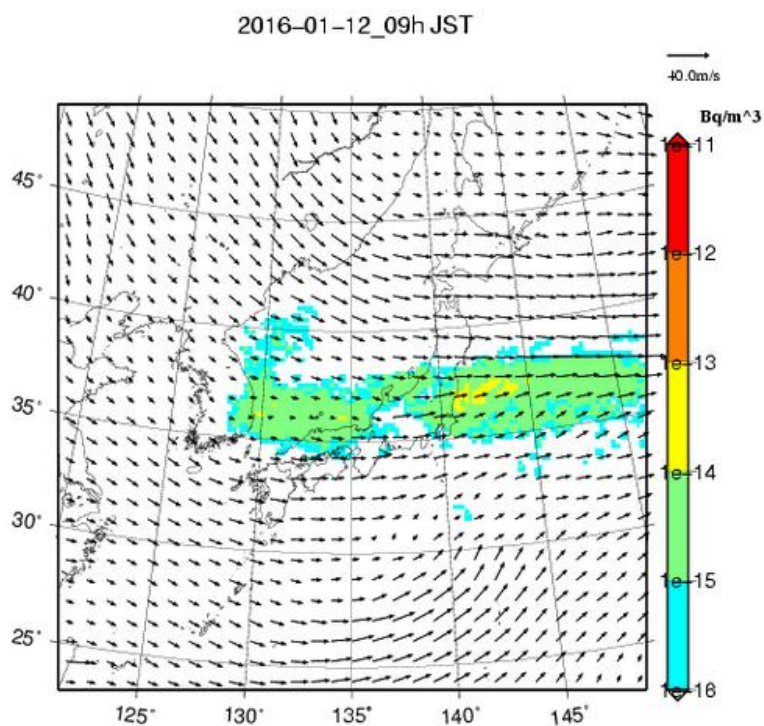


2016/1/12_9:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

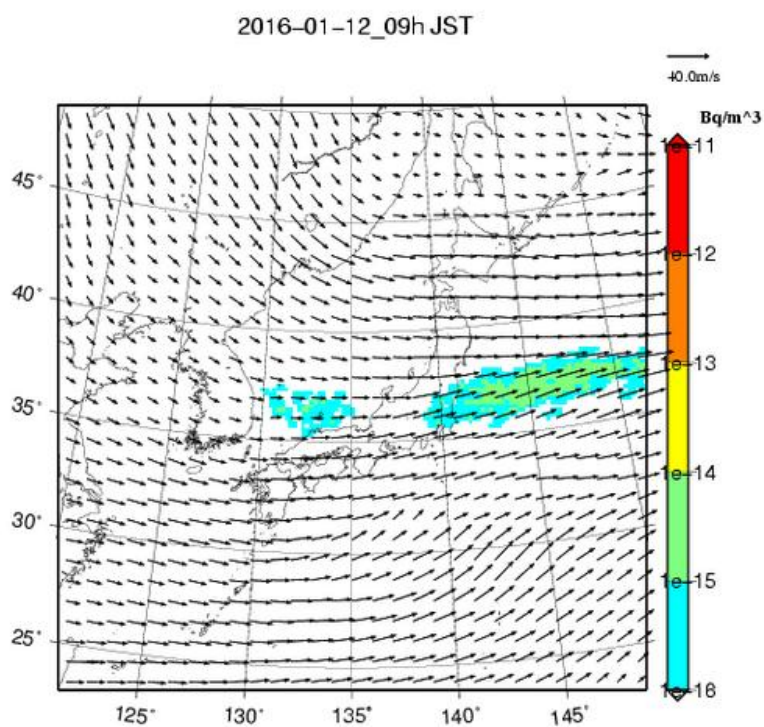


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

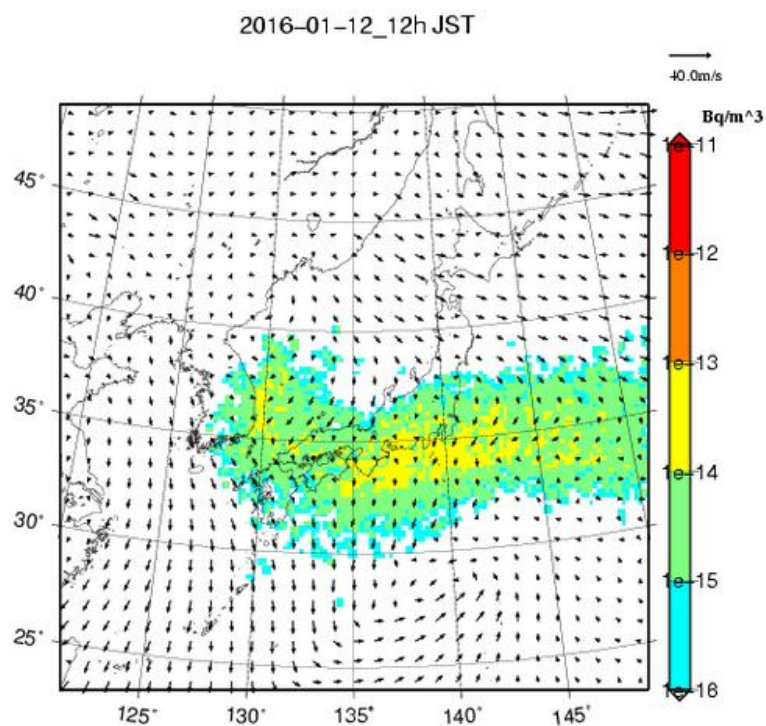


2016/1/12_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

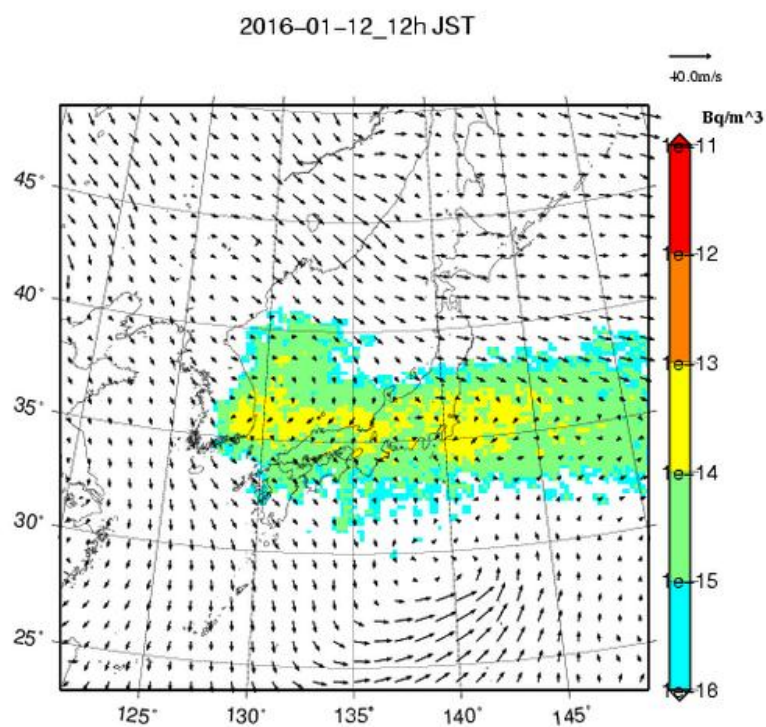


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_12:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

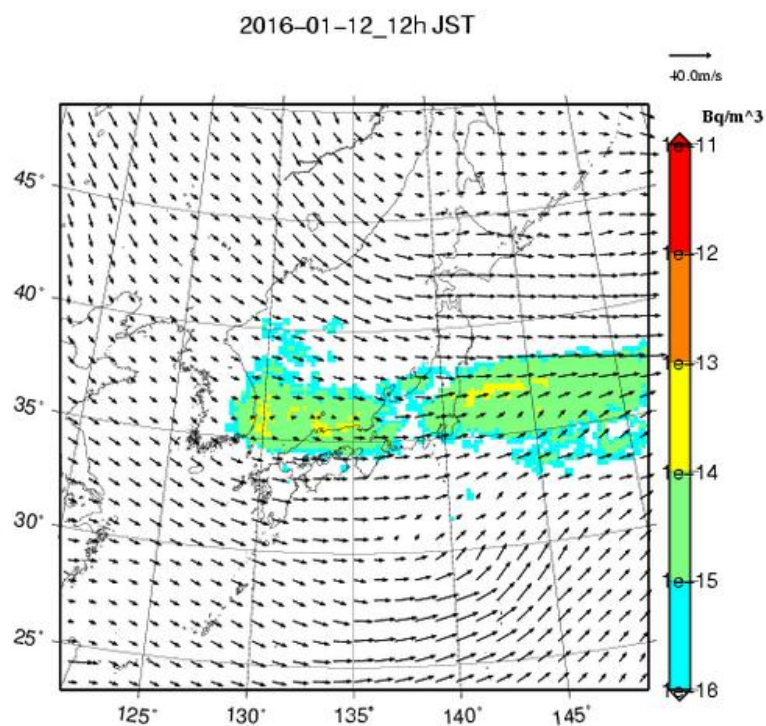


2016/1/12_12:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

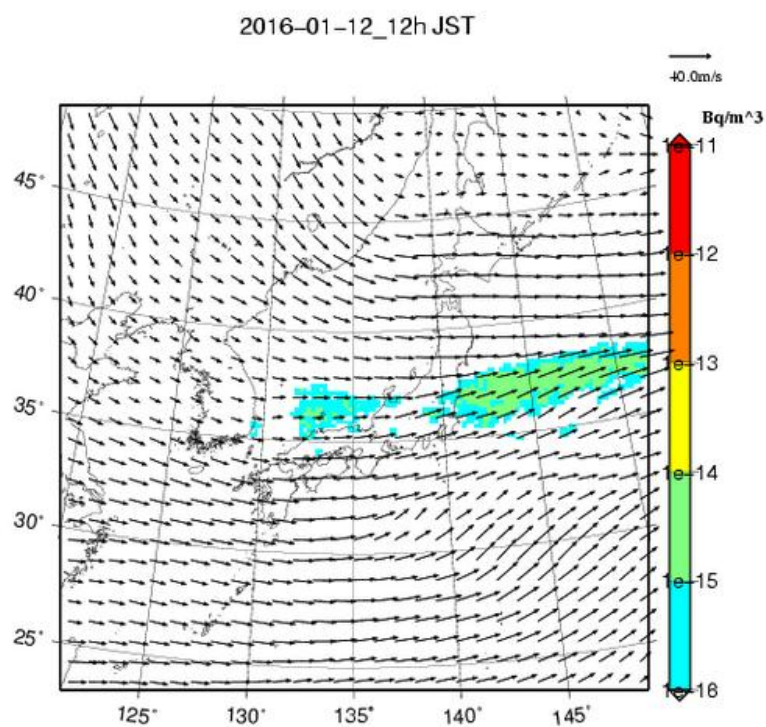


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

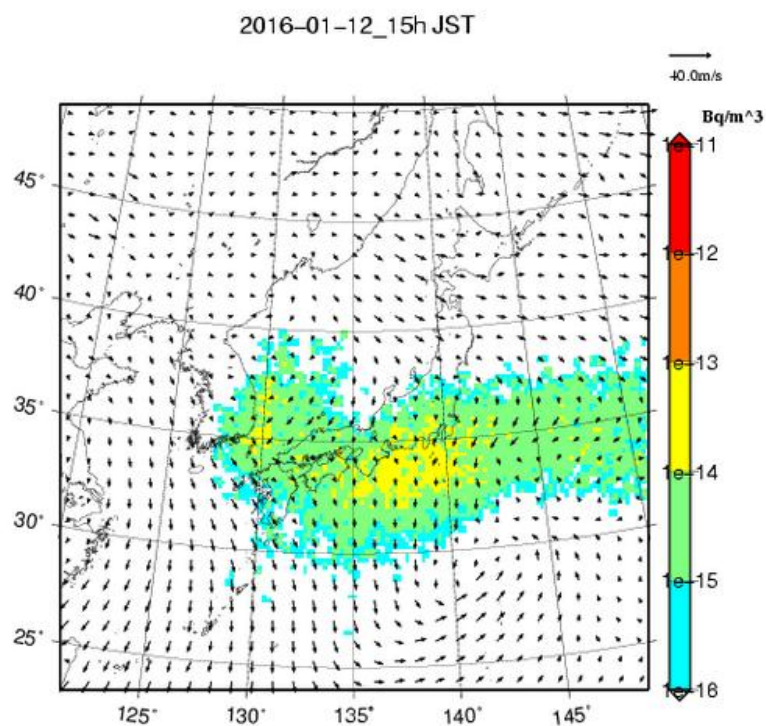


2016/1/12_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

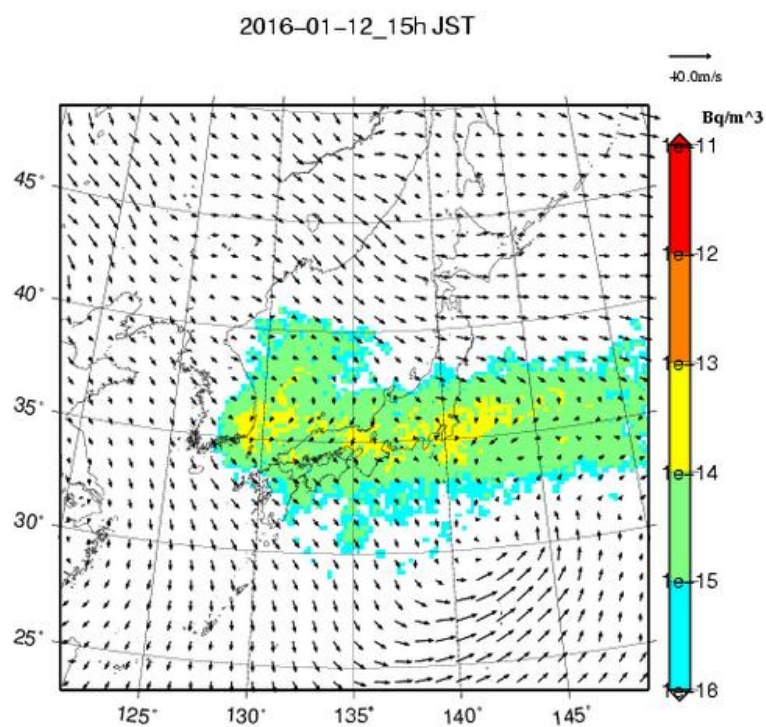


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_15:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

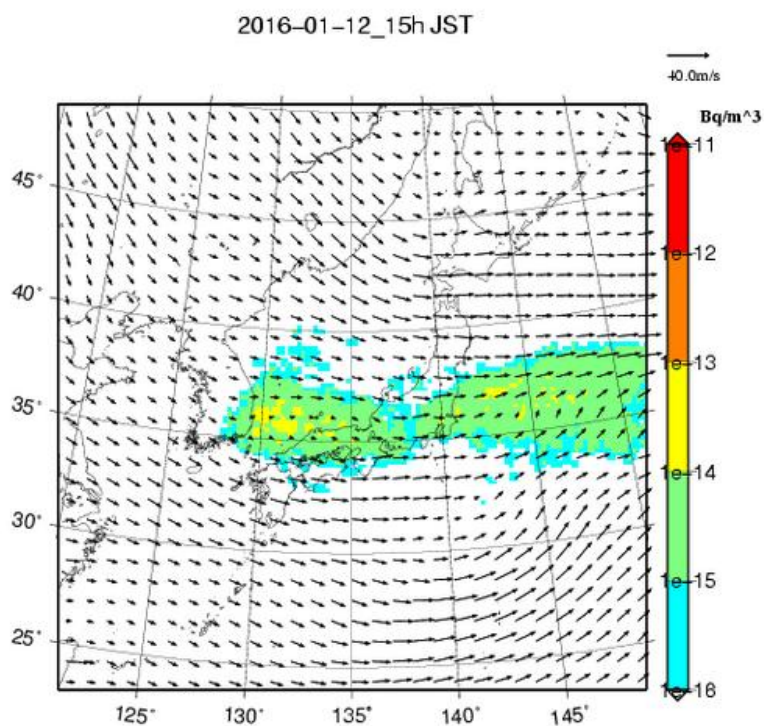


2016/1/12_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

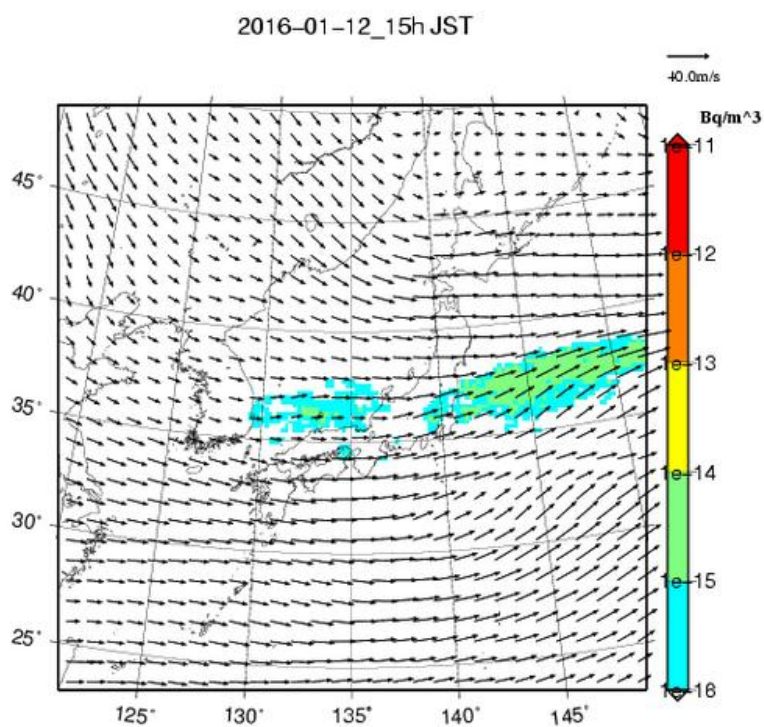


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

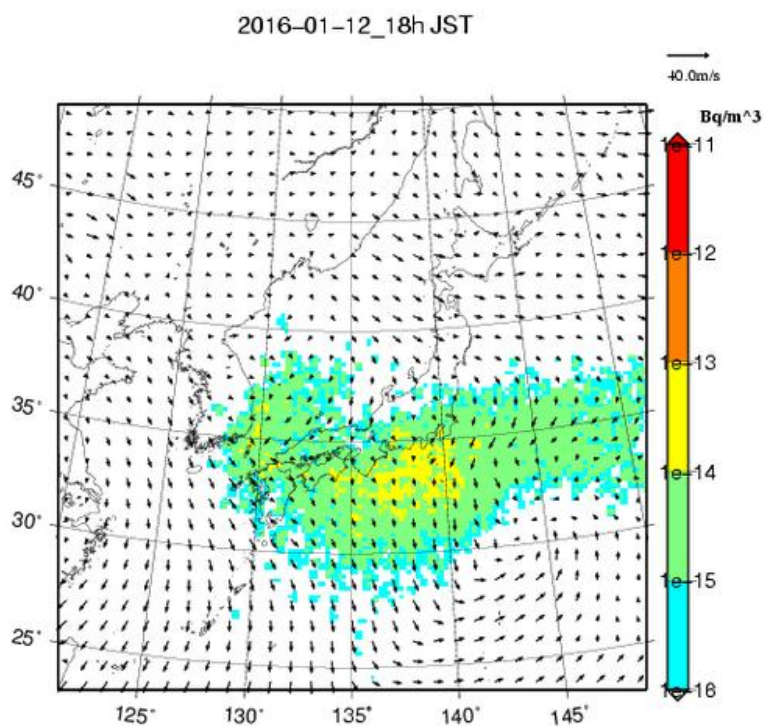


2016/1/12_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

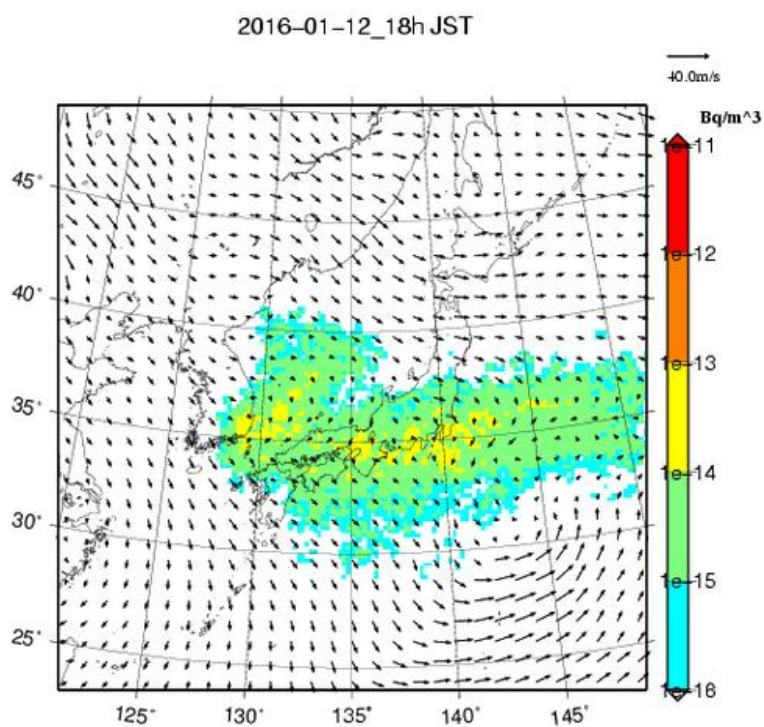


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_18:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

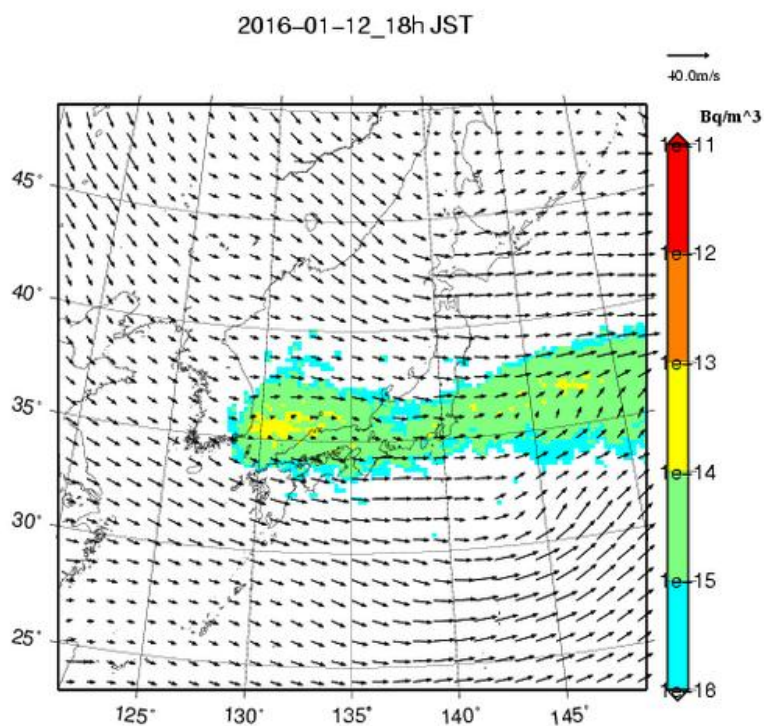


2016/1/12_18:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

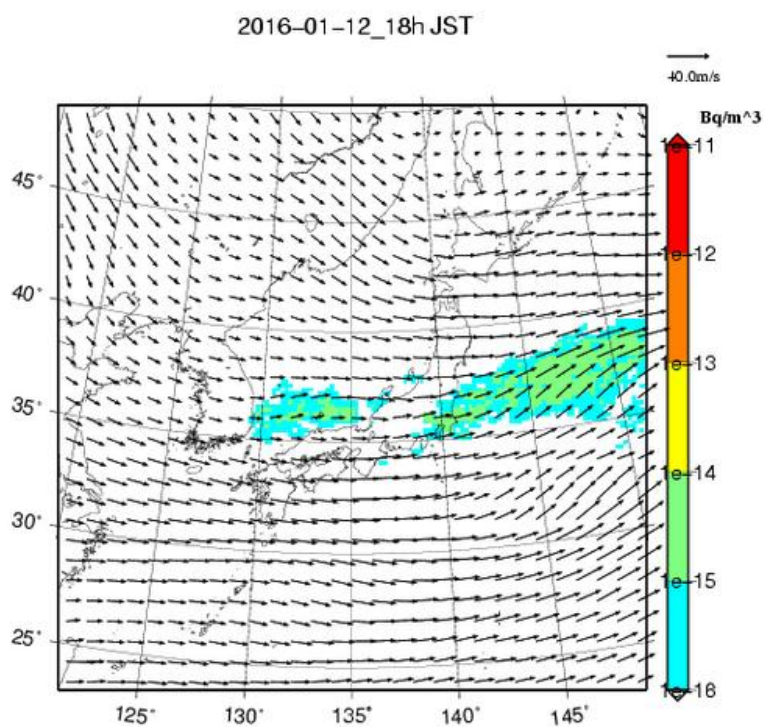


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



2016/1/12_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

北朝鮮の核実験実施を想定した WSPEEDI-II による放射能拡散予測結果 (1 2)

標記について、仮定計算条件に基づく予測結果は以下のとおりです。

1. 仮定計算条件

放射性物質の種類及び放出率： I-131 (1Bq/h)
Xe-133 (1Bq/h)
Cs-137 (1Bq/h)

放出場所：東経 129.1 度、北緯 41.3 度

放出期間：1 月 11 日 00:00 から 24 時間放出と仮定

2. 結果出力 (計 48 図形)

① I-131 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 12 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

② Xe-133 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 12 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

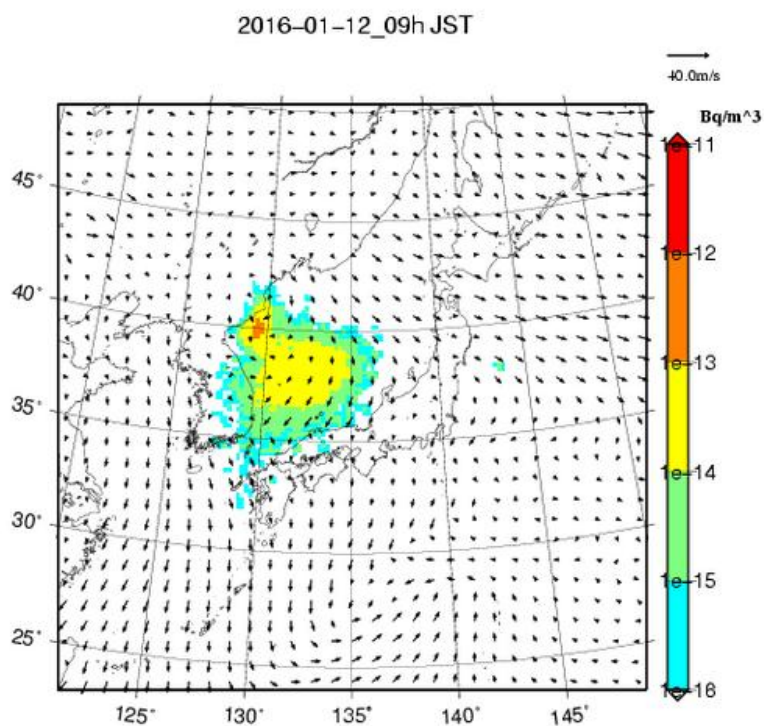
高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

③ Cs-137 の大気中濃度の水平分布図

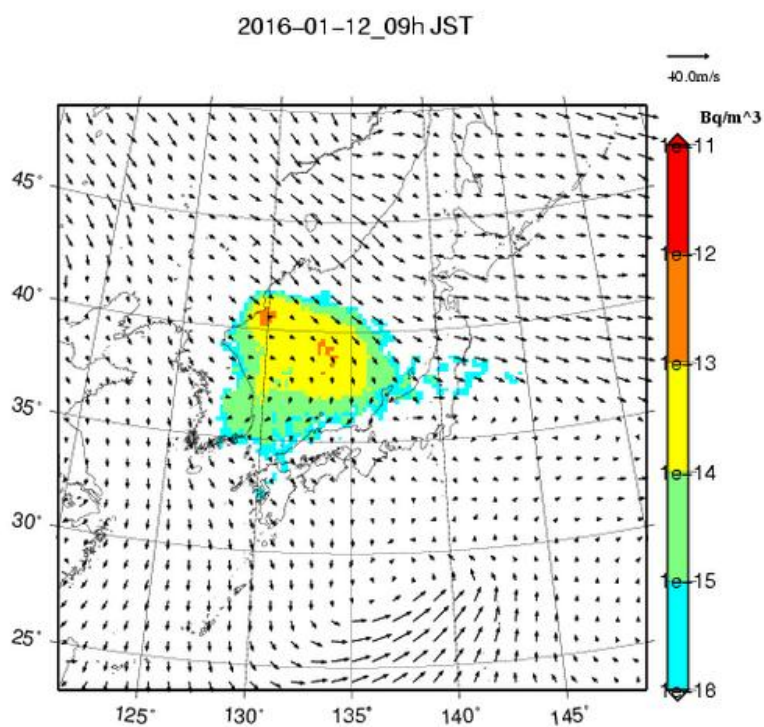
時刻：1 月 12 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

2016/1/12_9:00 地表面 空気中濃度 (ヨウ素 131)

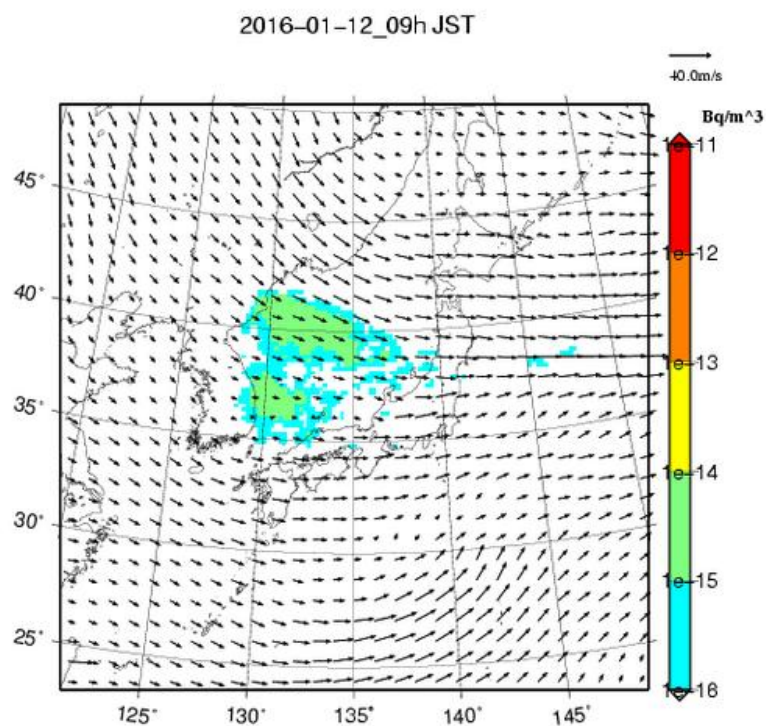


2016/1/12_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (ヨウ素 131)

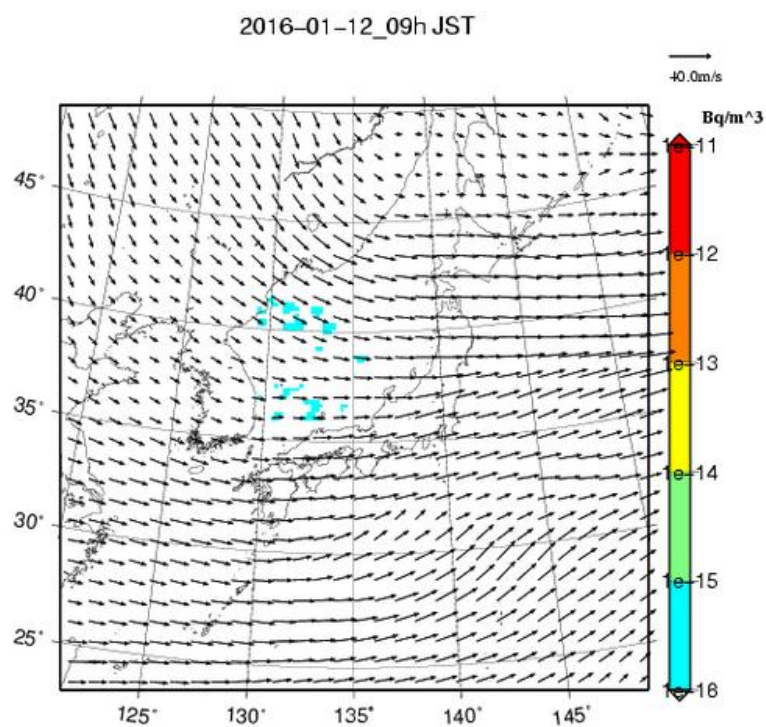


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

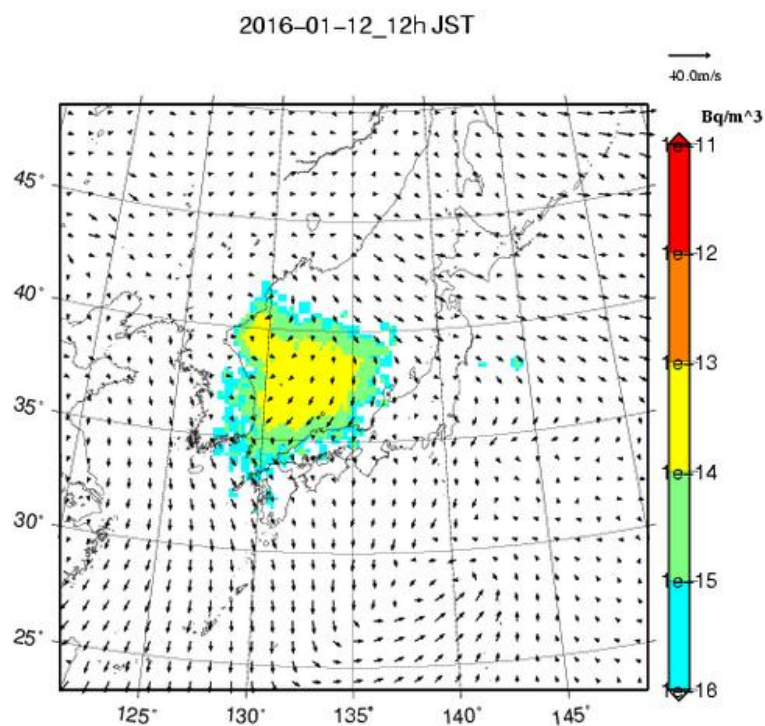


2016/1/12_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

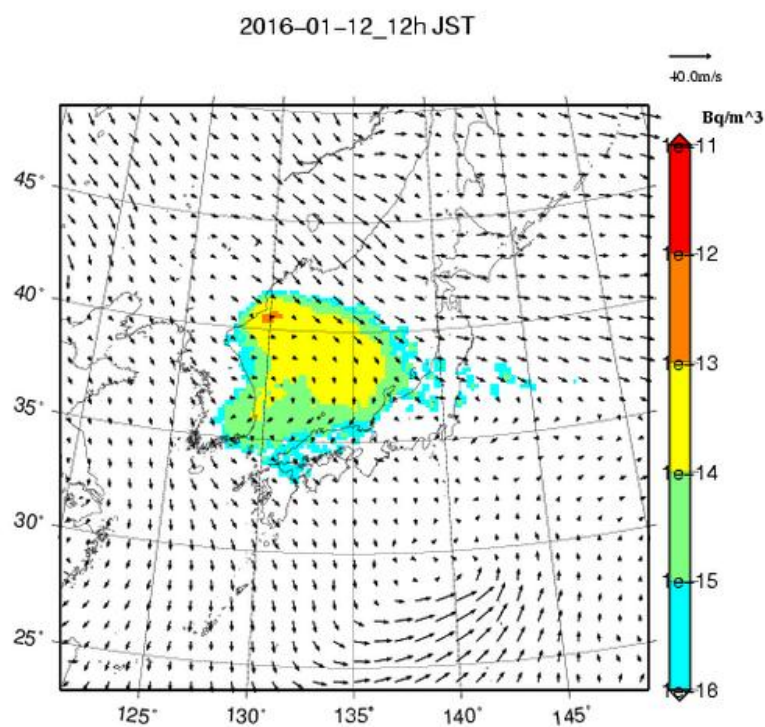


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_12:00 地表面 空気中濃度（ヨウ素 131）

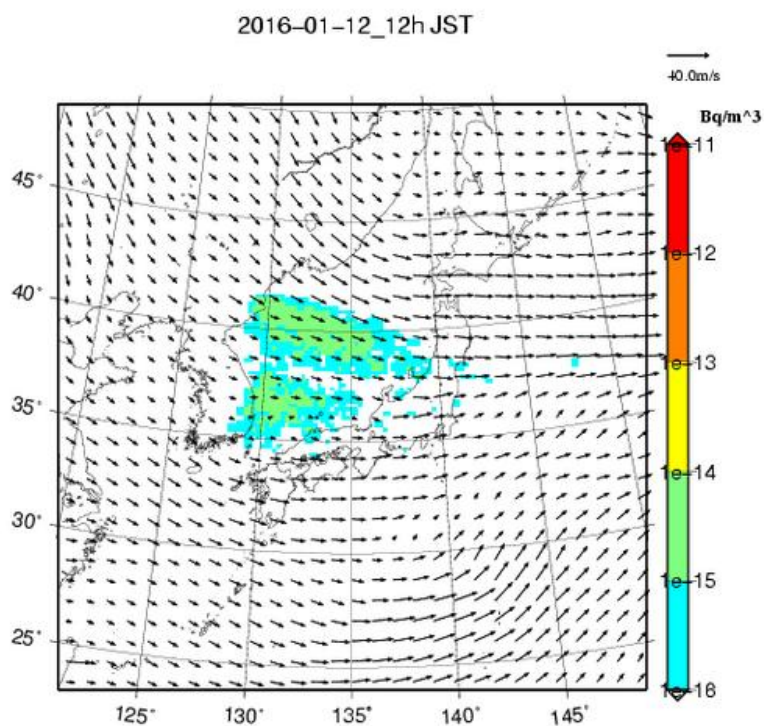


2016/1/12_12:00 上空 1,000m 空気中濃度（ヨウ素 131）

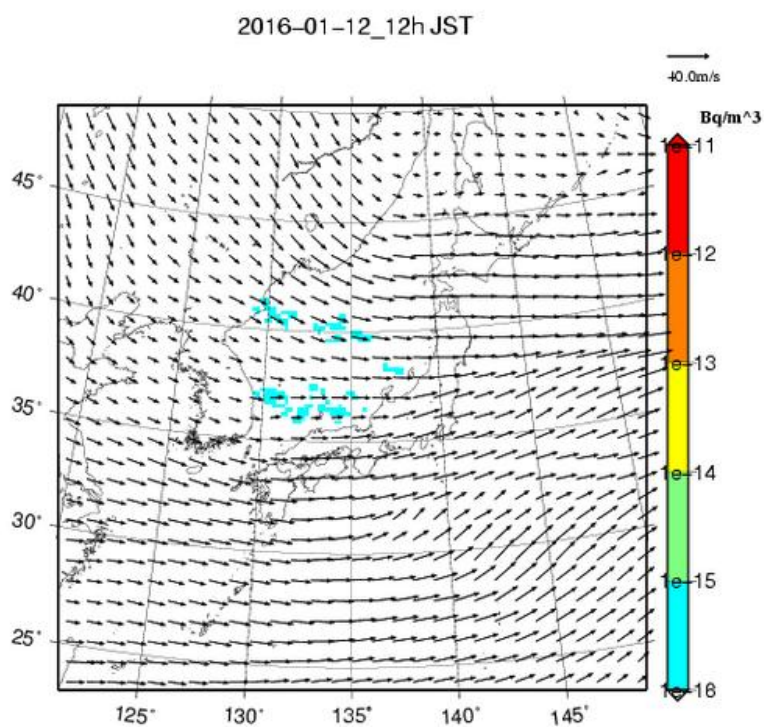


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

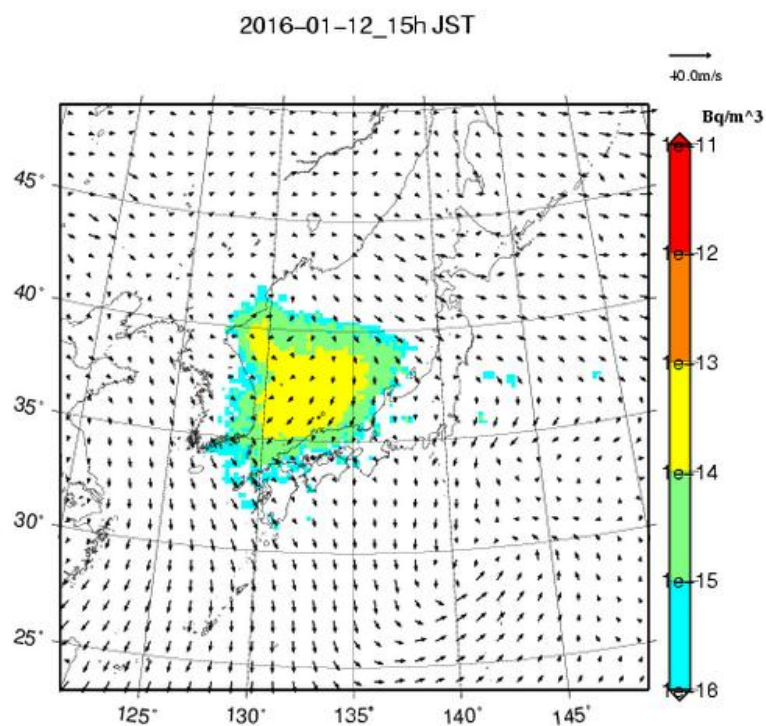


2016/1/12_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

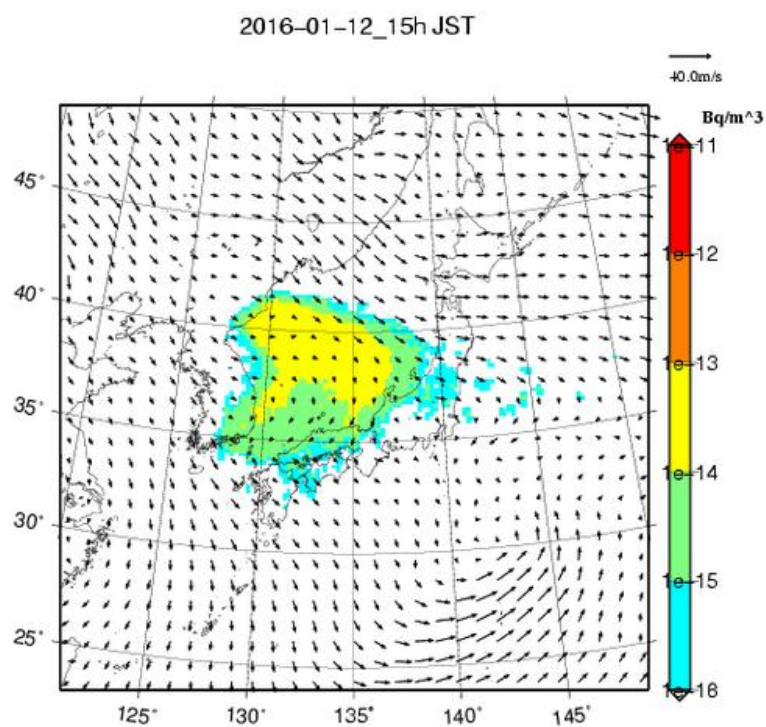


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_15:00 地表面 空気中濃度（ヨウ素 131）

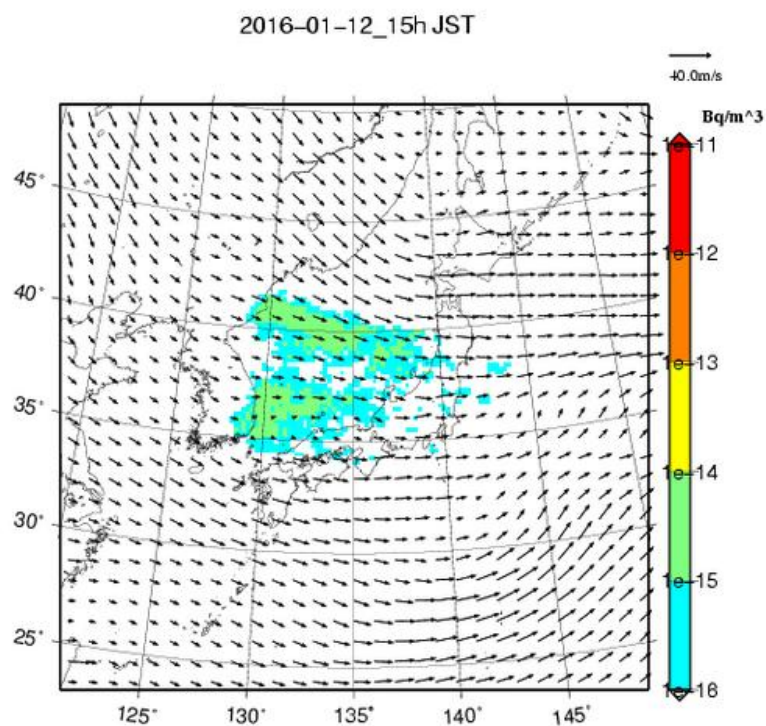


2016/1/12_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（ヨウ素 131）

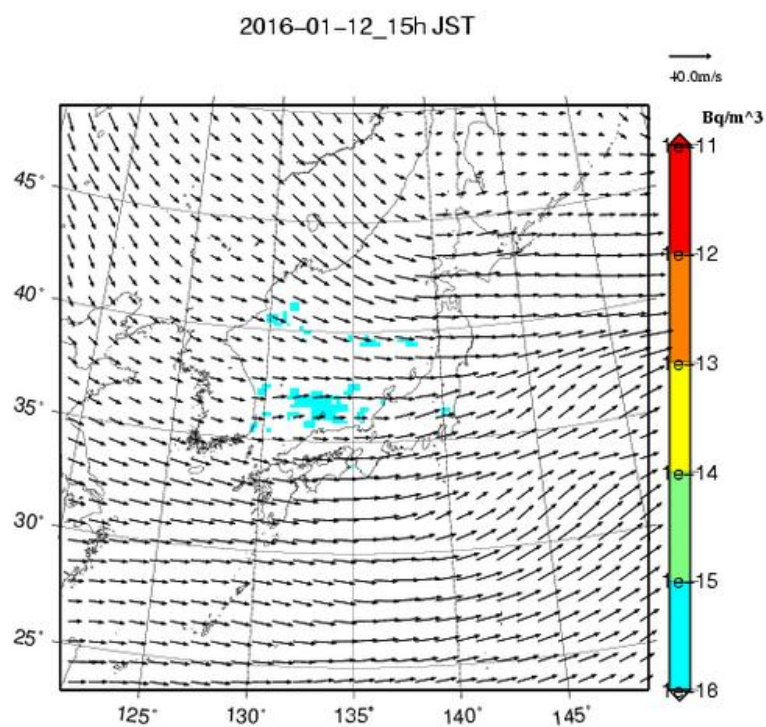


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

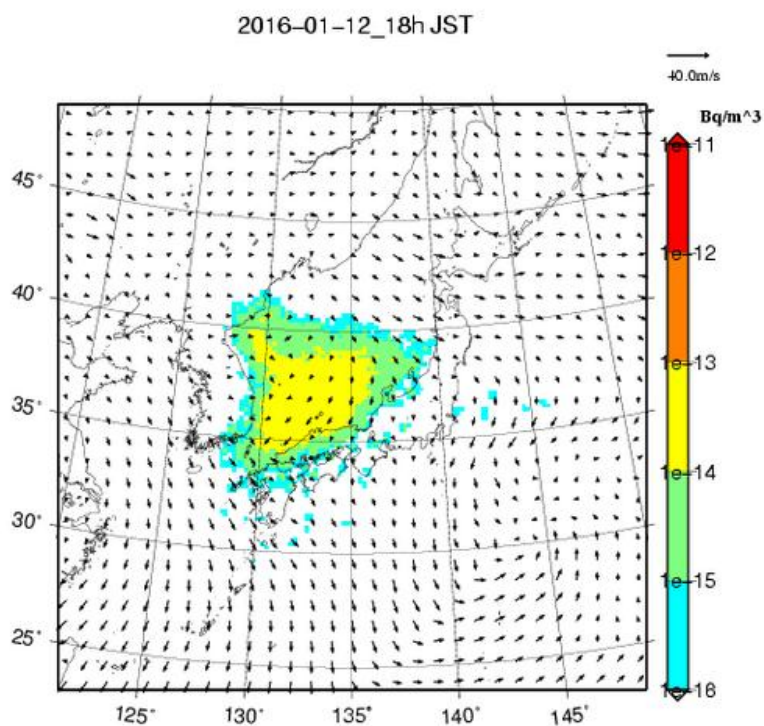


2016/1/12_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

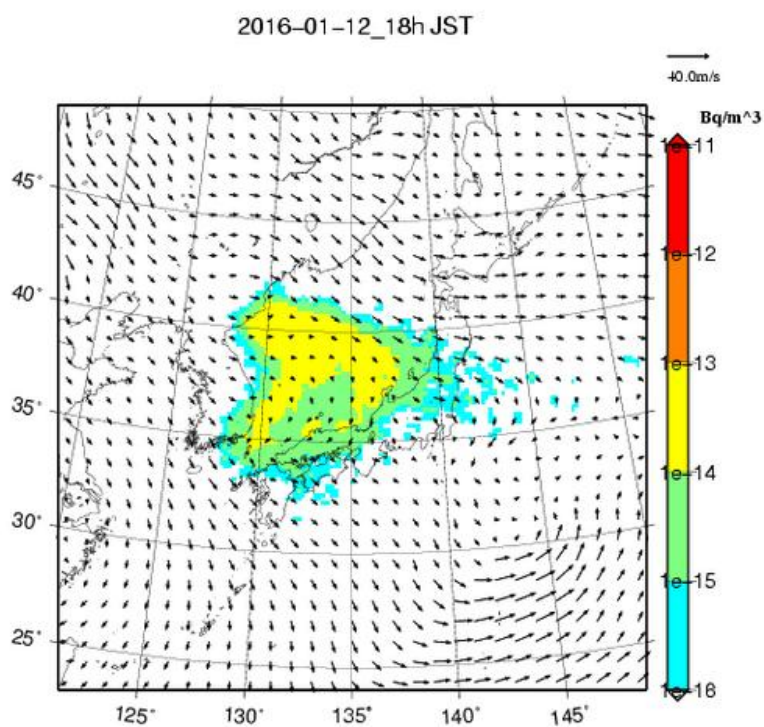


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_18:00 地表面 空気中濃度 (ヨウ素 131)

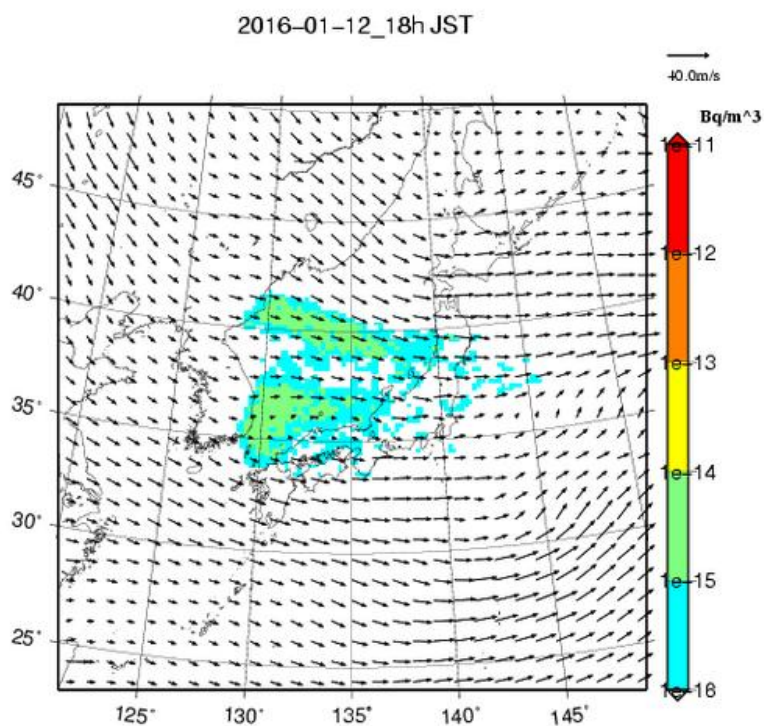


2016/1/12_18:00 上空 1,000m 空気中濃度 (ヨウ素 131)

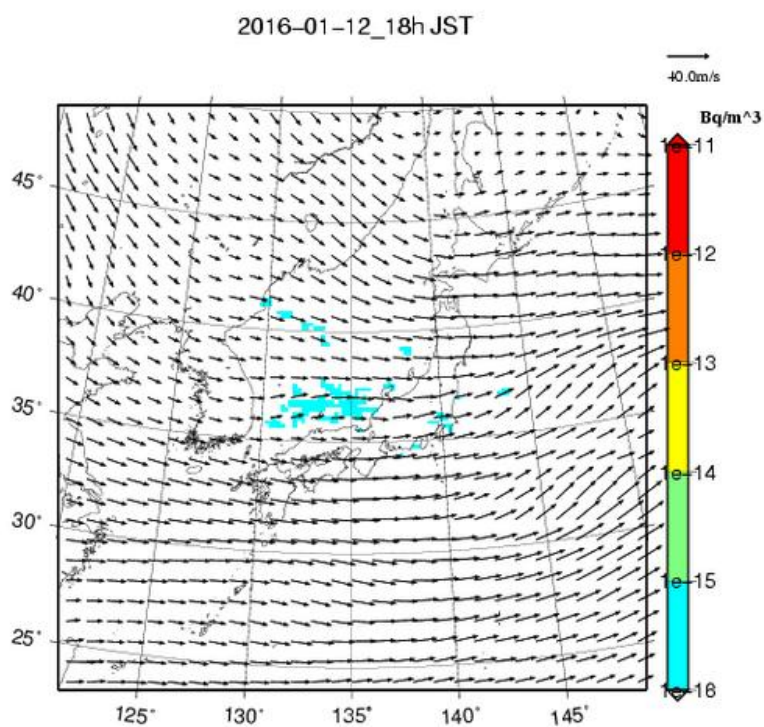


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

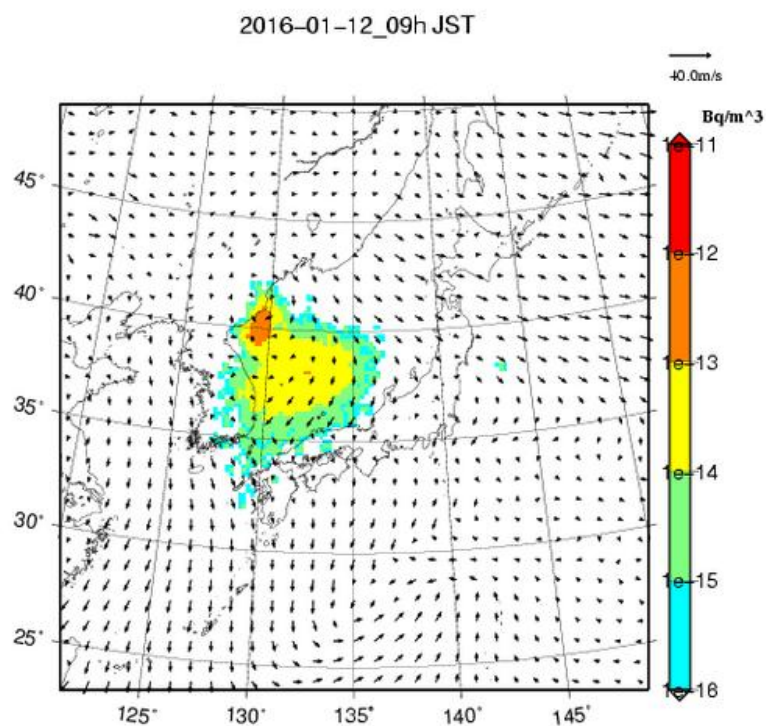


2016/1/12_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

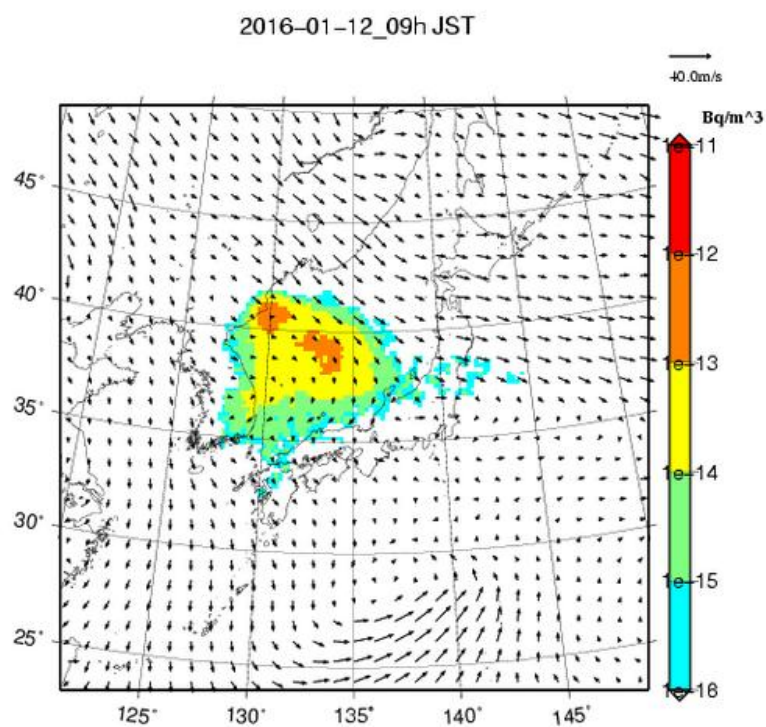


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_9:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

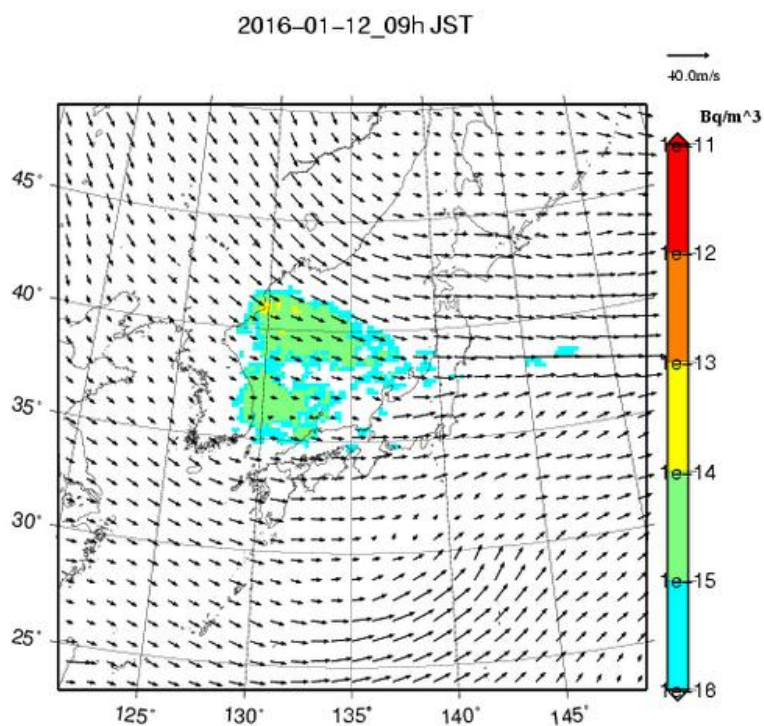


2016/1/12_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

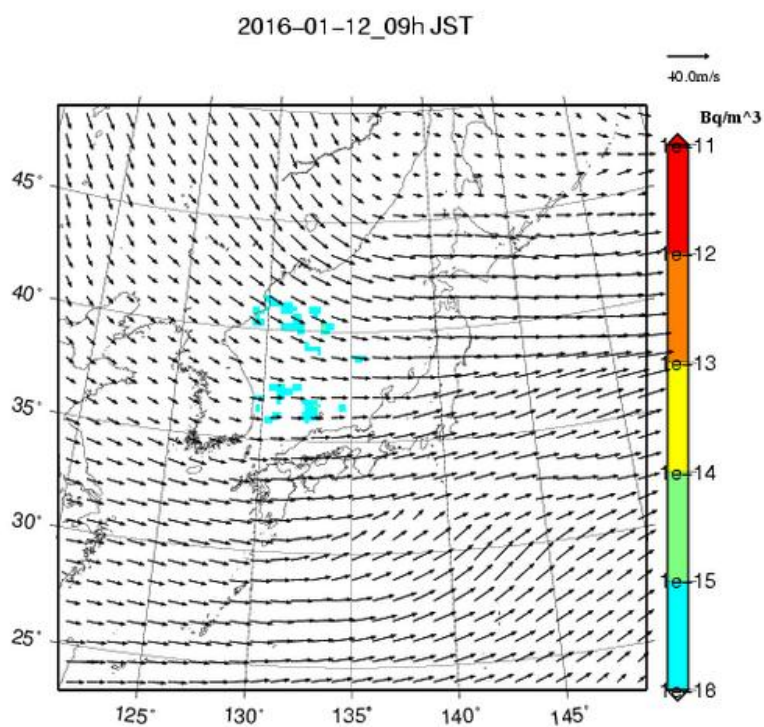


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

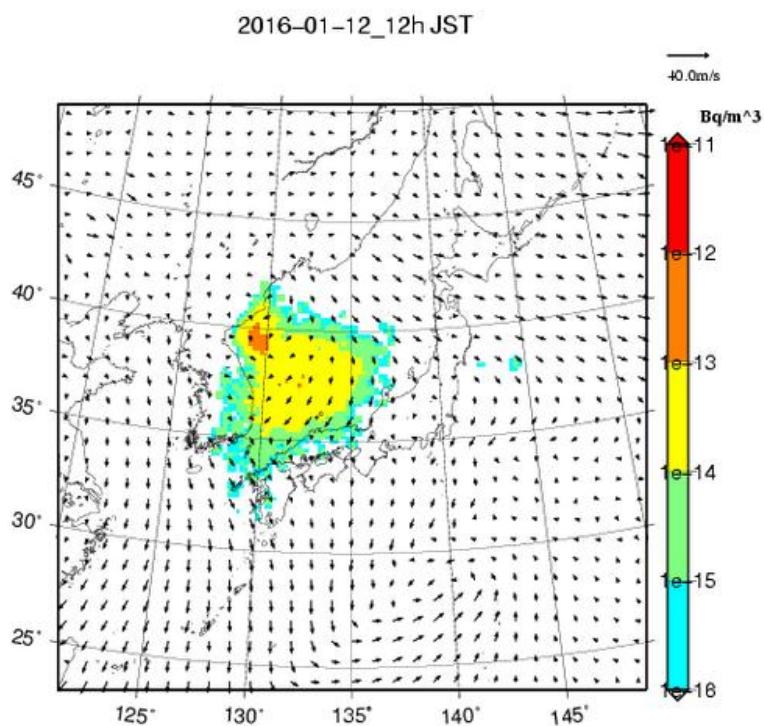


2016/1/12_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

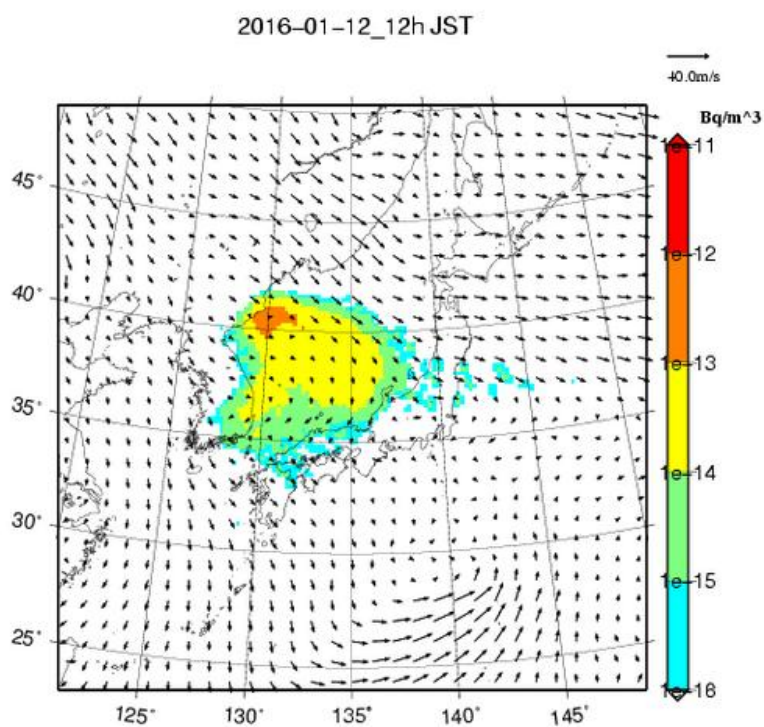


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_12:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

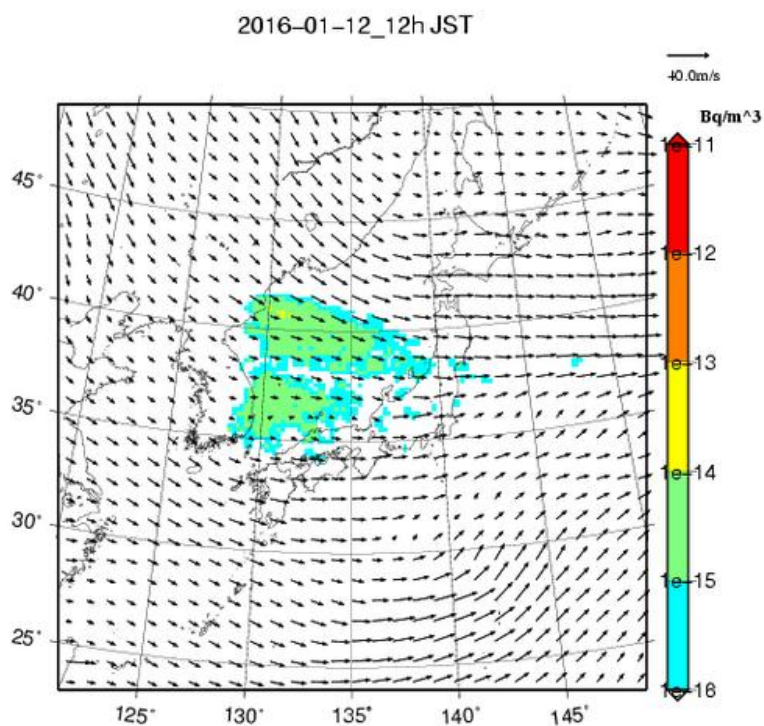


2016/1/12_12:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

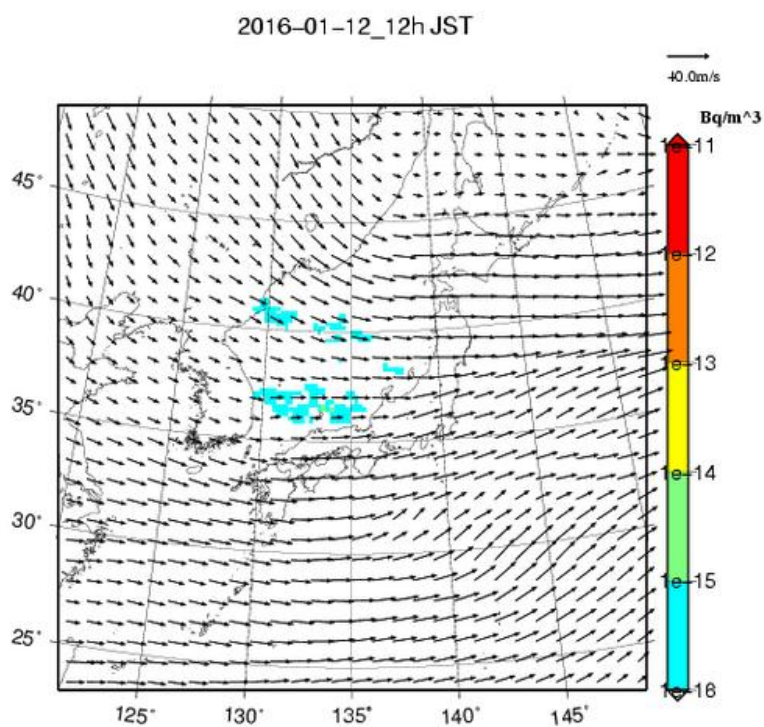


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

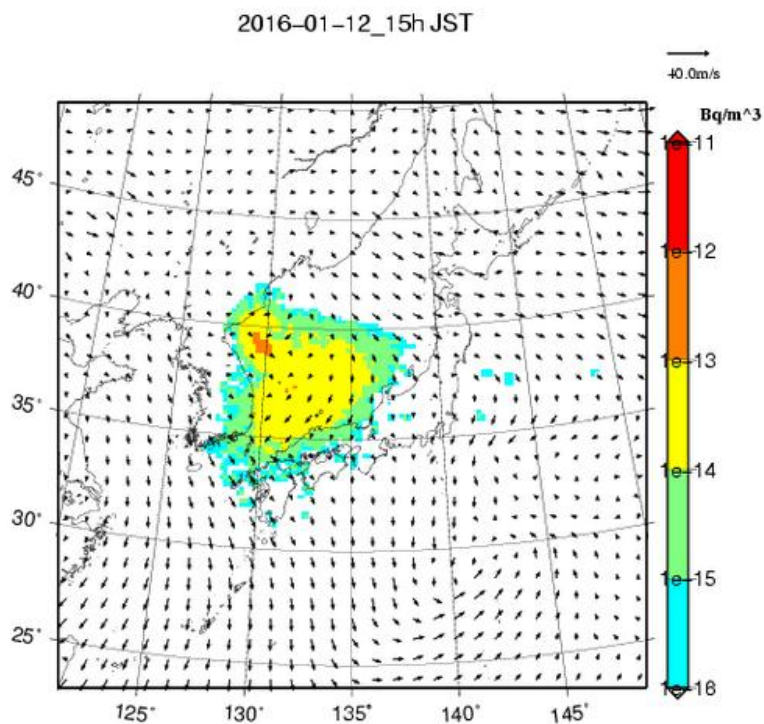


2016/1/12_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

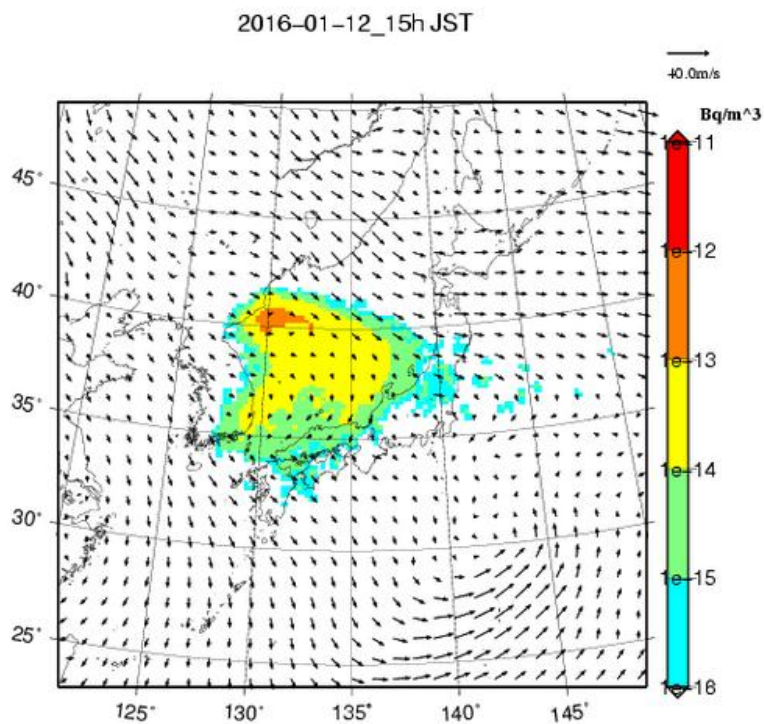


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_15:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

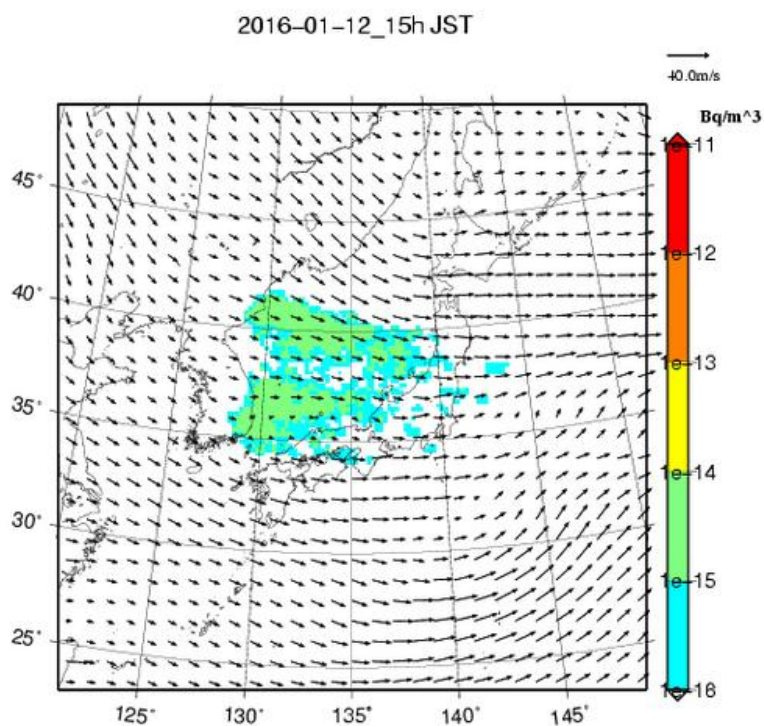


2016/1/12_15:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

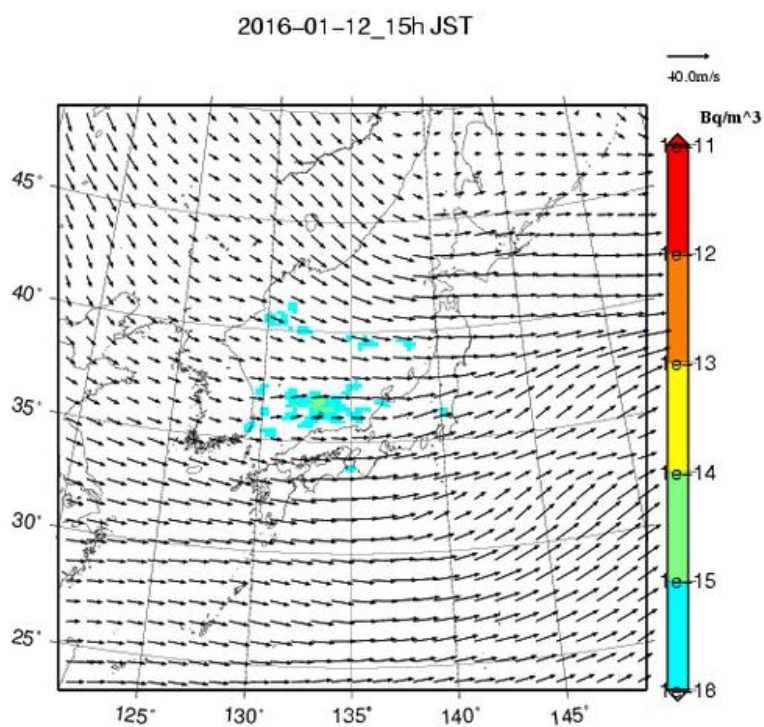


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

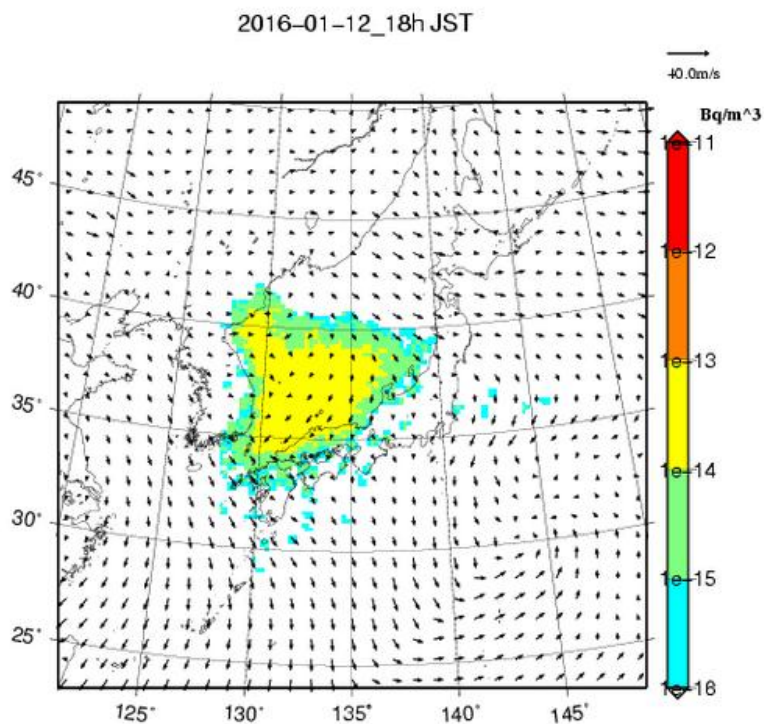


2016/1/12_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

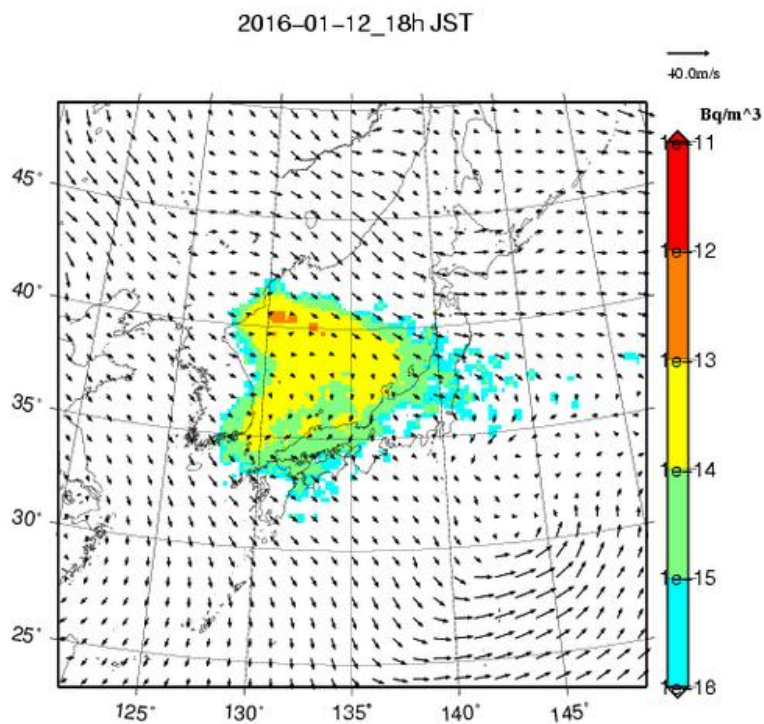


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_18:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

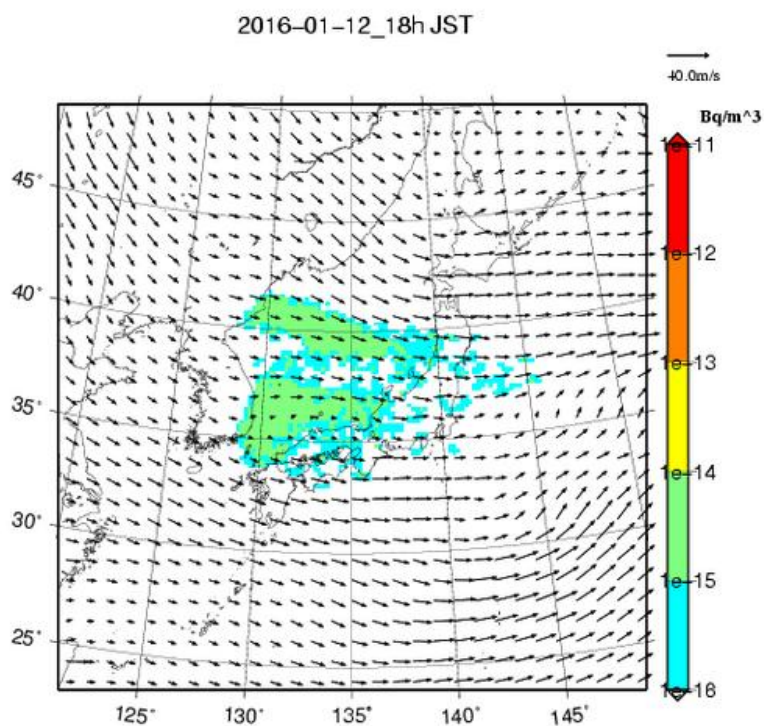


2016/1/12_18:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

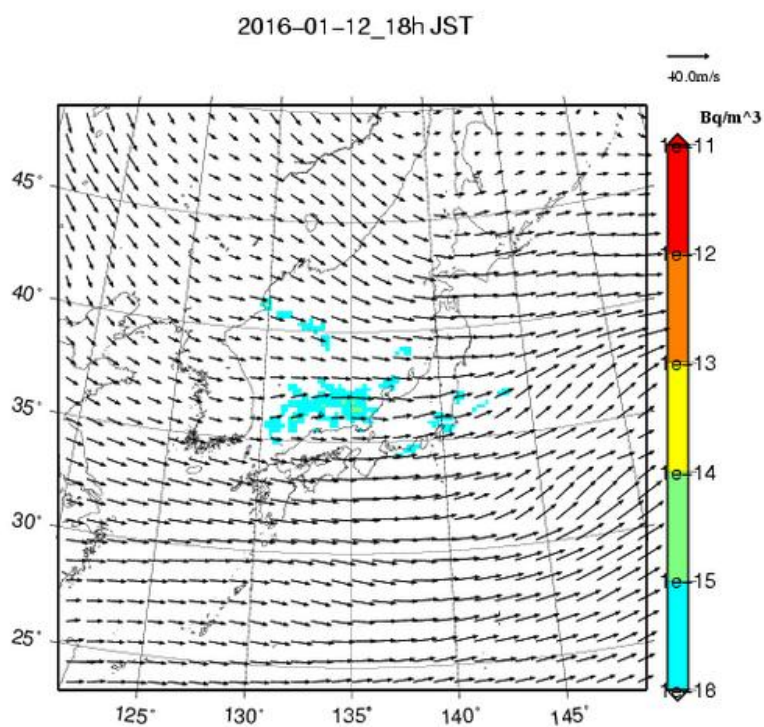


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

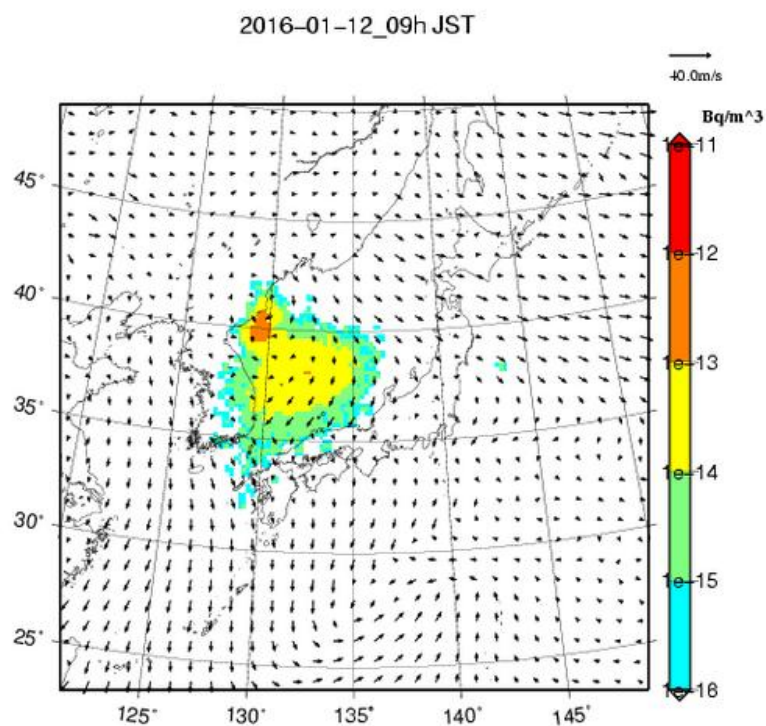


2016/1/12_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

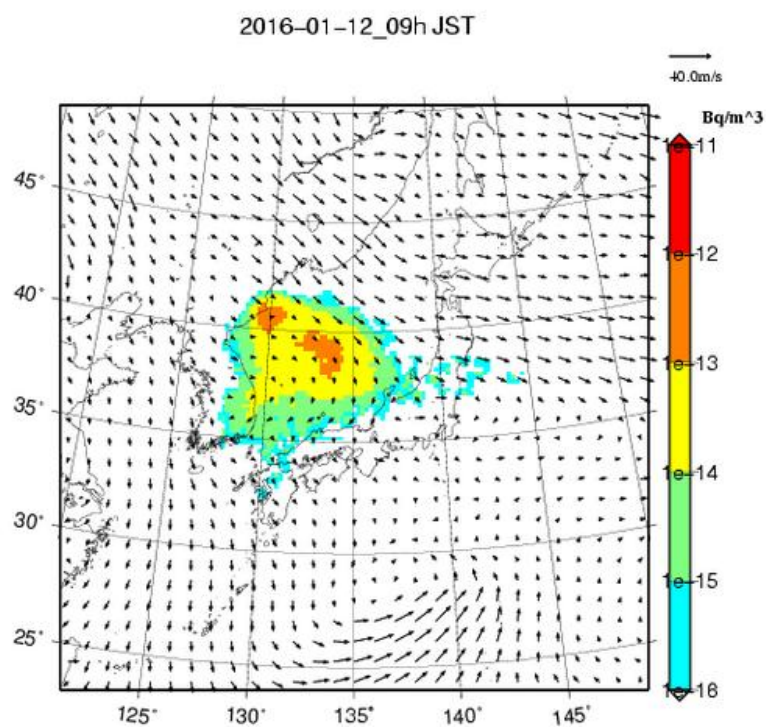


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_9:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

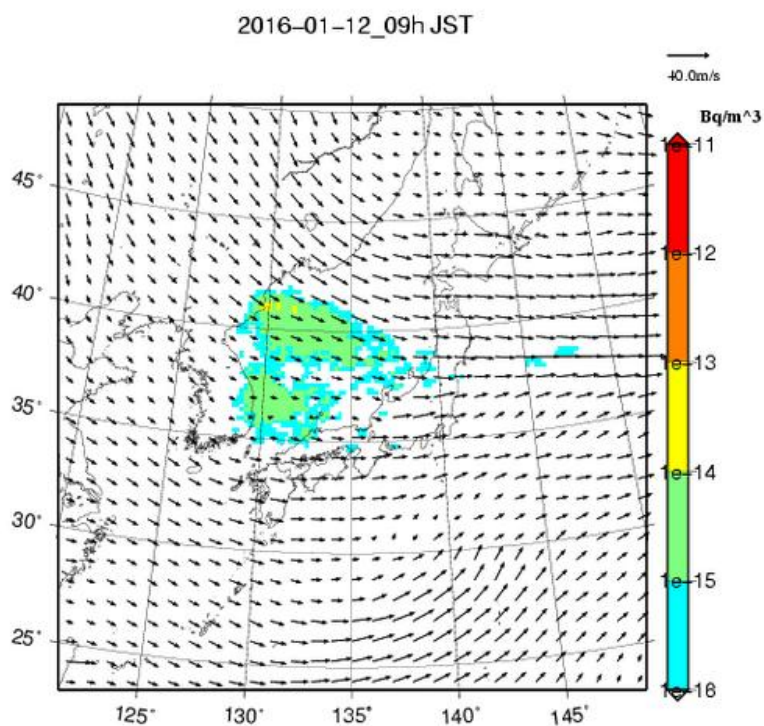


2016/1/12_9:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

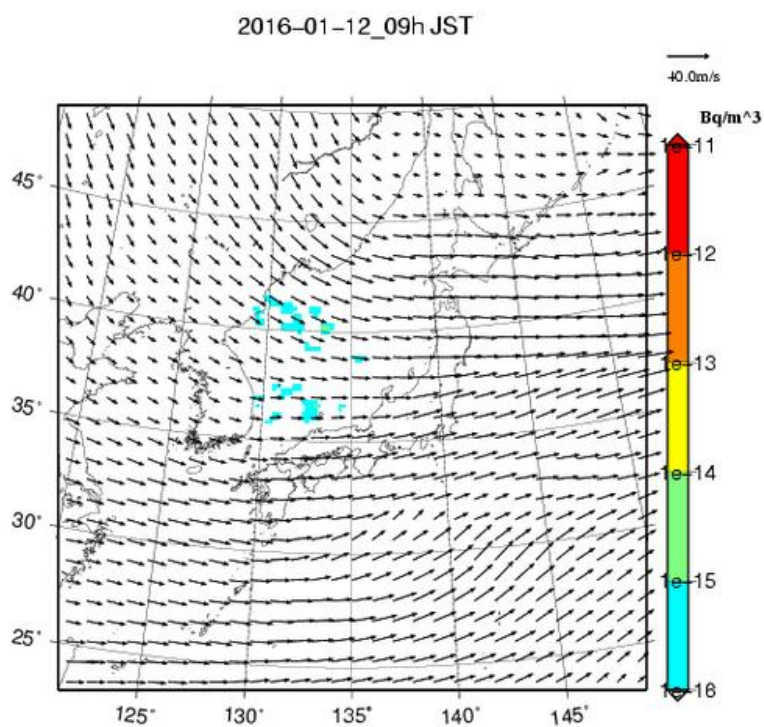


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

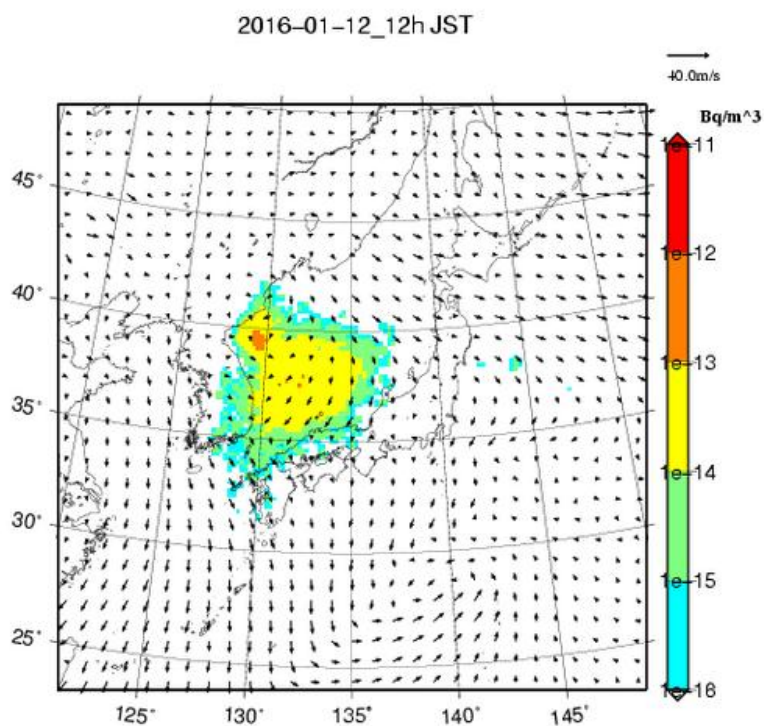


2016/1/12_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

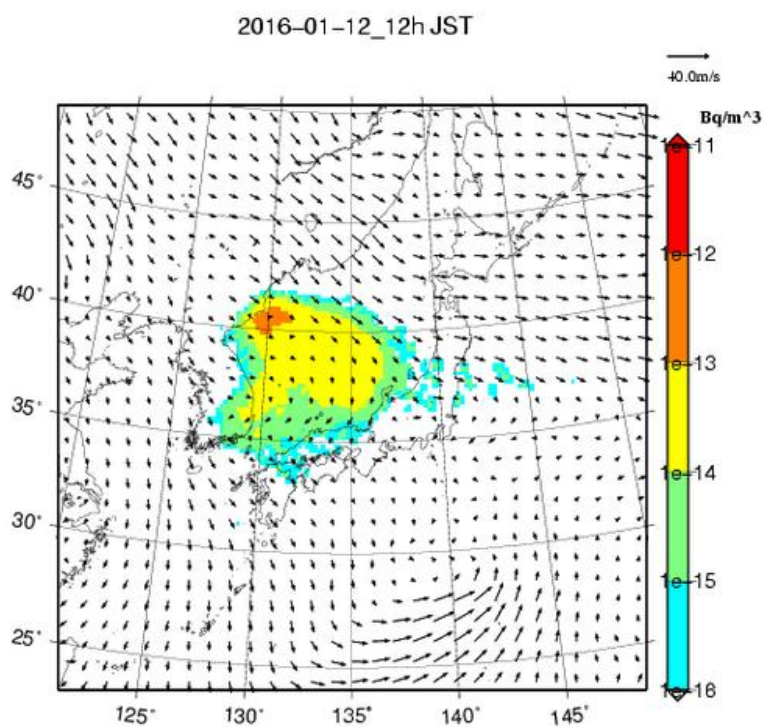


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_12:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

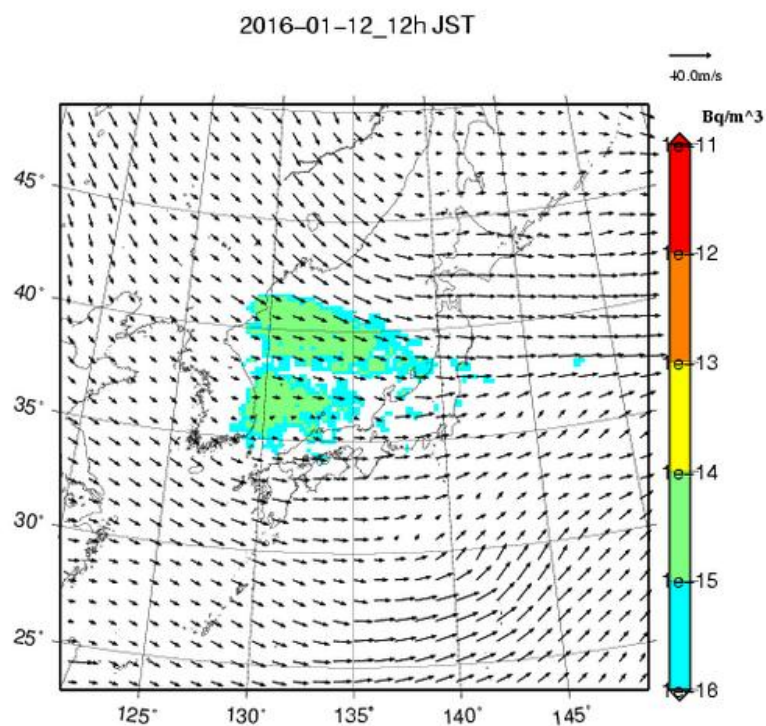


2016/1/12_12:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

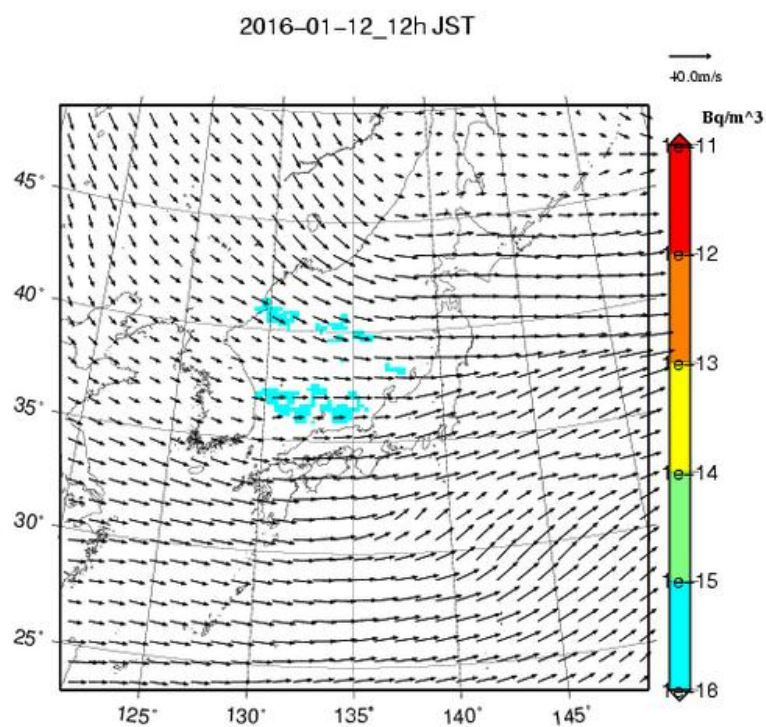


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

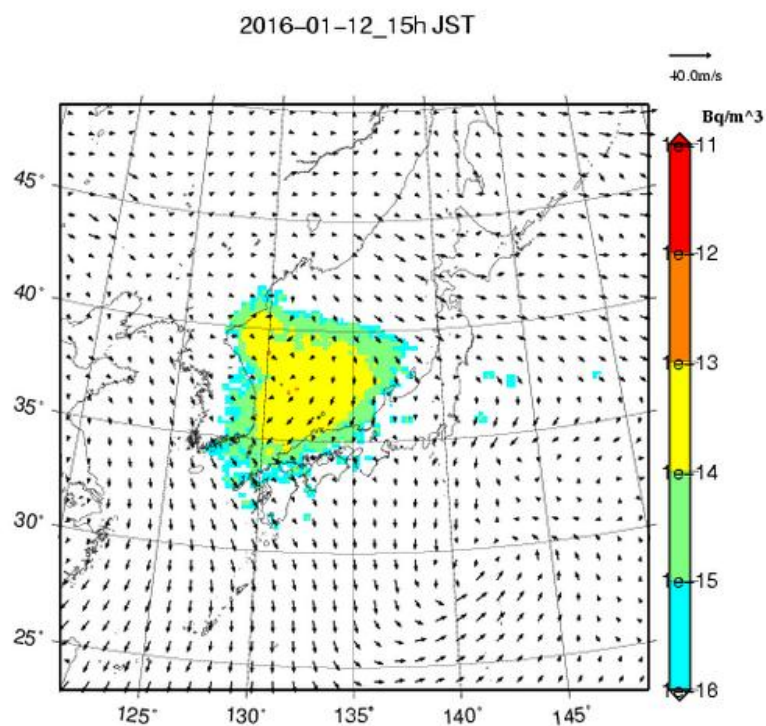


2016/1/12_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

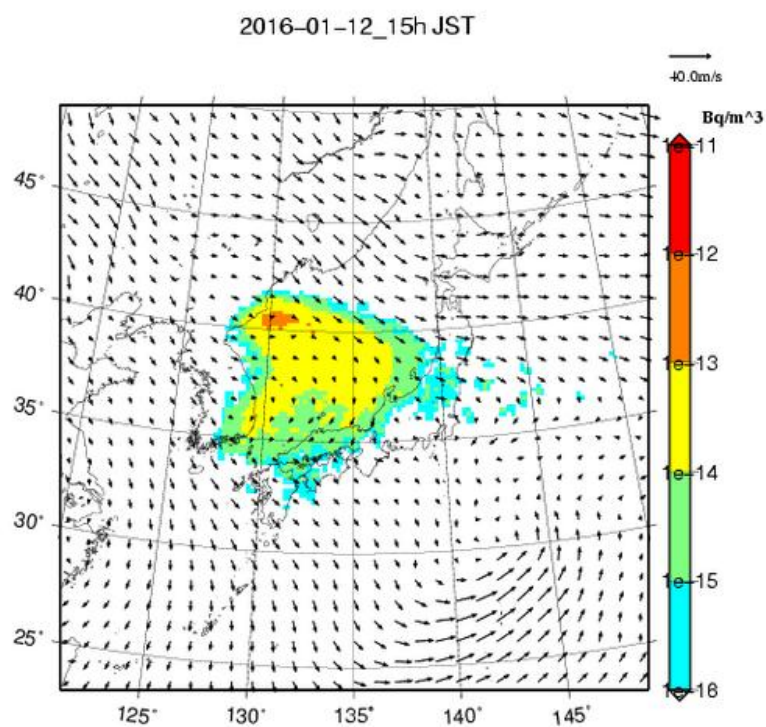


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_15:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

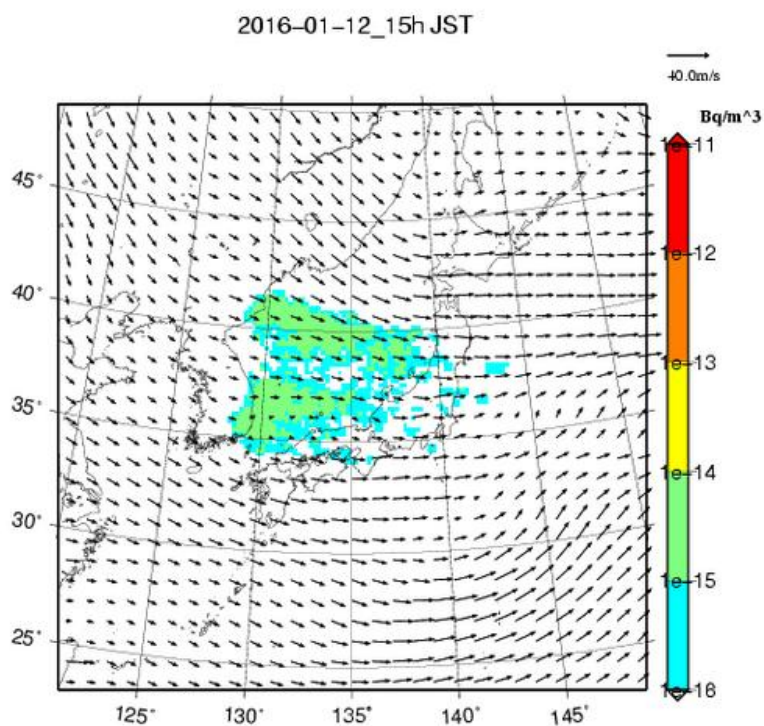


2016/1/12_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

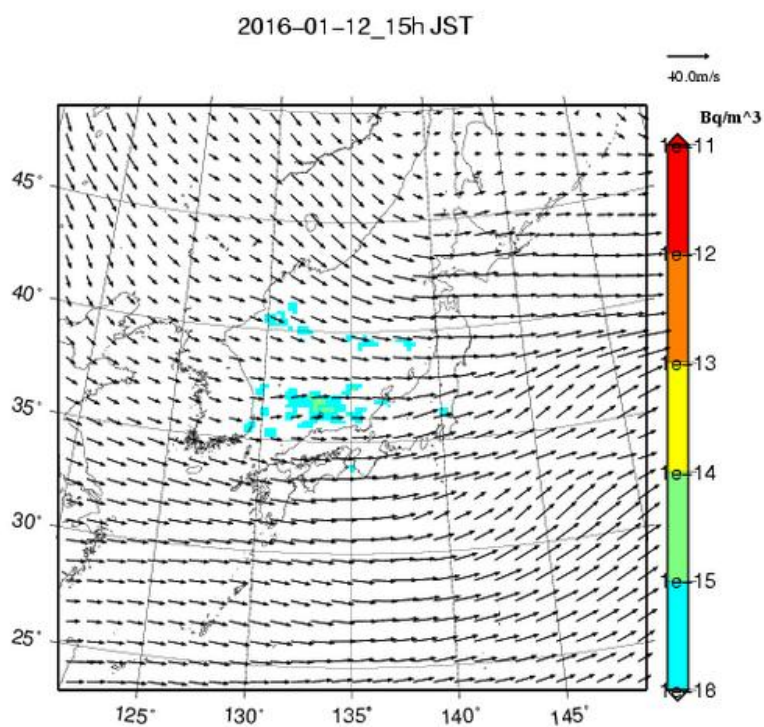


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

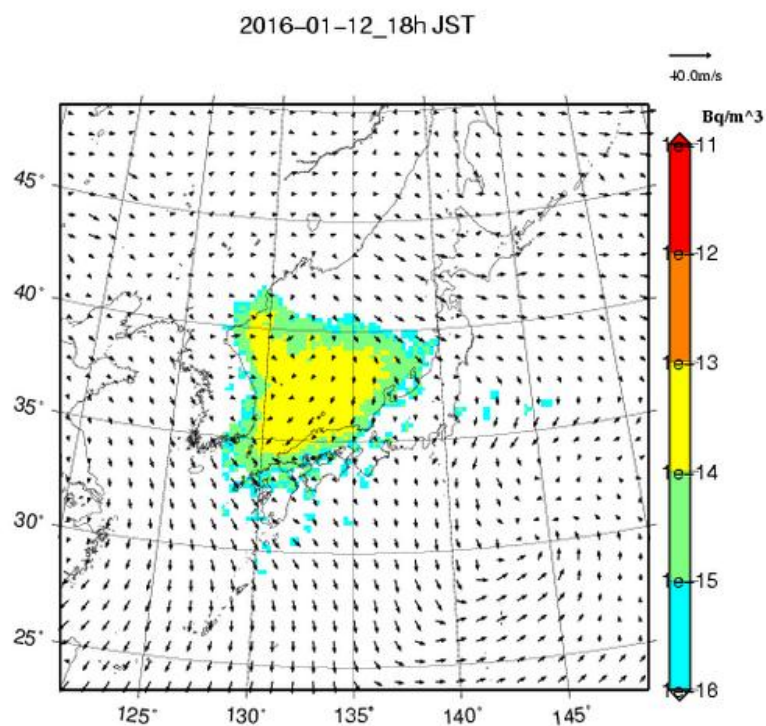


2016/1/12_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

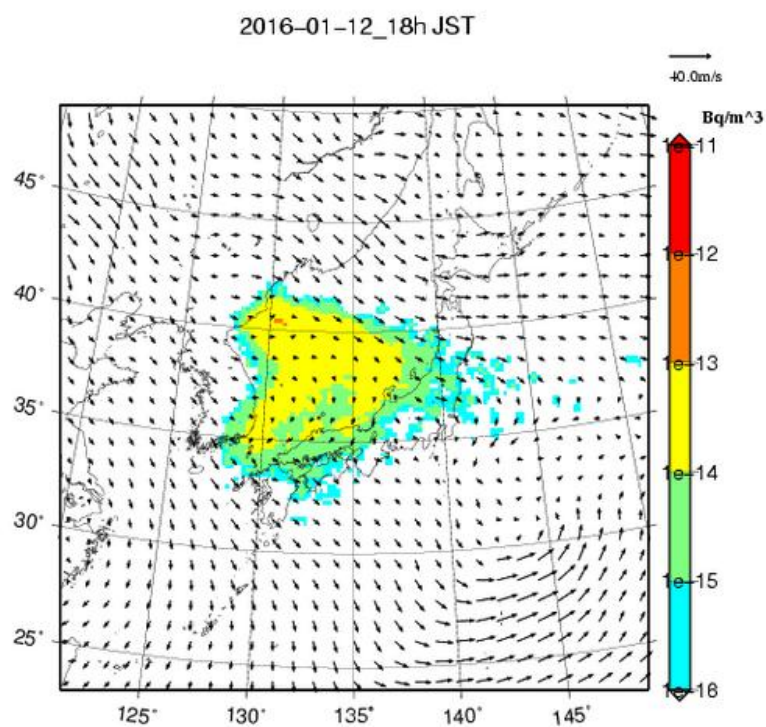


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_18:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

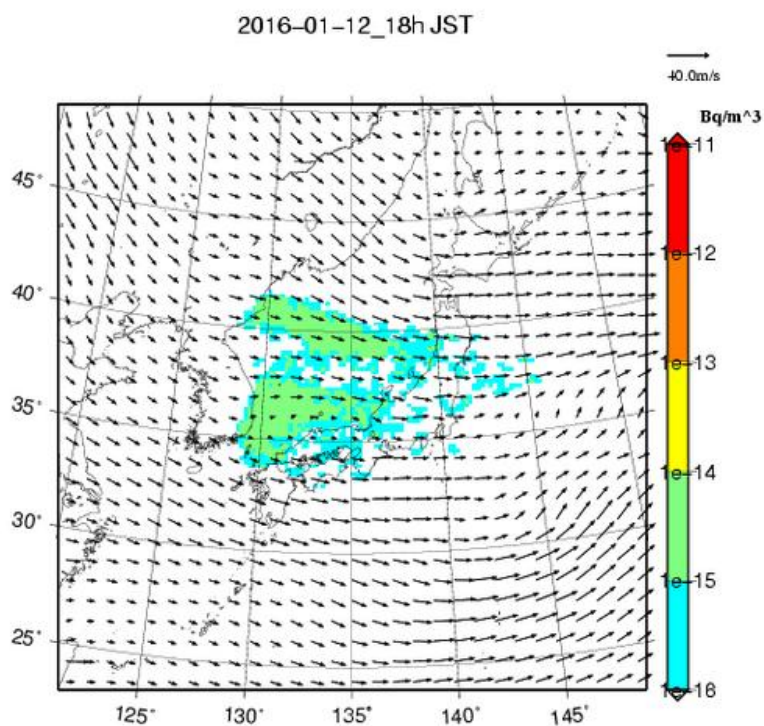


2016/1/12_18:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

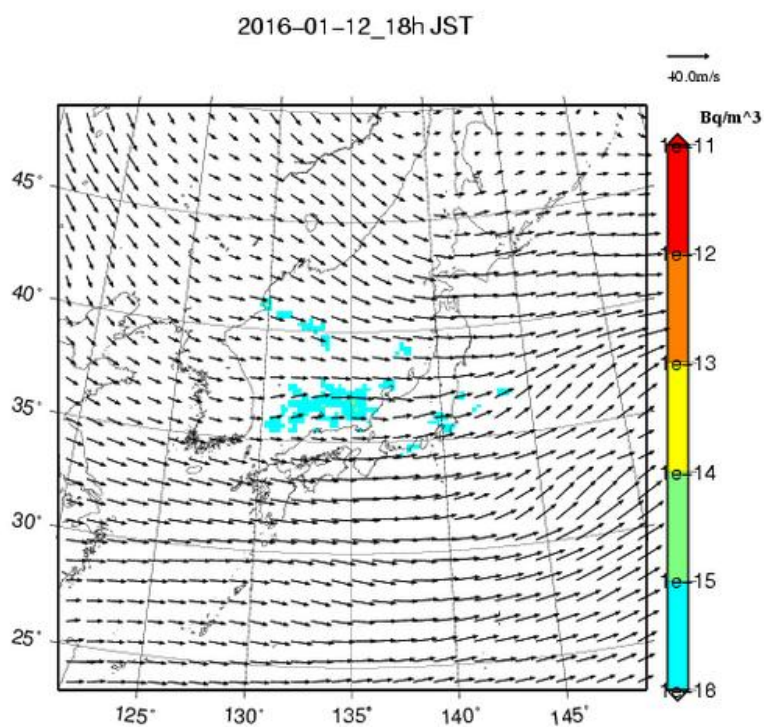


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/12_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



2016/1/12_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

北朝鮮の核実験実施を想定した WSPEEDI-II による放射能拡散予測結果 (13)

標記について、仮定計算条件に基づく予測結果は以下のとおりです。

1. 仮定計算条件

放射性物質の種類及び放出率： I-131 (1Bq/h)
Xe-133 (1Bq/h)
Cs-137 (1Bq/h)

放出場所：東経 129.1 度、北緯 41.3 度

放出期間：1 月 11 日 00:00 から 24 時間放出と仮定

2. 結果出力 (計 48 図形)

① I-131 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 13 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

② Xe-133 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 13 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

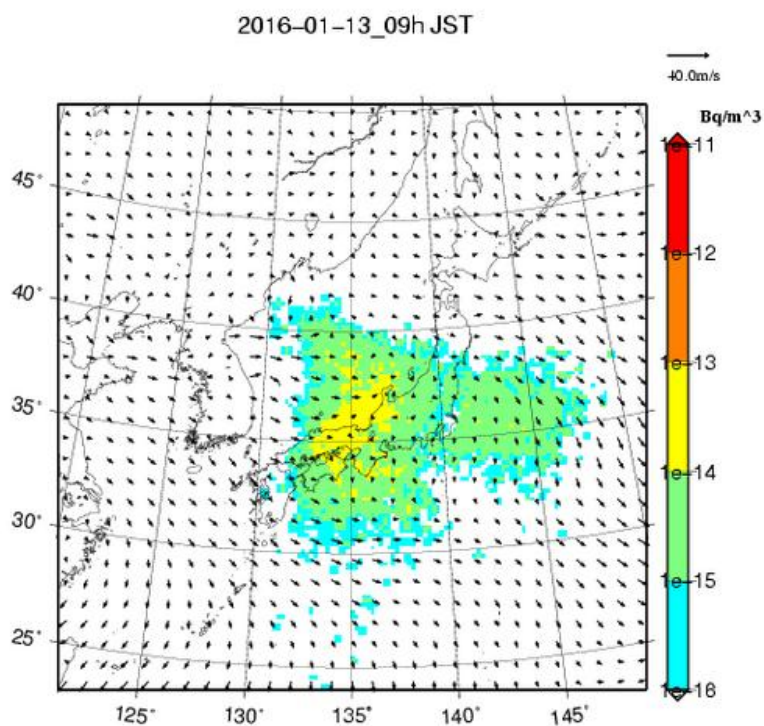
高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

③ Cs-137 の大気中濃度の水平分布図

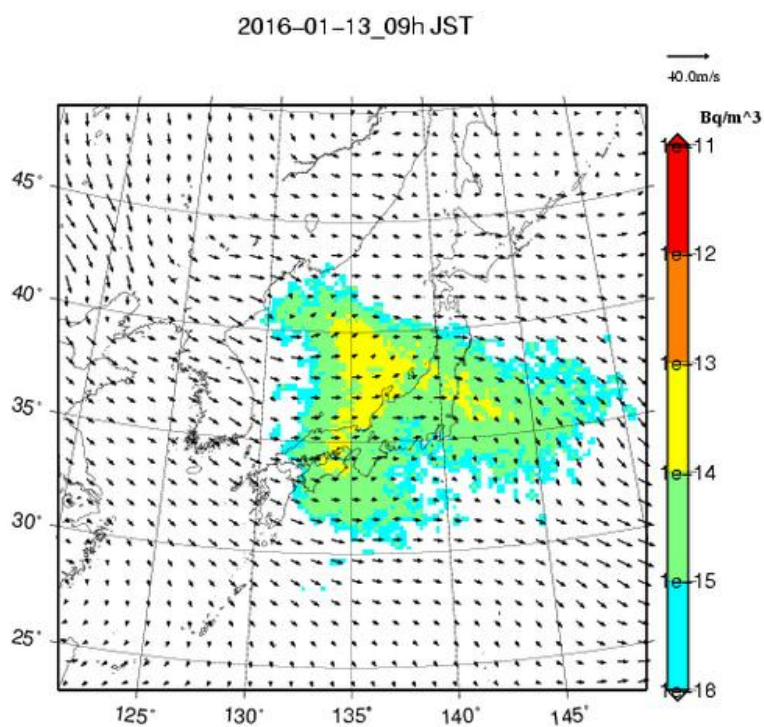
時刻：1 月 13 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

2016/1/13_9:00 地表面 空気中濃度 (ヨウ素 131)

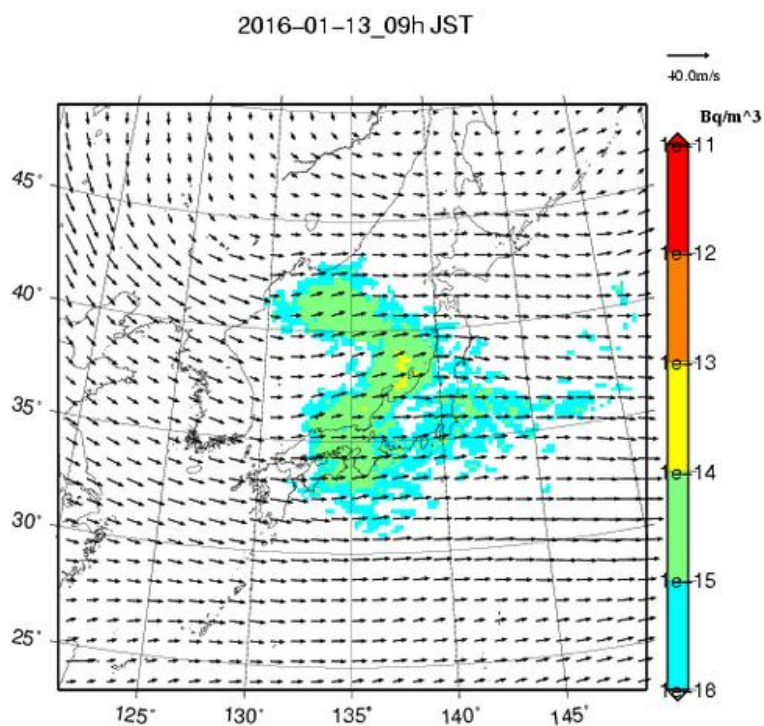


2016/1/13_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (ヨウ素 131)

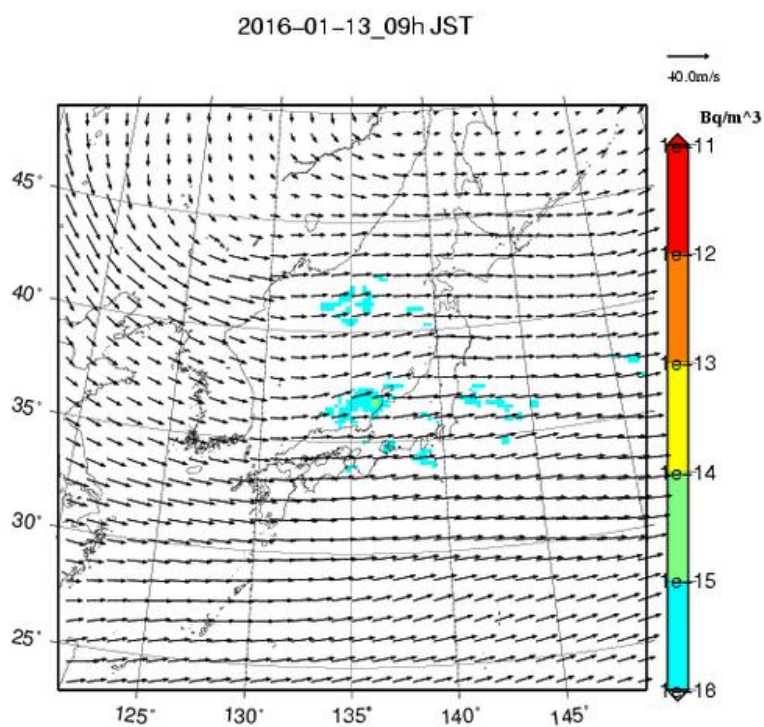


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

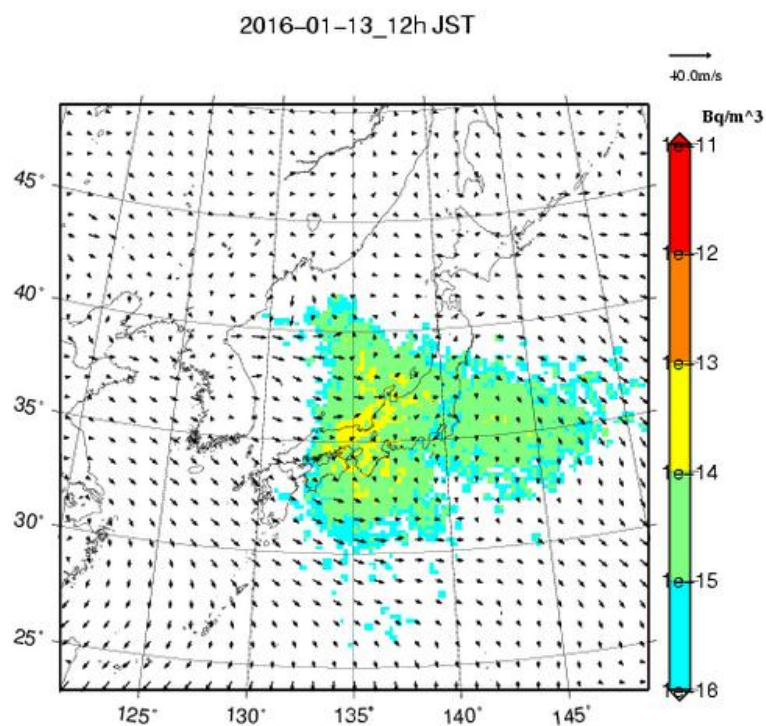


2016/1/13_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

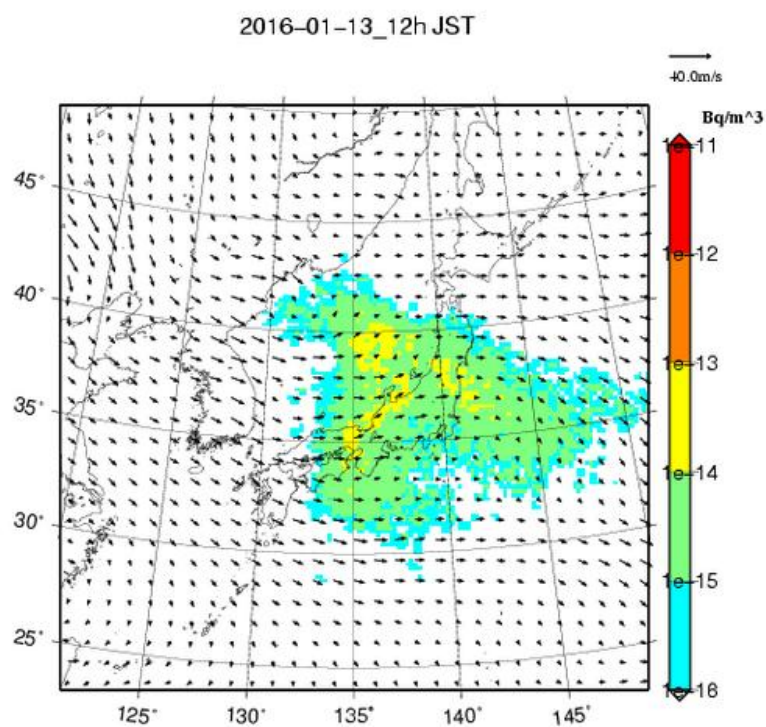


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_12:00 地表面 空气中濃度（ヨウ素 131）

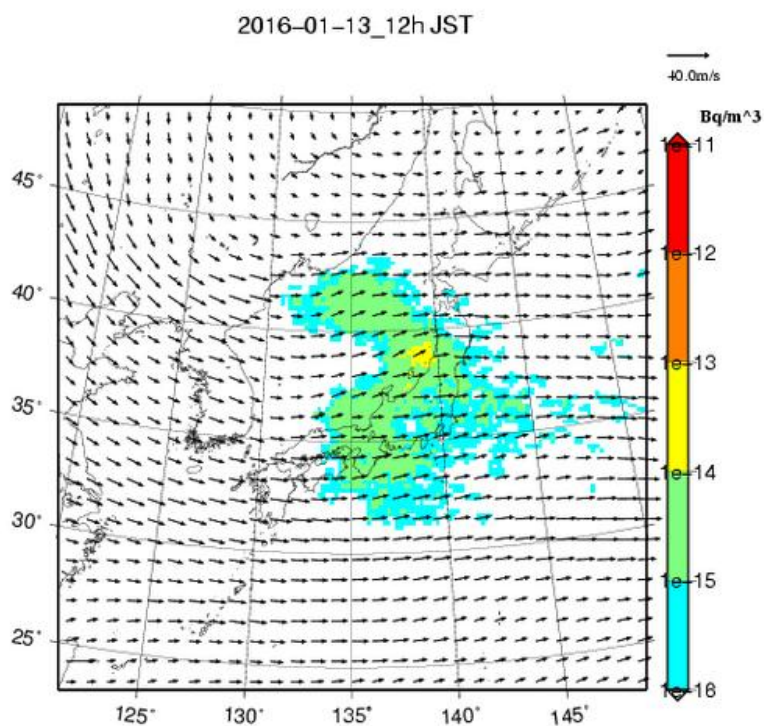


2016/1/13_12:00 上空 1,000m 空气中濃度（ヨウ素 131）

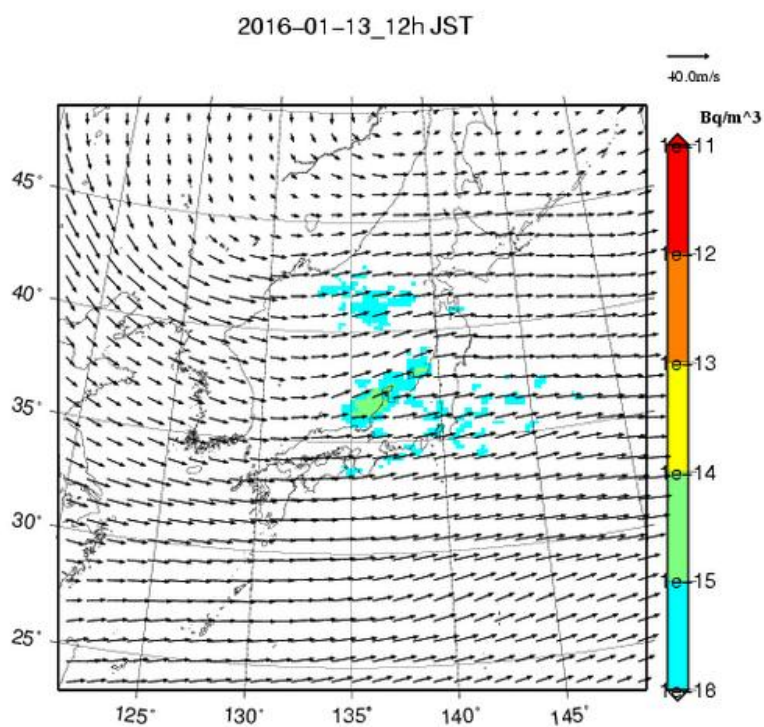


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

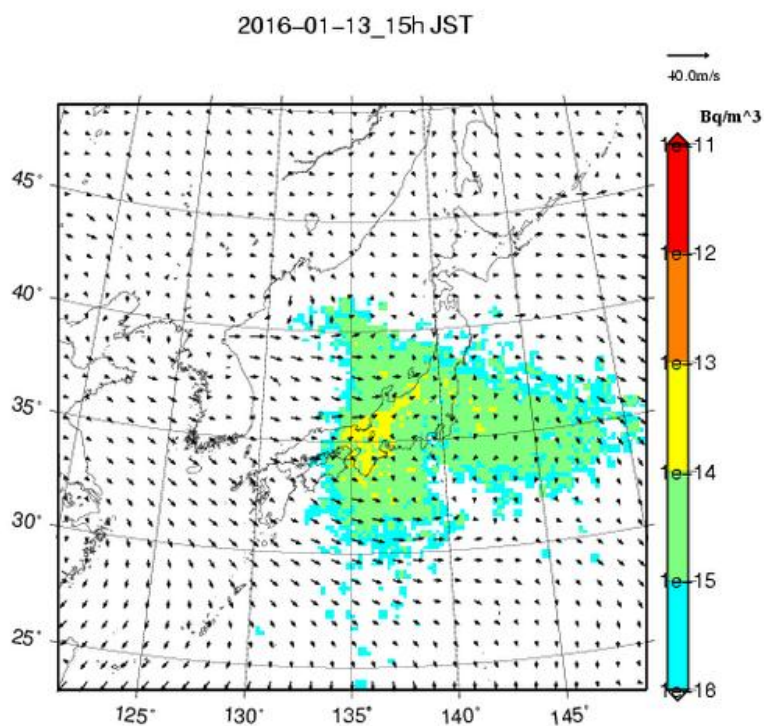


2016/1/13_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

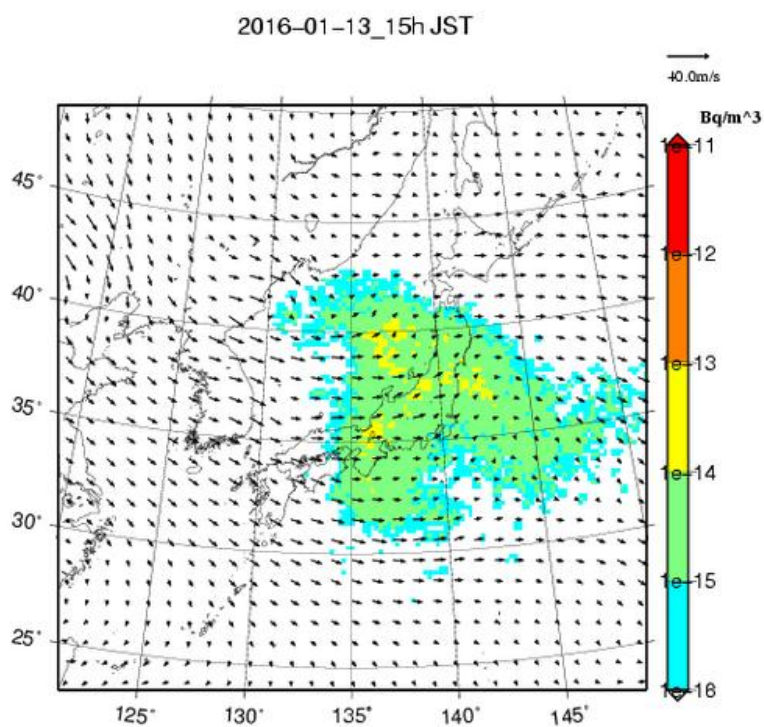


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_15:00 地表面 空気中濃度（ヨウ素 131）

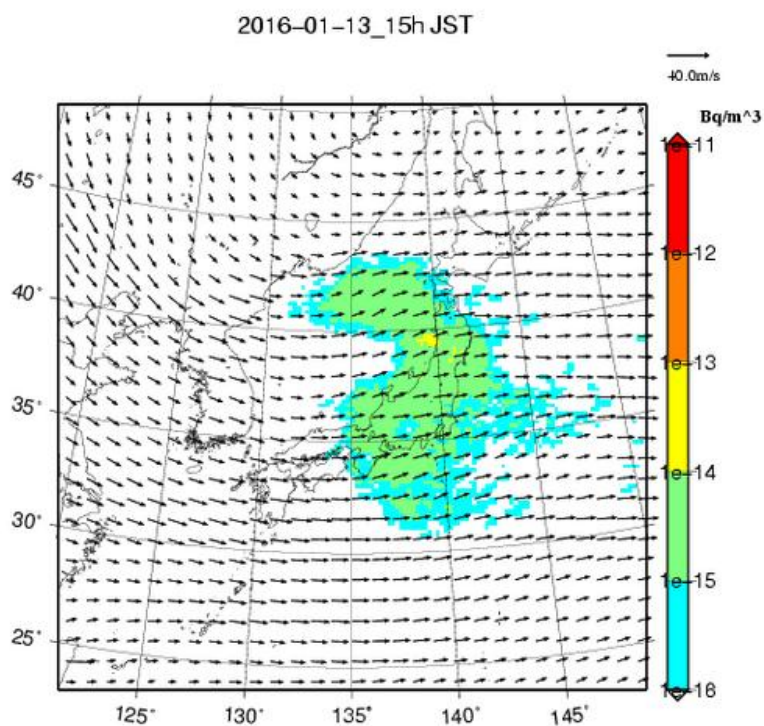


2016/1/13_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（ヨウ素 131）

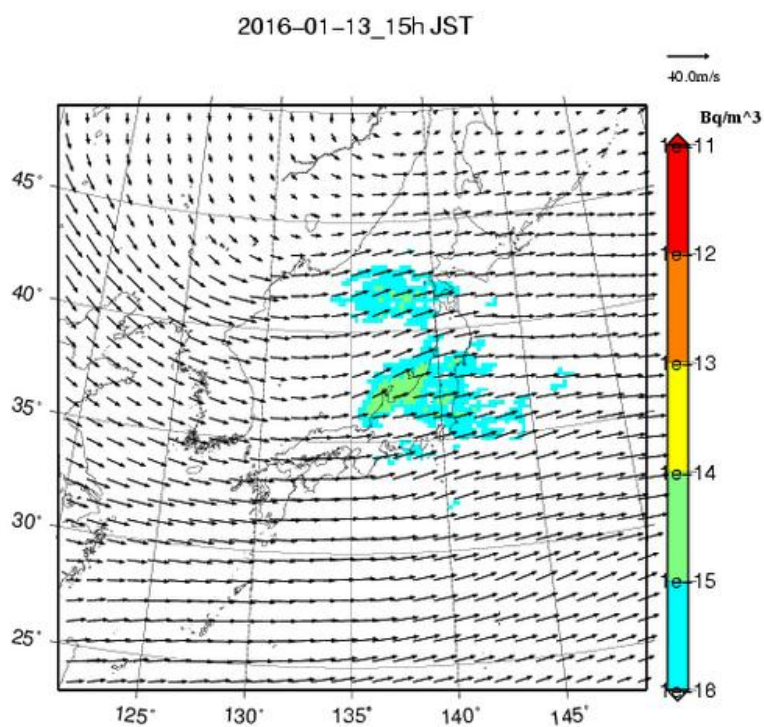


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

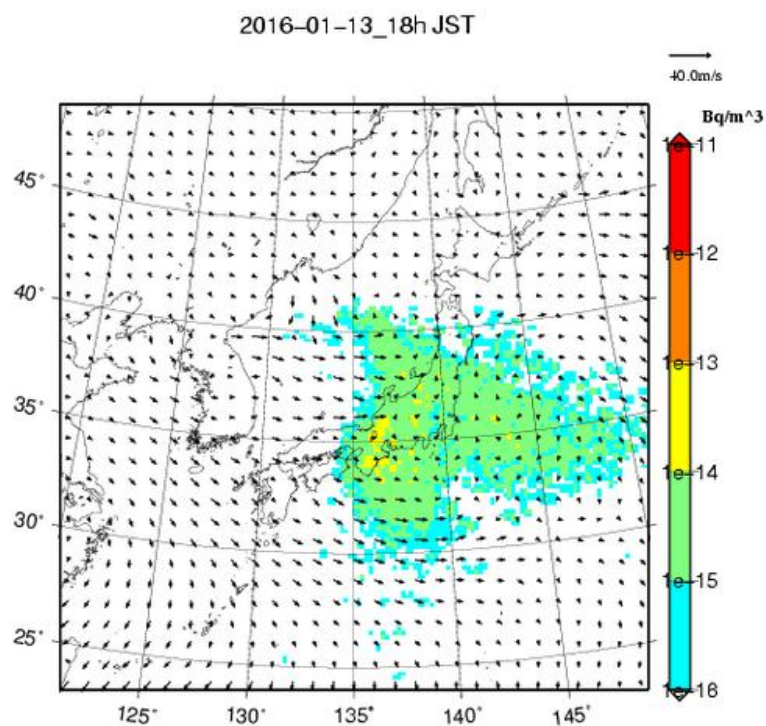


2016/1/13_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

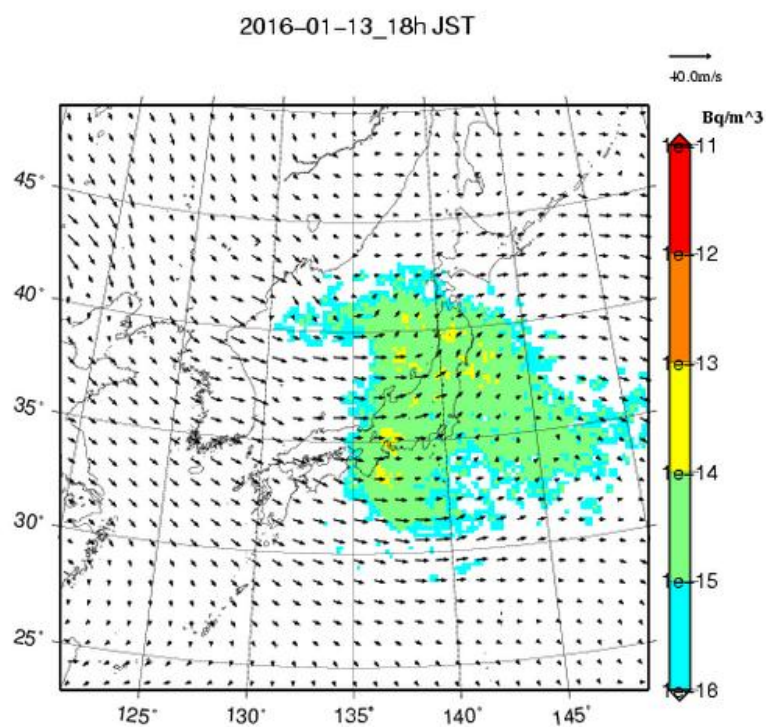


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_18:00 地表面 空气中濃度（ヨウ素 131）

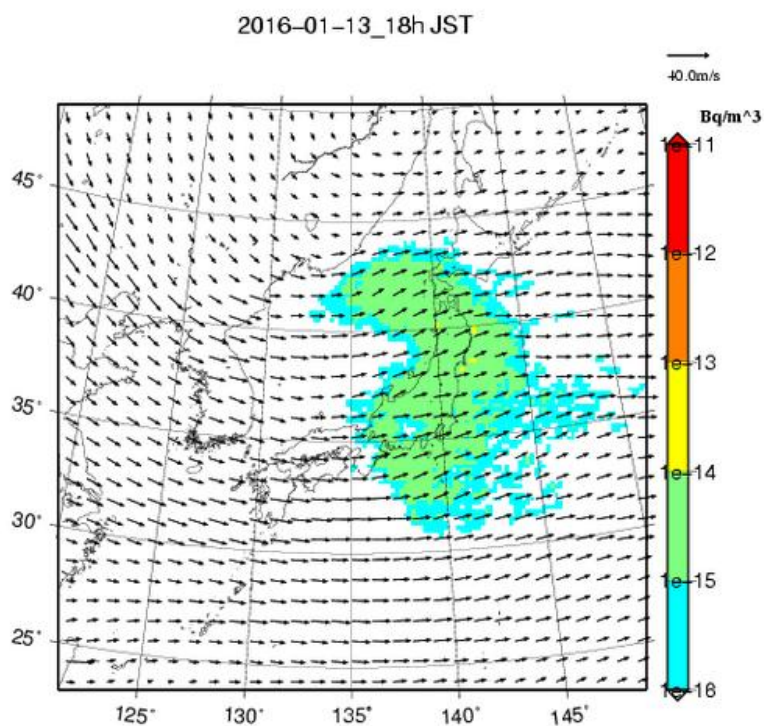


2016/1/13_18:00 上空 1,000m 空气中濃度（ヨウ素 131）

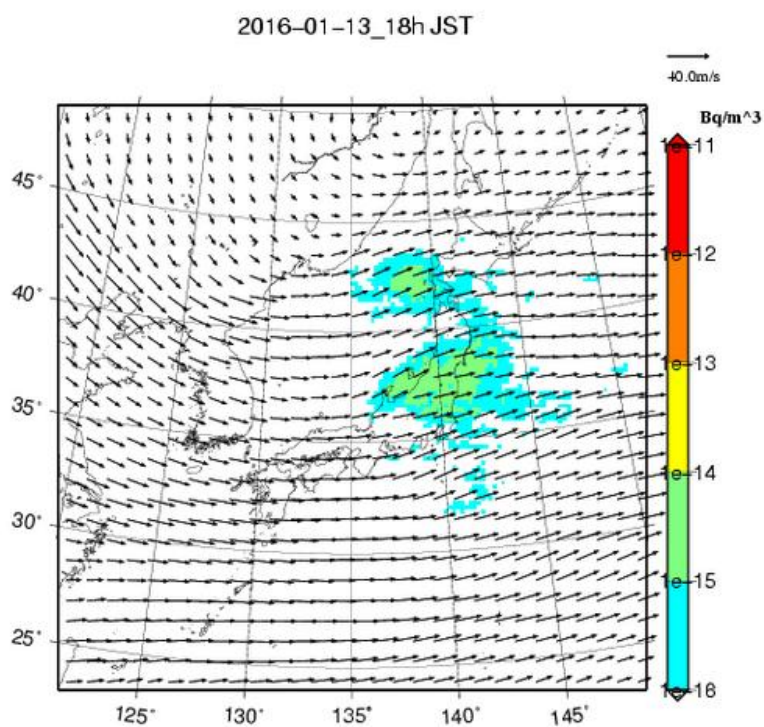


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

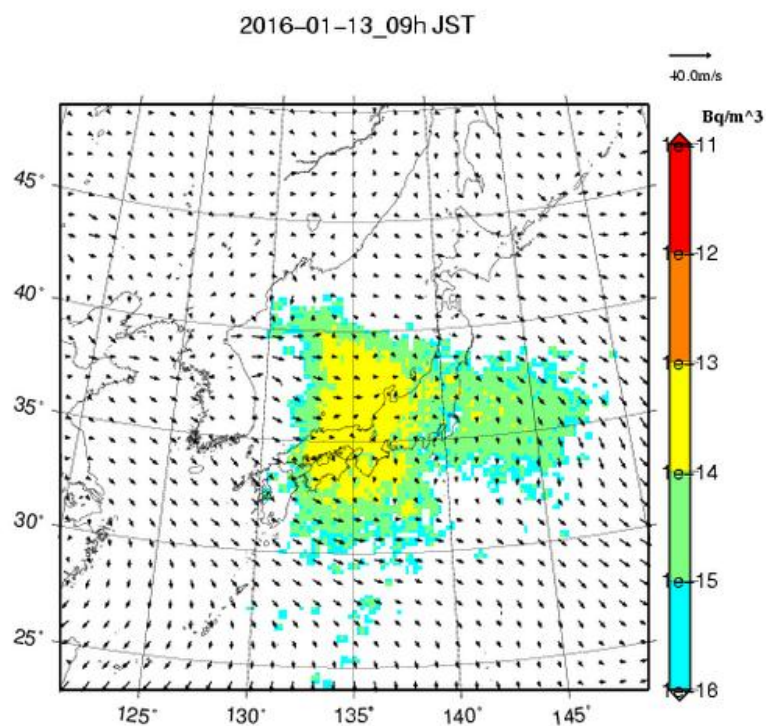


2016/1/13_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

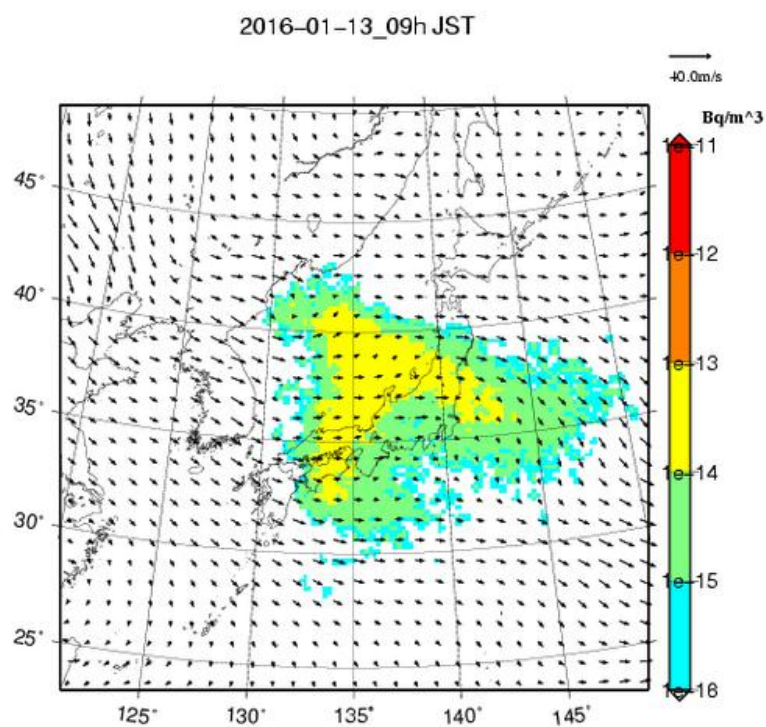


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_9:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

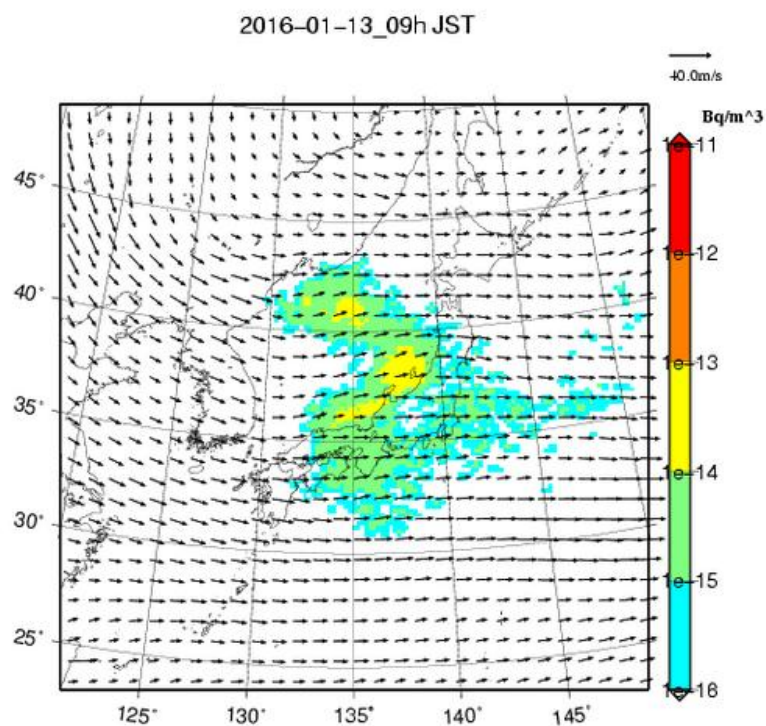


2016/1/13_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

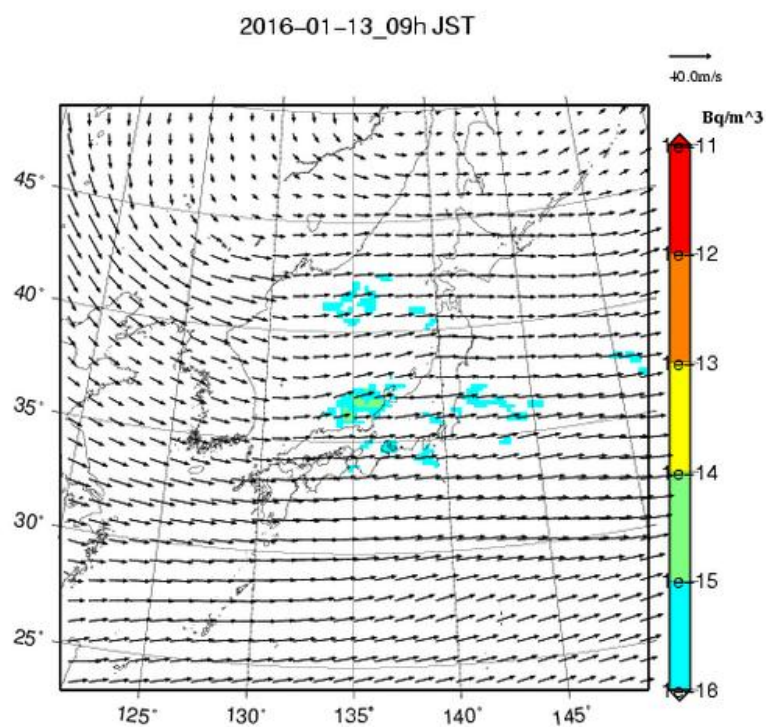


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

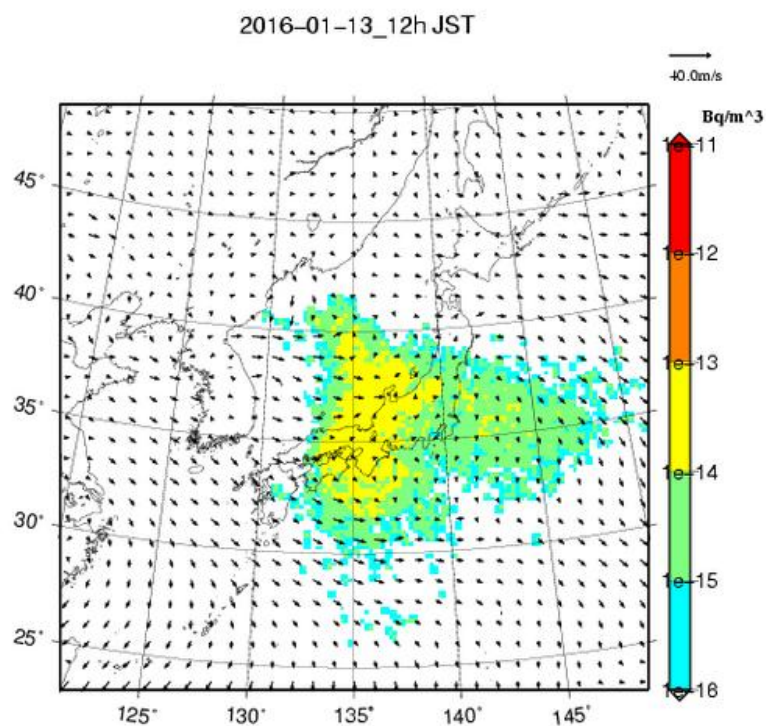


2016/1/13_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

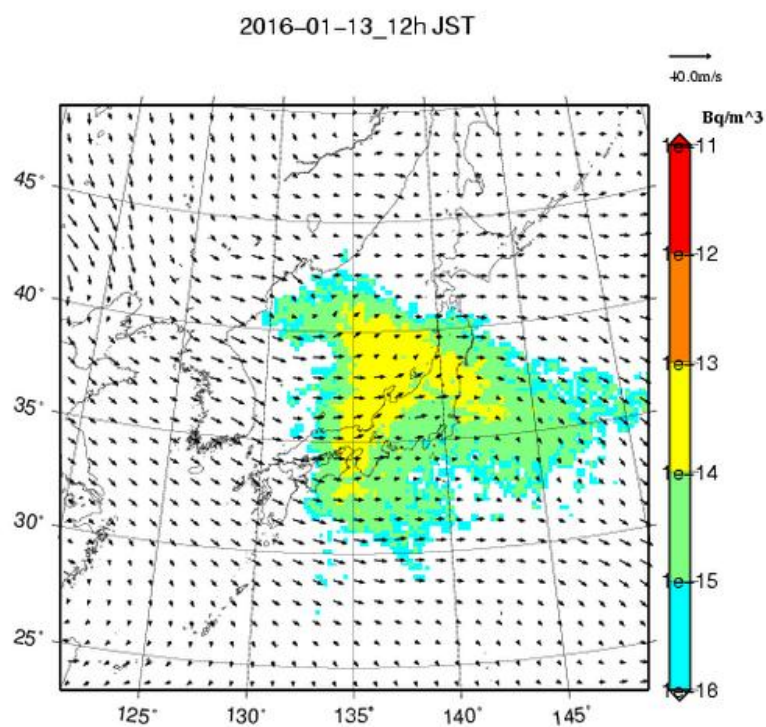


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_12:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

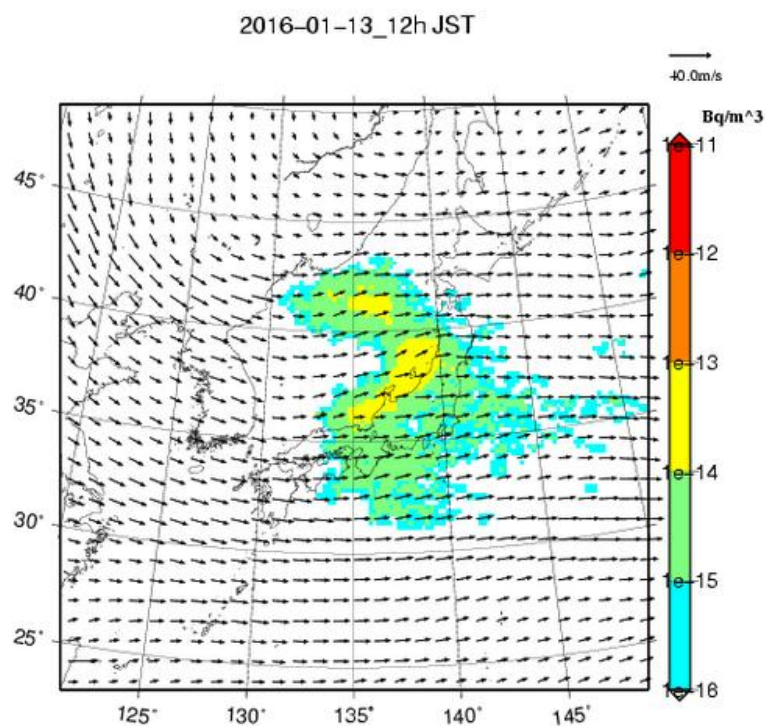


2016/1/13_12:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

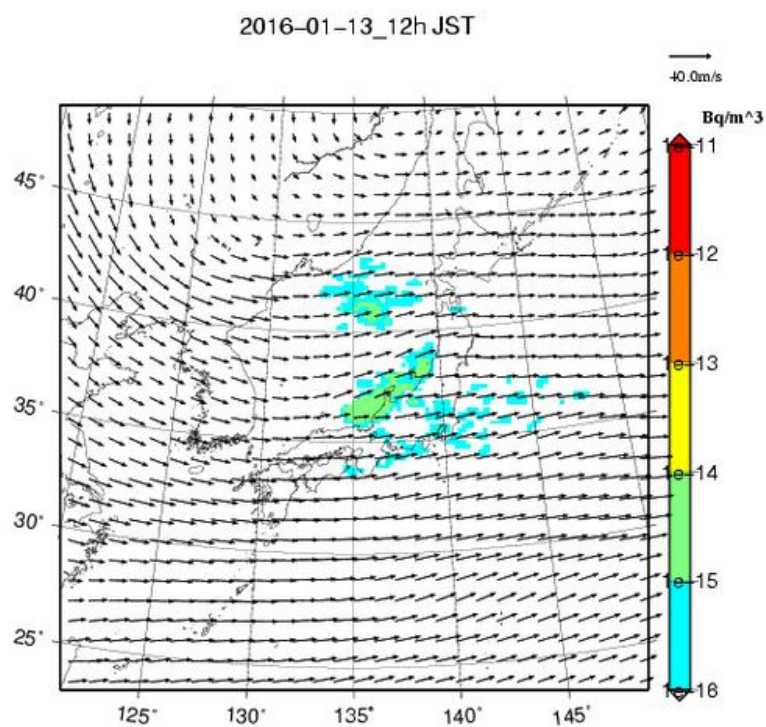


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

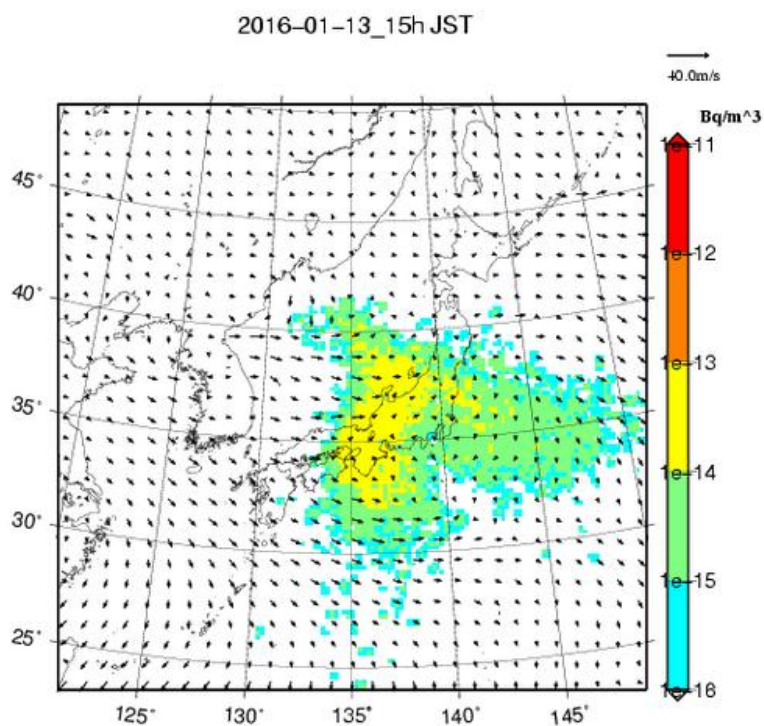


2016/1/13_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

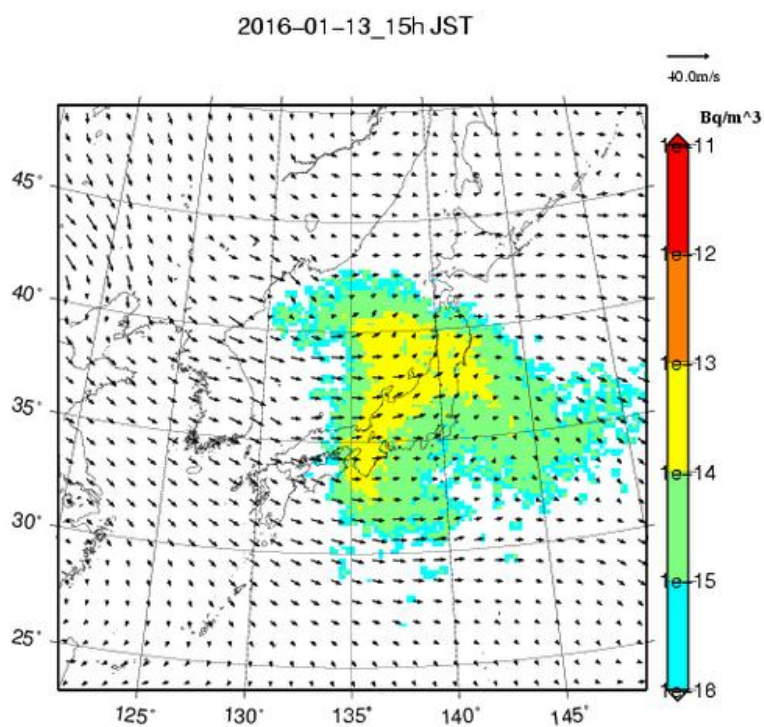


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_15:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

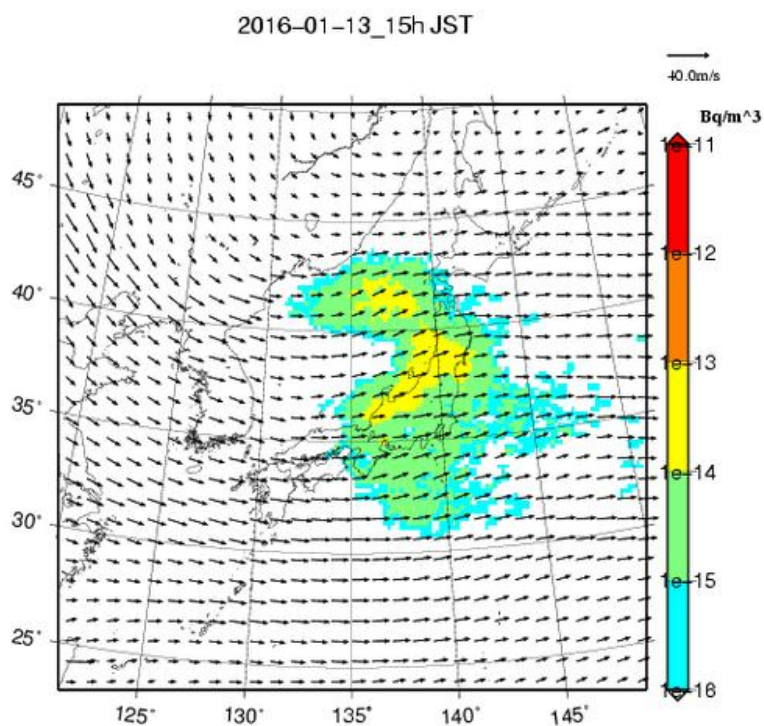


2016/1/13_15:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

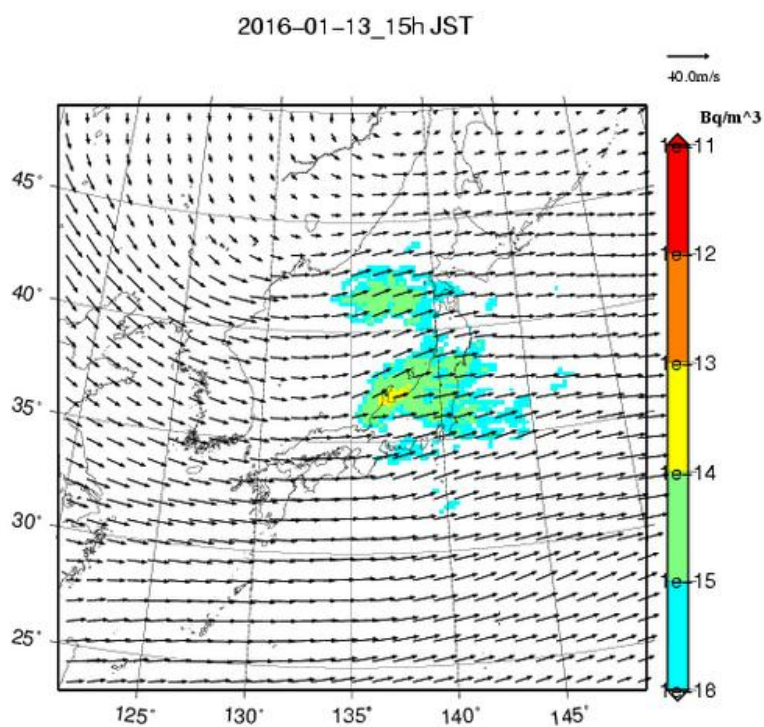


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

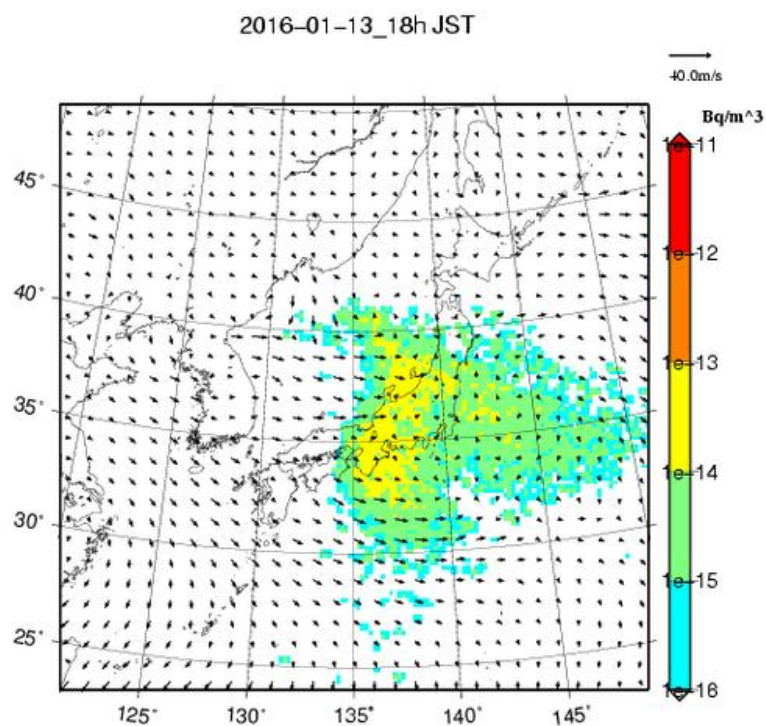


2016/1/13_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

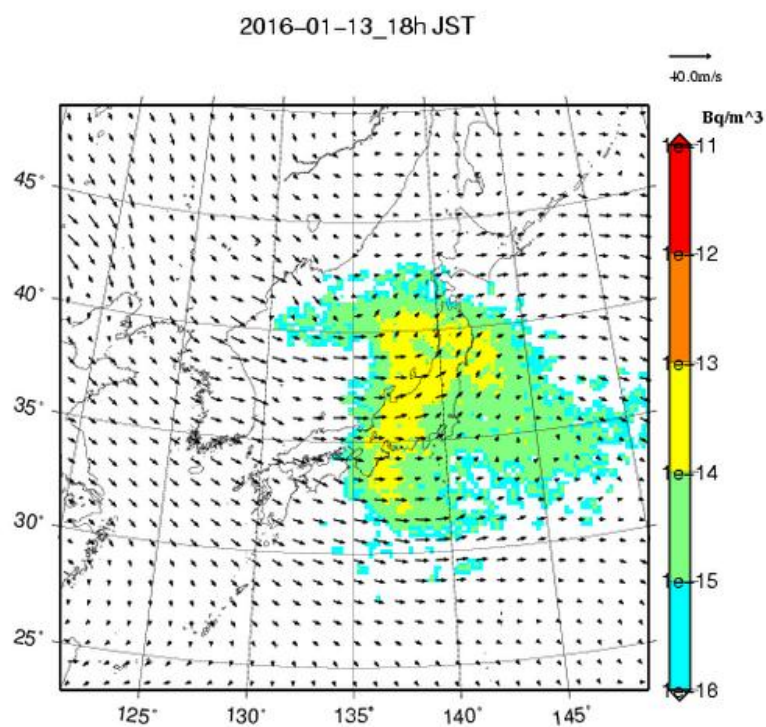


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_18:00 地表面 空气中濃度（キセノン 133）

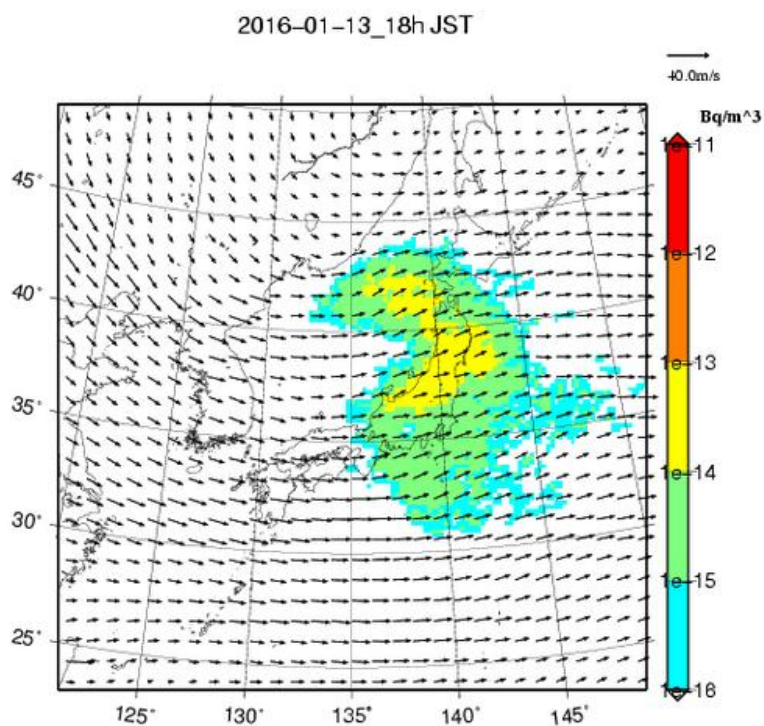


2016/1/13_18:00 上空 1,000m 空气中濃度（キセノン 133）

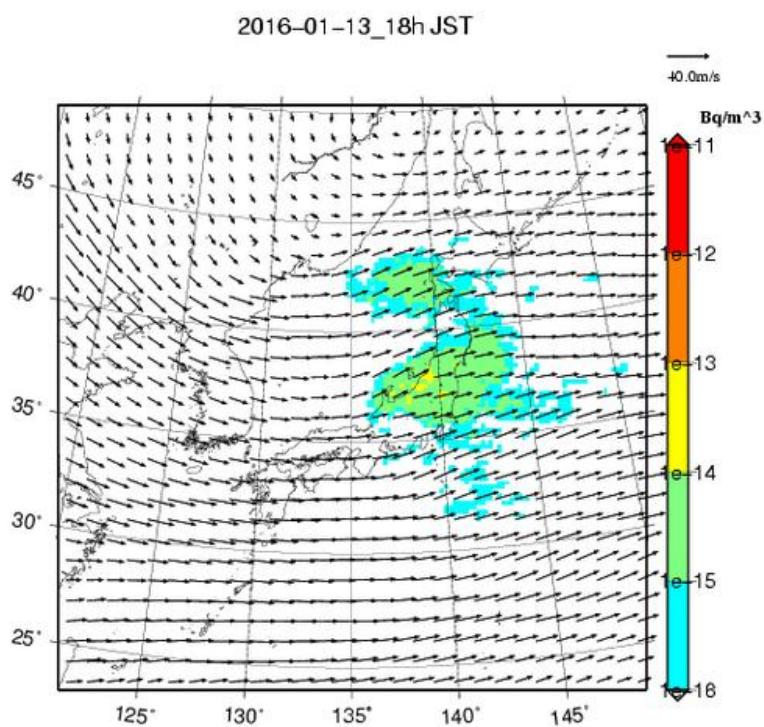


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

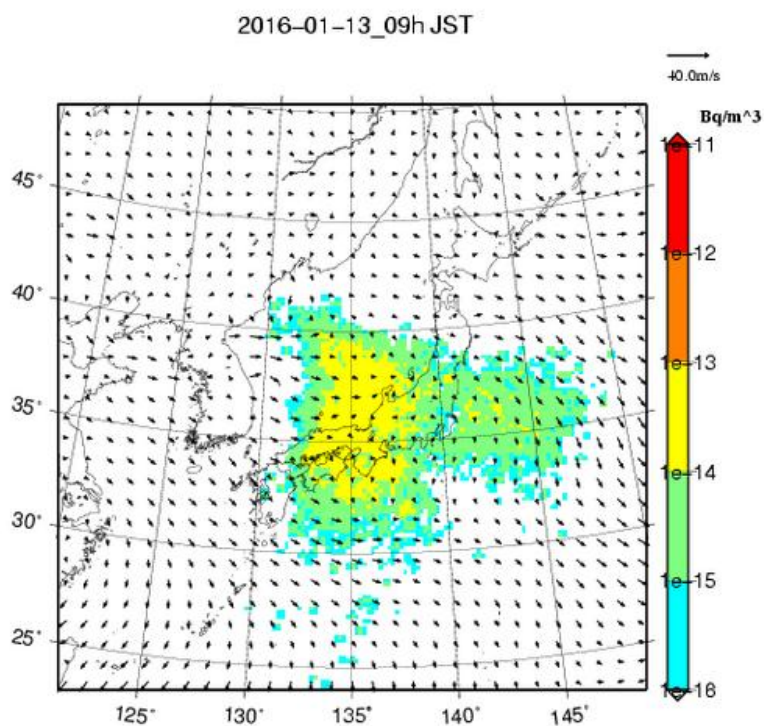


2016/1/13_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

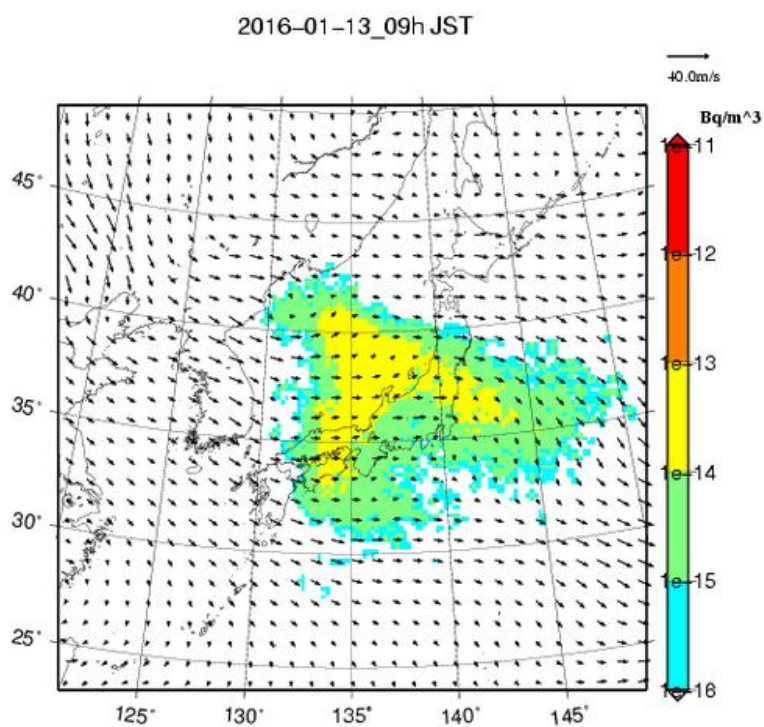


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_9:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

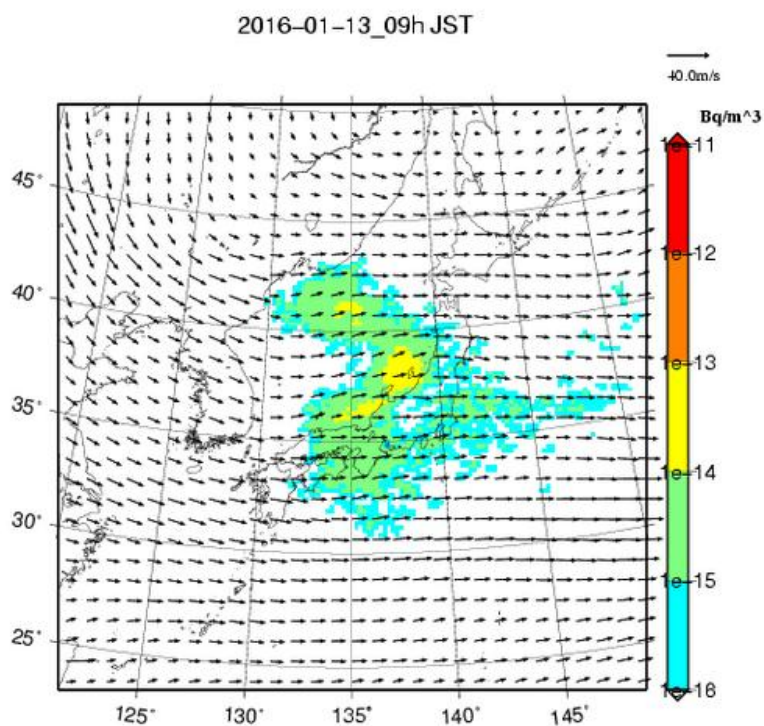


2016/1/13_9:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

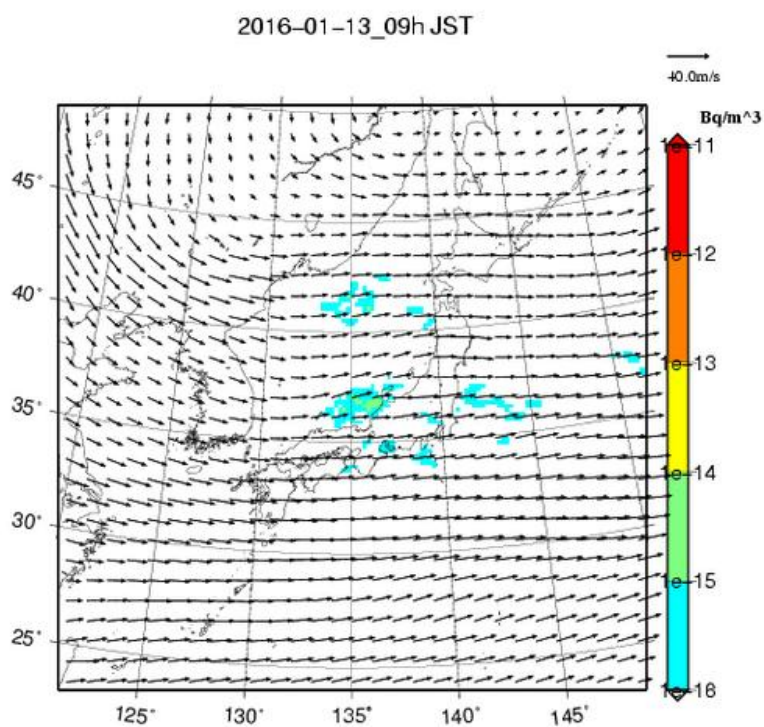


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

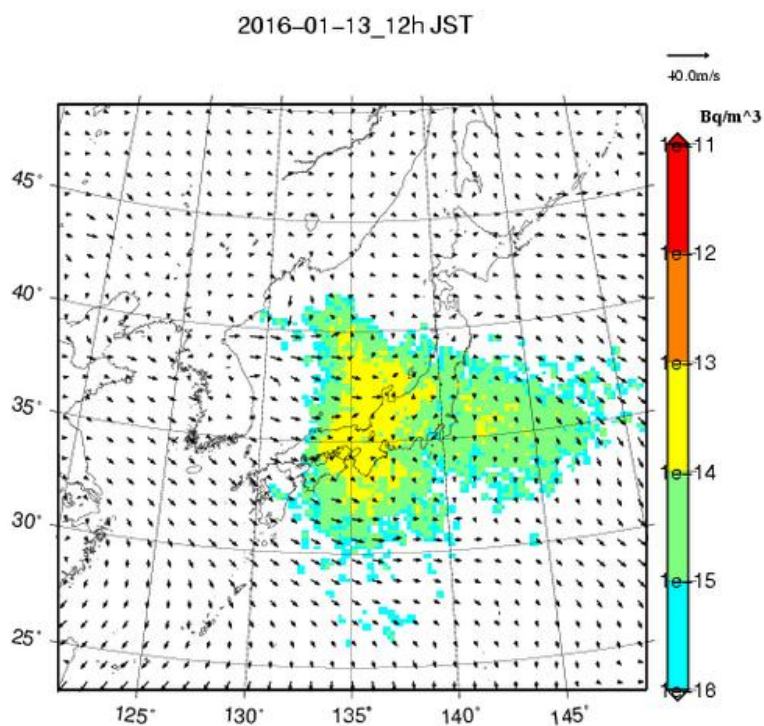


2016/1/13_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

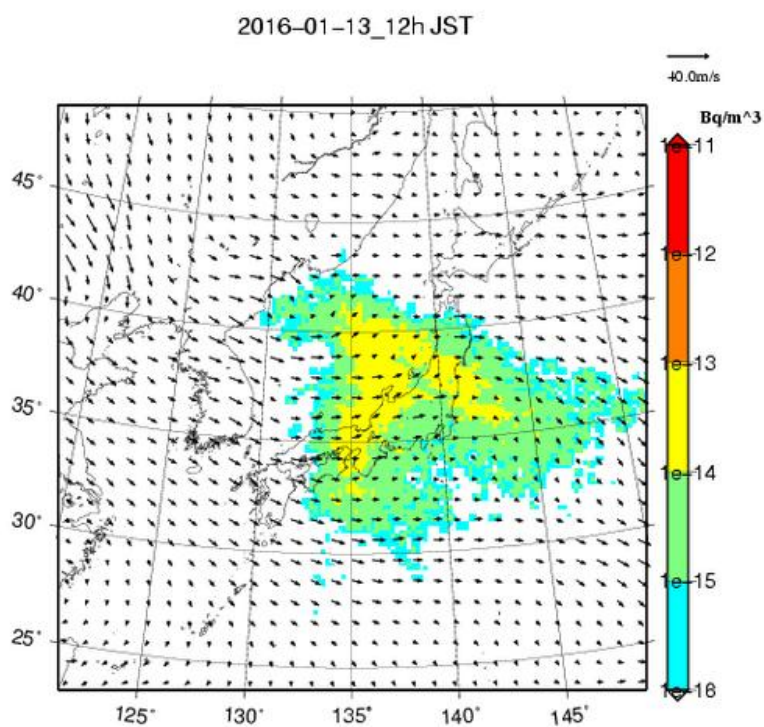


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_12:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

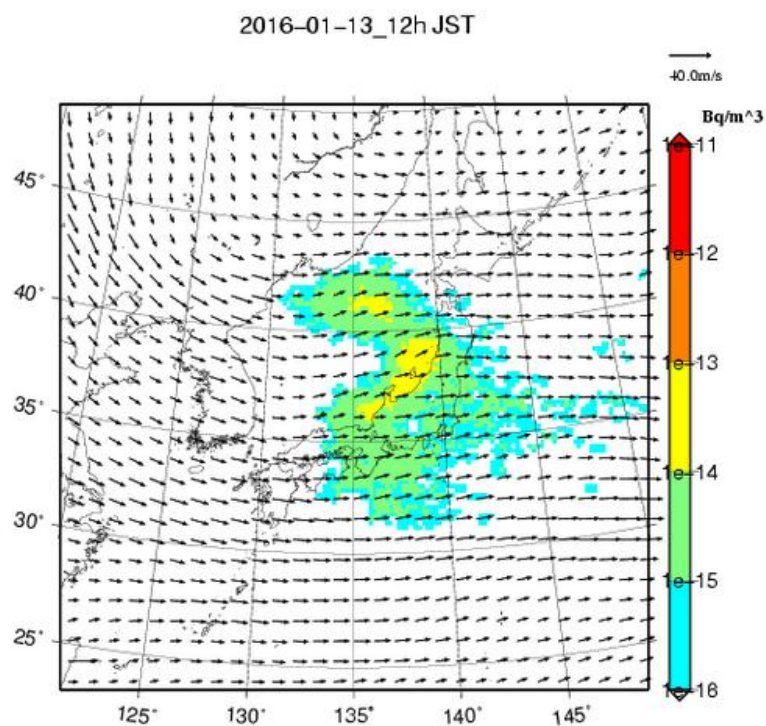


2016/1/13_12:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

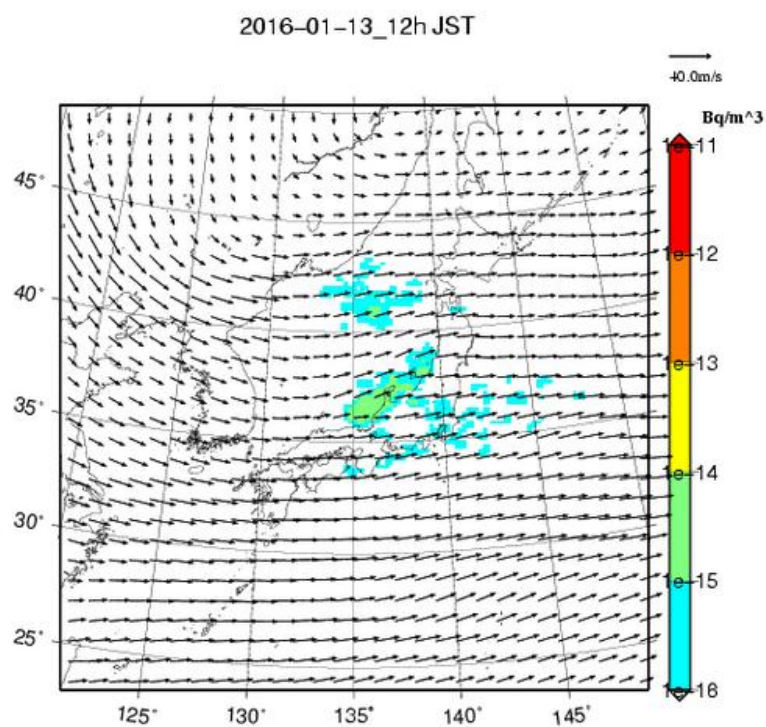


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

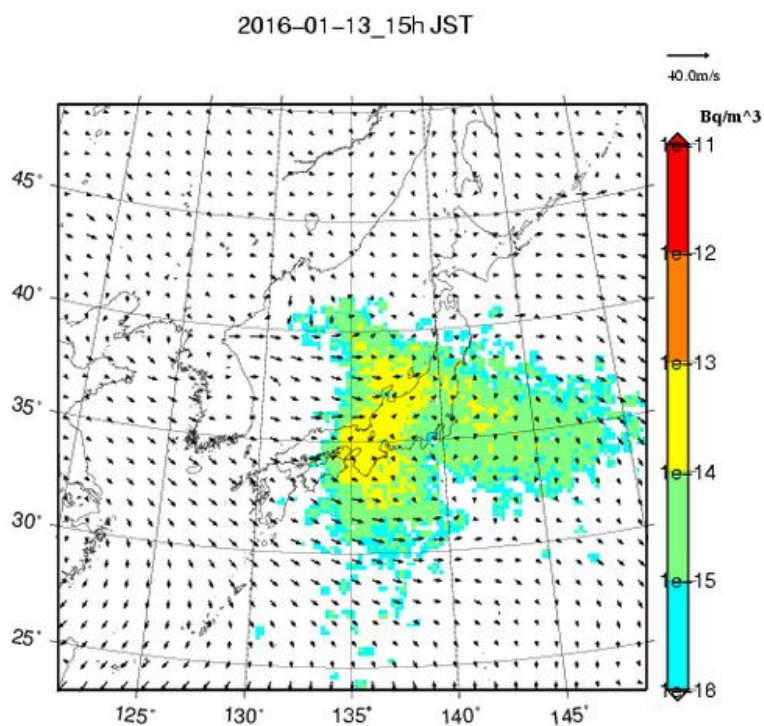


2016/1/13_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

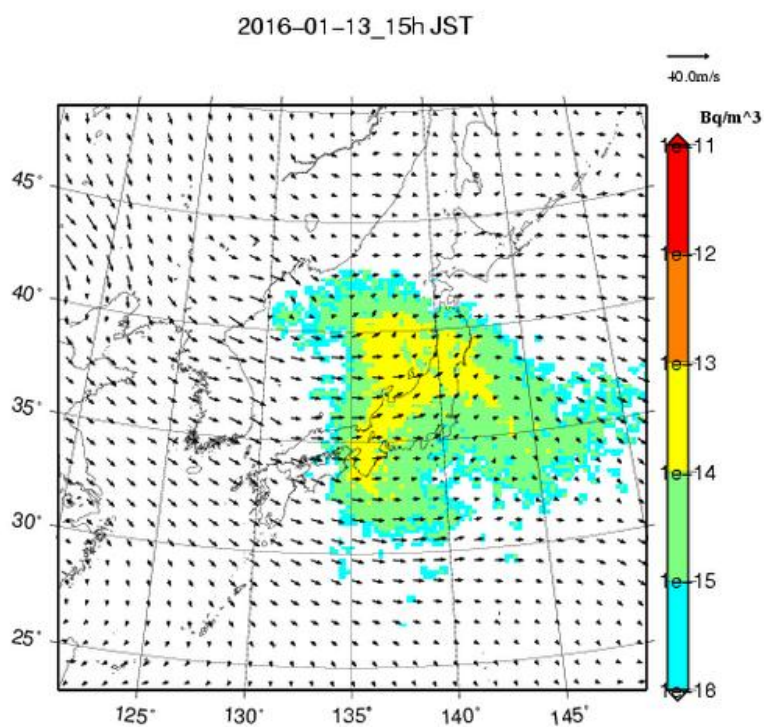


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_15:00 地表面 空气中濃度（セシウム 137）

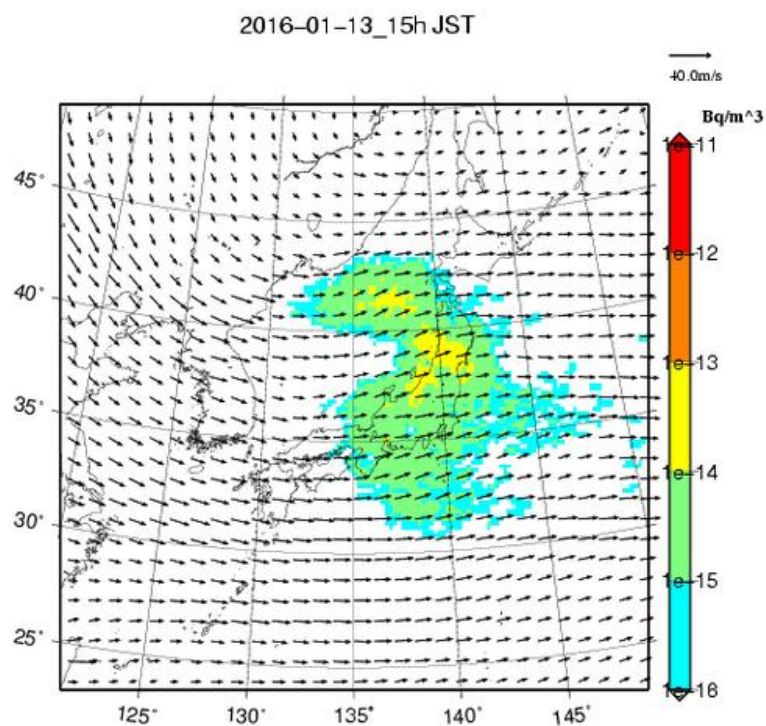


2016/1/13_15:00 上空 1,000m 空气中濃度（セシウム 137）

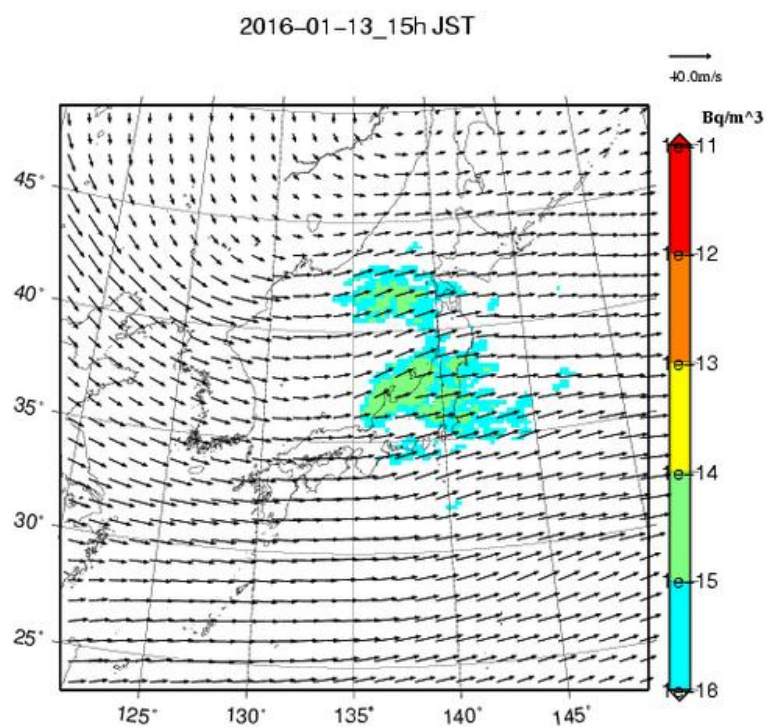


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

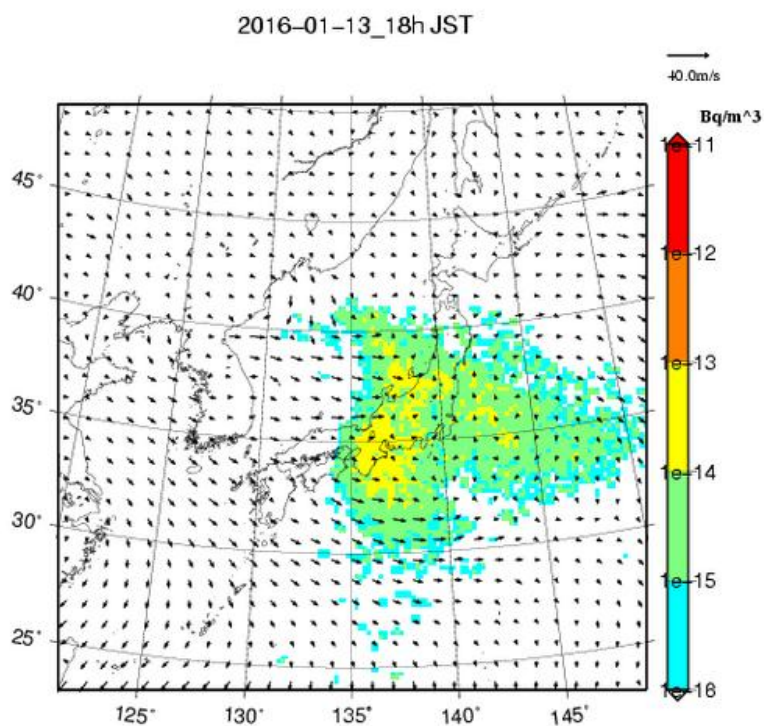


2016/1/13_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

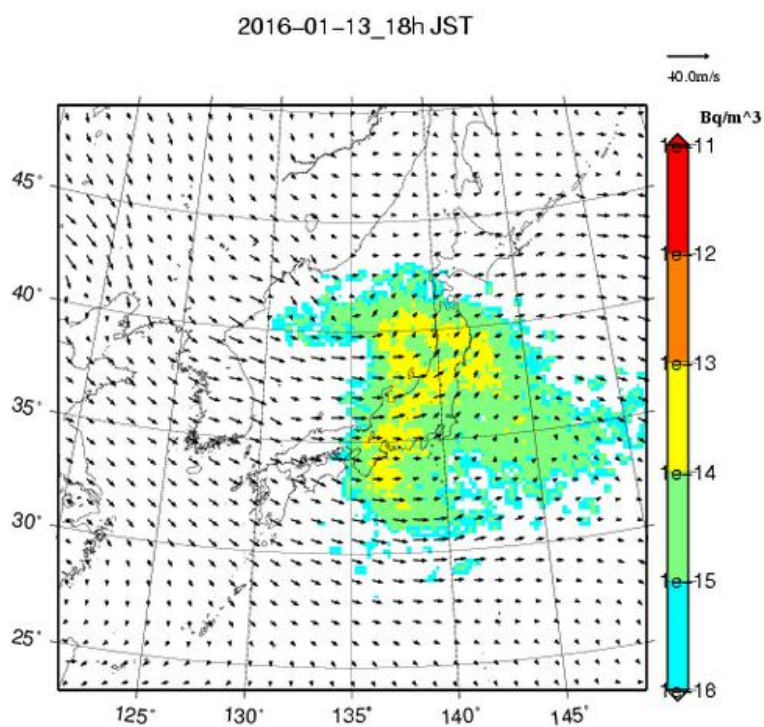


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_18:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

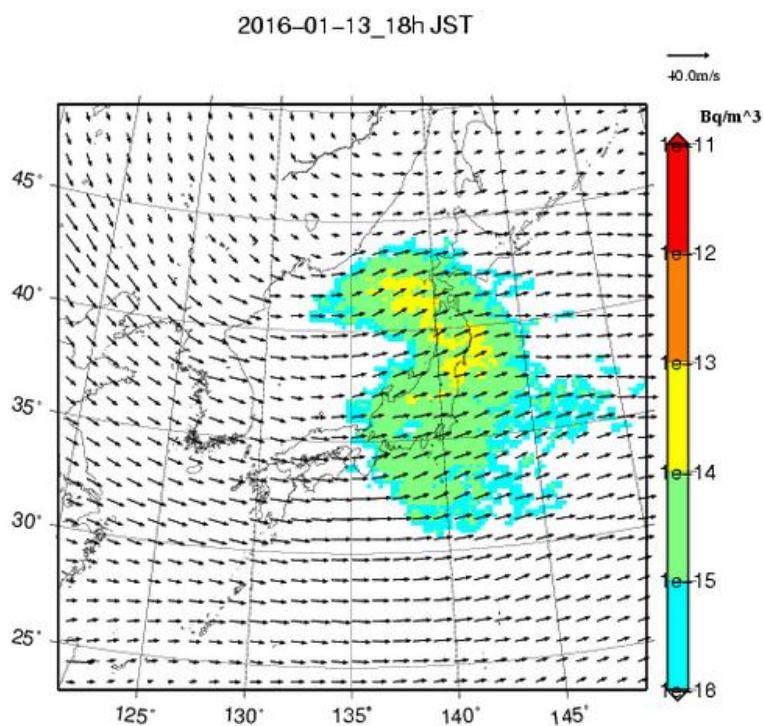


2016/1/13_18:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

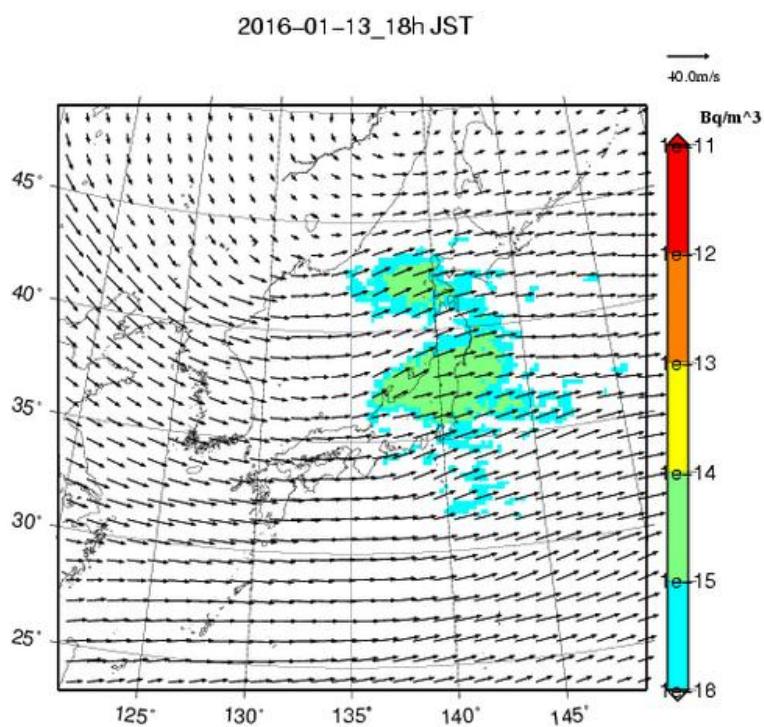


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



2016/1/13_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

北朝鮮の核実験実施を想定した WSPEEDI-II による放射能拡散予測結果 (14)

標記について、仮定計算条件に基づく予測結果は以下のとおりです。

1. 仮定計算条件

放射性物質の種類及び放出率： I-131 (1Bq/h)
Xe-133 (1Bq/h)
Cs-137 (1Bq/h)

放出場所：東経 129.1 度、北緯 41.3 度

放出期間：1 月 12 日 00:00 から 24 時間放出と仮定

2. 結果出力 (計 48 図形)

① I-131 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 13 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

② Xe-133 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 13 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

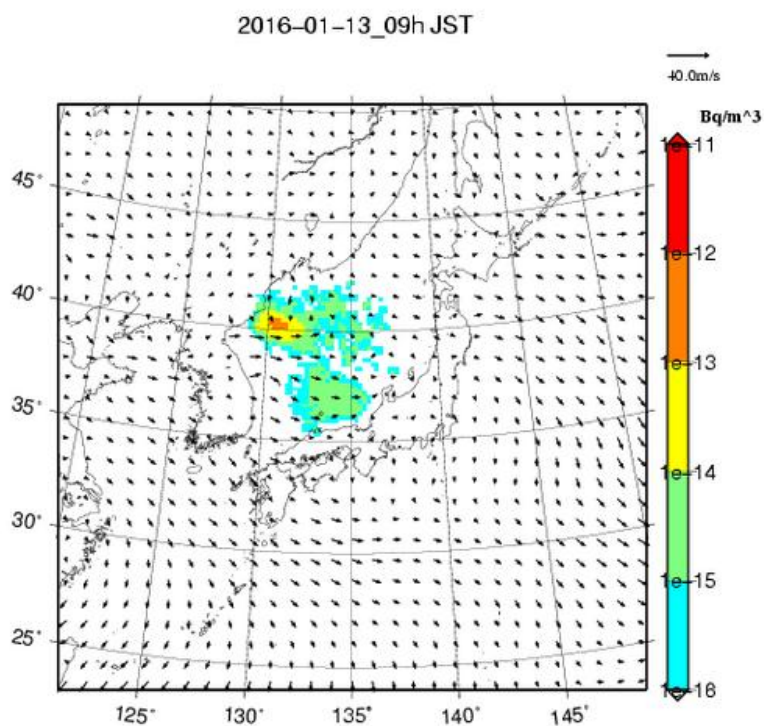
高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

③ Cs-137 の大気中濃度の水平分布図

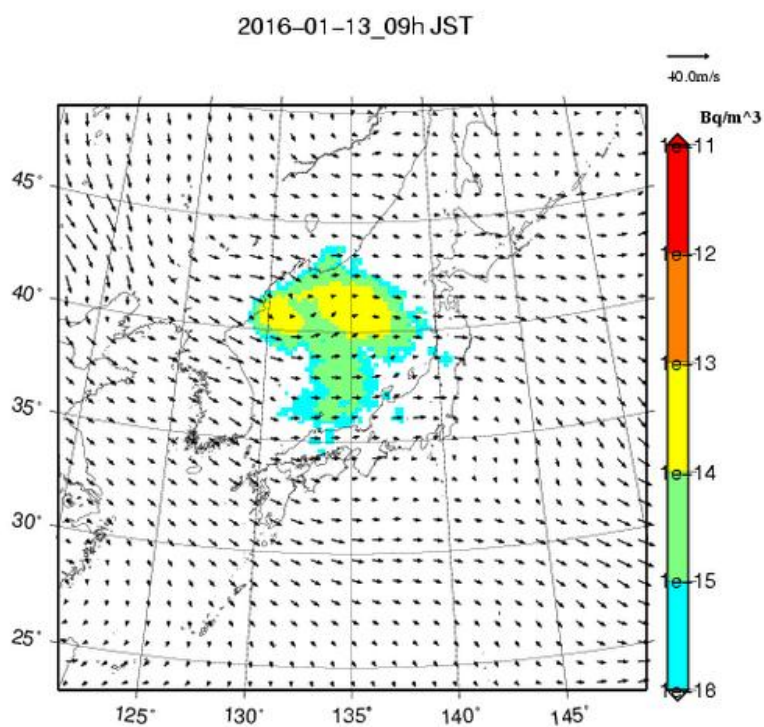
時刻：1 月 13 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

2016/1/13_9:00 地表面 空気中濃度 (ヨウ素 131)

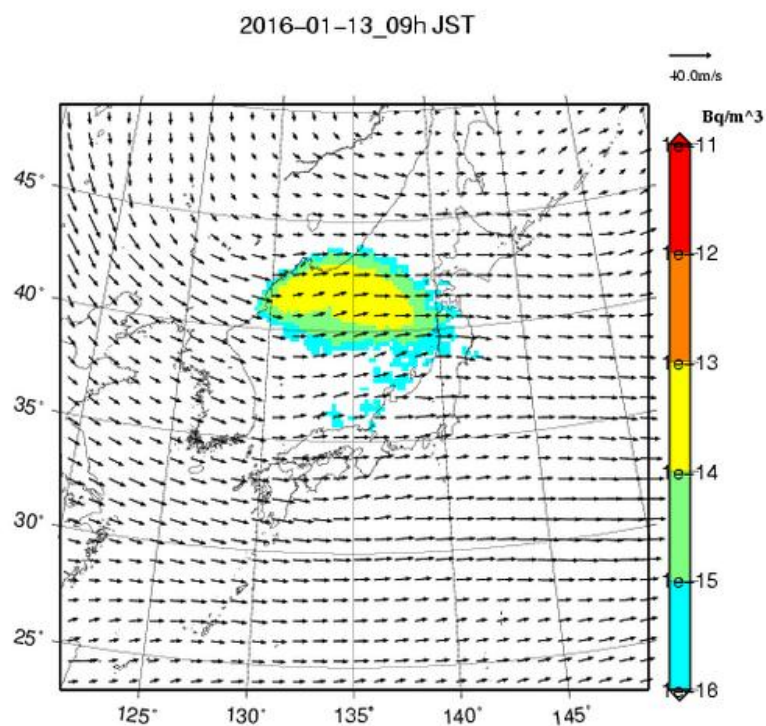


2016/1/13_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (ヨウ素 131)

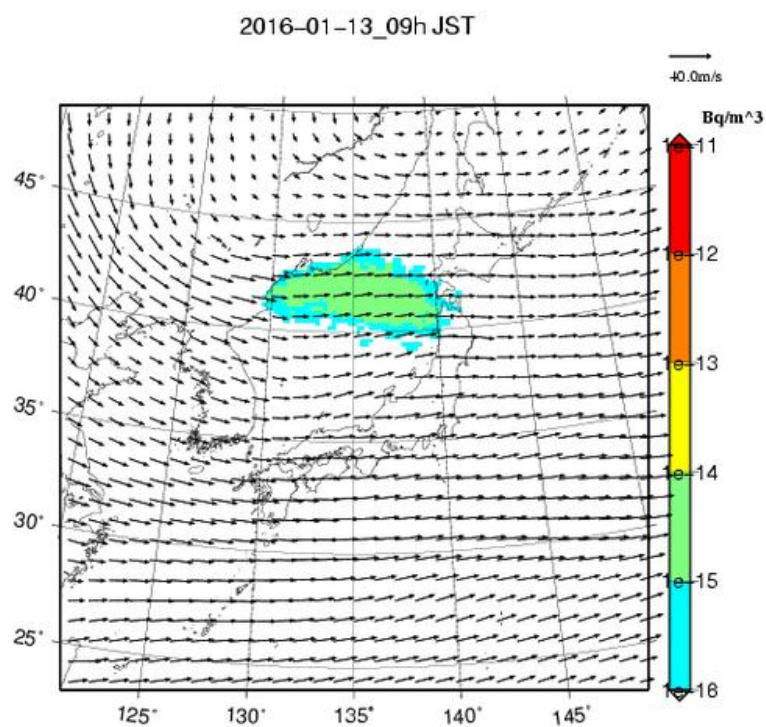


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

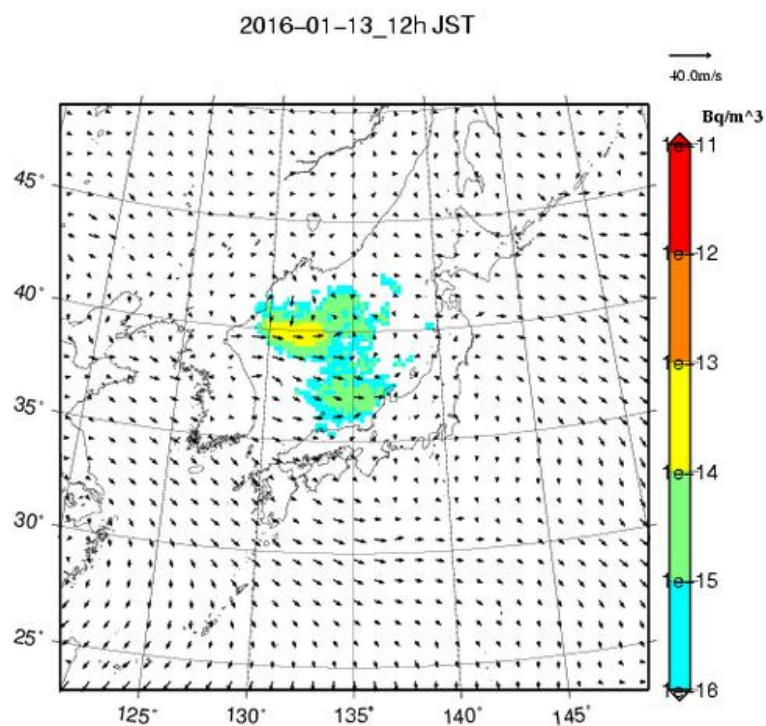


2016/1/13_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

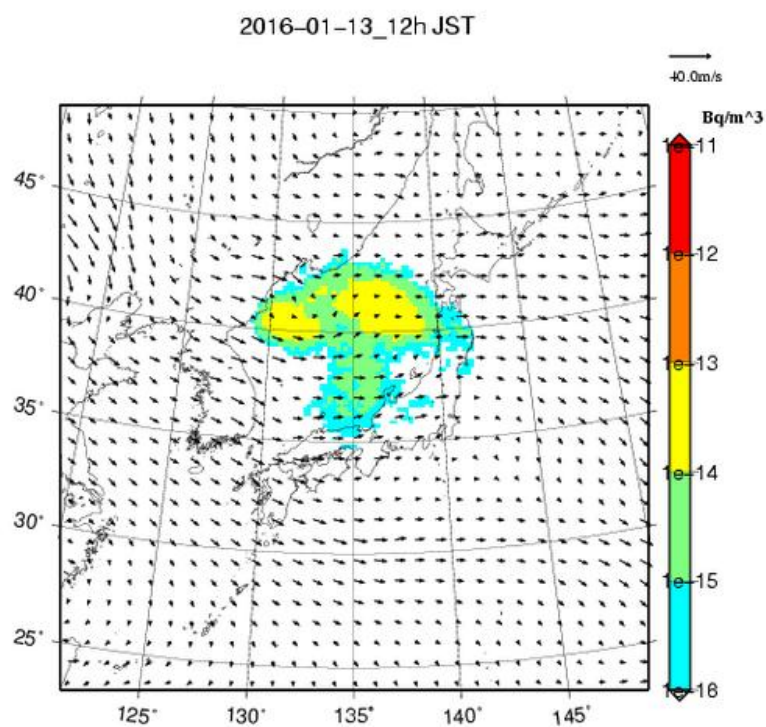


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_12:00 地表面 空气中濃度（ヨウ素 131）

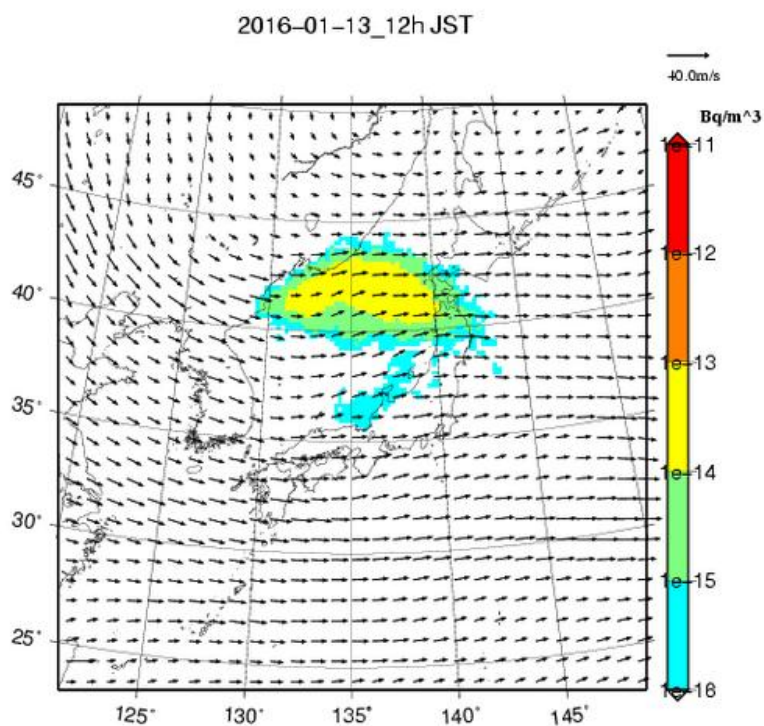


2016/1/13_12:00 上空 1,000m 空气中濃度（ヨウ素 131）

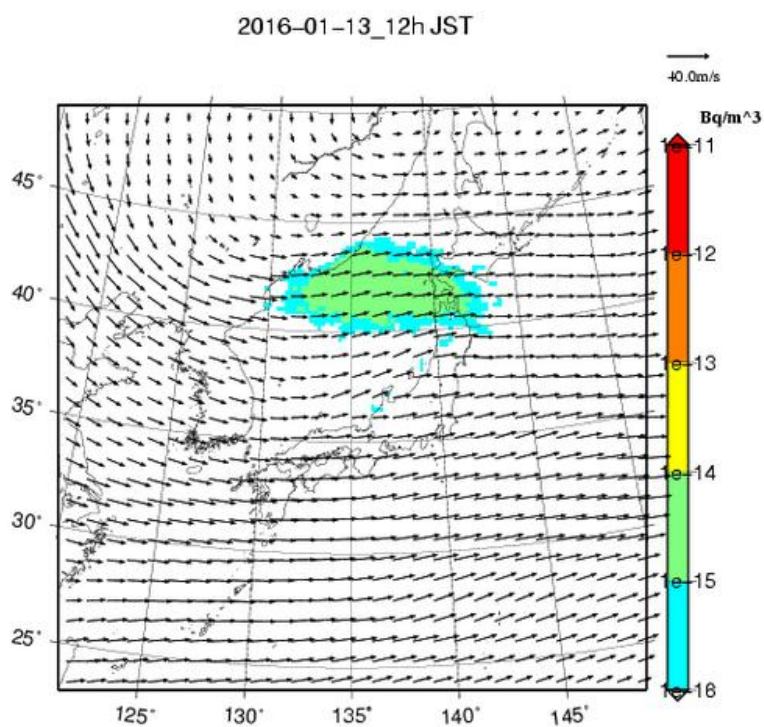


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

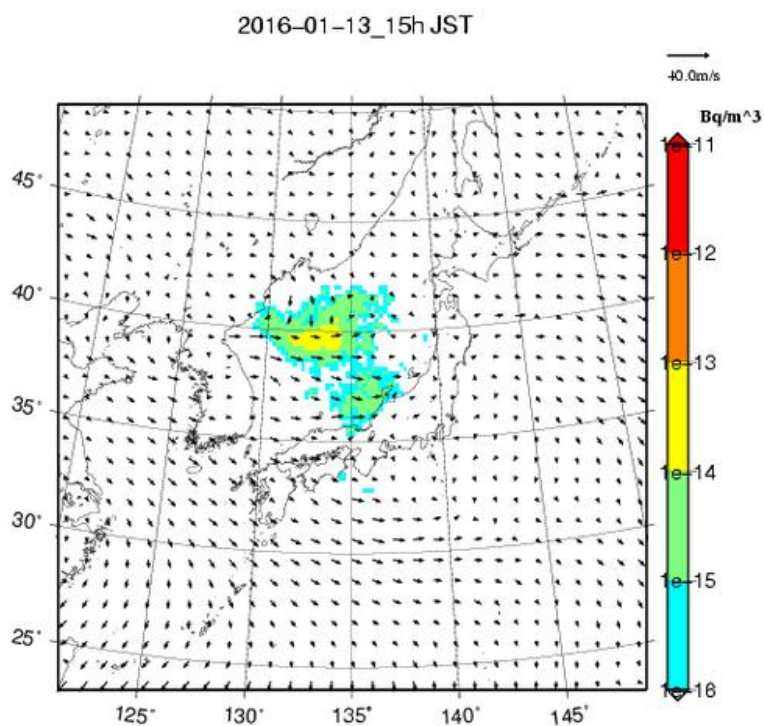


2016/1/13_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

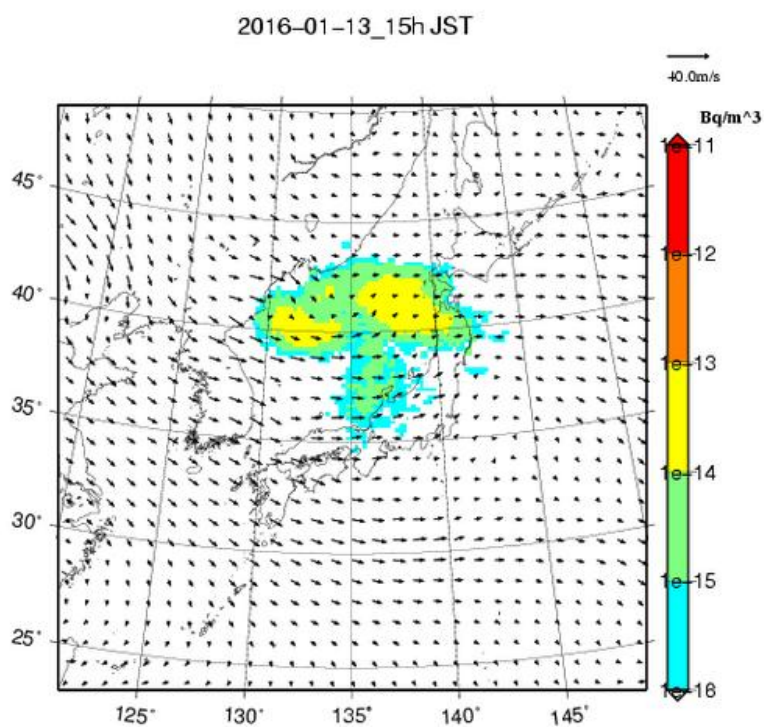


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_15:00 地表面 空気中濃度（ヨウ素 131）

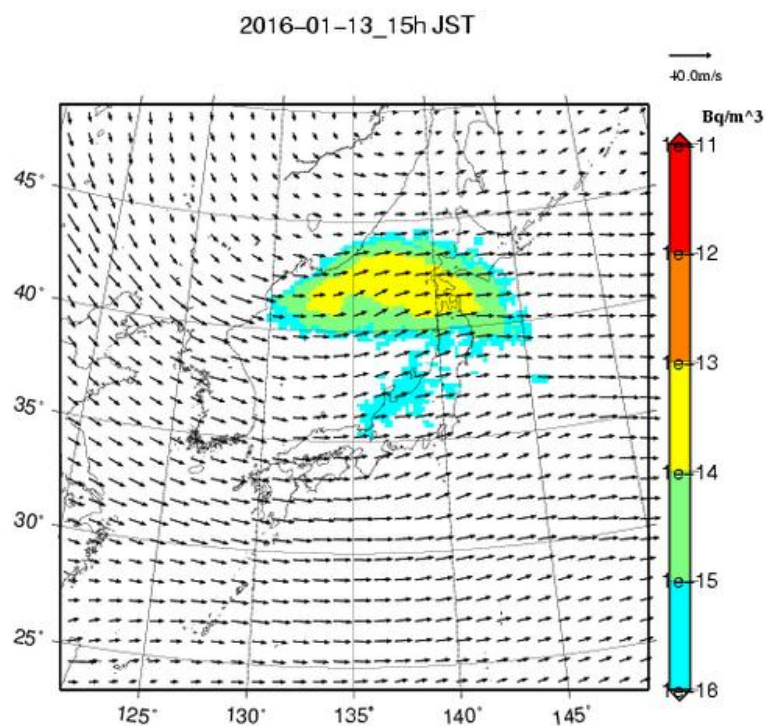


2016/1/13_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（ヨウ素 131）

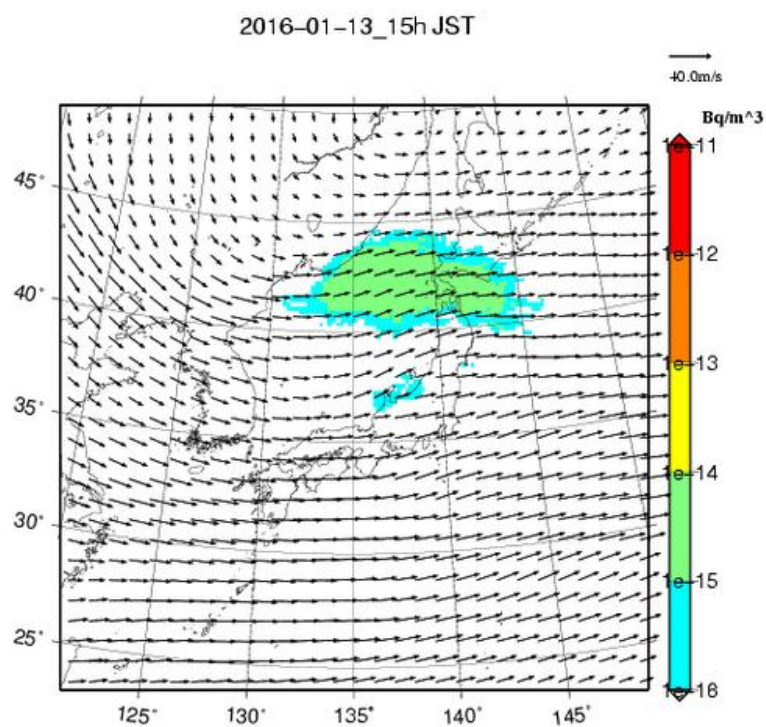


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

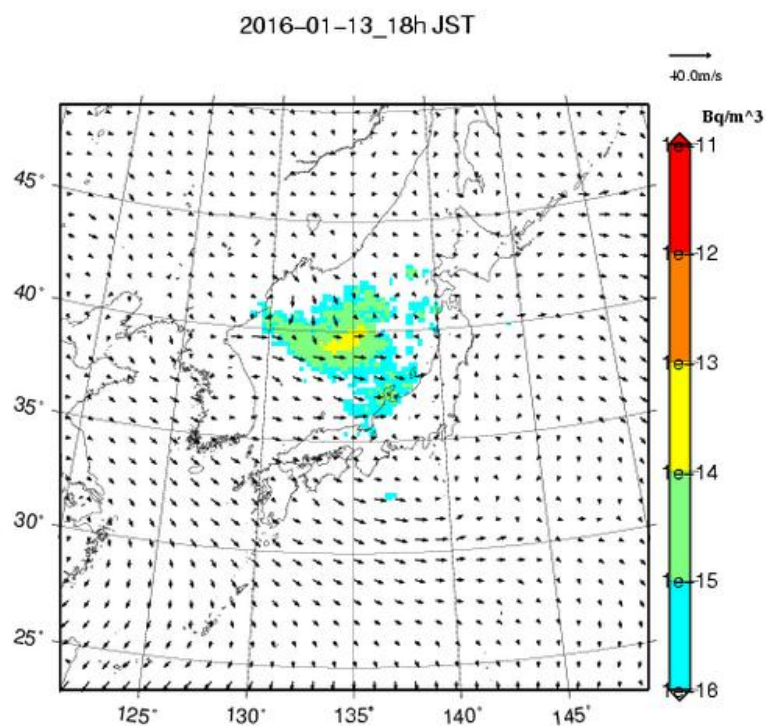


2016/1/13_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

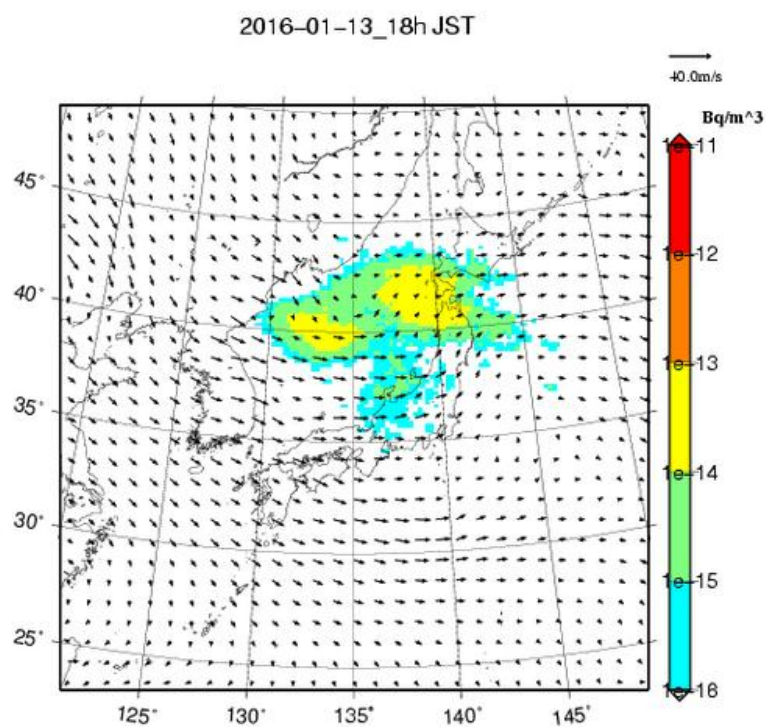


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_18:00 地表面 空气中濃度（ヨウ素 131）

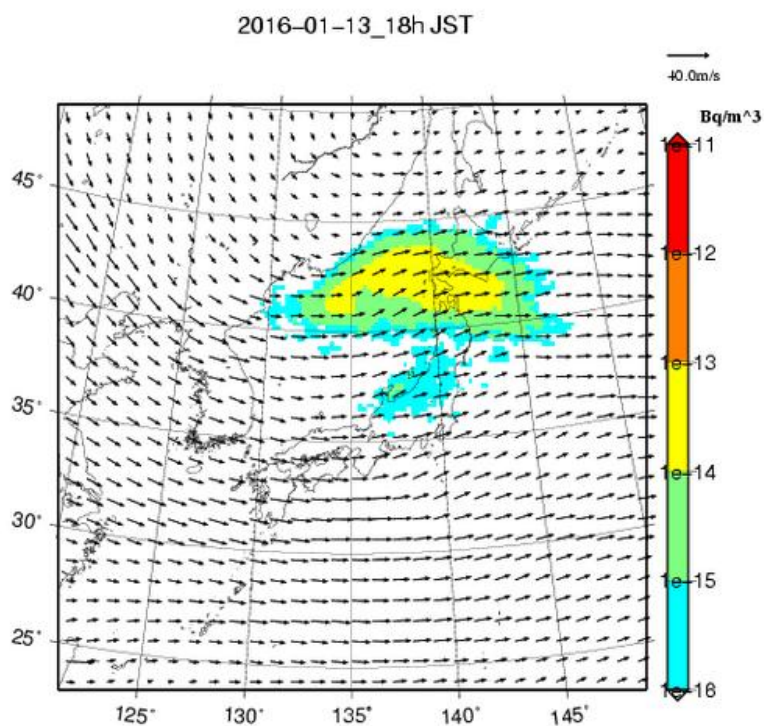


2016/1/13_18:00 上空 1,000m 空气中濃度（ヨウ素 131）

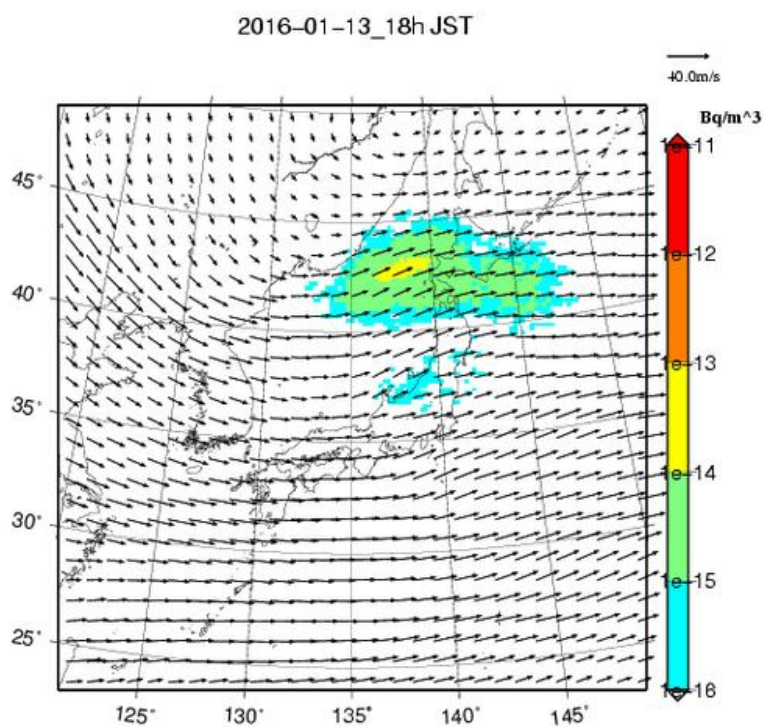


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

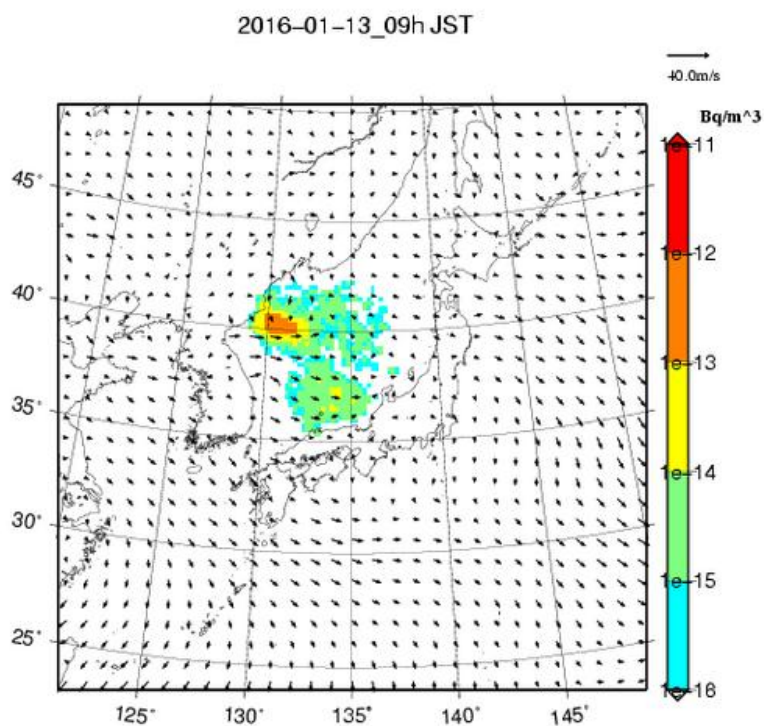


2016/1/13_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

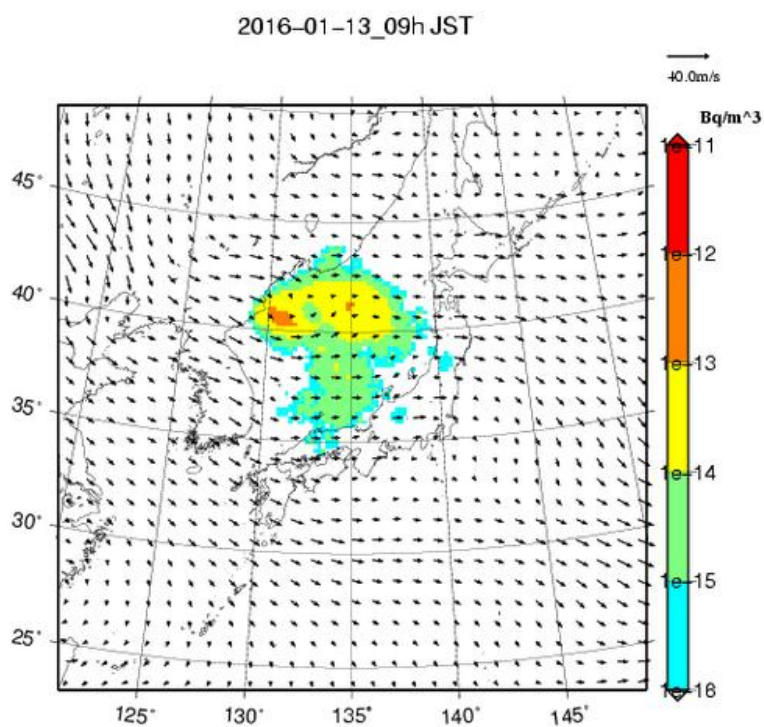


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_9:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

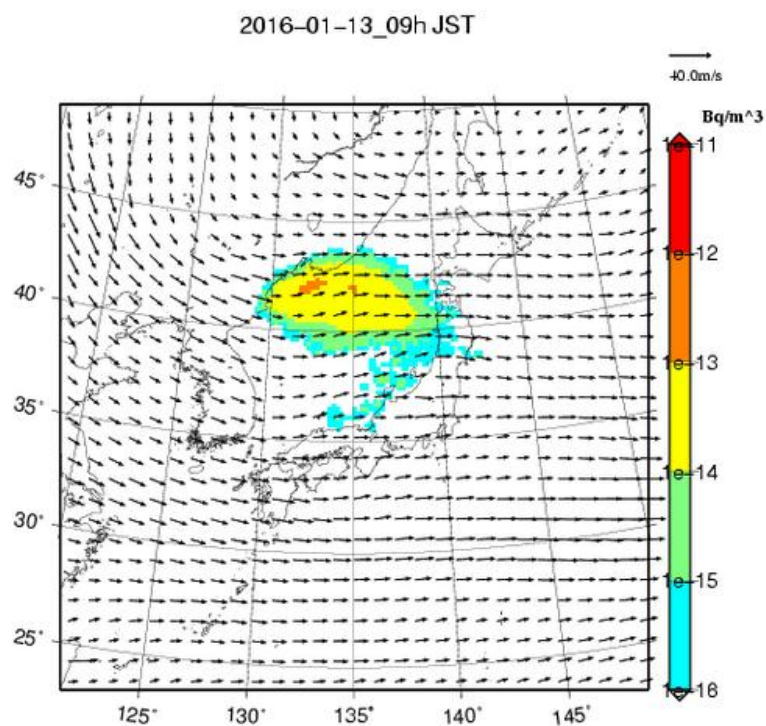


2016/1/13_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

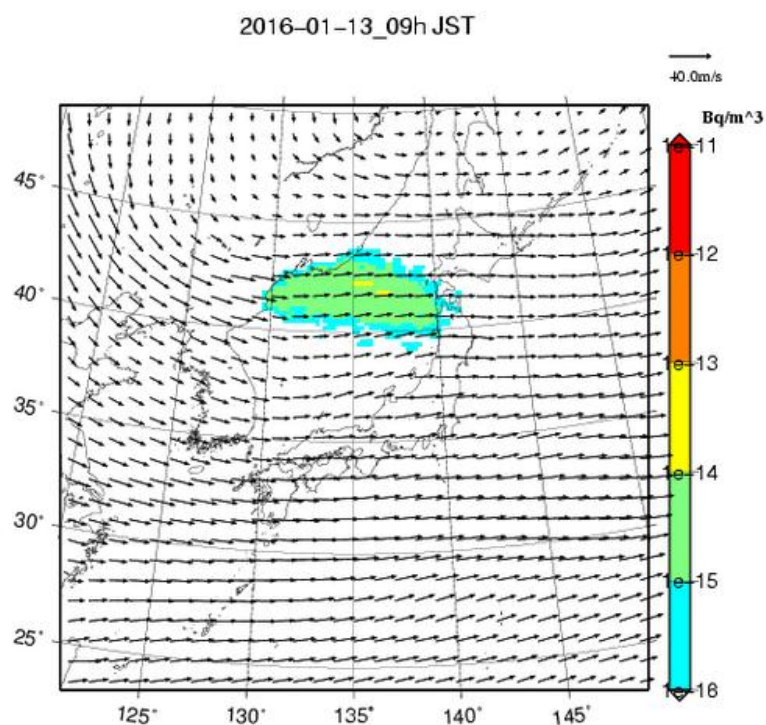


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

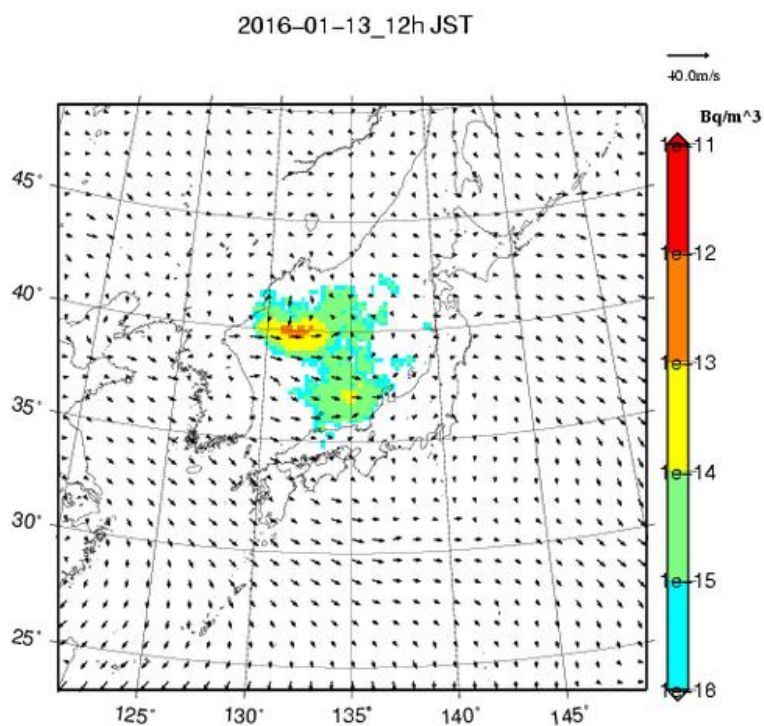


2016/1/13_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

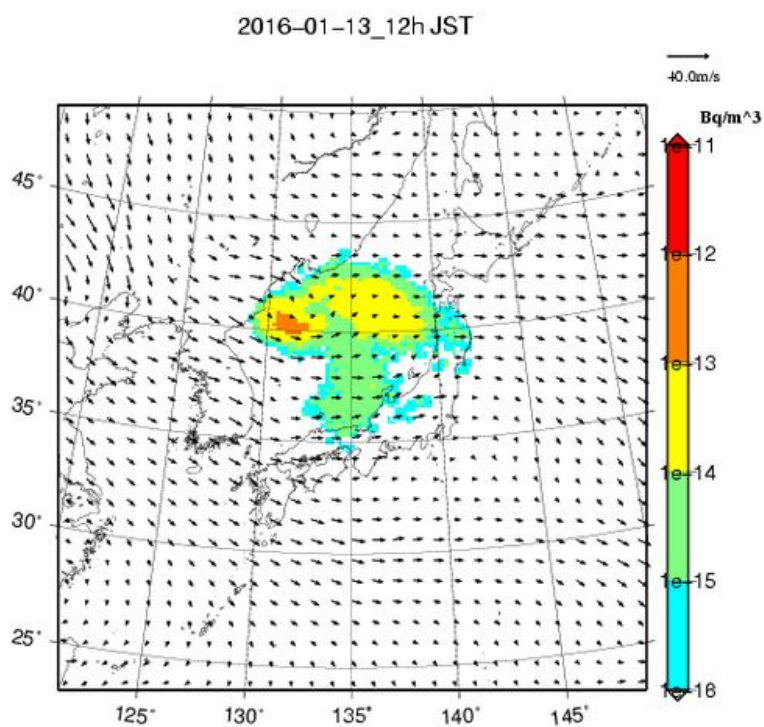


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_12:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

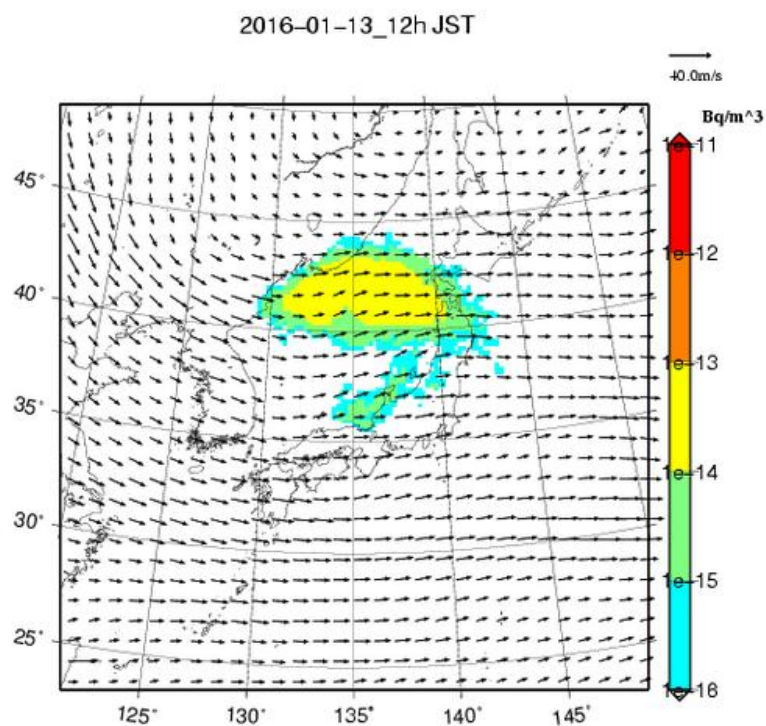


2016/1/13_12:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

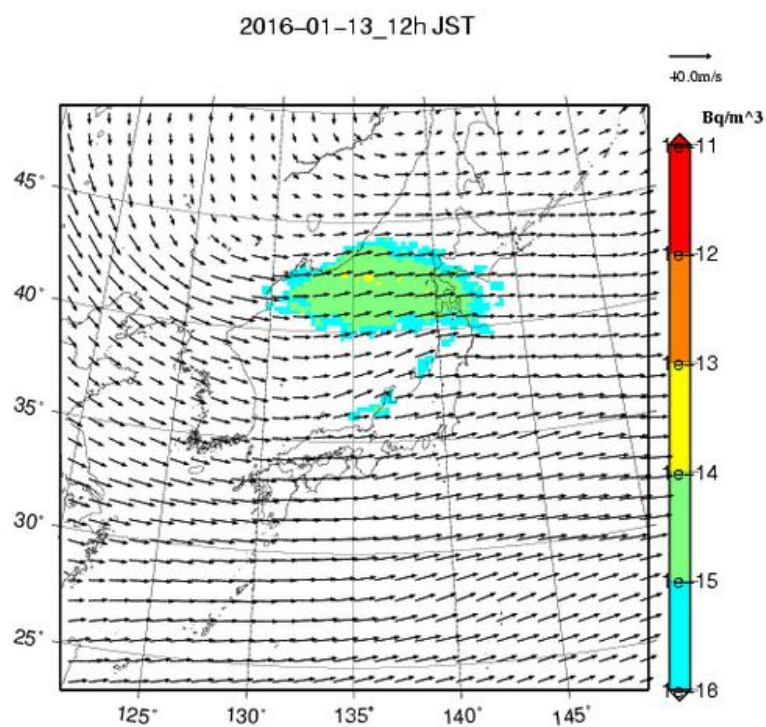


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

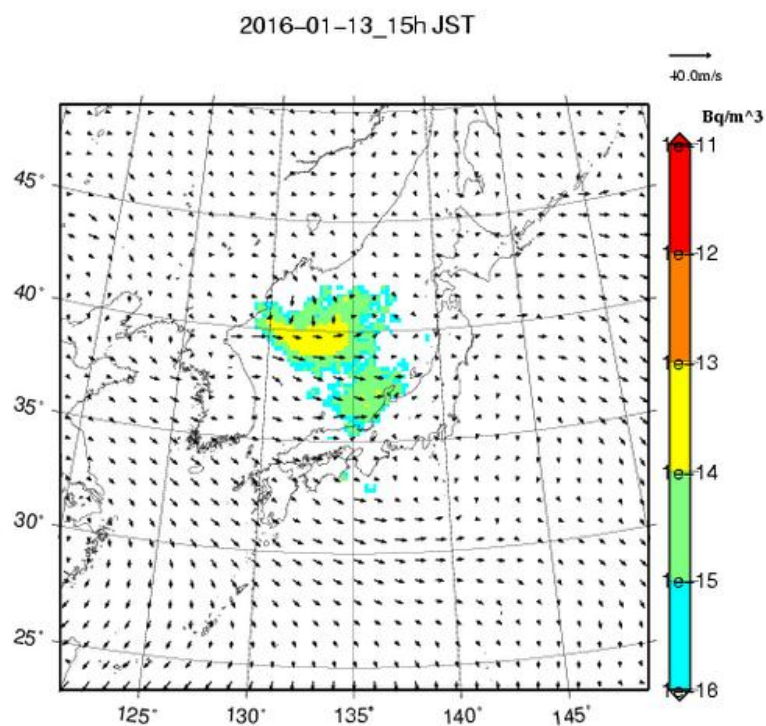


2016/1/13_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

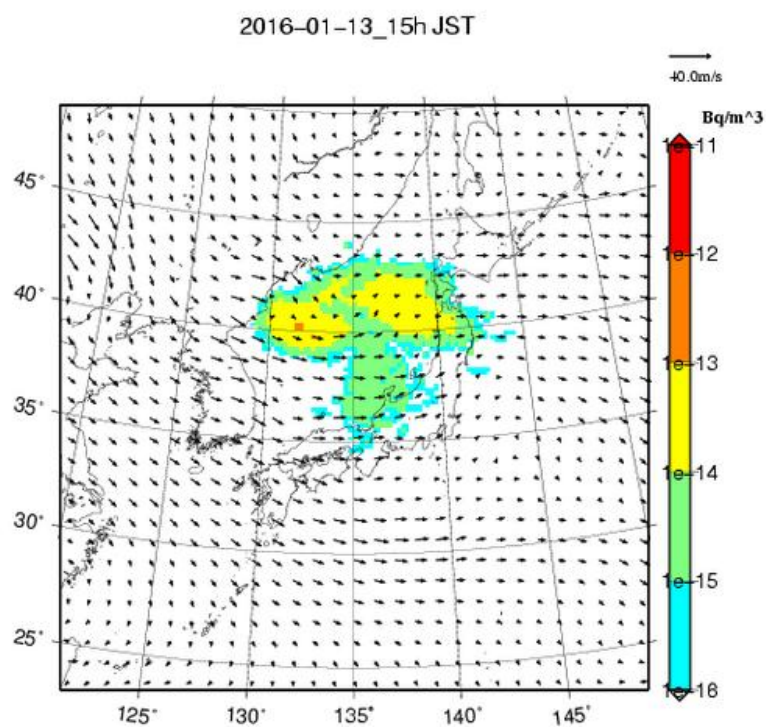


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_15:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

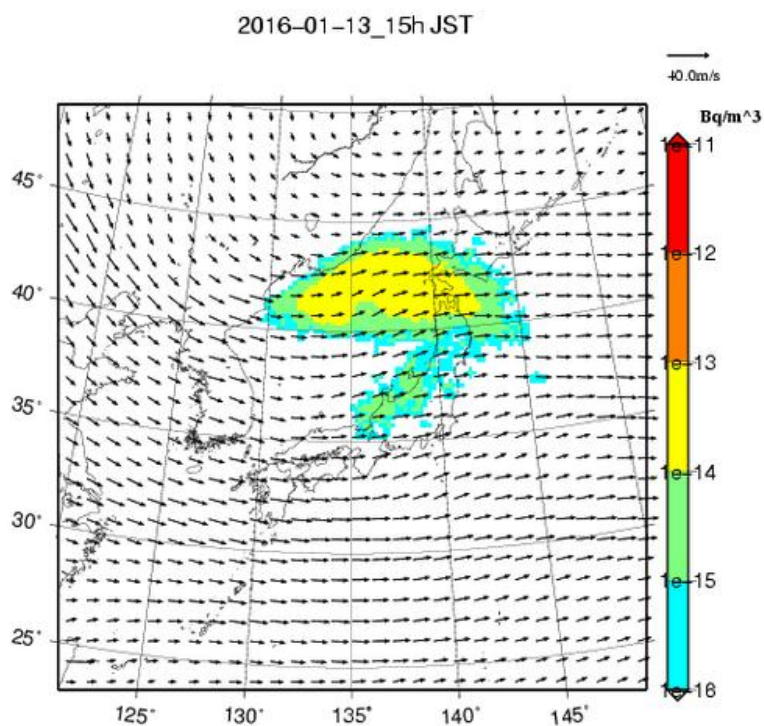


2016/1/13_15:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

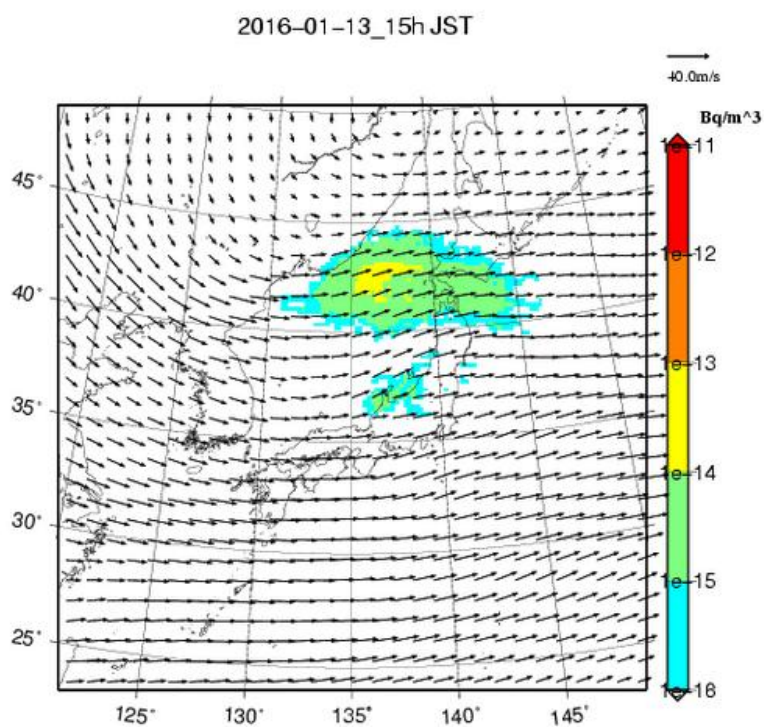


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

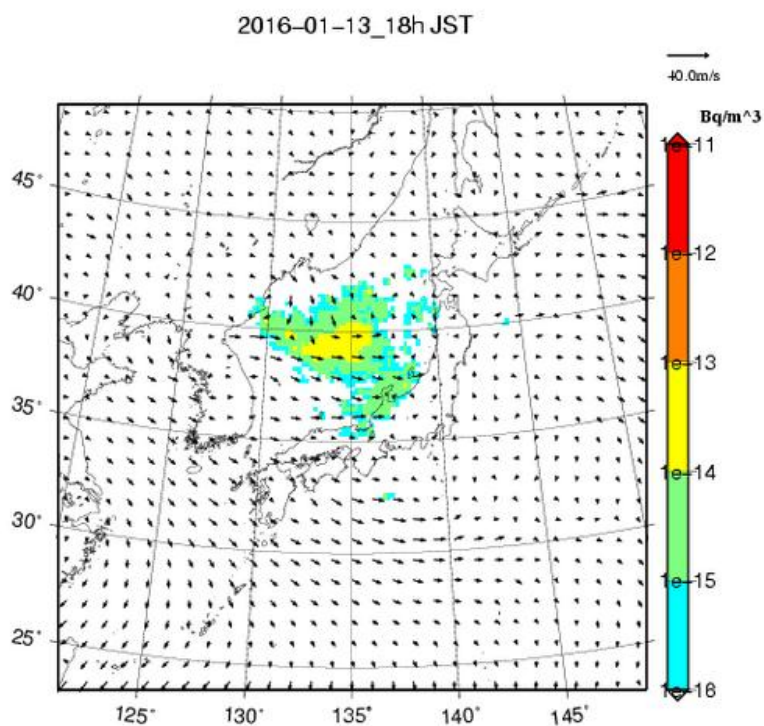


2016/1/13_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

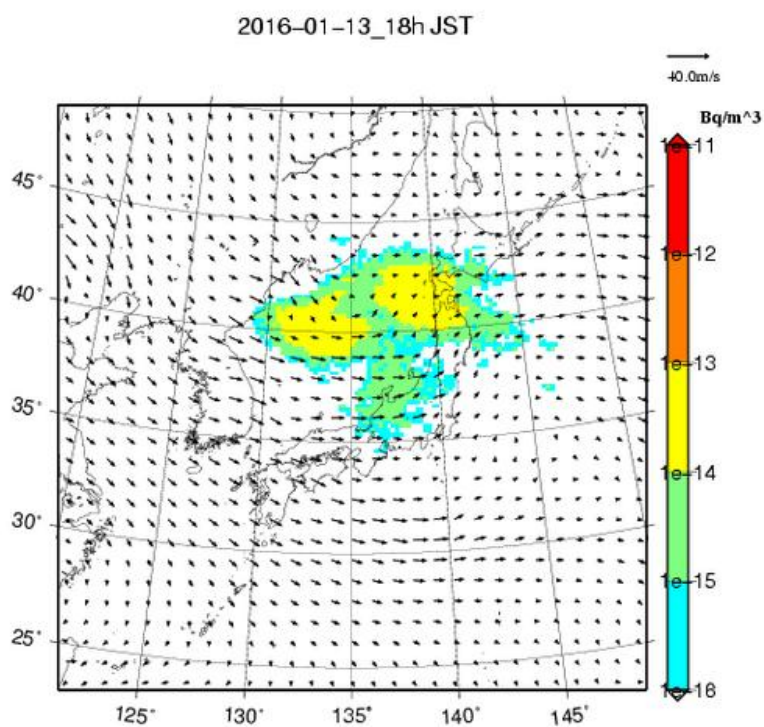


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_18:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

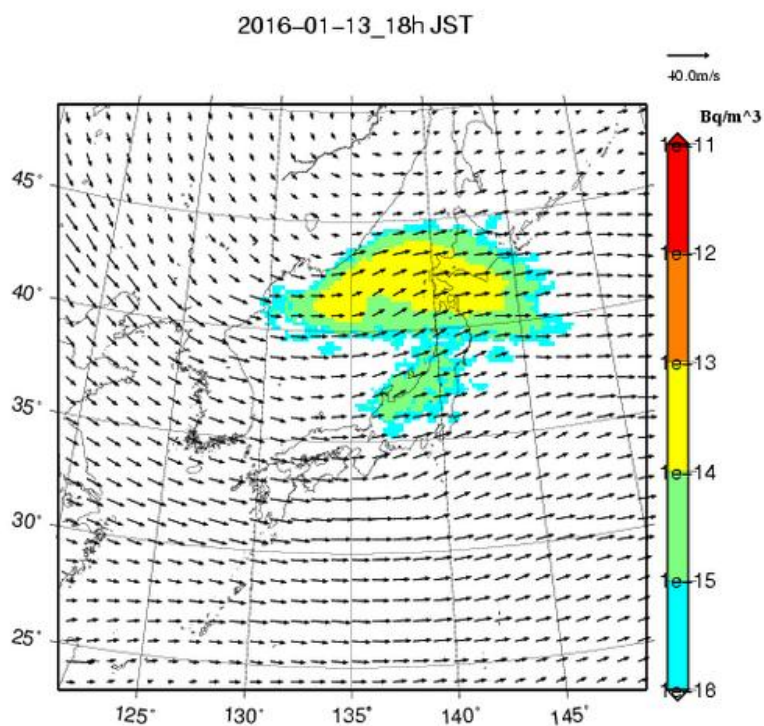


2016/1/13_18:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

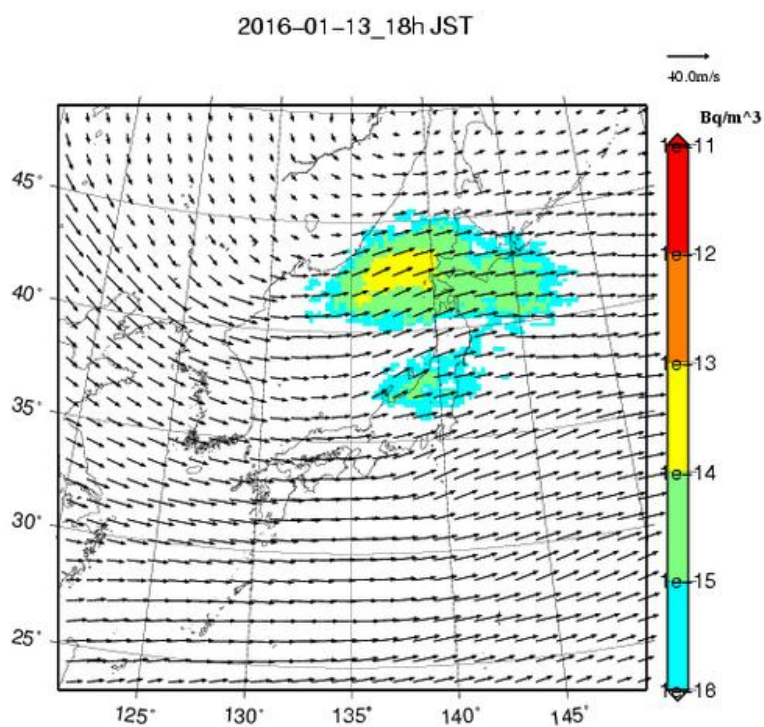


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

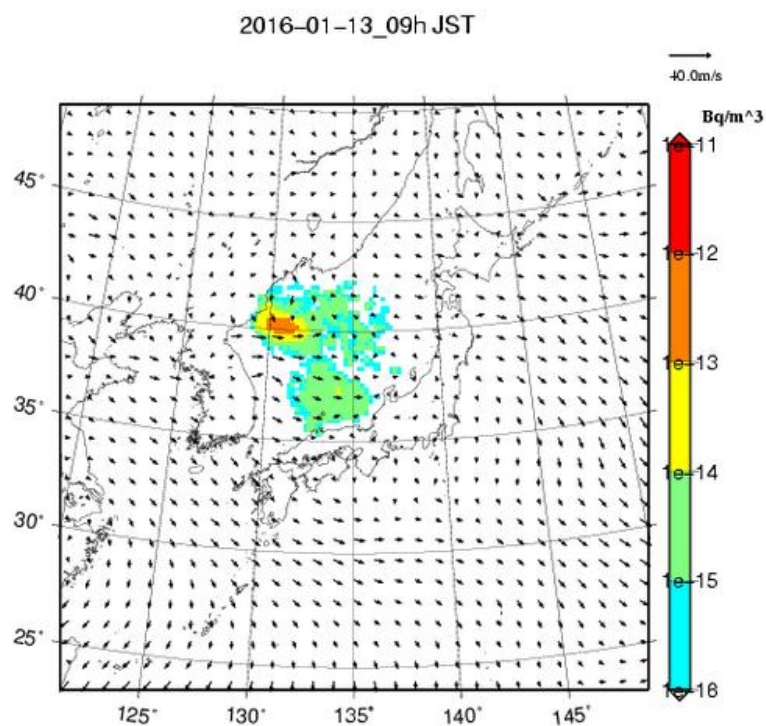


2016/1/13_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

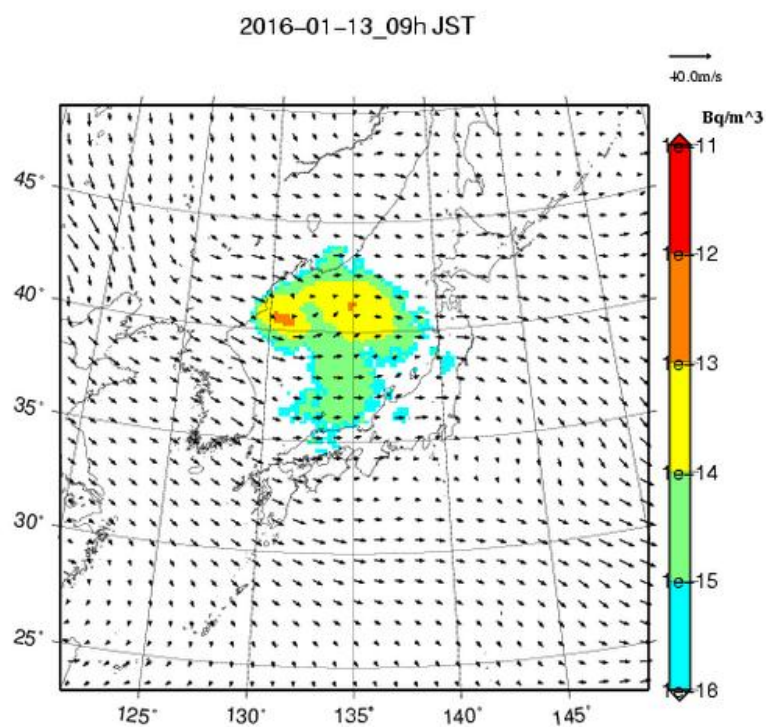


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_9:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

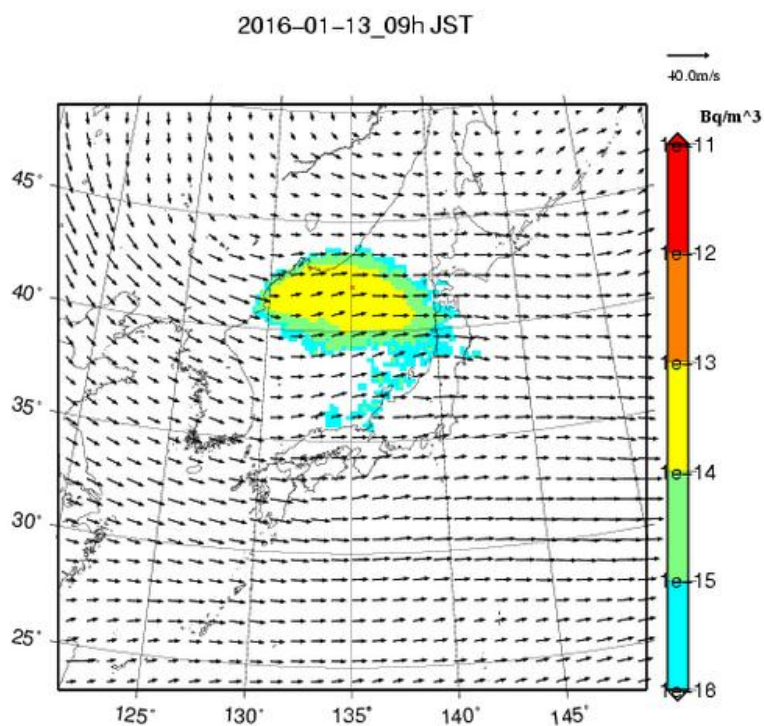


2016/1/13_9:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

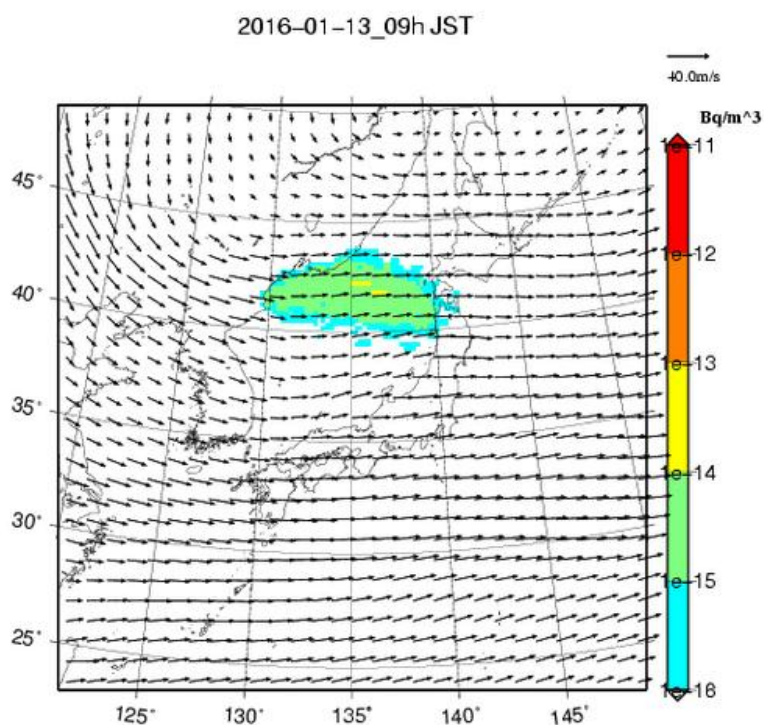


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

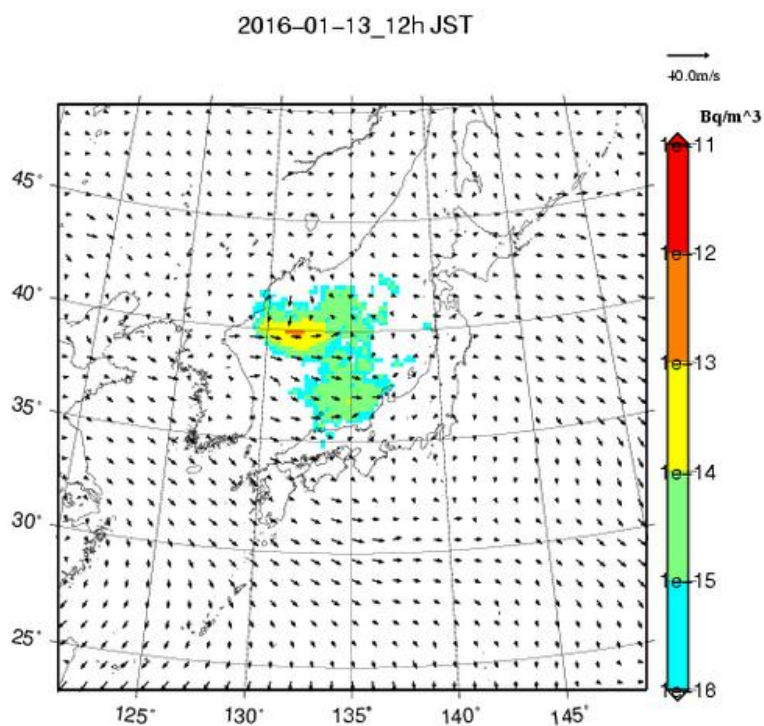


2016/1/13_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

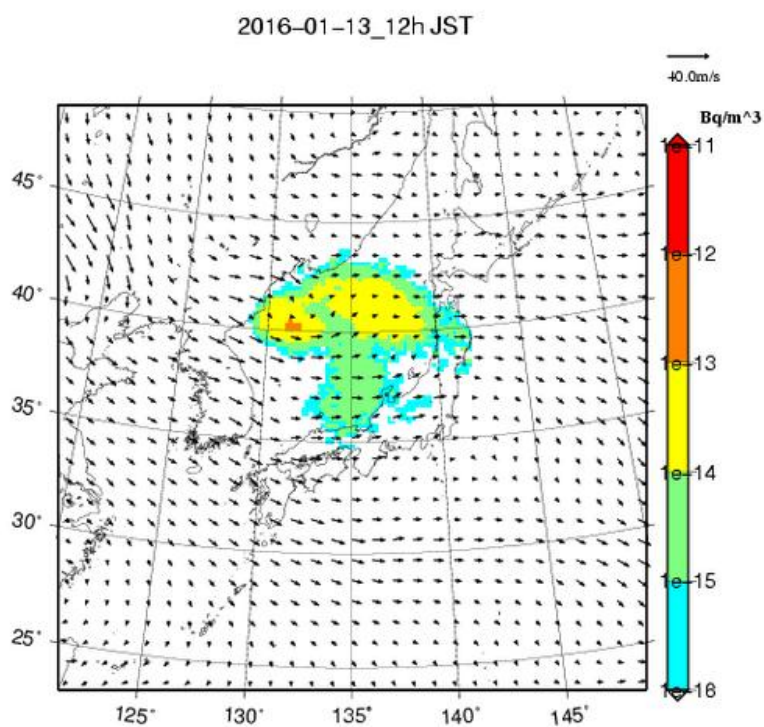


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_12:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

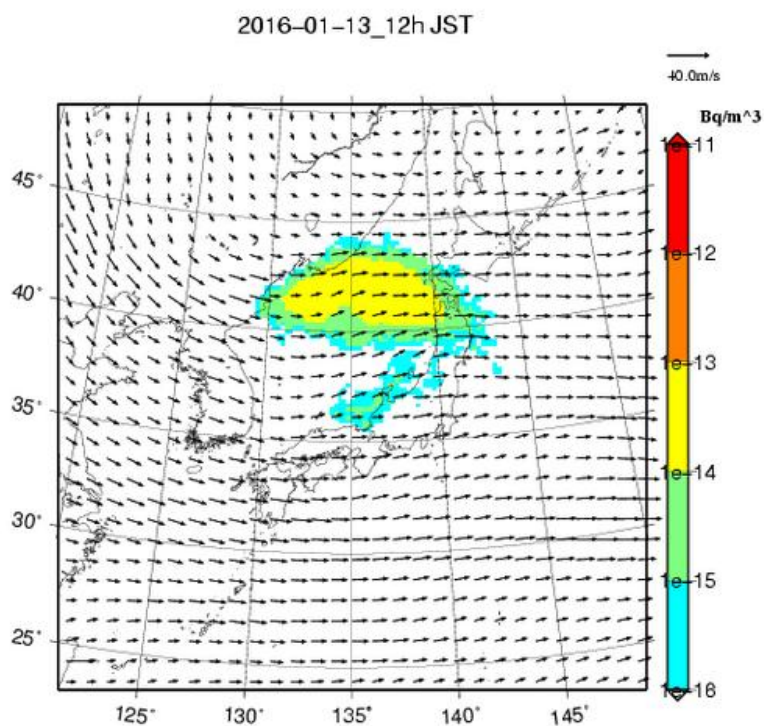


2016/1/13_12:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

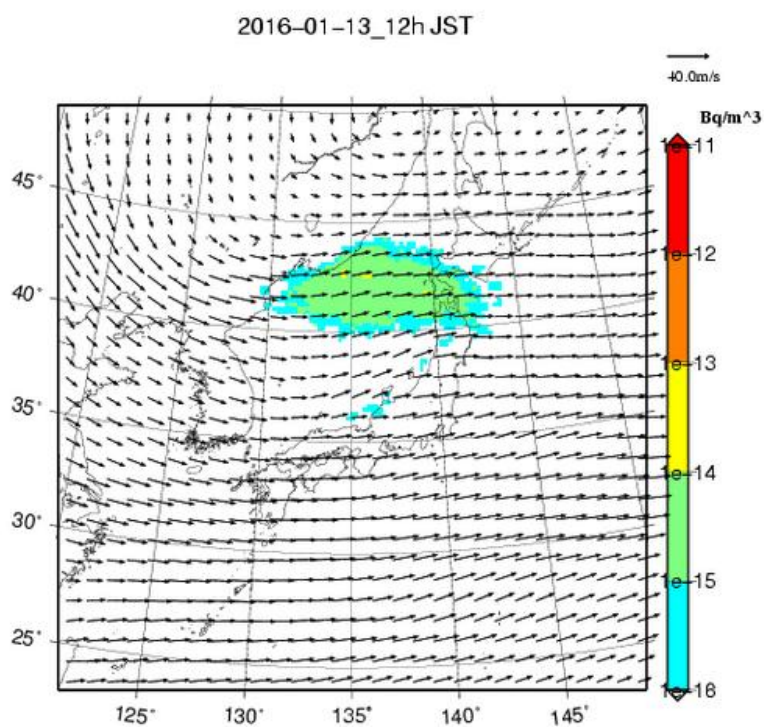


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

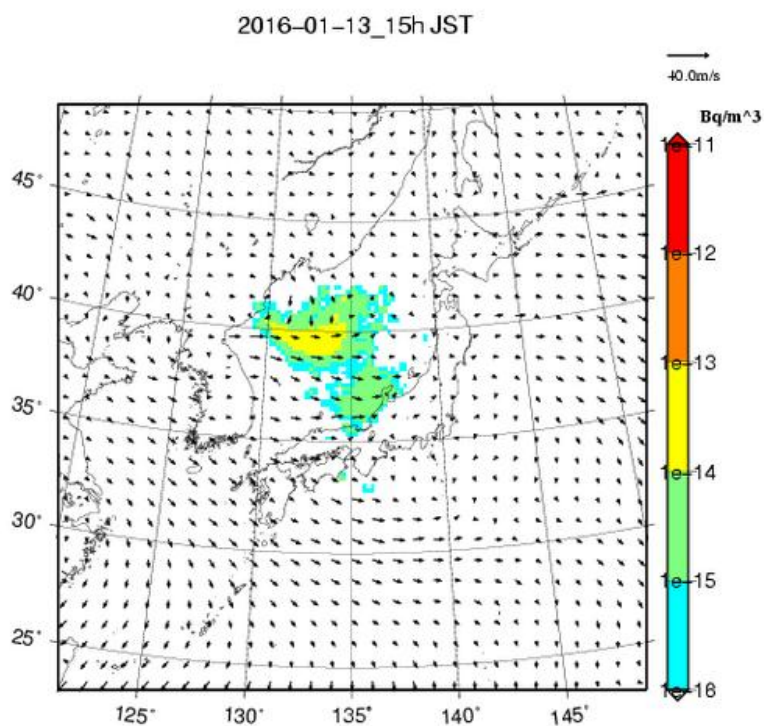


2016/1/13_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

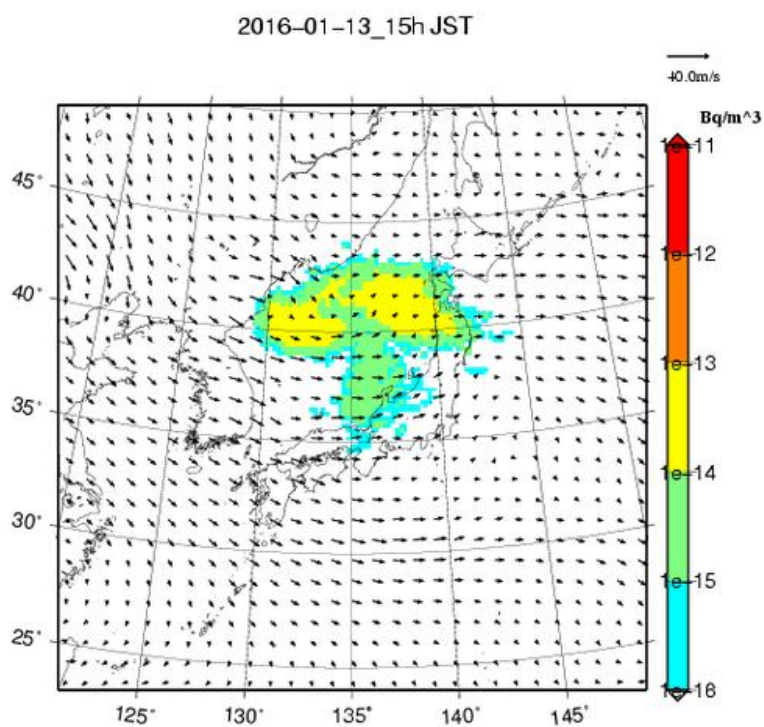


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_15:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

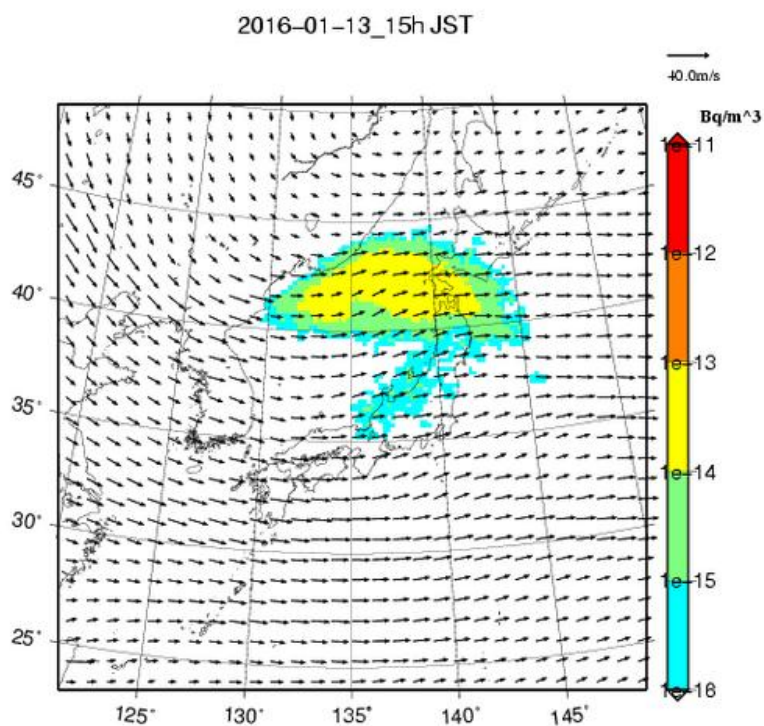


2016/1/13_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

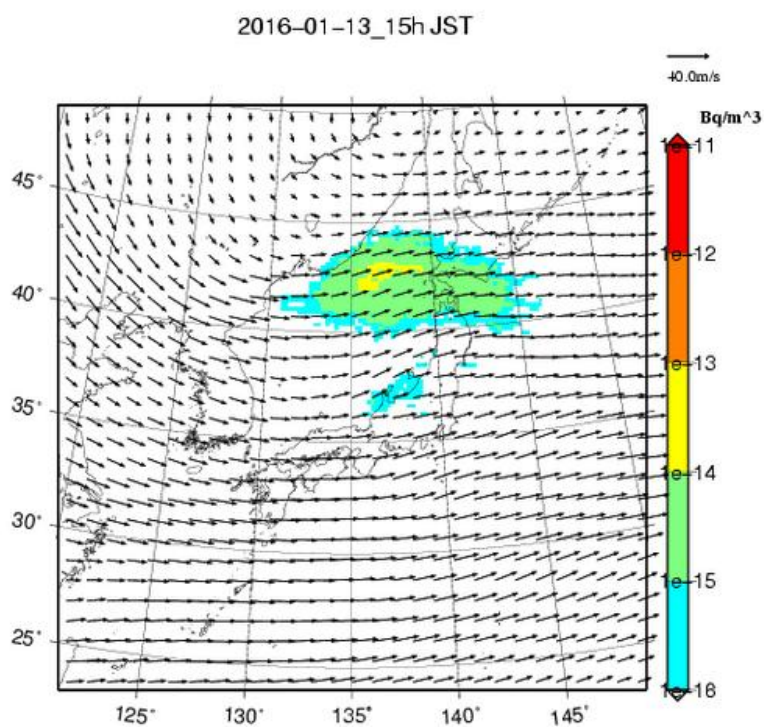


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

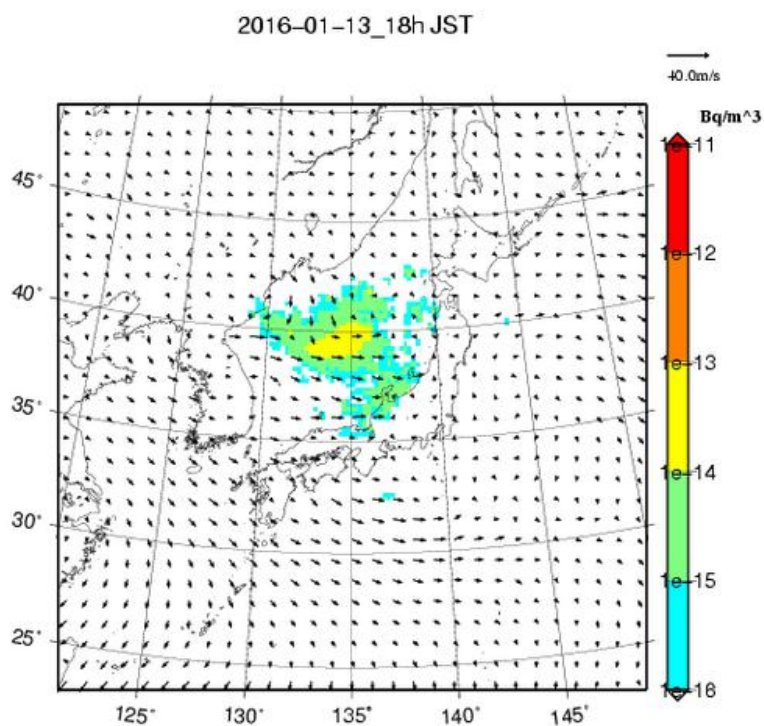


2016/1/13_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

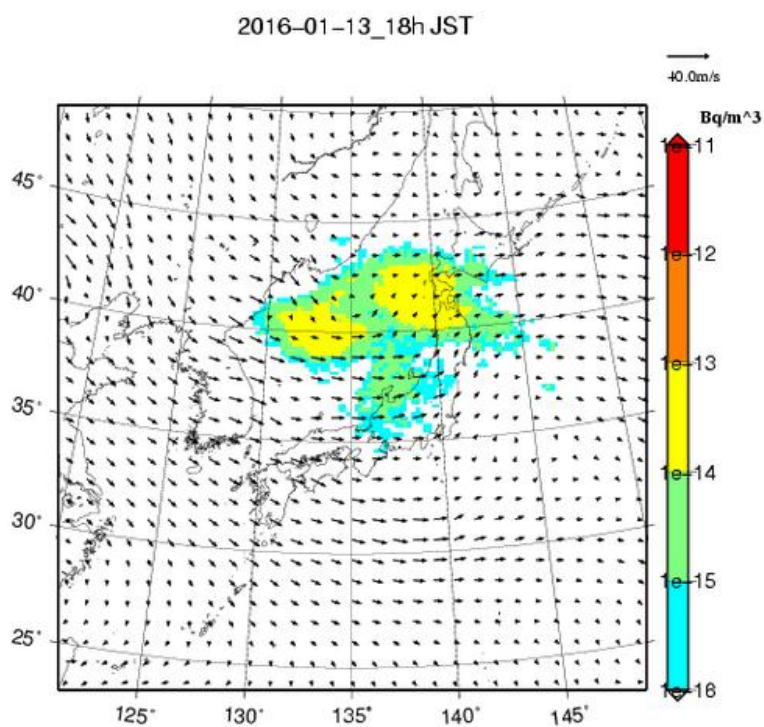


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_18:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

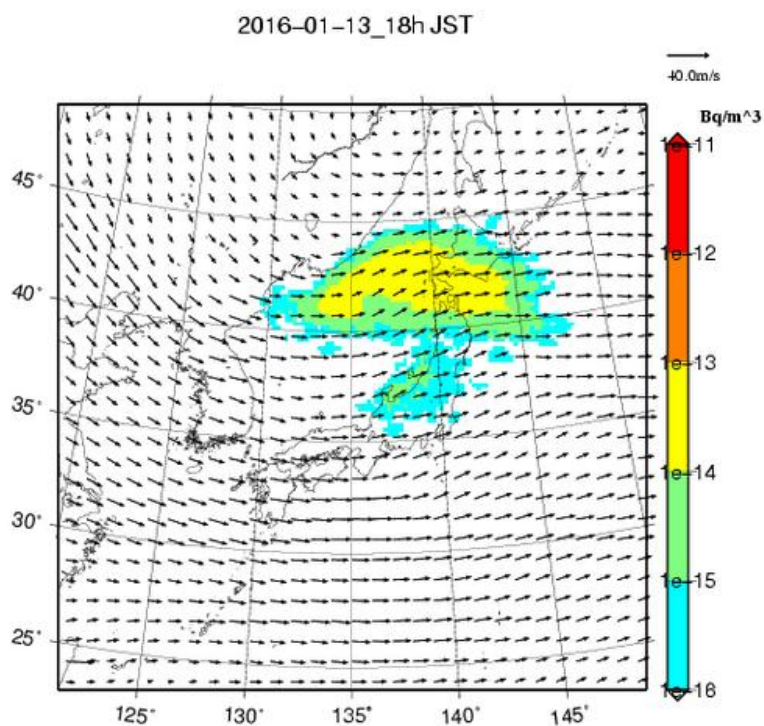


2016/1/13_18:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

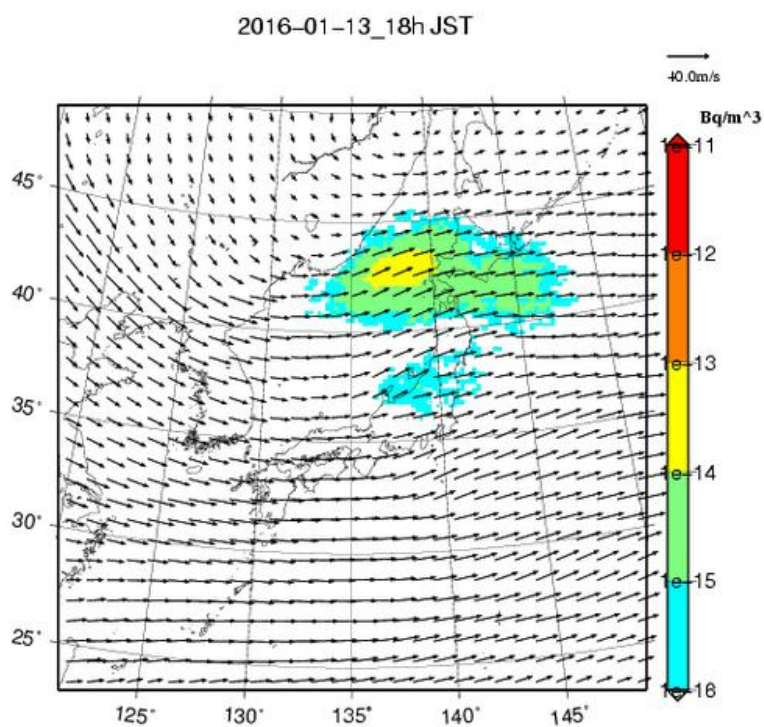


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/13_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



2016/1/13_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

北朝鮮の核実験実施を想定した WSPEEDI-II による放射能拡散予測結果 (15)

標記について、仮定計算条件に基づく予測結果は以下のとおりです。

1. 仮定計算条件

放射性物質の種類及び放出率： I-131 (1Bq/h)
Xe-133 (1Bq/h)
Cs-137 (1Bq/h)

放出場所：東経 129.1 度、北緯 41.3 度

放出期間：1 月 12 日 00:00 から 24 時間放出と仮定

2. 結果出力 (計 48 図形)

① I-131 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 14 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

② Xe-133 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 14 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

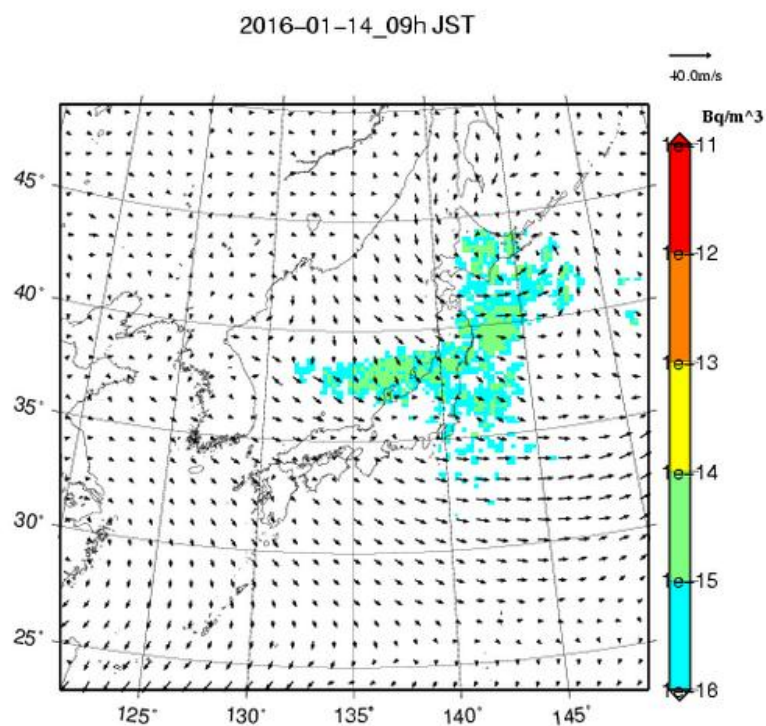
高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

③ Cs-137 の大気中濃度の水平分布図

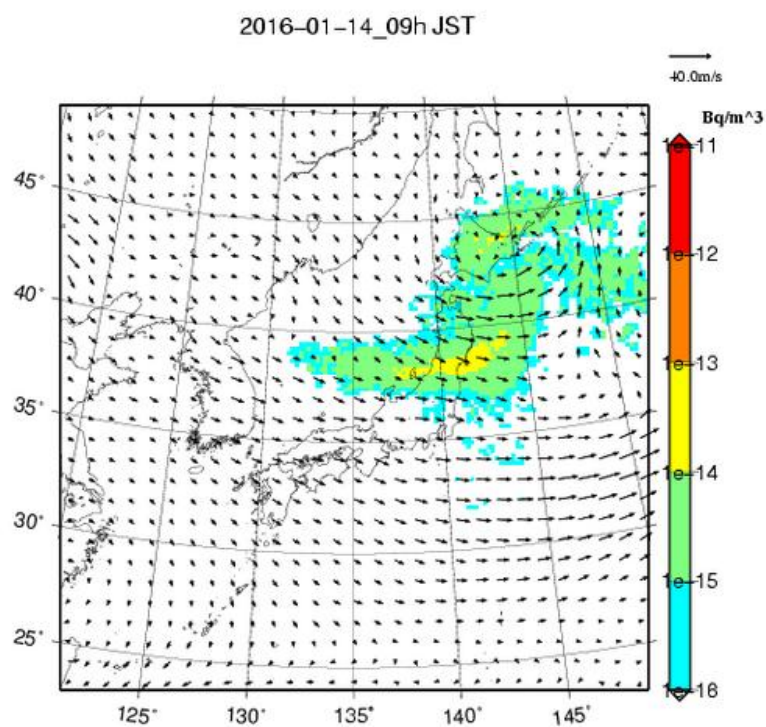
時刻：1 月 14 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

2016/1/14_9:00 地表面 空気中濃度 (ヨウ素 131)

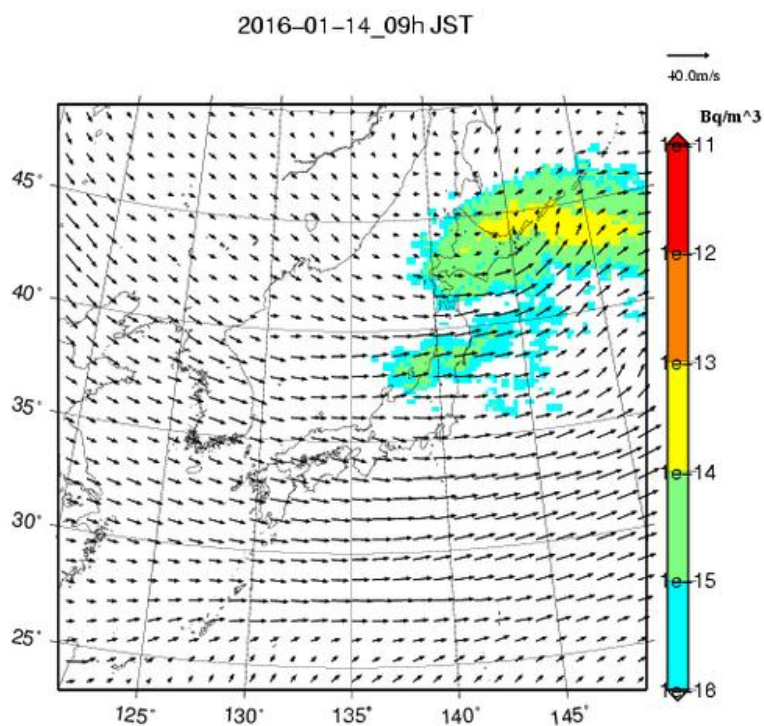


2016/1/14_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (ヨウ素 131)

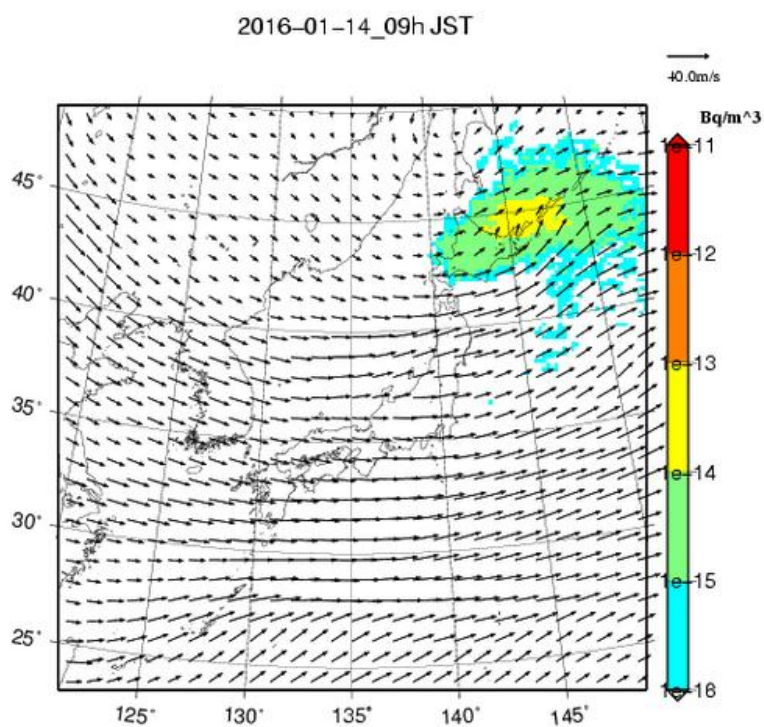


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

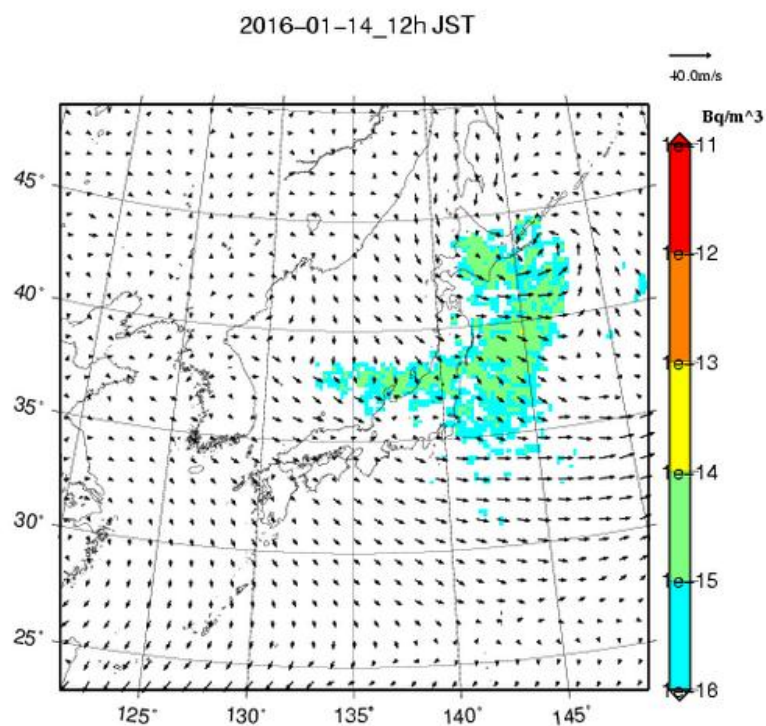


2016/1/14_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

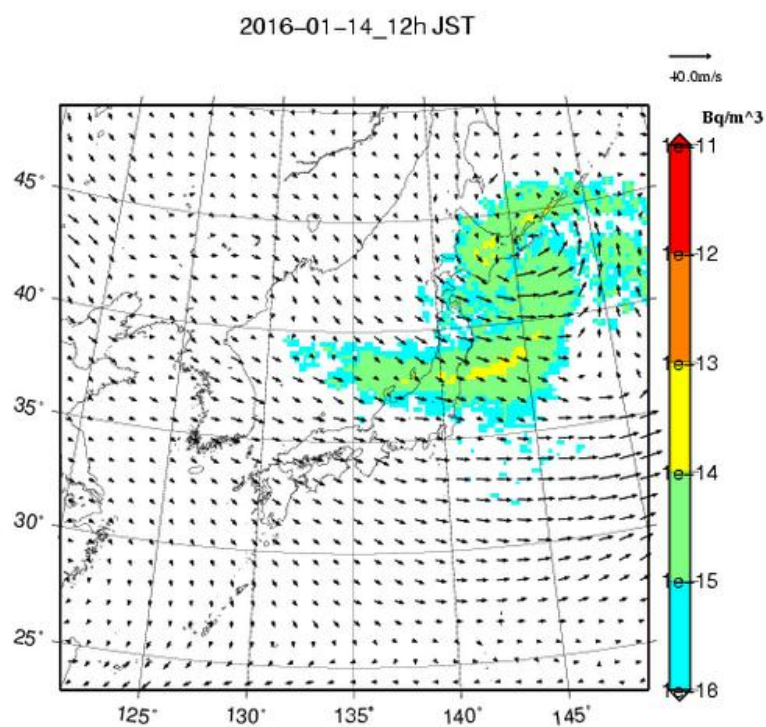


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_12:00 地表面 空气中濃度（ヨウ素 131）

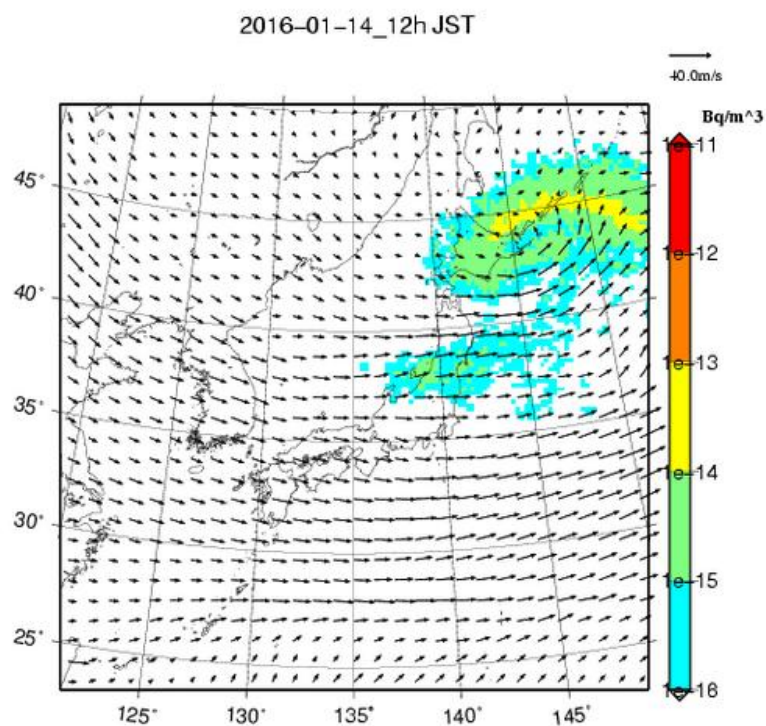


2016/1/14_12:00 上空 1,000m 空气中濃度（ヨウ素 131）

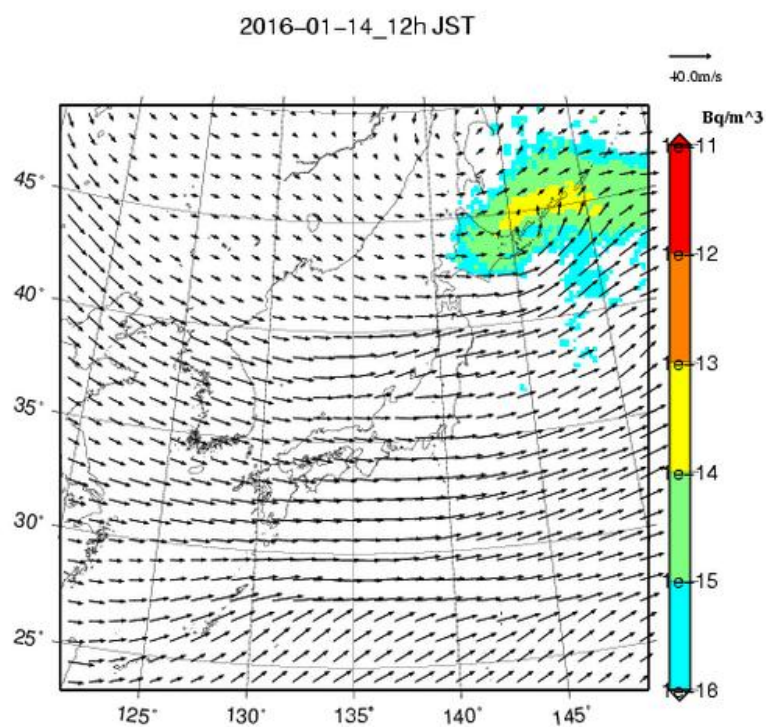


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

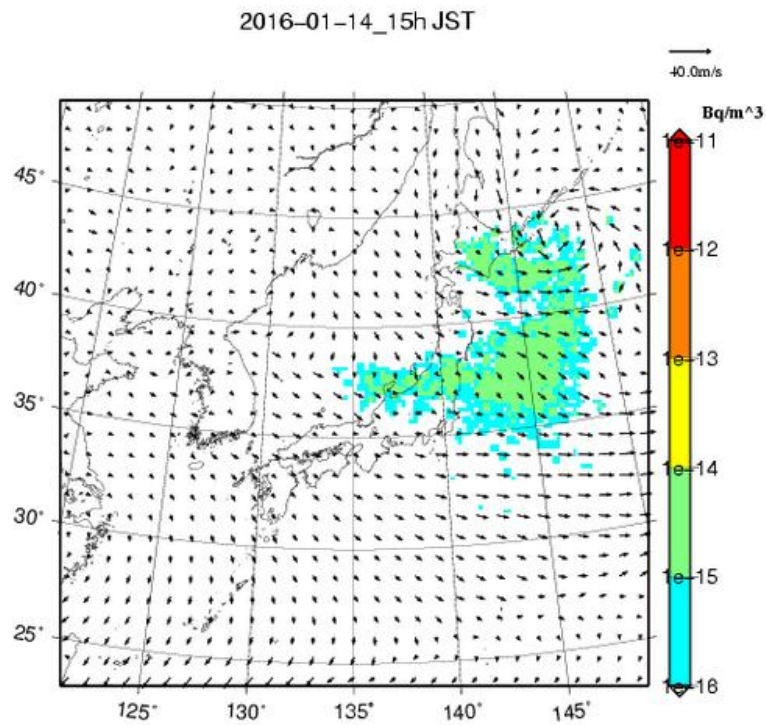


2016/1/14_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

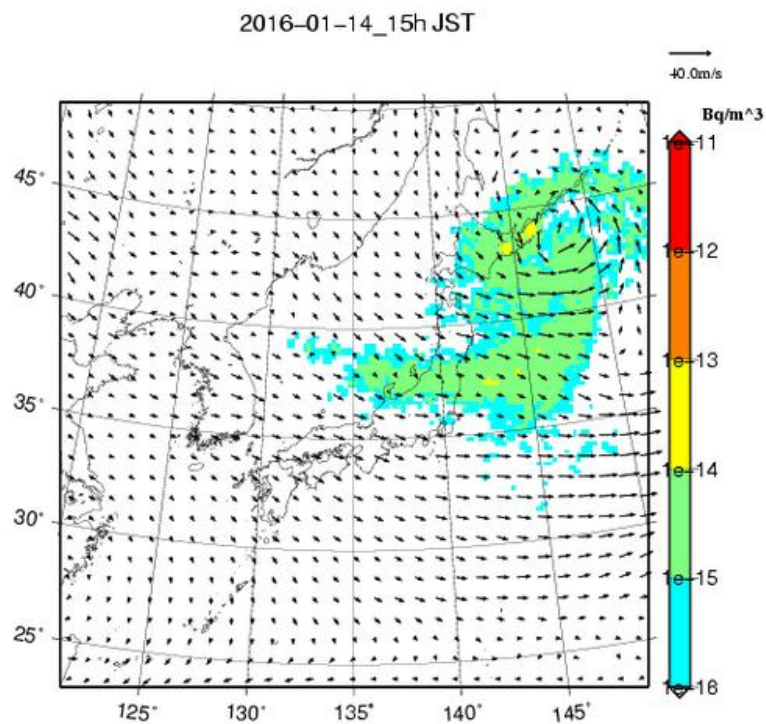


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_15:00 地表面 空気中濃度（ヨウ素 131）

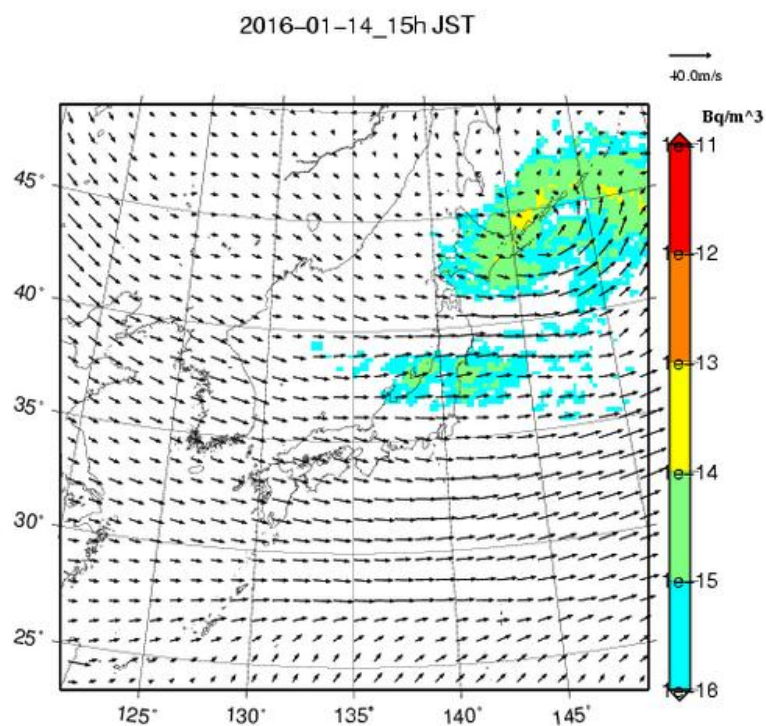


2016/1/14_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（ヨウ素 131）

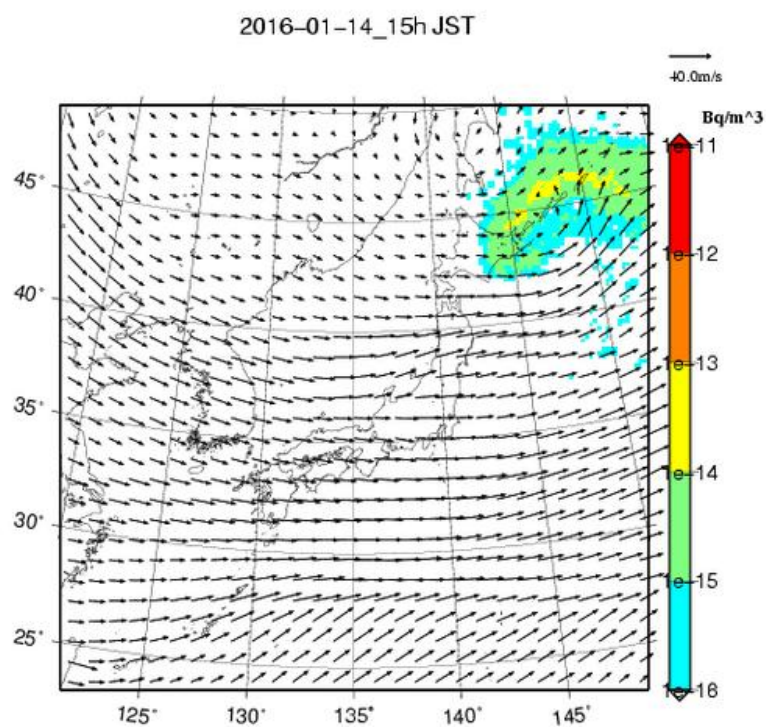


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

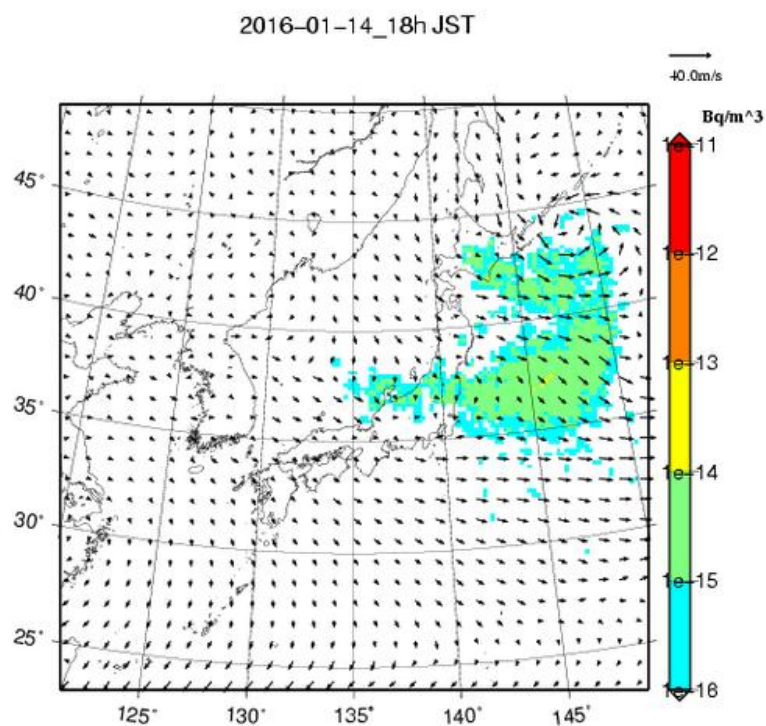


2016/1/14_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

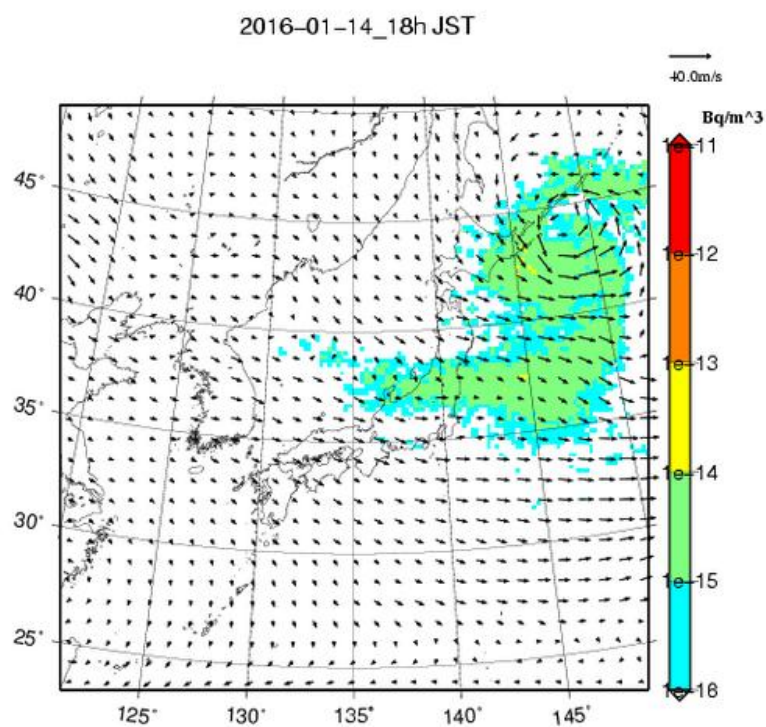


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_18:00 地表面 空気中濃度（ヨウ素 131）

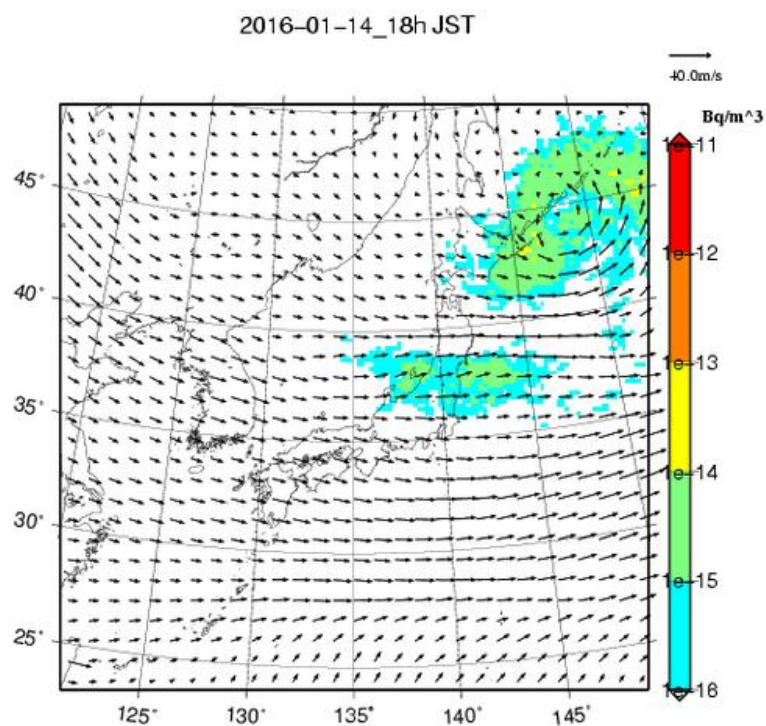


2016/1/14_18:00 上空 1,000m 空気中濃度（ヨウ素 131）

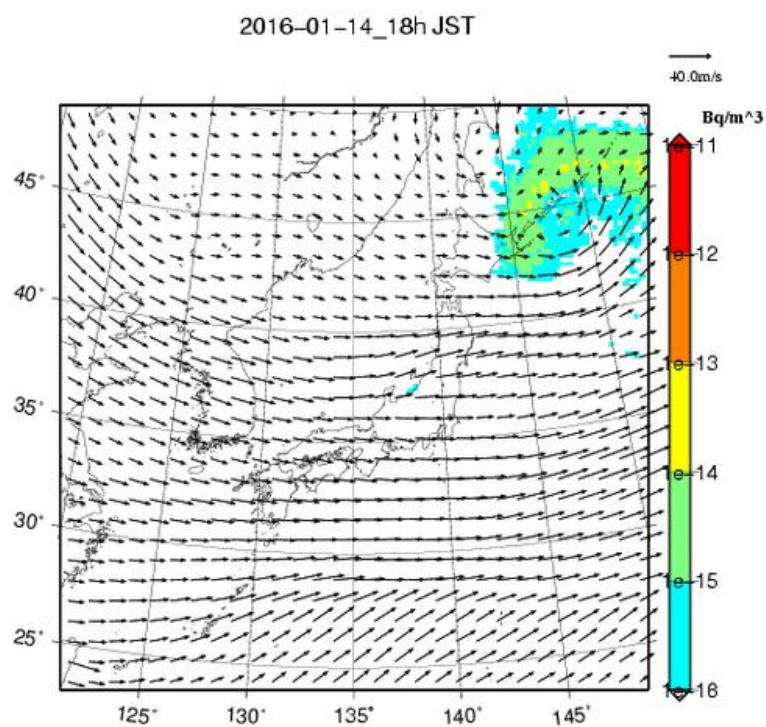


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

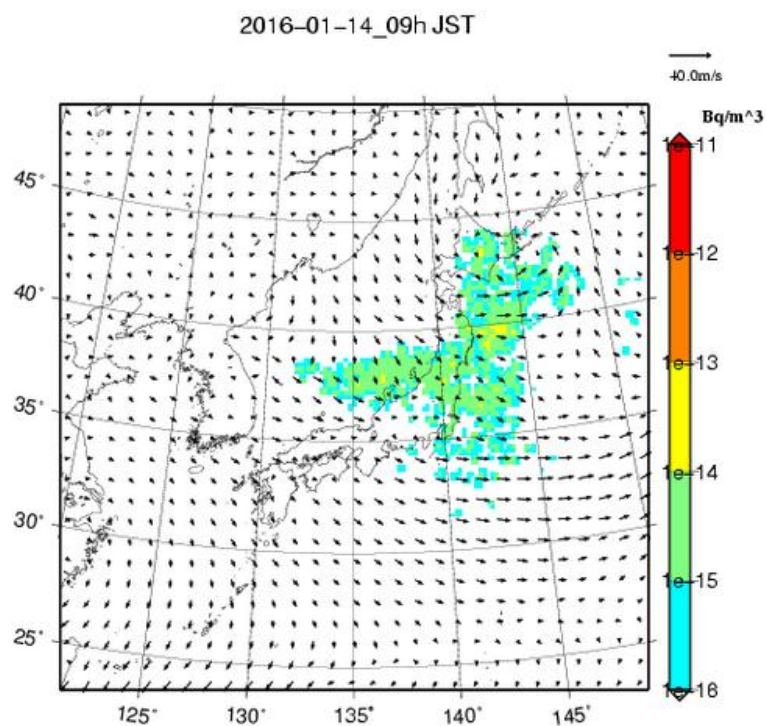


2016/1/14_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

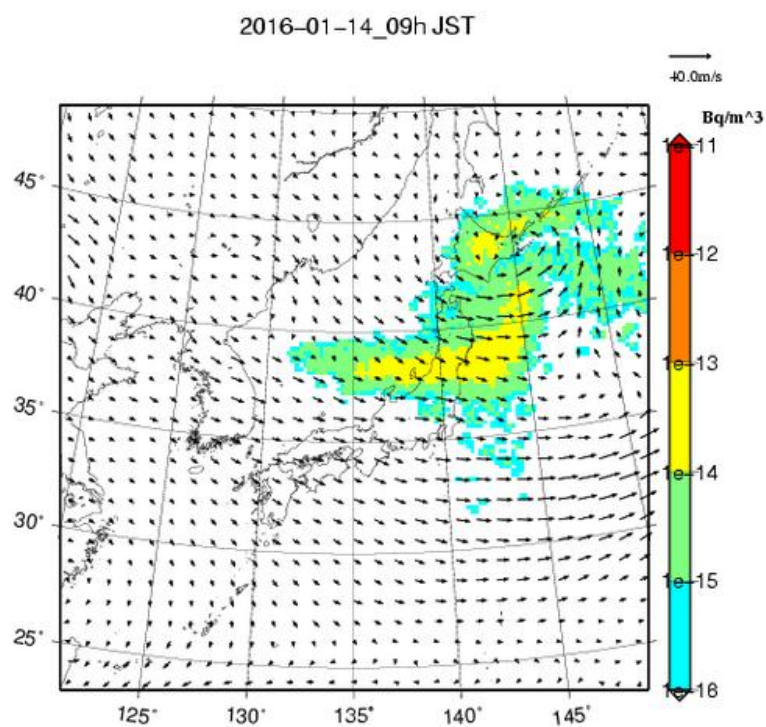


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_9:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

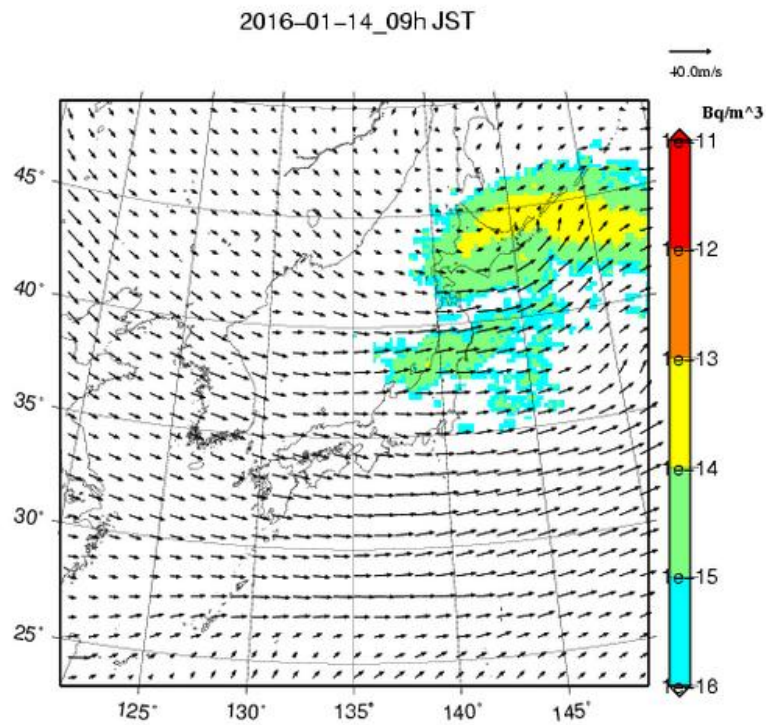


2016/1/14_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

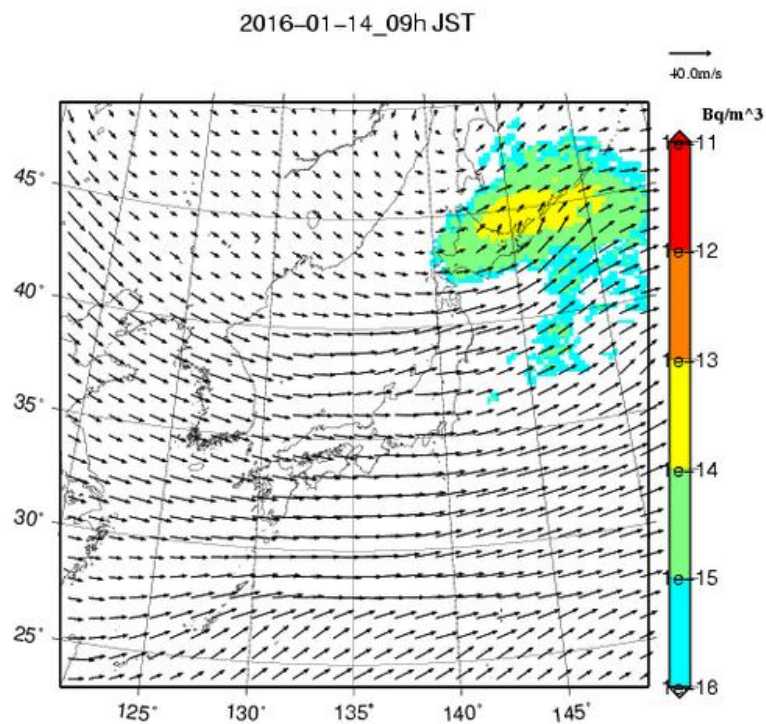


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

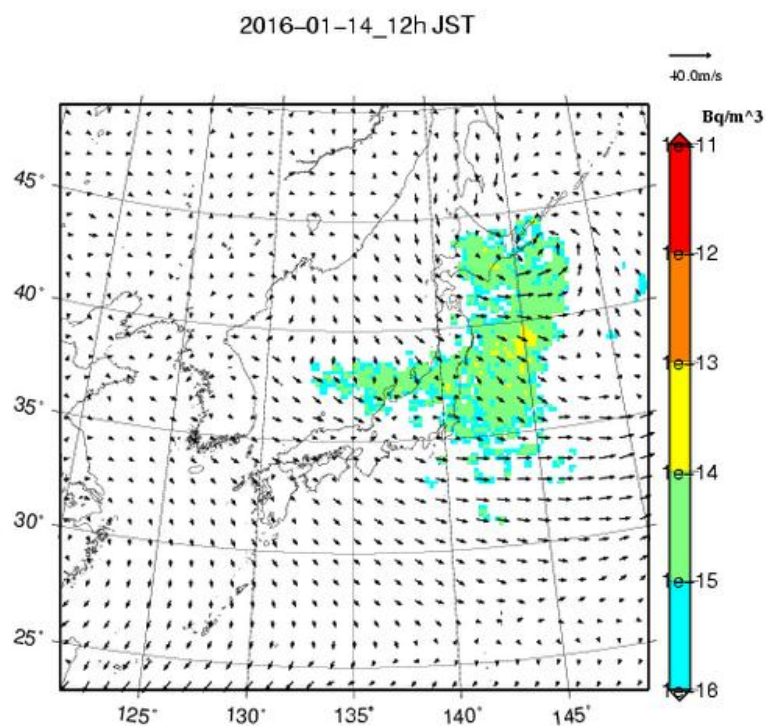


2016/1/14_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

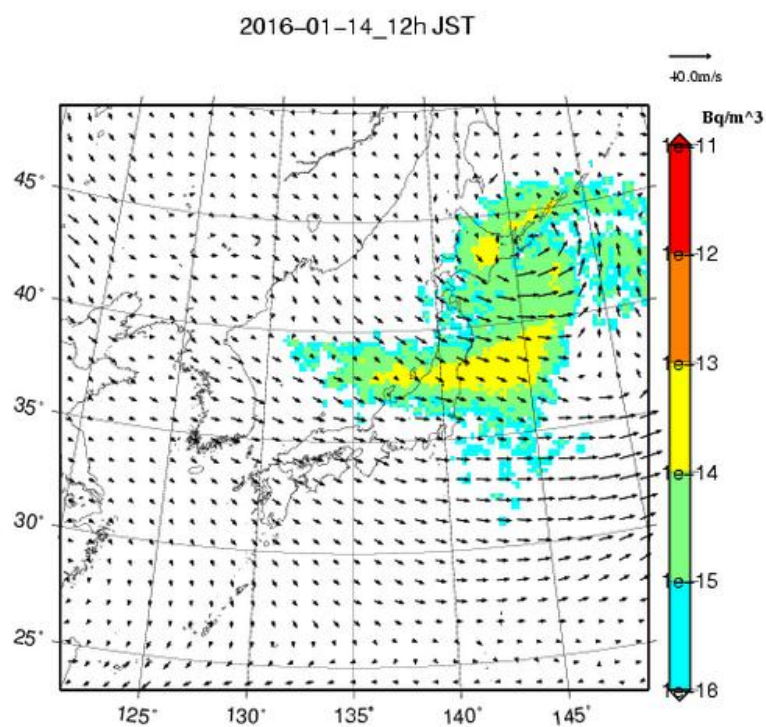


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_12:00 地表面 空气中濃度（キセノン 133）

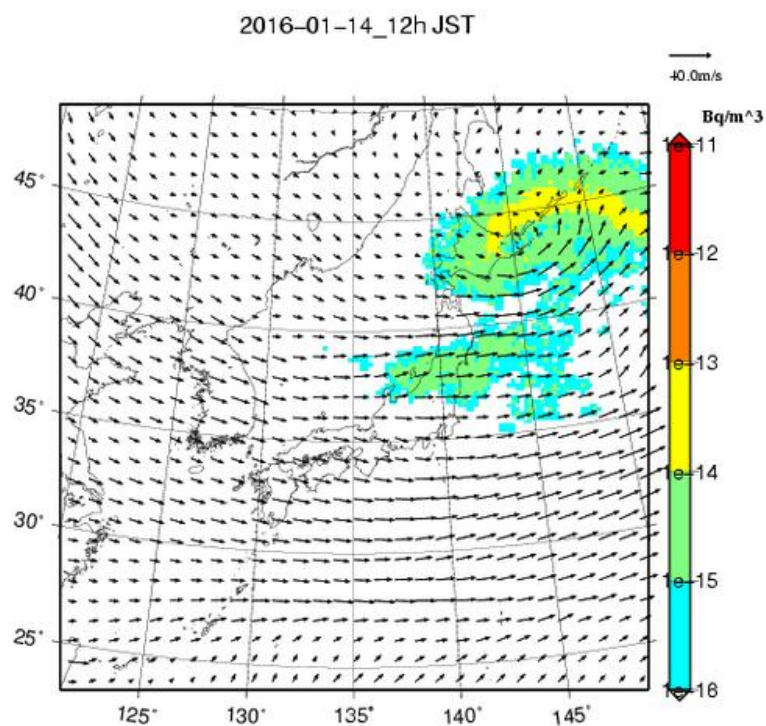


2016/1/14_12:00 上空 1,000m 空气中濃度（キセノン 133）

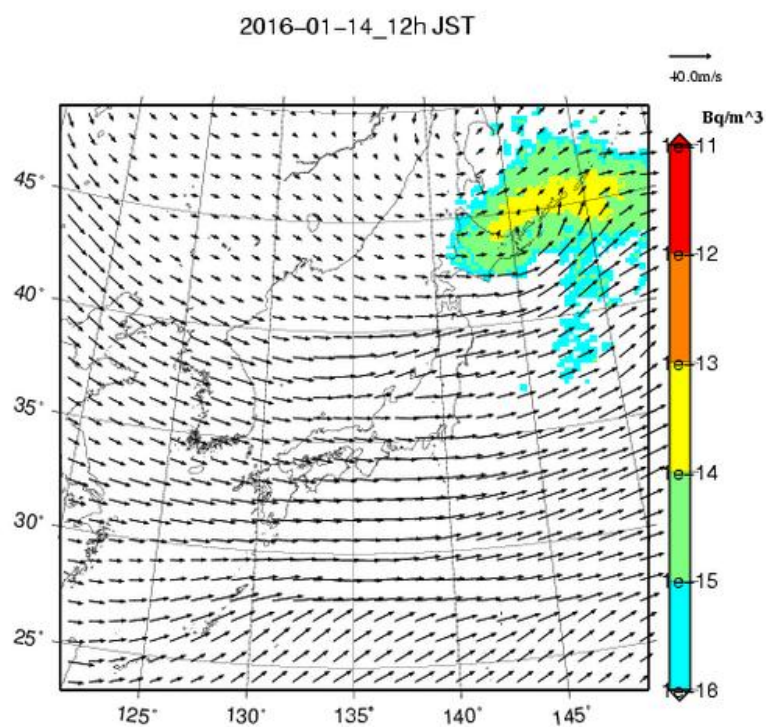


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

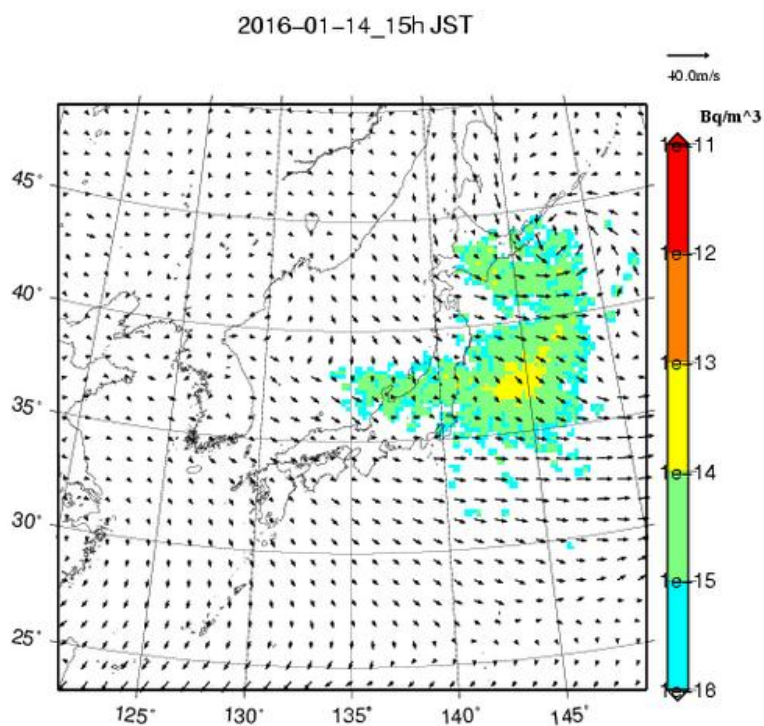


2016/1/14_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

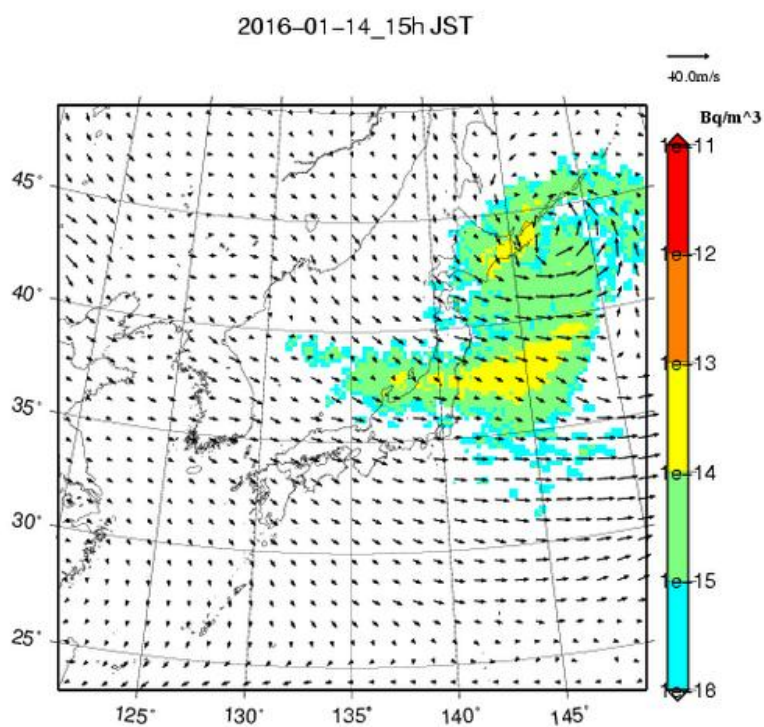


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_15:00 地表面 空気中濃度 (キセノン 133)

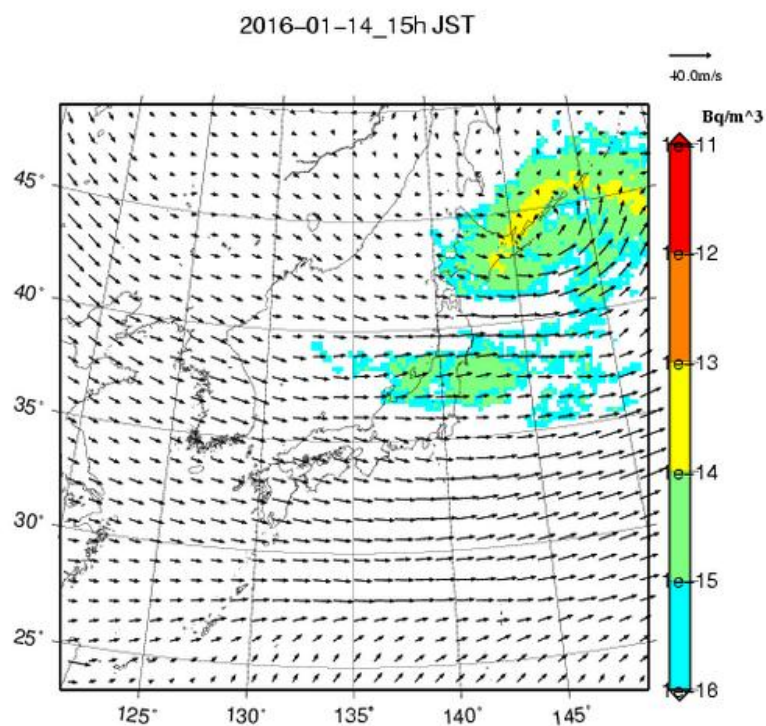


2016/1/14_15:00 上空 1,000m 空気中濃度 (キセノン 133)

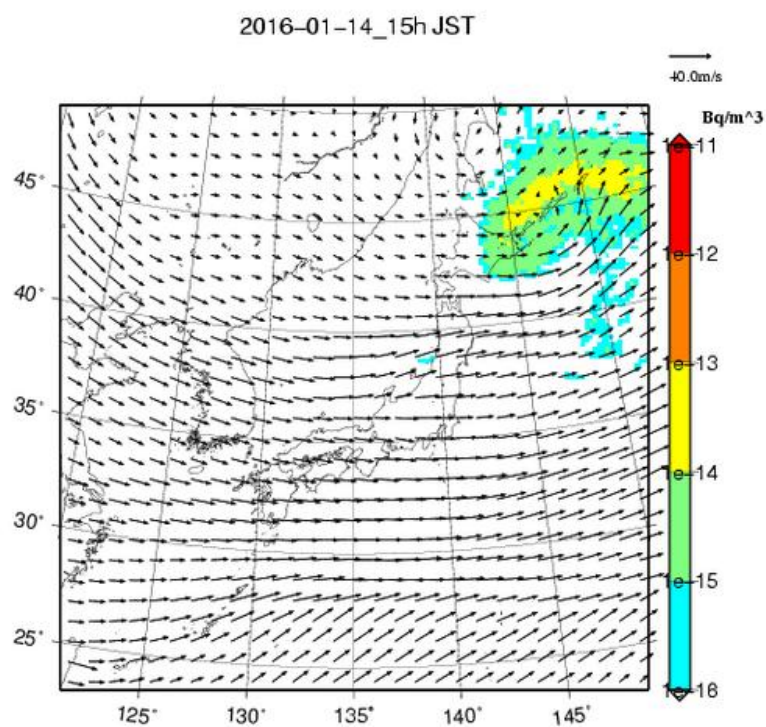


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

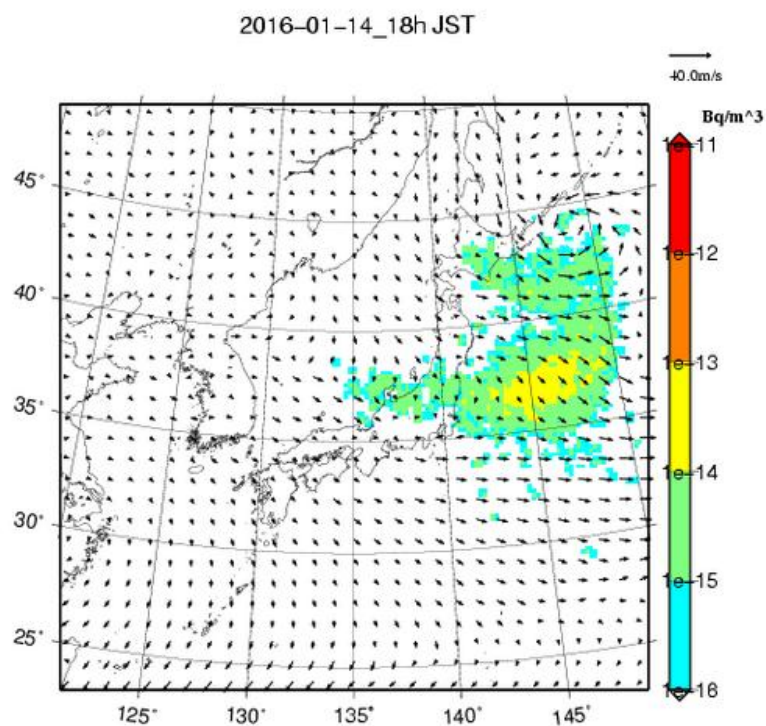


2016/1/14_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

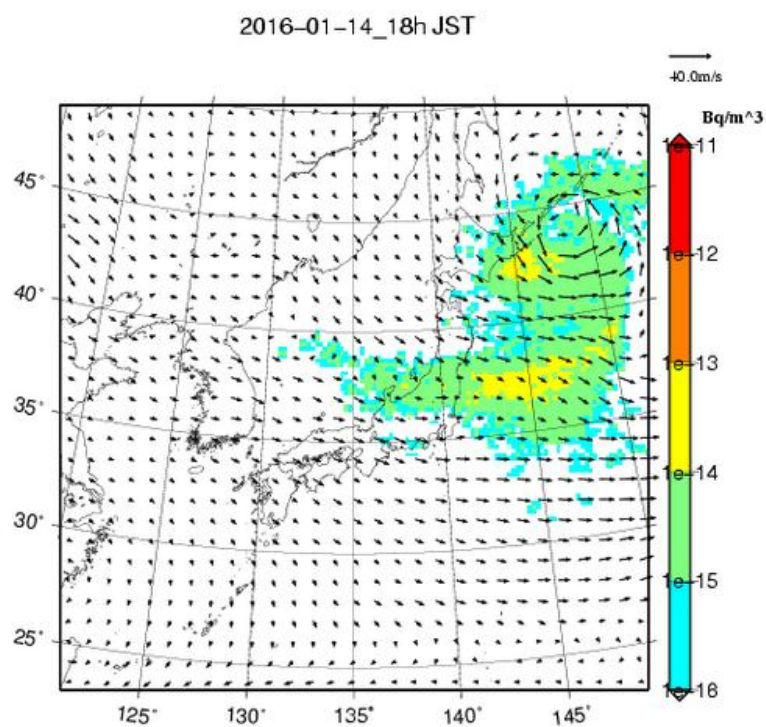


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_18:00 地表面 空气中濃度（キセノン 133）

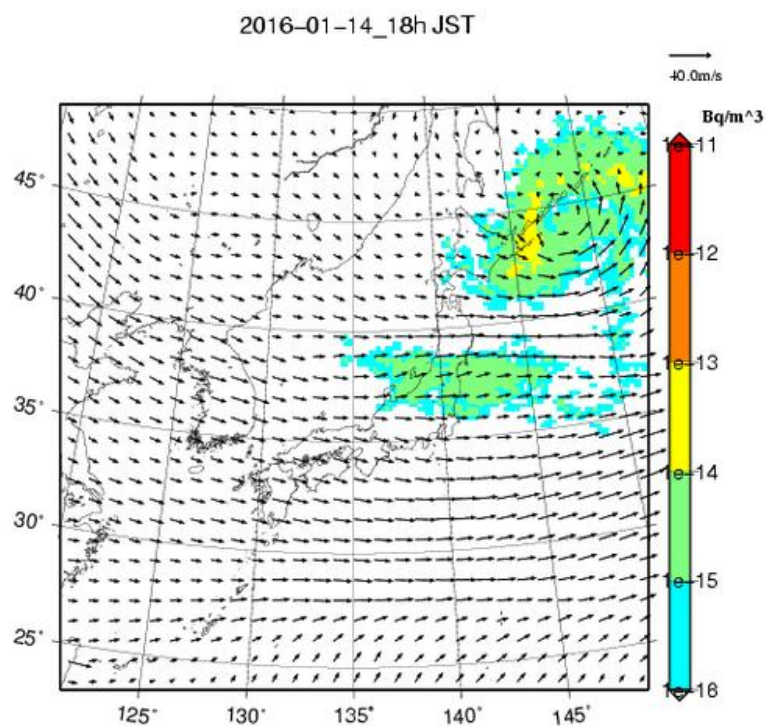


2016/1/14_18:00 上空 1,000m 空气中濃度（キセノン 133）

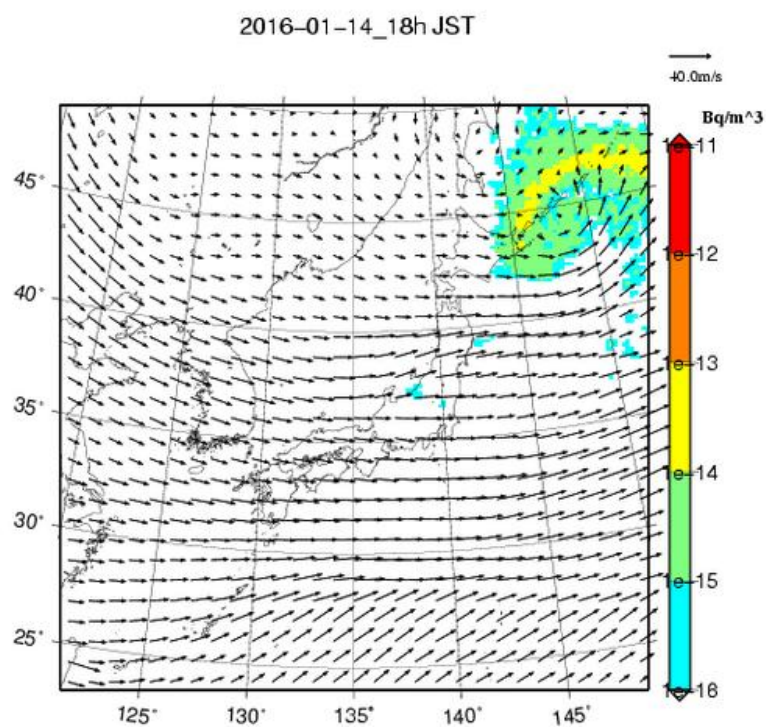


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

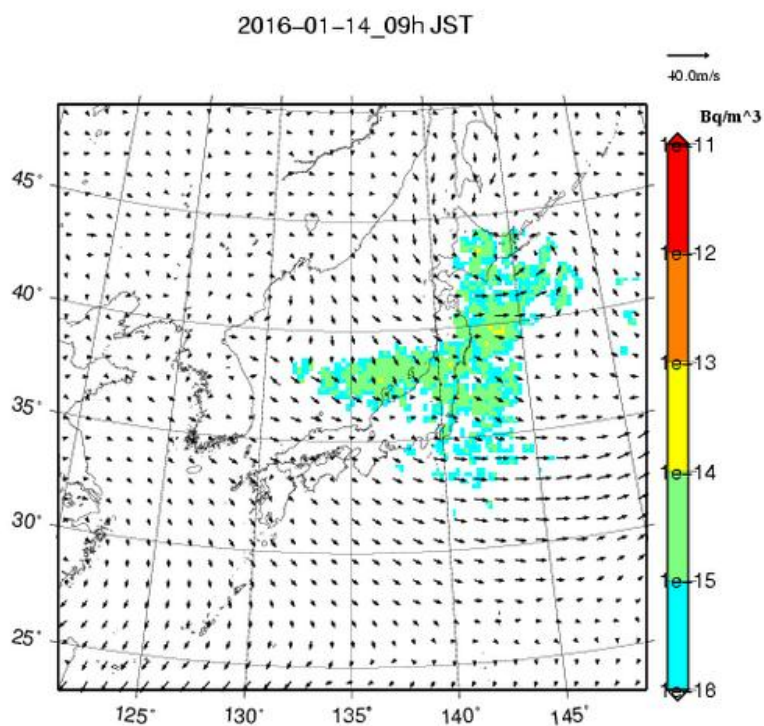


2016/1/14_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

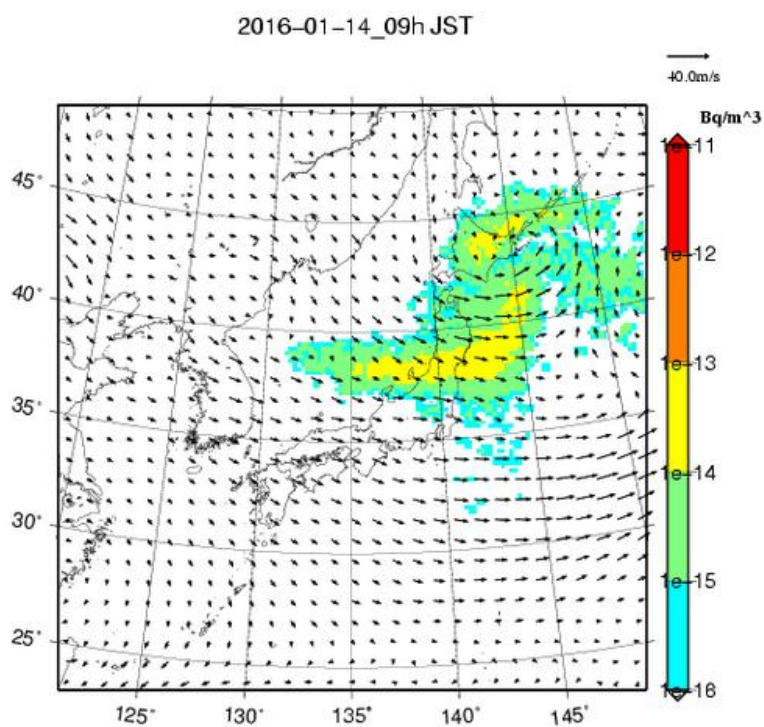


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_9:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

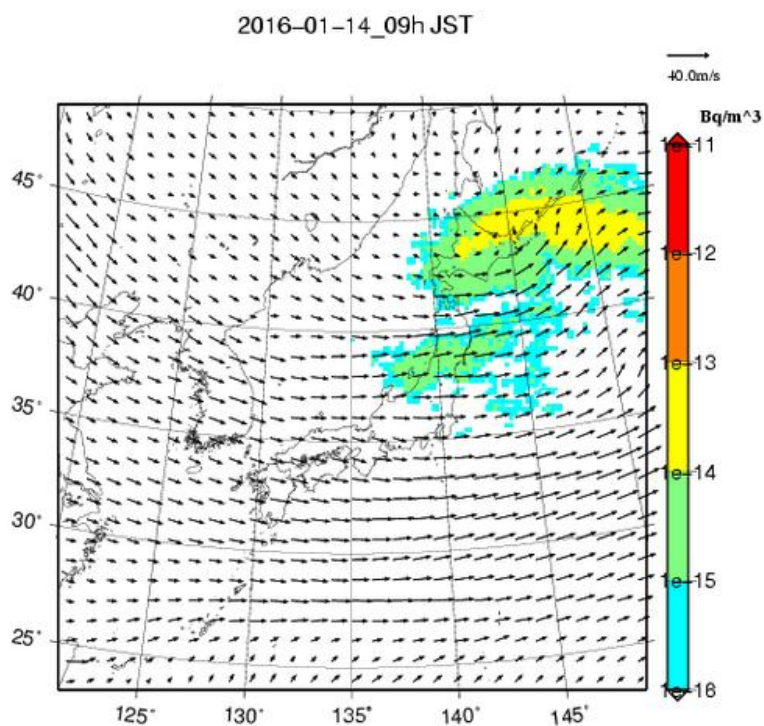


2016/1/14_9:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

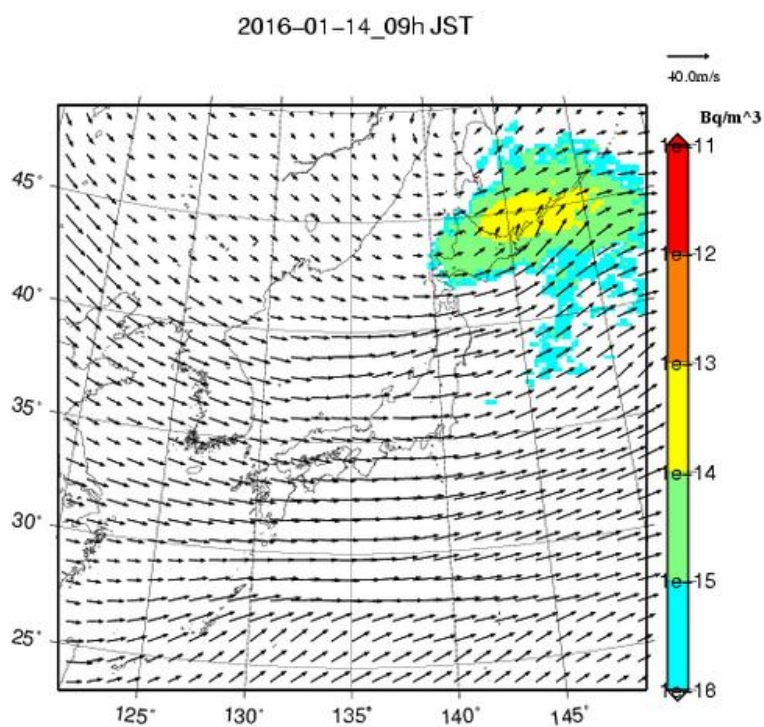


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

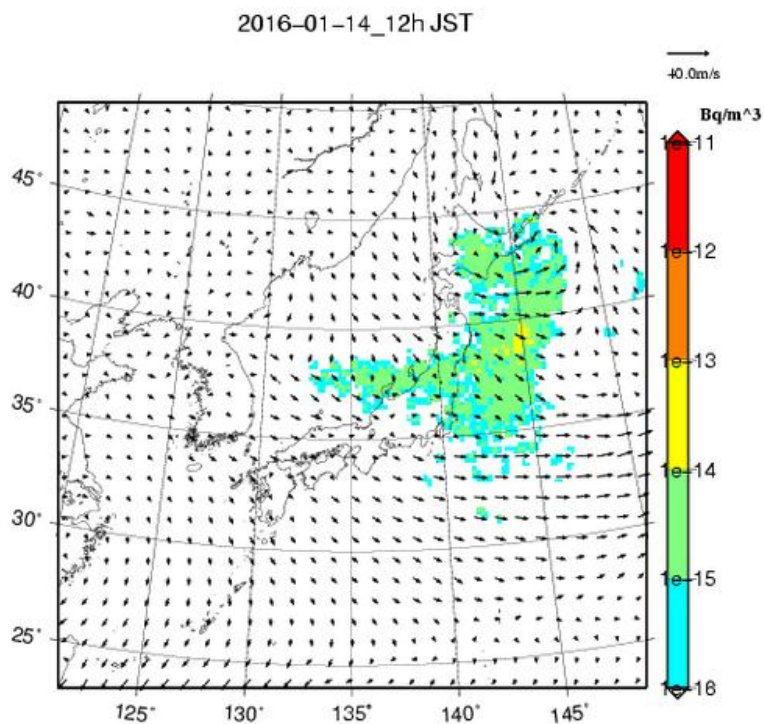


2016/1/14_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

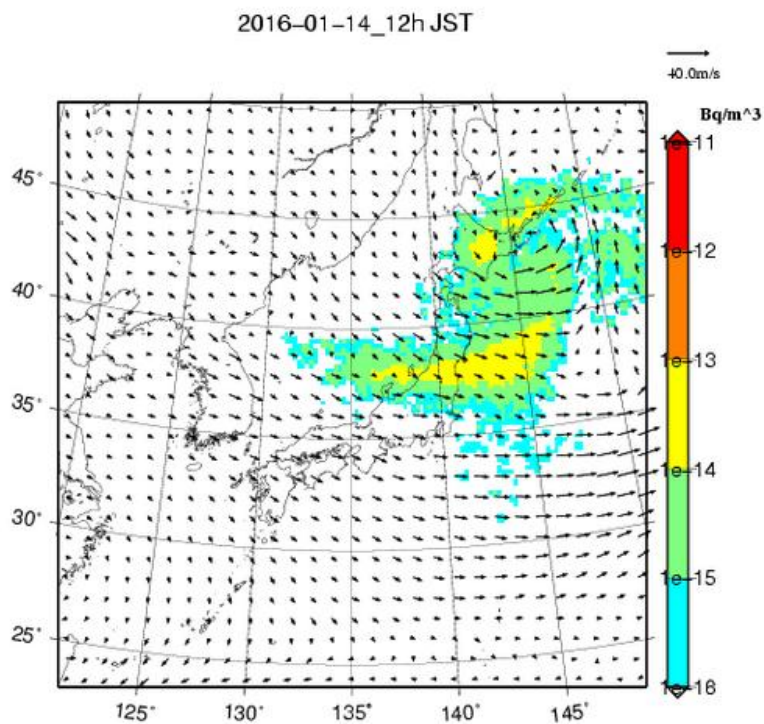


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_12:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

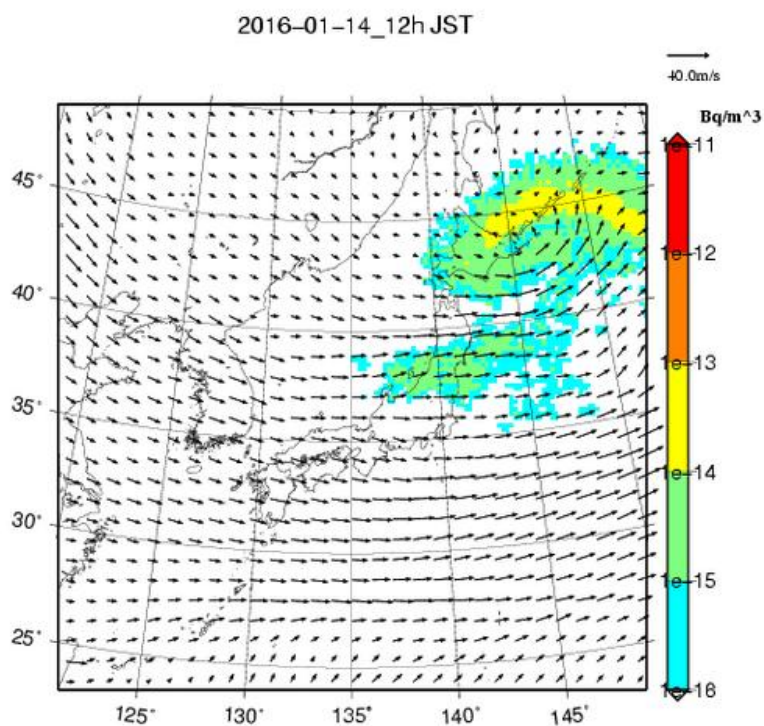


2016/1/14_12:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

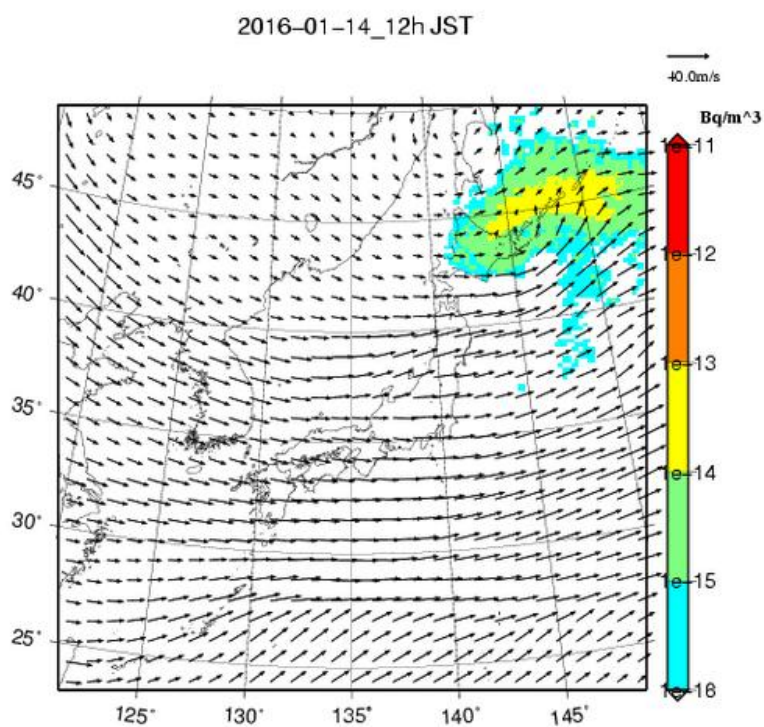


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

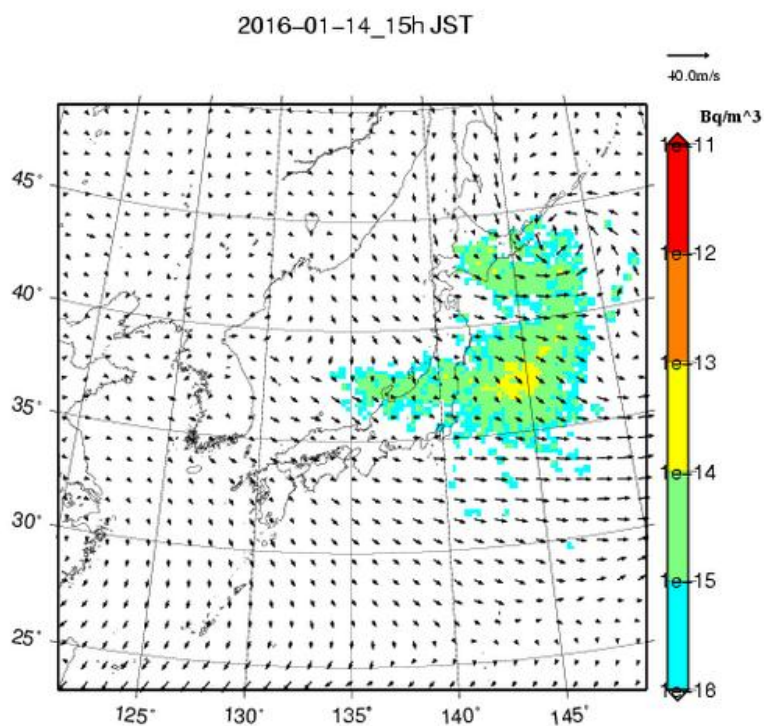


2016/1/14_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

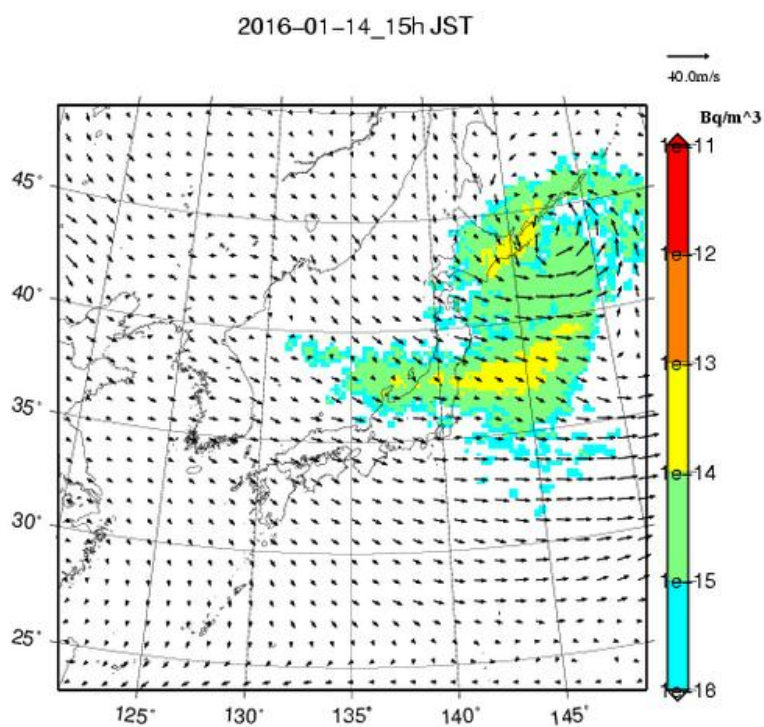


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_15:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

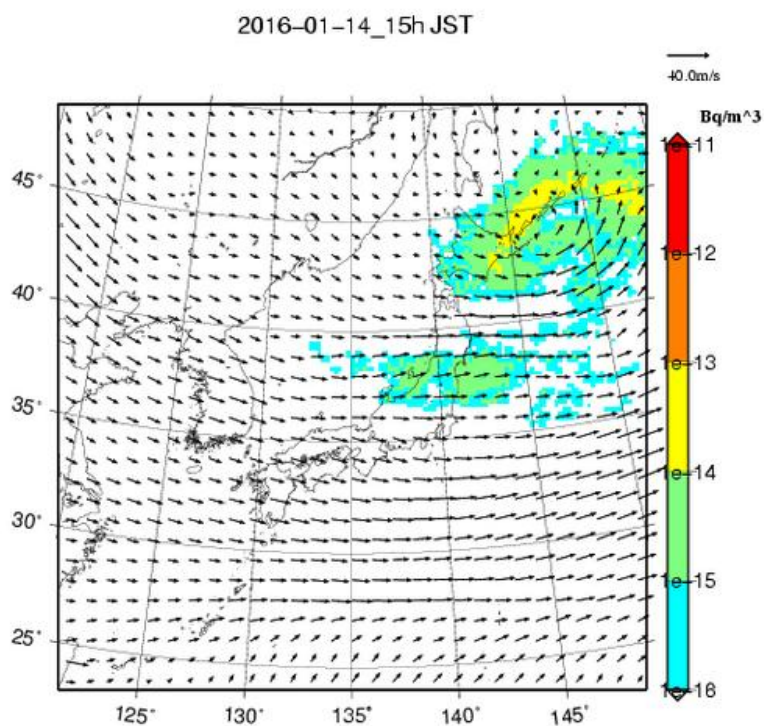


2016/1/14_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

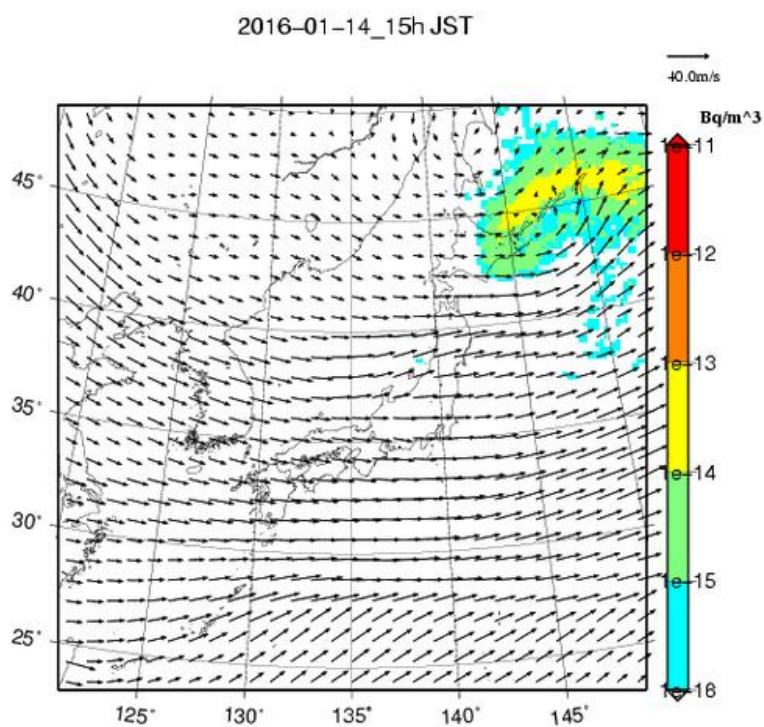


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

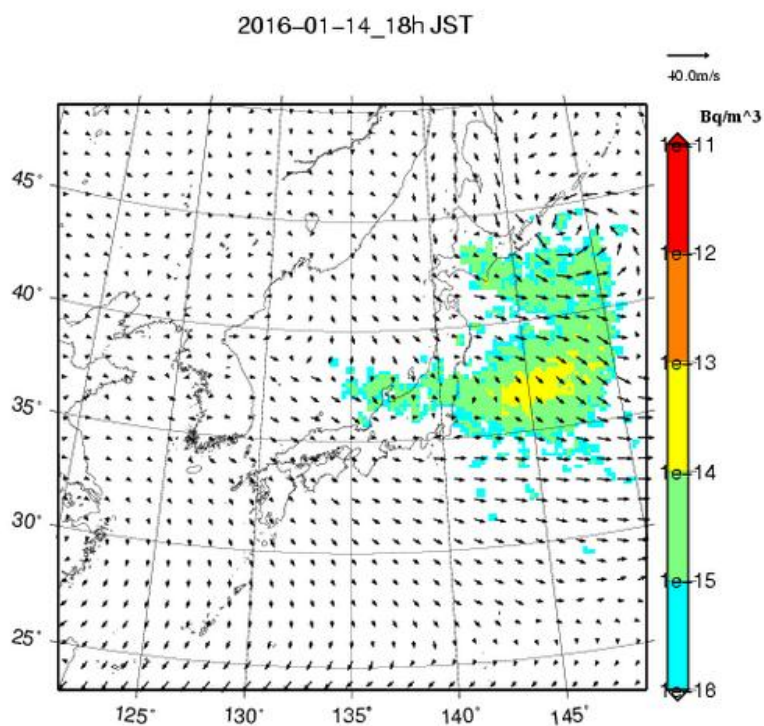


2016/1/14_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

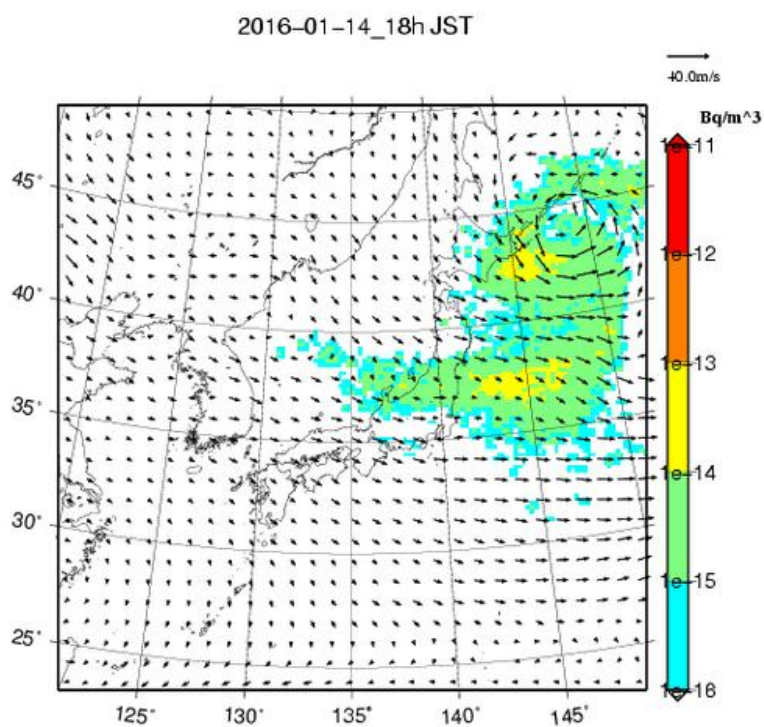


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_18:00 地表面 空気中濃度（セシウム 137）

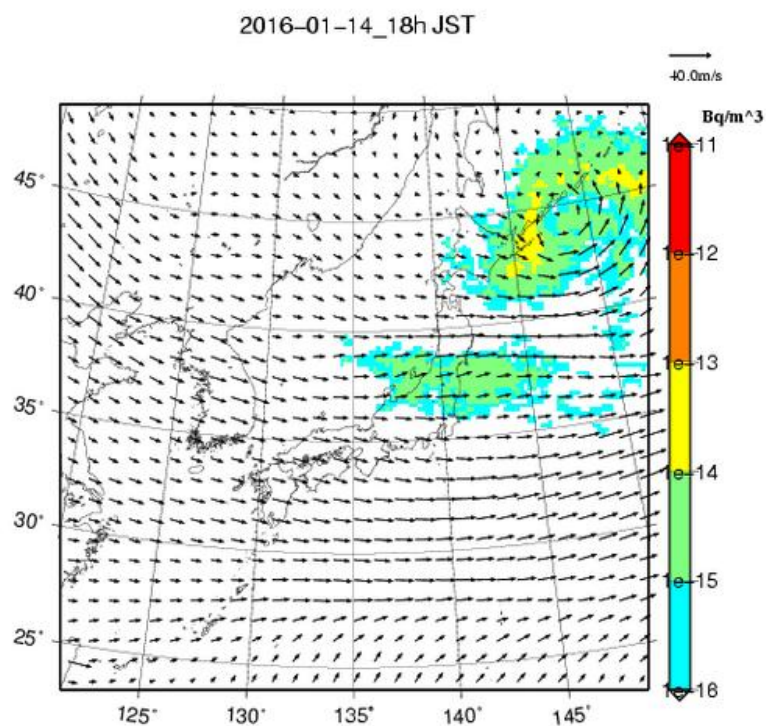


2016/1/14_18:00 上空 1,000m 空気中濃度（セシウム 137）

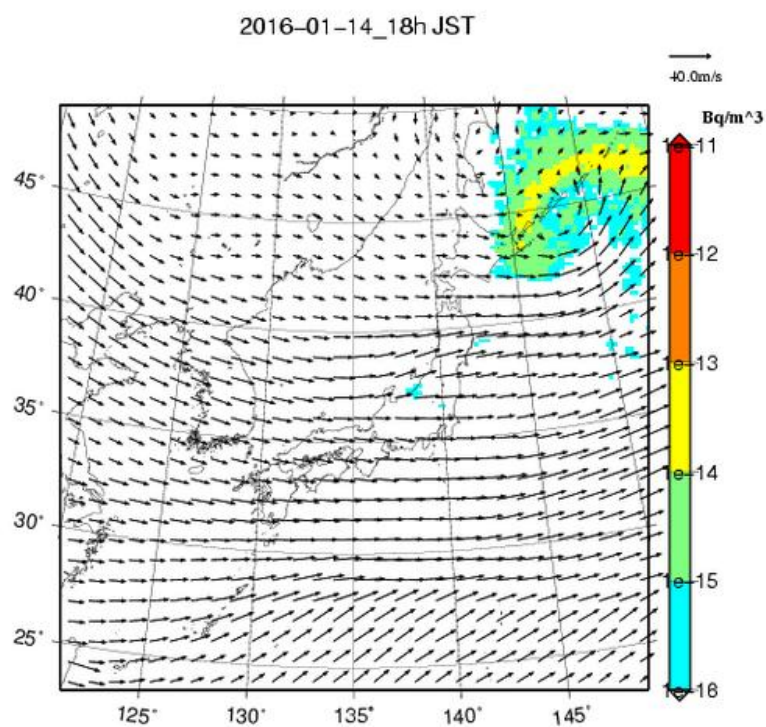


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



2016/1/14_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

北朝鮮の核実験実施を想定した WSPEEDI-II による放射能拡散予測結果 (16)

標記について、仮定計算条件に基づく予測結果は以下のとおりです。

1. 仮定計算条件

放射性物質の種類及び放出率： I-131 (1Bq/h)
Xe-133 (1Bq/h)
Cs-137 (1Bq/h)

放出場所：東経 129.1 度、北緯 41.3 度

放出期間：1 月 13 日 00:00 から 24 時間放出と仮定

2. 結果出力 (計 48 図形)

① I-131 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 14 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

② Xe-133 の大気中濃度の水平分布図

時刻：1 月 14 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

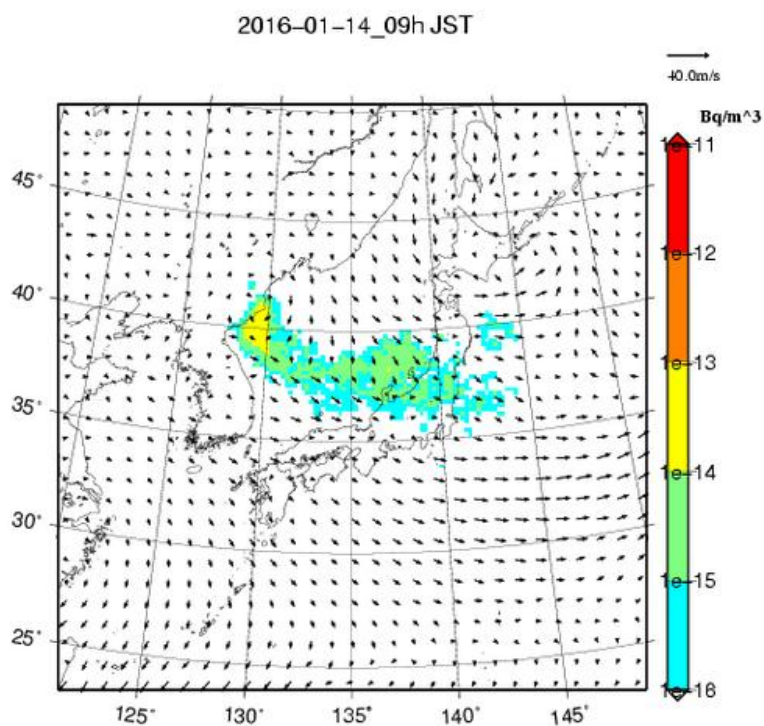
高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

③ Cs-137 の大気中濃度の水平分布図

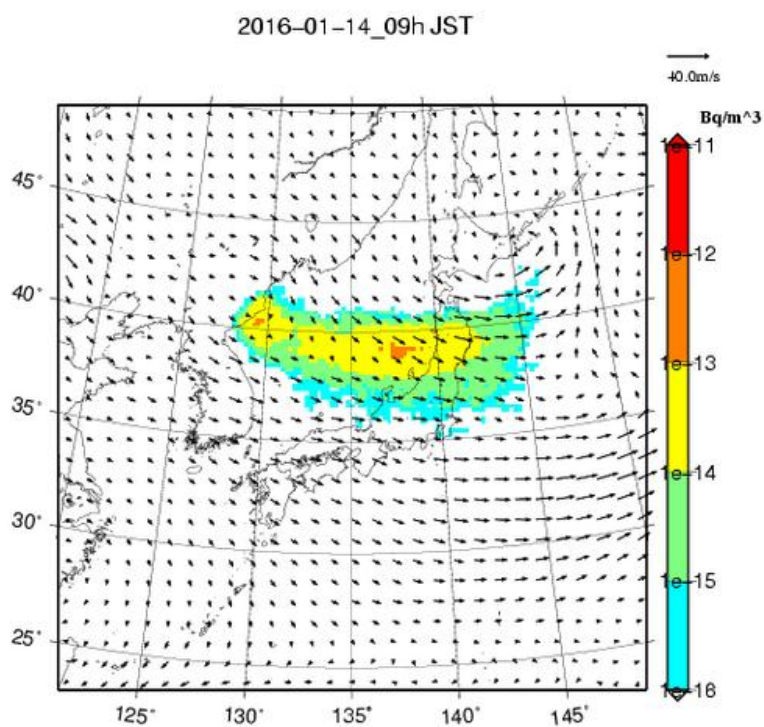
時刻：1 月 14 日 9 時、12 時、15 時及び 18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m 及び上空 3,000m

2016/1/14_9:00 地表面 空気中濃度 (ヨウ素 131)

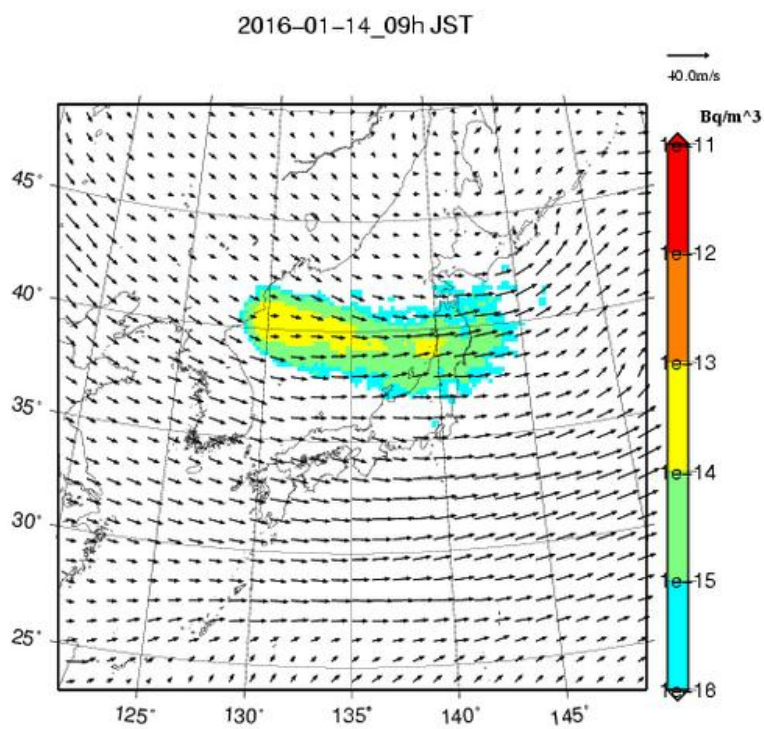


2016/1/14_9:00 上空 1,000m 空気中濃度 (ヨウ素 131)

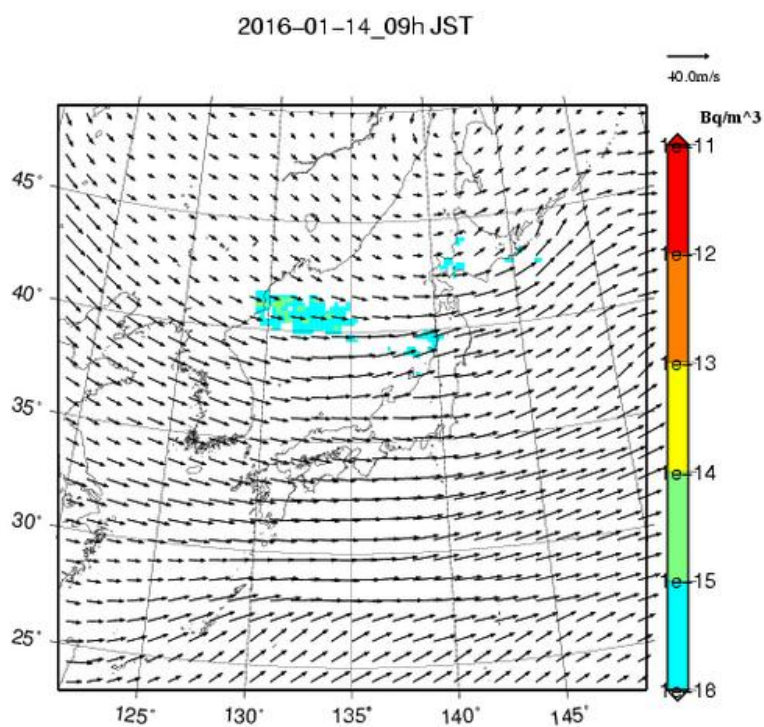


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

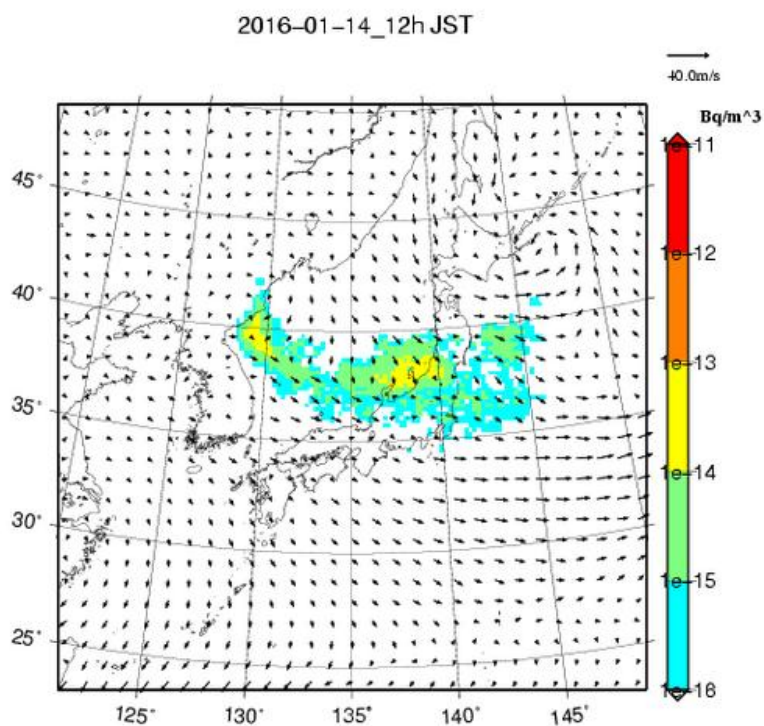


2016/1/14_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

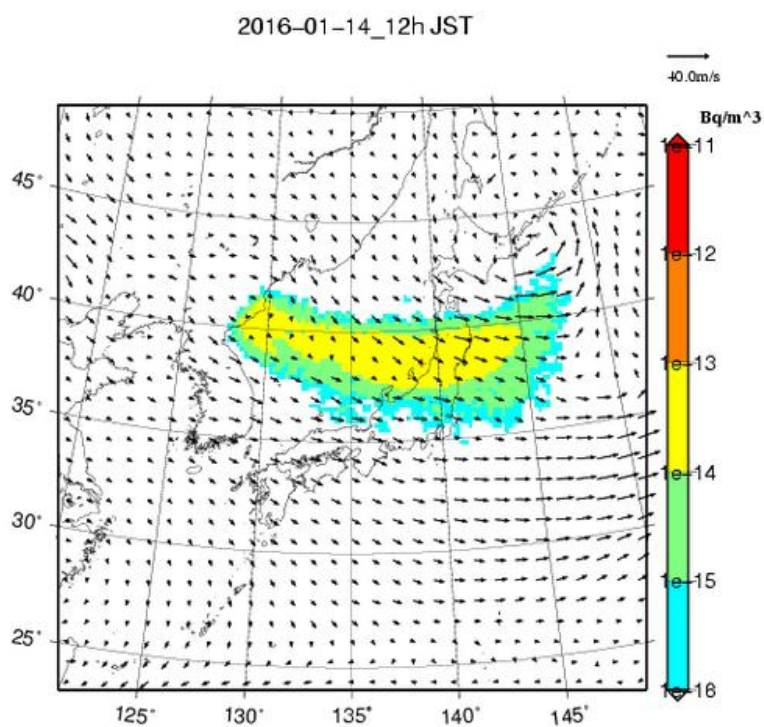


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_12:00 地表面 空气中濃度（ヨウ素 131）

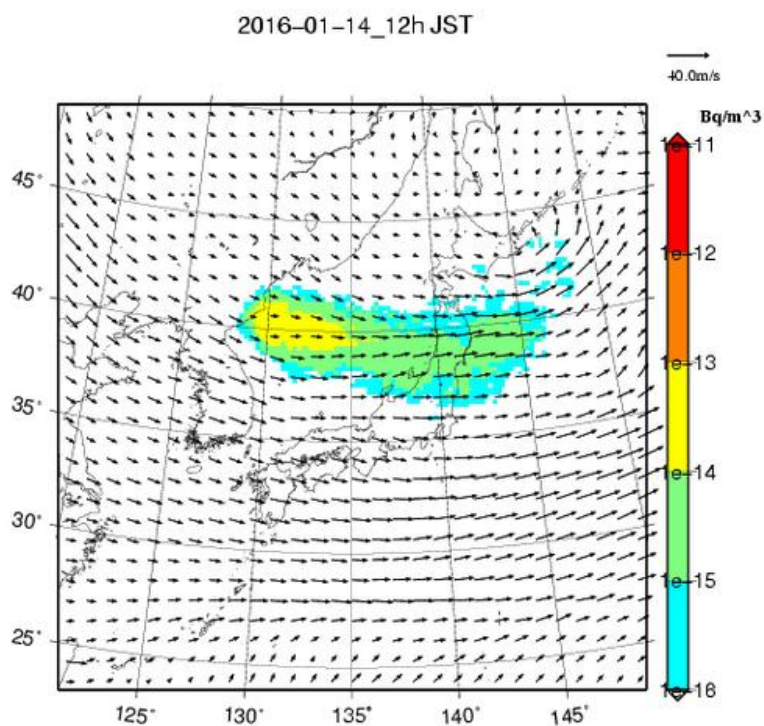


2016/1/14_12:00 上空 1,000m 空气中濃度（ヨウ素 131）

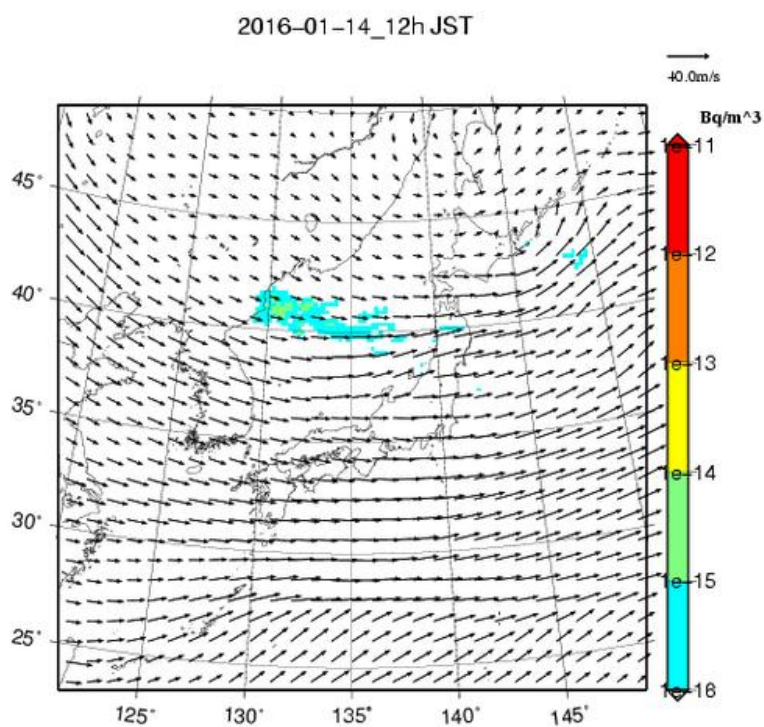


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

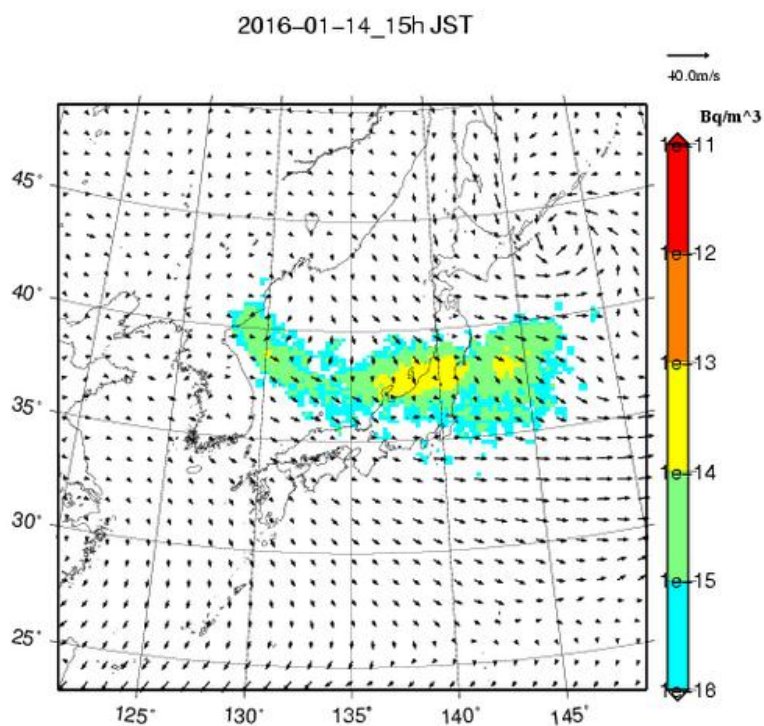


2016/1/14_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

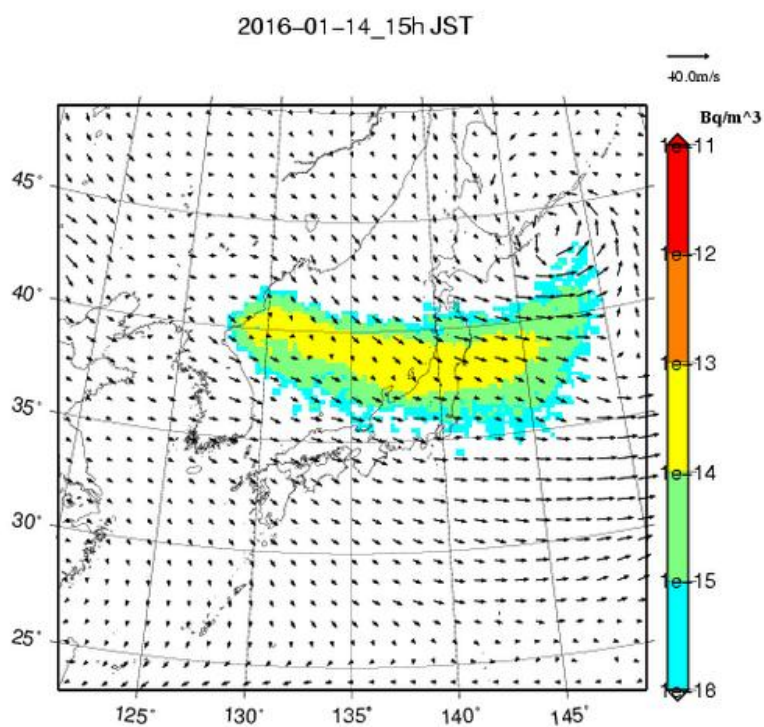


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/14_15:00 地表面 空気中濃度（ヨウ素 131）



2016/1/14_15:00 上空 1,000m 空気中濃度（ヨウ素 131）



一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。